

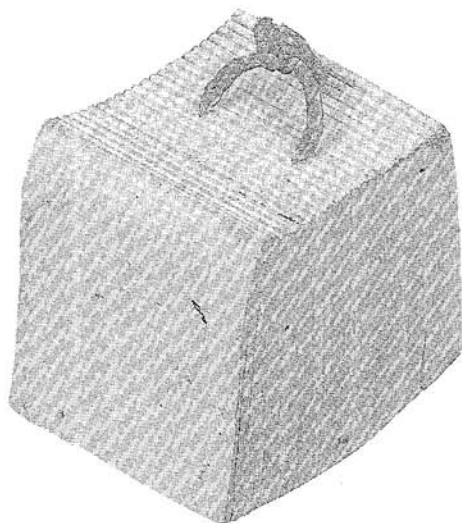
最上紅花史料

III

山形大学附属図書館
(中央図書館)



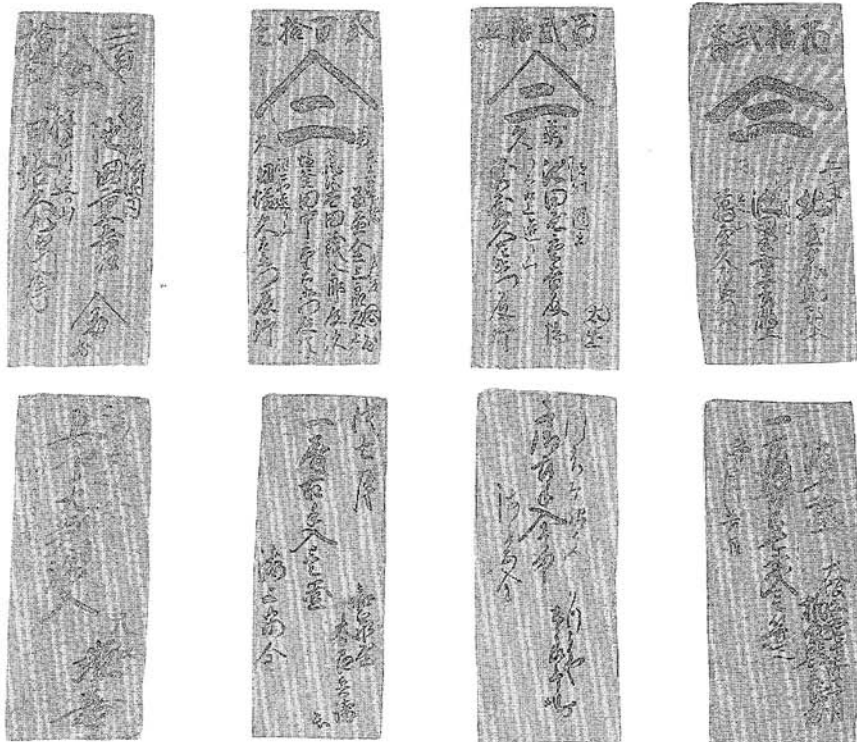
1197021106



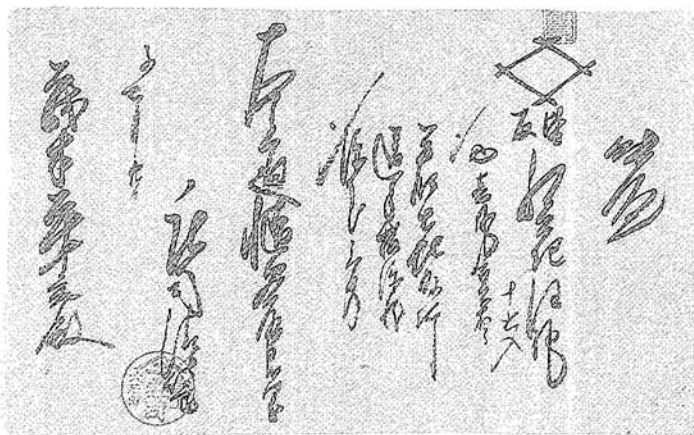
覚
 (日塔久左衛門家文書 8)



大福帳の表紙(左)とその内容(上)
 (日塔久左衛門家文書 1)



荷札表(上)と裏(下) (日塔久左衛門家文書 10)



覚 (茂木平十郎家文書 6)



宮城県村田町大沼養之丞家(左手前)と街並



萬控表紙
(大沼養之丞
家文書 1)



萬控の内容 天保3年6月(上)、嘉永7年1・2月(下)

序

河北町長

矢作武雄

河北町は近世には紅花生産の中心地として生花を集荷し、それを加工した干花を上方に出荷してきました。

紅花は特産物で高価なために、その売上代金は相当の額にのぼり、この地方の農民生活を潤してきました。この地域の文化水準は相当高かったと言われておりますが、それは紅花の生産と出荷に負うところが大きかったものと思われず。

河北町は平成二年十月、自治省から伝統文化を重んじた特色ある町おこしの先導的自治体として、全国十五カ所のリーディング・プロジェクト地区の一つに指定され、以来「べに花の里づくり事業」に一段と拍車がかかりました。べに花を中核として地域間の交流を図るねらいで、河北町総合交流センター「サハトべに花」が平成七年六月に完成し、その後、その活動を活発に展開してきました。

町としては紅花についての研究を推進することが重要であると考え、郷土の紅花研究者今田信一先生が所蔵されていた紅花関係の全史料（町立中央図書館に保管）を印刷し、平成五年二月に「最上紅花史料Ⅰ」として発刊いたしま

した。

続いて平成七年三月には、町内の旧家に所蔵されていた紅花関係史料を「最上紅花史料Ⅱ」として発刊いたしました。この中には掘米四郎兵衛家・今田修家・榎真司家・宇野常義家・逸見彦次家・逸見良一家の文書を収録いたしました。

町としては紅花史料を広く収録したいと考え、この度は更に「最上紅花史料Ⅲ」を発刊することにいたしました。町内旧家に保管されていた史料のほか、寒河江市・山形大学附属博物館・山形県郷土館所蔵の史料と宮城県村田町大沼養之丞家の史料などを収録させていただきました。

第二集発刊以降、町誌編さん委員の方々は引き続き史料の収集、筆写、解読に当たってくださいました。その苦勞に対し、深く感謝いたします。

それとともに、貴重な史料を心よく提供してご協力くださった所蔵者の方々に、厚くお礼申しあげます。これらの「最上紅花史料」が紅花研究と地域間の交流に役立つことを切に期待いたします。

発刊にあたって

河北町誌編纂委員長

榎 清 哉

本県の内陸地方は近世初期から紅花を生産し、「最上紅花」として上方へ出荷してきました。その生産額は一口に「最上千駄（一駄は千花三三貫目）」といわれ、河北地区からはそのうち三〇パーセント位を出荷したといわれています。河北町では紅花の研究を推進するために、これまで『最上紅花史料』を発刊してきました。平成五年二月には「第一集」、平成七年三月に「第二集」を発刊し、今回さらに「第三集」を発行することにいたしました。

「第三集」の収録内容は、町内にある史料を第一にしましたが、町内の残存史料の大半は「第二集」に掲載したので、今回は町内の史料は日塔久左衛門家と茂木平十郎家の史料だけとなりました。足りない分は寒河江市・山形大学附属博物館・山形県郷土館所蔵の紅花関係史料と、宮城県村田町の史料を収録いたしました。本町のみならず近在近郷の紅花関係史料をとりまとめ、紅花の生産と流通の研究に資したいと考えたからです。

次に史料所蔵者について簡単に説明します。

日塔久左衛門家は河北町造山の旧家で、当主は章彦氏です。造山は旧三泉村の北端、榎川のすぐ南側にある集落です。造山の地名については、溝延城の家臣が牛山と虎山の二つの山を造ったことから名づけられたといい、そのうちのひとつ、直径一〇メートル、高さ三メートル位の小高い土盛りが今も日塔家の屋敷内にあります。その上には近郷か

ら見えるサイカチの太木が生えていたということです。

日塔家は産をなした豪農で、近世末期から在方商人として、「萬屋」を名のつて、上方との商取引を行った旧家で、その関係書類が同家に保管されており、今回はその中から紅花に関係あるものを収録いたしました。日塔家では紅花だけでなく青苧・米・大豆・たばこなどの商品も出荷し、その売上代金で古着・太物・生活用品・砂糖などを仕入れたので、その経営形態を明らかにするために、一部紅花以外のものも収録しました。このほかに紅花関係の基本的な史料もありました。なお、板の荷札がたくさん保管されていたので、それも採録いたしました。

茂木平十郎家は同家の言い伝えによれば、南北朝時代に、宇都宮合戦で敗れ、数名の従者と共に当所に来て定住し、中条氏の堀口館の構築を支援したということです。白鳥十郎谷地入部後は「長大手口館守」として重きをなし、近世に入りて文化十三年（一八一六）から前小路村名主になったということです。その後継者は仙台に移り、遺産は同族が分割して継承しております。この度の文書は茂木与太郎氏が保存していたもので、裏貼りははがしたため、一部破損したところがあります。

寒河江市の斎藤理久郎家文書は、寒河江市誌史纂委員会のご了解を得て、『寒河江市史編纂叢第四二集』に採録されているものを、そのまま本誌に転載したものです。斎藤家のある寒河江市西根宝は、本町溝延と寒河江川をはさんだ南方に位置し、地理的には本町と極めて近い場所にあります。史料は在方荷主であった斎藤家のありようを示すものですが、この史料については、渡辺信氏が叢書第四二集に詳細に解説しているので、それを参考にさせていただければ幸いです。なお、同叢書をそのまま転載したので、本誌の文書名の表題も同叢書に準じております。

稲村七郎左衛門家の文書は現在山形大学附属博物館に所蔵されています。その史料目録の中から紅花関係史料だけを選んで、採録したのがこの度の史料です。

稲村家は豪商として活躍した山辺町大蔵の旧家で、同家についてはこれ迄いろいろな形で解説されておりますので、省略させていただきます。

山形県郷土館所蔵文書の中の長井政太郎収集文書は、同館所蔵の長井政太郎氏史料の、「古文書」と分類した中にあるものです。長井氏が調査した史料の一部で、中には同氏が筆写したものもあります。紅花関係史料としてはまともっていないので、仮に表題のようにつけておきました。

山寺村文書は山形県郷土館が所蔵する稲泉文庫（故三春伊佐夫氏所蔵）の古文書の中にあつたものです。この古文書は大きく黒沢村渡辺家・小白川村佐藤家文書・高橋村明治期文書などに分けられますが、ここに採録したものはその性格が不明確なので、表題を仮にこのようにつけておきました。

宮城県村田町は山形自動車道と東北自動車道との交叉点の東側に位置する、人口約一万三〇〇〇人の町です。室町時代の嘉吉年間（一四四一〜四四）小山九郎業朝なりもがここに定住して、伊達家の家臣となつて村田城を築き、慶長十八年（一六一三）伊達政宗の七男宗高が城主となつたといわれています。仙南地方は近世以降の紅花産地で、毎年四〇〇駄位が村田に集められ、関西や江戸に送られたといわれております。大沼養之丞家と大沼庄治郎家はその頃からの紅花出荷商人で、山形の長谷川家とも取引があり、その商荷の一部は大石田から船積みされて、京都に送られたことでもあります。今両家には紅花の集荷取引関係の帳簿が保管されております。この度収録したのは養之丞家の部厚な冊子で、文政八年（一八二五）から文久二年（一八六二）までの商取引関係の記録で、表題はついていないが仮に本誌のように、年毎に「商用萬控」としました。同家の在方商人としての経営形態のほか仙台藩の経済政策の実態も把握できる貴重な史料です。

既刊の史料集とともに、この「第三集」も活用して、紅花の研究をさらに進めていただくことを期待いたします。

凡 例

一、本書には河北町内の日塔久左衛門文書一〇点、同茂木平十郎家文書一八点の外、寒河江市斎藤理久郎家文書八七点、山辺町稲村七郎左衛門家文書三四点、山形県郷土館所蔵文書九点、宮城県村田町大沼養之丞家文書一点の紅花関係史料を収録した。

一、史料の配例は家毎に、年代順を原則としたが、冊子や帳簿などは記載されている順序にしたがった。

一、史料の収録にあたっては、できるだけ原文の形にさうよう努力したが、読者の便宜を考えて、次の諸点に留意した。

- (一) 漢字の字体は当用漢字を原則としたが、メ(貫)など異体字の中にはそのまま用いたものもある。
- (二) 変体かなはそのまを用いた。
- (三) 割印・認印などは省略したが、署名の押印は(印)とした。
- (四) 破損・摩耗・虫食いなどにより判読不能な箇所は、□□・□□・□□などで示し、(虫)などと注記した。
- (五) 表紙・封書・貼紙・朱書などは「」によって示し、それぞれ(表紙)などと注記した。
- (六) 文意の通じない箇所や宛字には(ママ)、疑問の箇所には(カ)と注記した。

目次

日塔久左衛門家文書 (河北町造山)

一	大福帳 (元治二年九)	三	三	金銀出入帳 (明治二年)	三六
(一)	紅花仕入覺	三	四	金銀出入帳 (明治三年)	四五
(二)	大坂江手本為登分	一〇	五	仕入帳 (明治三年)	七七
(三)	諸入用覺	一一	六	荷物出入帳 (明治三年)	九二
(四)	上方為登仕切	一三	七	金銀出入帳 (明治四年)	一〇二
(五)	羽州屋久右衛門殿行諸品仕切覺	一六	八	覺 (明治四年)	一四九
(六)	羽州屋久右衛門様差引覺	一九	(一)	金銀貸方覺 (抄)	一四九
二	大福帳 (慶応四年)	二三	(二)	金銀差引覺 (抄)	一五〇
(一)	上方為登仕切覺	二三	(三)	諸用附込覺	一五一
(二)	和藥仕切覺	二六	(四)	紅花仕切覺	一五二
(三)	大黃買仕切	二七	(五)	紅花仕切覺	一五六
(四)	覺	二八	(六)	諸用附込覺	一五九
(五)	上方仕入覺	二九	(七)	仕切覺	一六〇
			(八)	申ノ紅花仕入覺	一六一
			(九)	上方為登覺	一六五

(十) 紅花仕切記

(十一) 紅花仕切記

(十二) 小鵜飼艇銘細控

九 金銀出入帳 (明治五年)

一〇 荷札 (板札)

茂木平十郎家文書 (河北町谷地)

一 覚

二 書簡

三 書簡

四 書簡

五 覚

六 覚

七 口上

八 覚

九 書簡

一〇 書簡

一六七

一七〇

一七二

一七五

二四七

一一 書簡

一二 覚

一三 書簡

一四 書簡

一五 書簡

一六 書簡

一七 書簡

一八 書簡

二七七

二七七

二七七

二七八

二七八

二七九

二七九

二八〇

二八〇

二八一

齋藤理久郎家文書 (寒河江市)

一 覚 (文政元年)

二 覚

三 覚

四 覚

五 覚

六 覚

七 覚

二八二

二八二

二八三

二八三

二八四

二八五

二八五

二八六

二八九

二八九

二九〇

二九〇

二九一

二九一

二九一

八 覚	(文政二年)	二九二	二六 覚	(文政四年)	三〇〇
九 覚	(文政二年)	二九二	二七 覚		三〇一
一〇 覚	(文政二年)	二九三	二八 覚		三〇一
一一 覚	(文政二年)	二九四	二九 覚		三〇二
一二 覚	(文政二年)	二九四	三〇 覚	(文政五年)	三〇二
一三 覚	(文政二年)	二九五	三一 覚	(文政六年)	三〇三
一四 覚	(文政二年)	二九五	三二 覚		三〇三
一五 覚		二九六	三三 覚		三〇三
一六 覚		二九六	三四 覚		三〇四
一七 覚		二九七	三五 覚		三〇四
一八 覚		二九七	三六 覚	(文政七年)	三〇五
一九 覚		二九七	三七 覚	(文政七年)	三〇五
二〇 覚		二九八	三八 覚		三〇六
二一 覚	(文政四年)	二九八	三九 覚		三〇六
二二 覚	(文政四年)	二九九	四〇 覚		三〇六
二三 覚	(文政五年)	二九九	四一 覚	(文政八年)	三〇七
二四 覚		三〇〇	四二 覚	(文政八年)	三〇七
二五 覚		三〇〇	四三 覚		三〇八

四四	覺(文政九年)	三〇八	六二	覺	三二八
四五	覺	三〇九	六三	(覺)	三二八
四六	覺	三〇九	六四	(覺)	三二八
四七	覺(文政十年)	三一〇	六五	覺	三二九
四八	覺(文政十年)	三一〇	六六	覺	三二九
四九	覺	三一〇	六七	覺	三二九
五〇	覺(文政十一年)	三一〇	六八	覺	三二九
五一	覺	三一〇	六九	覺	三二〇
五二	覺(文政十一年)	三一〇	七〇	覺	三二〇
五三	覺	三一〇	七一	覺	三二〇
五四	覺	三一〇	七二	覺	三二〇
五五	覺	三一〇	七三	覺	三二〇
五六	覺	三一〇	七四	覺	三二〇
五七	仕切(天保十年)	三一〇	七五	覺	三二〇
五八	指引覺(弘化四年)	三一〇	七六	覺	三二〇
五九	仕切(弘化四年)	三一〇	七七	覺	三二〇
六〇	仕切(弘化四年)	三一〇	七八	覺	三二〇
六一	仕切(弘化四年)	三一〇	七九	覺	三二〇

八〇 (覺)

三三三

七 紅花元金覺

三三四

八一 覺

三三三

八 御荷物積附 (紅花)

三三五

八二 覺

三三四

九 仕切 (紅花代金) (寬保三年)

三三七

八三 (覺)

三三四

一〇 仕切 (紅花代金) (延享二年)

三三八

八四 覺

三三四

一一 仕切 (紅花代金) (延享二年)

三三八

八五 指引覺

三三五

一二 仕切 (紅花代金) (寬曆元年)

三三九

八六 (覺)

三三六

一三 仕切狀 (紅花代金) (宝曆二年)

三四〇

八七 覺

三三六

一四 仕切狀 (紅花代金) (宝曆八年)

三四一

稻村七郎左衛門家文書 (山辺町)

一 紅花代金子之事 (天保五年)

三三九

一六 紅花代金不足分立替拂 (寬政四年)

三四四

二 乍恐ヶ条書を以御願申上候事

三三九

一七 古花為登 (寬政五年)

三四五

(手遠之紅花買入、色々謀計之義二付)

三二九

一八 仕切 (紅花代金) (寬政九年)

三四六

三 仕切 (紅花代金) (寬政十年)

三三一

一九 仕切 (紅花代金) (寬政十年)

三四七

四 仕切 (紅花代金) (文化十三年)

三三二

二〇 仕切 (紅花代金) (寬政十年)

三四八

五 算用目錄之事 (紅花代金)

三三三

二一 仕切 (紅花代金) (寬政十年)

三四八

六 覺 (紅花荷送り)

三三四

二二 乍憚書付ヲ以奉願上候

三四九

(紅花代金訴訟) (天保五年)

三五〇

二四 紅花指引覺

三五二

三 覺(紅花川下ヶ仕度候二付)

三八七

二五 紅花指引覺

三五二

四 覺(紅花御役永上納二付)

三八七

二六 紅花買入之事

三五二

五 萬上下運賃定法控

三八八

二七 覺(商用取引)

三五四

六 荷出役一件書物

三九四

二八 金銀差引覺(天明七年)

三五六

(二) 山寺村文書

四〇五

二九 紅花相庭

三五八

一 乍恐以書付御届奉申上候

四〇五

三〇 子之極金指引

三五九

(当年照統用水不足二付)

四〇六

三一 柴橋御会所二而相對定之事

三六二

二 乍恐以書付目木上納御免奉願上候

四〇七

(商取引之義二付)(寛政十一年)

三六二

三 乍恐以書付歎願奉申上候

四〇七

三二 巳仲間紅花目錄(天保十一年)

三六二

(夫食米返濟二差支候二付)

四〇七

三三 青學綿紅花商用書簡

三六四

三四 商用書簡集

三六六

大沼養之丞家文書(宮城県村田町)

山形県郷土館所蔵文書

(一) 長井政太郎収集文書

一 紅花買上ヶ目錄

三八五

一 文政八年商用萬控

四一三

二 覺(出判錢増被仰付二付)

三八六

二 文政九年商用萬控

四一三

三 文政十年商用萬控

四一四

四 文政十一年商用萬控

四一七

五 文政十二年商用萬控

四二一

六	文政十三年商用萬控	四二五	二四	嘉永元年商用萬控	五二九
七	天保二年商用萬控	四二七	二五	嘉永二年商用萬控	五三三
八	天保三年商用萬控	四二八	二六	嘉永三年商用萬控	五三四
九	天保四年商用萬控	四二九	二七	嘉永四年商用萬控	五三六
一〇	天保五年商用萬控	四三〇	二八	嘉永五年商用萬控	五三九
一一	天保六年商用萬控	四三三	二九	嘉永六年商用萬控	五四一
一二	天保七年商用萬控	四三五	三〇	嘉永七年商用萬控	五四三
一三	天保八年商用萬控	四四一	三一	安政二年商用萬控	五四五
一四	天保九年商用萬控	四四五	三二	安政三年商用萬控	五四八
一五	天保十年商用萬控	四五二	三三	安政四年商用萬控	五五一
一六	天保十一年商用萬控	四六五	三四	安政五年商用萬控	五五二
一七	天保十二年商用萬控	四七七	三五	萬延元年商用萬控	五五三
一八	天保十三年商用萬控	四八八	三六	文久二年商用萬控	五五五
十九	天保十四年商用萬控	四九五			
二〇	天保十五年商用萬控	五一〇			
二一	弘化二年商用萬控	五二〇			
二二	弘化三年商用萬控	五二六			
二三	弘化四年商用萬控	五二七			

日塔久左衛門家文書

(河北町造山)

一 大福帳

(表紙)

「(元治二年九)

〇〇〇〇〇〇

大福帳

(丑正月吉日力)

〇〇〇〇〇〇

」

(一) 紅花仕入覚

六月朔日納

溝延村 和吉宿

一、金廿四兩

掛目八貫三百五十匁

壹分一朱也

此貳本

内金拾兩也

当日相渡し

同二日

一、金三拾壹兩

掛目拾壹又貳百八十匁

貳分壹朱ト

貳本 外に吸入

壹又八百七十文

長之助江

内金拾五兩也

当日相渡し

又金拾五兩也 五日相渡し

内三兩三分は当百ニて

又金拾五兩 六日相渡し

三分貳朱ト

◎壹又八百七十文 濟

〆金五拾五兩三分貳朱ト

壹又八百七十文

掛り

一、百五十文 駄ちん

一、百五十文 同

外二升文 油壹本

十一日 北口すみへ

一、金壹分三朱ト 百五拾四匁

貳百五十文 代相濟

十三日 西小路 幸吉

一、金貳兩壹分 壹又〇五匁

貳朱也 代相濟

金五拾八両貳分三朱ト

◎貳メ四百四十文

内金拾壹両也

相渡し

但し壹両者当百也

六月廿七日

又金拾五両也

相渡し

日和田村 与三郎殿宿

夫文二殿持

六月二日

七月五日

一、金六兩壹分三朱ト

貳貫四百八十匁

又金廿五両也

相渡し

七匁文

吹入

代当日相渡済

小以金五拾壹両也

差引

皆 三貫匁入壹本

壹貫四百文 不足

内 三百八十匁引

此金三朱ト貳百文

正ミ貳メ六百卅あり

此分七月廿一日 相渡済

右同人宿

十九日

六月十六日

上ケ目

一、百八十匁

日和田 柳蔵

一、金五拾兩貳分三朱ト

拾九メ貳百匁

代金貳分ト百文

当日代相済

三メ四百文

金五拾七両貳分貳朱ト

四貫貳百文
(生)
道性買

大久保村 久次郎殿宿

六月十三日 掛目四又五百三十匁

一、金拾三兩壹分三朱ト 卷本

六月五日納七日迄 掛目
一、五拾壹貫百〇五匁

代金貳百兩壹分貳朱ト

七百文 当日代相濟

◎四百文

内金拾五兩ト 五日相渡し

外二掛り 宿丑松殿へ

五百文 宿礼

又金貳拾五兩也 七日相渡し

六月十一日買 正ミ五拾四貫九百文

一、金百七拾貳兩貳分貳朱ト 九五掛ヶ上り

大原村 勘次郎殿宿

四百文

六月十三日

一、金百六拾五兩ト 掛目四拾八貫

内金并五兩也 当日相渡し

四百十文 七百八拾匁

又金并五兩也 大原ニて相渡し

此表代金弘方大久保口ニて一集ニ相濟

委數跡ニあり

金五百五十壹兩三分一朱ト

外ニ 金三朱也 油代 五升分

式又四百十文

金三朱也 三駄分駄ちん

十七日 掛目

一、金拾貳兩貳分三朱卜 四メ貳百匁

八百文 先方ヲ持參分

内金壹兩也 相渡し

廿二日

一、金壹分卜 百〇貳匁

貳百文 先方ヲ持參

金三百八拾六兩三朱卜

〇貳百文 大久保惣買方

外二金百六拾五兩壹朱卜 大原江

〇十文

二口金五百五拾壹兩壹分卜

貳百十文

内金九拾壹兩 口々渡し高

貳分貳朱也 但し錢共ニ

又金貳百廿五兩也 六月廿四日相渡し

又金三拾五兩也 七月朔日渡し

夫善藏持

又金貳百兩也 七月五日相渡し

金五百五拾壹兩貳分貳朱也

差引

金壹分壹朱卜 過に成り

百九十文 先方へかし

外二入用

一、壹貫文 駄ちん 貳駄分

一、貳貫文 同斷

一、七百分 油五升代 此方ヲ持參

一、百分 庄吉へ小遣

金十貳兩三百三朱卜

四貫八十文

高谷村 高光院様宿

六月二日、三日

一、拾八貫六百貳拾匁 掛目

一、拾八貫六百貳拾匁

代金六拾九兩三分貳朱卜

掛目

三百文

卷ノ三百八十文

内金拾両也 二日相渡し

又金拾両也 四日同断

又金廿五両也 八日同断

又金卅四両 十一日直渡し

三分式朱ト三百文

六月四日

皿沼村 弥惣次殿宿

一、八拾八貫式百廿五匁 掛目

金六拾九両三分式朱ト

代金三百七両壹分一朱也

三百文

外ニ金貳両也 弥惣二殿跡花

外ニ

金三百九両壹分壹朱也

一、金壹分一朱也 源三郎跡花口濟

内金四拾両也 四日相渡し

惣ノ金七拾両三朱ト

又金百両也 八日相渡し

三百文

又金六拾両也 廿一日相渡し

外ニ掛り

又金百九両 廿四日相渡し

一、金貳朱也 酒代

壹分壹朱也

一、七百五拾文 三本駄ちん

金三百九両壹分一朱也

一、三百三十文 亥附花小遣共

此表差引無相濟

金七拾両壹分一朱ト

跡干

六月十二日

一、壹貫六百五十五匁

小八持

代金四兩壹分壹朱ト

此表当日代相済

三百卅五文

六月十二日

一、六百匁

宿 弥惣次

代金貳兩也

渡し済 先ニ出し

外ニ

一、金壹分貳朱也

酒肴代

一、貳貫七百五十文

貳百五十文ツ、

拾壹本駄ちん

一、百文

干木はそん賃

一、四百文

花筵代

メ金三百拾四兩ト

三貫五百七拾五文

合内花

正ニ

一、壹メ八百八十匁

手干

代金六兩也

但九五がへ余ニ当ル

メ六兩也

六月十一日

谷地北口

一、百五拾五匁

すみへ

代金壹分三朱ト

代相済

先ニあり 貳百五十文

十二日

内楯

一、壹メ三百匁

小平治

代金四兩貳分三朱也

内金貳分三朱也

当日相渡し

又金四兩也

十五日相渡し済

十三日

上小泉

一、貳百九十匁

岩吉

代金三分式朱也

代相濟

廿日

畑中

一、廿日

権内

代三百四十文

代相濟

十九日

一、八十日

六兵衛

代金三朱ト

七月三日

式百四十文

相濟

引金五兩三分ト

五百八十文

一、金三朱也

三駄の駄ちん

一、金(ママ)

宿礼

谷地東町 祐次殿宿

六月十五日

一、金六拾六兩壹朱ト

正ニ廿貫八百匁

内金式朱ト

祐次口

式百文

風袋出メ代引

引金六拾五兩三分式朱ト

式百文

内金式拾五兩也

当日相渡し

又金四拾兩

廿六日相渡し

三分式朱ト式百文

此表相濟

六月十三日

掛目

大原村 勘次郎殿宿

一、金百六拾五兩ト

四拾八貫七百八拾匁

四百十文

先ニあり

(二) 大坂江手本為登分

イ印 大久保 凡袋詰二而上り
緋袴 惣合 百五兩位

八印 大原 凡袋二而
同 惣合 百壹兩位

高谷 高谷村 凡百六七兩位

口印 直高 凡九十八九兩位

金六拾五兩三分貳朱卜
貳百文

西里村 庄左工門殿

六月廿一日

一、金廿兩也 六メ九百匁

内金拾兩也 当日相済

又金拾兩也 并七日相済

相済

小泉 阿津満や政吉殿

一、并六貫五百目 正味目形
八八三三分 十〇がへ

代金八拾八兩壹步壹朱也

内金廿兩也 七月十二日相渡し

六月

内金壹分也 当百二而相渡し

内金五兩也 六月廿八日相渡し

又金五兩也 同并九日同断

又金五拾兩也 七月七日相渡し

金八拾兩壹分也

差引

残金八兩壹朱也

此表丑七月廿七日相渡し済

委細は諸用附込口ニ銘細あり

金百八兩壹分壹朱也

井二日 宝村 酒や隠居

一、金貳分也 貳百匁

代相濟

口々

惣々金千貳百五拾壹兩

三分壹朱ト

◎拾八貫八百六十五文

此金貳兩三分三朱ト

六十五文

合金千貳百五拾四兩三分ト

六十五文也

外ニ金貳兩三朱也 子古花式袋代

(三) 諸入用覺

一、金壹兩 一木 花袋三駄

貳分三朱也 善藏持

一、金貳兩三分 同五駄

壹朱也 右同断

一、金貳兩三分壹朱ト 同五駄分、井貳袋代

百六十八文 壹駄ニ付金貳分ト

貳百文ツ、

六月廿六日

一、金壹分一朱ト 四丸ニ付貳匁ツ、

貳百四十文 四拾貳箇出判料

同 丸屋様江右礼

一、貳百文 そうめん代

跡あり 四拾貳丸荷造り代

一、金三分ト 四拾貳丸宮崎迄駄ちん

貳百四十文 壹駄ニ付四百八十文ツ、

一、金八兩壹分也 四拾貳丸大石田ヲ添金

七月朔日 四十式丸

一、九又六百 宮崎ヲ大石田迄

五十八文 駄ちん

一、四百升文

長面船賃 考駄ニ付

手拭二百四十文 宿礼

四十文ツ、

一、金貳歩也

皿沼村弥惣ニ殿宿礼

一、五拾六文

五文ツ、

七月十三日

野田村橋せん

一、金三朱也

溝延和吉殿へ宿礼金

一、金壹朱也

大石田分江貳人泊り

同

同秀助殿へ

土産銭遣し

一、貳百五十文

宿世話ニ付手拭壹本

一、百七十文

大石田行道中

一、金壹両也

大久保村久次郎殿

兩人ニ而小遣

酒代礼金

一、貳百文

諸方引、義助小遣

一、金壹分一朱ト

同人江木綿切壹丈

一、金壹分ト

考駄ニ付貳百文ツ、

三百三拾貳文

手塩皿升枚

六百元

四拾貳丸荷造り代

一、金壹朱ト貳百文

藤うら草履三足

但し酒手共

一、貳百文

ぢぢ様へ土産

一、金壹朱也

田中、伊七江

一、金壹分ト

大久保庄吉江礼金

大石田行遣し

百文

草履代共

金拾七両ト

一、金壹分ト

同村八藏江礼金

拾壹貫九百五十貳文

四拾八文

油代共

一、金壹歩ト

一、金壹分ト

大原勘次郎殿へ礼金

高谷村高光院様

四百五十文

藤うら草履貳足油三本

一、三又文

なわ代

一、式又五百升文

莖四拾式枚

七月廿一日

一、金壹分也

日和田与三郎殿へ礼金

〆金三兩壹分一朱ト

七貫三百四十文

二口〆金升兩壹分一朱ト

拾九又式百九十式文

此金三兩ト九十式文

合金升三兩壹分壹朱ト

九拾式文

一、金千式百五拾四兩三分ト

六拾五文也

二口合金千式百七拾八兩一朱ト

◎百五拾七文也

外二

一、金貳兩也 義助

きせる壹丁

一、金貳兩貳分也

政吉

手拭 壹

一、金貳朱也

助三郎

一、金 (マ)

幸吉

(四) 上方為登任切

羽州屋久右衛門殿行

紅花仕切覺

灸高

升壹入 壹丸

谷

升入 三丸

〆八拾壹袋

此駄壹式六五六式五 力〇太〇力

壹駄二付 金百五兩がへ

代金百三拾貳兩

永八拾九匁〇六厘

印

同本 升壹入 三丸

高 升入 壹丸

口印
同本

升 入 式丸
升 入 式丸

百六拾五袋

此駄式五七八壹式五

壹駄二付九十八両がへ 多〇力

代金式百五拾貳両

永六拾五匁六分式厘

口印
同緋

升 入 六丸

升 入 四丸

口印
同緋

升 入 式丸

百五拾袋

此駄三九〇六式五

壹駄二付百〇式両がへ

代金三百九拾八両 又〇

永四拾三匁七分五厘

口印
同緋

升 入 式丸
升 入 四丸

大原品々 百升式袋

此駄壹九〇六式五

壹駄二付百両がへ 多又力一

代金百九拾両

永六拾式匁五分

同猩々

升 入 三丸
升 入 壹丸

八拾三袋

此駄壹式九六八七五

壹駄二付九拾八両がへ 多

代金百升七両

永九拾三匁七分五厘

同大

升 入 壹丸
拾九入 三丸

七拾七袋

此駄壹式〇三壹式五

壹駄二付八拾五両がへ

代金百〇式両

永升六匁五分六厘

金千三百拾七兩

式分三朱也

同一
力 拾九入 四丸
七拾六袋

八百五拾四袋

此駄拾三駄三四三七五

内 ○印六袋引

老駄ニ付九七五上り

別花式袋

此掛り 老駄ニ付金式分一朱がへ

引六拾八袋

一、金七兩式分ト 八百五拾四袋

此駄老〇六式五

七二三拾七文 袋代

老駄ニ付 九拾八兩がへ

四丸ニ付金式朱ツ、

代金百四兩

一、金老兩壹分一朱也 四拾式丸繩薙造り代

永拾式匁五分

四丸ニ付式匁五分ツ、

外二

一、金壹分三朱也 御出判料

○印六袋

一、拾六貫式百五十文 四拾式丸大石田迄

八袋

駄賃船賃袋まし共

別花式袋

一、金八兩壹分也 大石田へ添金

是八古花也

但し手板九枚

代金八兩

内六枚江金三分ツ、

永七拾五匁

三枚江金老兩壹分ツ、

一、六兩貳分貳朱ト 老駄ニ付金貳分ツ、

三百文 口銭

一、金六兩貳分貳朱ト 右同断

三百文 目早口銭

金三拾兩三分ト

錢拾六貫八百八拾七文

六四此金貳兩貳歩貳朱ト

◎八拾七文

二口金三拾三兩壹分貳朱ト

八拾七文

合金千三百五拾壹兩壹朱ト

八拾七文

(五) 羽州屋久右衛門殿行

諸品仕切覚

沢潟

一、正ミ千〇七拾壹メ 惣買高目形

五百目

内九百貫匁 兩六メ八百匁かへ

又百七拾壹メ 同六メ七百匁かへ

五百目

代金百五拾七兩 右買代出金

三百三朱ト八十文

川葺

一、正ミ三百卅九貫 惣買高目形

八百目

内貳百拾五メ目 兩四八かへ

又百十四メ八百目 同四五かへ

代金七拾兩壹分ト 右買代出金

三百三拾七文

一、四貫百三十文 谷地河岸迄駄ちん

一、金壹兩三分也 新田喜六殿へ手間代

諸入用宿札共

一、金巻分也

新田村二ヶ所長屋

二口

借用礼金

金貳百三拾貳兩貳朱ト

一、金巻分也

大石田次郎助船

拾九メ五百三拾四文

内証運賃遣し

六四 此金三兩ト三百三拾四文

諸掛り

合金貳百三拾五兩貳朱ト

金貳兩壹分ト

三百三拾四文

拾八貫八百八十文

外二

角苧

一、金巻分式朱ト

くづ粉二〇斤拾六本

正三

百六十文

金巻分ニ付拾引がへ

一、貳拾三貫八百目

惣買高目形

金貳百三拾五兩貳分ト

代金巻兩貳分三朱ト

四百九十四文

貳百三拾七文

此金巻朱ト九十四文

三口 金貳百廿九兩三分貳朱ト

惣 金貳百三拾五兩

六百五拾四文

式歩巻朱ト九十四文

右諸掛り

一、拾四貫七百五十文

式五 五拾九箇

荷造り

繩筵造り共

一、川苧

拾式箇

苧駄ニ付百四十文ツ

百巻番々百拾貳番迄 但し正三廿六メ入

内老箇者廿七メ勿入

一、角芎 式箇

百五拾八番 正ミ拾九貫勿入

此内江黒柿下駄四足造り込 司出し進物成

百五拾九番造合 五貫勿角芎成り
拾六メ八百勿川芎成

一、沢瀉 正ミ廿四貫勿入

四拾五箇

百拾三番ヲ百五拾七番迄

但し百十三番ヲ百五十五番迄四拾三箇へ

正ミ廿四メ勿入

百五十六番升老メ六百勿入

百五十七番升老貫勿入

川船積入覚

△沢瀉 升箇

百三十六ヲ百五十五番迄

大石田次郎助船

外二

△ 小箱入 くづ粉入 伝言もの

此運賃 金貳兩卜 手板老通也

永貳勿也

△川芎 拾貳箇

百老番ヲ百拾貳番迄

△川芎 貳箇

百五十八番 百五十九番

手板老通

△沢瀉 廿五箇

百十三番ヲ百三十番迄

百五拾六番 百五拾七番

△ 廿五箇也

△ 三拾九箇 大石田吉藏船

此運賃

金三兩卜永九拾勿

大坂差引

丑三月仕切下り候分

一、金百四拾八兩

玉砂糖并挺

貳分貳朱ト

七メ匆入

五匆六分七厘

白砂ト并樽代ノ高

(六) 羽州屋久右衛門様

差引覺

改メ

丑三月

一、金貳百三拾兩

午年ノ子年迄惣差引残り

一、金貳分一朱ト

山形全高田氏行針代

壹分貳朱ト

丑二月十二日銘細出

壹匆四分

右岡下し賃

三百六拾貳文

為差登候

次に改入出し

(貼紙)

一、金貳百三拾壹兩三朱也

大坂調人通

同三月

一、金壹兩壹分

糶種代

丑三月

子二月山形ノ白述三箇

丑四月

壹朱也

箱代荷造り共

内金貳朱ト

寺津迄駄ちん

川芎

三百六拾貳文

三日町間屋はね共

内金貳百三拾五兩

沢瀉

丑三月

貳分壹朱ト

くづ粉代仕切

一、金拾壹兩

高田弓太郎殿

九十四文

三分貳朱ト

藥種代殘金

閏五月廿日

山形村井清七様

壹分八厘

并二利足共請ケ取

一、金八拾兩也

手形金取

内金貳兩者利足也

同日

同はたご町

一、金拾九兩也 駒谷金兵衛殿と同断

六月四日

一、金八兩三朱下 谷地武右衛門殿

三百七拾五文 同断

同六日

一、金三百兩也 岩勢屋と入取

同廿三日

一、金四百兩也 右同断

七月四日

一、金三百兩也 右同断

五月出し、閏五月出し

一、金三拾八兩 茶四坪、坪代荷造り共

壹分貳朱下 永五匁

丑七月

内金千三百五拾壹兩 紅花四拾貳丸仕切

一朱下 八十七文

一、金三拾八兩 日塔与右衛門殿

壹分一朱下 差引残並ニ

貳匁九分壹厘 鯨代金受取

口々

入ノ金千五百七拾六兩貳歩貳朱下

五拾匁〇〇貳厘

七二二百七拾五文

此金貳分貳朱也

合金千五百七拾七兩壹分也

出ノ金千五百八拾六兩三分

六四 七二五百四拾三文

此金壹朱下 百四拾三文

合金千五百八拾六兩

三分壹朱下 百四十三文

差引金九兩貳分壹朱下 過かし

百四十三文

七月

一、金七拾壹兩 琉球玉砂糖代

壹分三朱 朱下 四匁壹分九厘

十一月二日 山形油屋佐吉殿

一、金百兩也 手形金請取

五月廿三日

十一月十七日、十二月七日 山形岩勢屋 手形金

一、金廿兩三分式朱卜 ○榎平殿 〆

一、金百五拾兩也 受取、兩度二而

三匁〇七厘 差引殘受取

寅三月九日 谷地榎平殿

寅五月 奈良屋権兵衛殿

一、金壹兩壹分也 年賦金請取

一、金八拾六兩三分卜 古手代

同三月廿五日 市喜殿 江

六匁八分三厘

一、金百六拾兩也 為替取組請取

寅四月 金式分がへ

同二月 玉砂糖水砂卜 白木綿

一、金六兩也 干草唐金中木綿拾式反

一、金三百拾八兩 糺たね代

金壹分一朱卜 丁銀壹匁七分七厘ニ当ル

式分三朱卜 三匁四分八厘

同

白砂糖正ミ七貫匁入

一、金拾壹兩 同次三拾四反

一、金六拾四兩式分卜 井四樽代

式分式朱也

壹匁五分四厘

同 結城嶋木綿壹反

寅五月仕切為登 沢瀉川芎硝石片粟

一、金壹兩三朱也 惣兵衛買入三ツ井払

内金百八拾五兩 仕切

同 奥嶋老疋

壹分壹朱卜 式百八十文

一、金三兩三朱也

又金廿六匁式分 丑年湯の花為登代

同

三朱卜 式匁式分七厘

一、金式歩三朱也 楷代酒田迄運賃

寅三月廿九日

一、金五兩也

宗兵衛金ひら行ニかり

同四月廿一日

一、金貳拾兩也

同人参宮下向金ニかり

寅六月五日

一、金百五兩貳朱卜

新布段和泉太郎

貳匁四歩

古手代金

同六月七日、同廿日廿七日

一、金千兩也

紅花手当大上渡り

同六月

一、金壹分一朱卜

谷地西喜殿カ

三分〇六厘

為替受取

七月

一、金五兩壹朱卜

畑中与右衛門殿

銀四匁四分

渡り受取

七月

一、金百五拾貳兩

丸屋次右工門殿渡り

貳歩卜永貳匁八分

受取

内金千五百拾八兩卜

紅花仕切表カ

◎十文

又金貳拾三兩

右紅花

壹分壹朱卜

千百七袋

永三匁八分三厘

酒田御役銀

又金壹兩

寅紅花出荷ニ付

三朱卜

酒田江惣代老入差立

百文

入用割合

寅十二月九日

一、金廿四兩

岡井上九兵衛殿カ

壹分貳朱卜

為替ニ而請取

三百五十三文

銀五匁貳分九厘

丑年三月分

一、金壹朱也

全行針岡下し賃

一、金五兩貳分貳朱卜

丑寅琉球印玉砂糖

三匁貳分五厘

十五挾運賃

但し五百七拾貳匁五分

一、金壹両貳分壹朱_下 谷地行傘代_ノ

百五十文

(裏表紙)

「亀屋久右衛門」

卯五月

寅五月新七船古口にて

内金壹分壹朱也

難事濡荷千立、同人

取替此度払

二 大福帳

内金壹分貳朱也

寅五月新七船古口にて

難事ニ付老人差立

(表紙)

「(慶応四年)

大福帳

丑年分

一、金壹両貳分也

丑ノ茶四箇運賃

卯正月

一、金貳両三分也

榎平年賦為替

卯正月

一、金六両貳分也

青木屋船運ちん増

代船太神丸喜介

卯正月

一、金壹分貳朱_下

吉野や船同断

五匁四分五厘

(一) 上方為登仕切覚

紅花仕切覚

糸 緋
袴 井耆入 四丸

八十四袋

此駄耆駄三壹貳五

耆駄二付 六拾四両がへ

代金八拾四兩

同 緋 井忝入 三丸
同 袴 井忝入 壹丸

八十七袋

此駄老駄三五九三七五

老駄二付六拾貳兩がへ

代金八拾九兩下

貳拾八匁貳分貳厘

同 稀 井忝入 三丸
同 緋 井入 壹丸

八十三袋

此駄老駄武九六八七五

老駄二付八拾五兩がへ

代金百拾兩下

貳拾三匁四分三厘

同 狸 井忝入 四丸
同 々

此駄老駄三壹貳五

老駄二付 八拾七兩がへ

代金百拾四兩下

拾八匁七分五厘

同 大 井一入 壹丸
同 力 井入 貳丸

六拾老袋

内五袋 さし

又五拾貳袋 大力江

五拾七袋

此駄八分九〇六二五

老駄二付五拾兩がへ

代金四拾四兩下

五拾三匁壹分八厘

又四袋 田代

大力丹卷入二造合

此分六式五

巻駄ニ付六拾五両がへ

代金四両ト

六匁式分五厘

ノ金四百四拾巻両ト

永式拾九匁六分七厘

袋数三百九拾九袋

此駄六駄式三四三七五

ならし七拾両三分上り

是方入用次ニあり

一、金六両ト

巻番がへ

式拾三匁四分三厘 袋三百九拾九枚

一、式拾匁

新庄領出判料

一、金式両

右拾九丸山形迄駄ちん

一、巻分式朱也

巻駄金式分ツ、

一、金巻両三分

同断ニ重荷造なわ延代

三匁巻分式厘

巻駄巻分式朱ツ、

一、金三両ト

宿口銭

拾式匁

金式分ツ、

一、金三両ト

目早口銭

拾式分

同断

ノ金拾六両式朱ト

七拾匁五分五厘

惣ノ金四百五拾八両式朱ト

式分式厘

辰七月

(二) 和薬仕切覚

一、川芎 貳拾〇

買帳表ノ高

四百八拾五貫五百目

両ニ四貫八百匁かへ

代金百老兩ト

拾四匁五分八厘

一、沢瀉 參拾五〇

同断

八百九拾老貫九百目

両ニ拾貫匁がへ

代金八拾九兩ト

拾九匁

一、角芎 貳〇

同断

四拾四貫五百目

両ニ拾四貫匁がへ

代金三兩ト

拾七匁八分五厘

惣

ノ金百九拾三兩貳分ト

老匁四分三厘

辰六月

一、貳拾八貫五百文 右五拾七〇

荷造り入用

一、八貫五百五拾文

河岸場まで

一、金貳分貳朱也

沢瀉干立三付

一、金三兩也

人歩五人入用

三ヶ所長屋

一、七拾三匁ト

借受謝礼金并

宿もと礼金とも

取合拾七丸

六分

川舟運ちん内渡

別紙之通り

金三両式分式朱ト

四百四拾四匁老分

合金八両一朱ト

三分五厘

代銀三拾八匁

百斤

卯十二月売

七匁五分がへ

外百八拾匁入之袋

代銀七百五拾五匁

八分

三口

八百六拾三匁八分

(三) 大黃買仕切

一、唐大黃

式〇

百四斤

外二百八拾匁入

老袋

此売

式斤

亥八月売

三拾五匁がへ

代銀七拾匁

式斤

丑七月売

九拾匁がへ

内

金老朱ト

山形より

式百文

駄ちん

拾五匁

袋仕替樟腦代

金三朱也

酒田表江下し之分

上下たちん

銀二直し

三拾老匁

八分八厘

差引

八百三拾壹匁

九分貳厘

殘金拾三兩三分下

六匁九分貳厘

永拾壹匁五分三厘

辰二月

一、四百五拾文

繩薙造り八包

壹五

河岸場まで

たちん

一、金壹分也

取次口銭

〆金九兩貳朱下

永拾九匁貳分五厘

辰十月

(四) 覚

△沢瀉入 三〇

百六拾八匁百七十迄

買帳表正ミ目方〆

七拾壹貫百目

兩二八貫匁がへ

代金八百三分貳朱下

壹匁貳分五厘

一、壹貫三百五拾文

四五 右三〇

△半夏入 貳〇

百七十壹 百七十貳

目方

〆三拾五貫四百五拾匁

夏堀秋ほりなど

壹貫三百五拾匁かへ

代金貳拾六兩

貳拾五匁九分

一、九百文

四五 右貳〇

荷造り入用

一、金三朱也

観音寺たちん

内まで

一、四百文

高関までたちん

金貳拾六兩三朱ト

玉砂糖

永三拾八匁九分

名波一ツ撰

二口

玉砂糖

金三拾五兩三分貳朱

貳百拾壹

老匁九分

貳百拾貳

卯十月

貳百拾三

三口

貳百拾四

金四拾三兩壹分貳朱ト

貳百十五

五拾八匁五分

十六

合金四拾四兩也

十七

内四匁 ぬけ

十八

巳三月仕切為登候事

十九

貳百六十貳又七

貳十

廿五又三

(五) 上方仕入覚

大坂 羽州屋久右衛門殿

辰老番 二月

六拾挺

廿六又貳

廿四又九

廿七又六

廿六又八

廿六又〇

廿七又四

廿五又五

廿六又八

廿七又三

廿六又三

廿五又三

廿五又三

廿五又三

貳百卅一 卅六又六

貳百卅貳 卅七又〇

卅三 卅四又四

卅四 卅四又八

卅五 卅五又四

卅六 卅四又四

卅七 卅三又五

卅八 卅六又貳

卅九 卅四又八

三十 卅六又六

〰 貳百五十三又七

貳百卅壹 卅六又四

貳百卅貳 卅五又八

卅三 卅貳又三

卅四 卅七又〇

卅五 卅六又九

卅六 卅四又八

卅七 卅五又八

卅八 卅七又〇

卅九 卅四又五

四十 卅五又壹

〰 貳百五十五又六

貳百四十一 卅六又八

貳百四十貳 卅六又〇

四十三 卅六又貳

四十四 卅五又八

四十五 卅六又五

四十六 卅三又四

四十七 卅六又〇

四十八 卅三又〇

四十九 卅四又貳

五十 卅五又七

〰 貳百五十三又六

貳百五十壹 卅六又貳

貳百五十貳 卅四又六

貳百五十三 卅四又八

貳百五十四 卅五メ六

貳百五十五 卅五メ貳

— 五十六 卅六メ三

— 五十七 卅五メ四

— 五十八 卅七メ七

— 五十九 卅六メ貳

— 六十 卅五メ貳

メ貳百五十七メ貳

貳百六十卷 卅七メ五

貳百六十式 卅六メ〇

— 六十三 卅五メ三

— 六十四 卅四メ六

— 六十五 卅四メ六

— 六十六 卅七メ〇

— 六十七 卅六メ貳

— 六十八 卅六メ壹

— 六十九 卅五メ八

— 七十 卅四メ六

メ貳百五十七メ七

合而千五百四拾八メ五

四メ貳百目ツ

内貳百五拾式メ目 風袋引

正三

引メ千貳百八十八メ五

正三

此斤五千六百貳斤壹分七厘

斤拾貳匁五分かへ

代七拾貫貳拾七匁分貳厘五

又壹貫貳百目 并匁ツ 六十樽荷造り入用

メ七十卷貫貳百卅七匁分貳厘 百八十匁立

此金三百九拾五兩貳分三朱ト

三匁三分七厘也

△卯白木綿
冬

卯十一月 四十七〇がへ

一、九貫四百目 芸州広嶋極上之

白木綿式百反

但し雲州白へ造り合左二

百六十巻反

百三番

四十七式

百巻番

四十七式 同仁

一、三貫五百四拾五 雲州白、七拾五反

五十式式 同信

一、三貫九百拾五 七十五反

外ニ芸州白拾巻反造り合入

百六十巻反

一、三貫九百拾五 同信 七十五反

外ニ右同断 入

百六拾巻反

百四番

四十八式

百式番

四十七式

一、三貫五百四十 同仁 七十五反

五十式式

一、三貫九百拾五 同信 七十五反

外ニ右同断 拾巻反入

一、三貫六百拾五 同儀 七十五反

五十〇七

一、三貫八百式五五分 同智 七十五反

外ニ拾巻反 右同断入

百六拾巻反

百五番

四十八式

一、三貫六百拾五匁 同儀 七十五反

五十〇七

一、三貫八百式匁五分 同智 七十五反

外二右同斷入

百六拾壹反

一、三貫六百拾五匁 同儀 七十五反

四十九式

一、三貫六百九十匁 同礼 七十五反

外二拾壹反同斷

百六十壹反

百八番

四十九式

一、三貫六百九拾匁 同礼 七十五反

五十〇七

一、三貫八百式匁五分 同智 七拾五反

外二右同斷入

百六拾壹反

百六番

四十八式

一、三貫六百拾五匁 同儀 七十五反

五十〇七

一、三貫八百式匁五分 同智 七十五反

外二右同斷入

百六拾壹反

一、三貫六百九拾匁 同礼 七十五反

五十〇七

一、三貫八百式匁五分 同智 七拾五反

外二右同斷入

百六拾壹反

一、三貫六百九拾匁 同礼 七十五反

外二拾壹反右同斷

百六拾壹反

百九番

四十九式

一、三貫六百九十匁 同礼 七十五反

五十〇七

百七番

四十八式

一、三貫八百式匁五分 同智 七十五反

外ニ右同断入

百六拾老反

雲州白代

七拾七貫九百七十七匁五分

内百五匁 包替升老反、五〇ツ、引

又四匁 キツ引

百拾番

四十九式

引七拾七貫八百六拾八匁五分

又百六拾五匁 十五荷造り拾老箇

一、三貫六百九十匁 同礼 七十五反

五十〇七

又三百三拾匁 十五琉球升四枚

七拾八貫三百六十三匁五分

一、三貫八百式匁五分 同智 七拾五反

外ニ十老反入

二口

八拾七貫七百六十三匁五分

百六拾老反

此金六百三拾五兩三分三朱ト

四匁老分三厘

百拾老番

四十九式

卯十一月

雲州白 千五百七十五反

一、三貫六百九十匁 同礼 七拾五反

外ニ芸州白 五拾反

芸州白 式百反也

同 四拾反

辰二月

百六拾五反

白龍印 正三七貫匁入

△讚州白砂糖

并樽

百八十匁立

此金百三拾貳兩壹朱ト

正ミ百四拾貫目

五匁五分五厘

貳百七十一匁

此斤六百八斤六部

辰二月

斤拾匁がへ

代拾貳メ百七拾貳匁

十四五がへ

一、貳百九拾匁

新樽并、二重そご

覚

一、八拾匁

荷造り、六合拾箇

并三五がへ

芸州印

正ミ七メ匁入

一、拾老メ七百五十目

広嶋極上白木綿

△右同

并樽

㊦紅梅印五百反

正ミ百四拾貫目

七八

貳百八十一匁

此斤六百八斤六部

一、四拾六匁八分

琉球 六反

貳百九十匁

斤拾八匁がへ

代拾貫九百五拾四匁八分

一、并四反

荷造り三箇

十四五

一、貳百九拾匁

右同并、二重そご

七式立
拾老貫八百并匁八分
此金百六拾四兩貳朱ト

八〇

永五匁貳分七厘

一、八拾目

拾箇、六合荷造り

辰二月

貳拾三メ八百六拾六匁八分

三 金銀出入帳

明治二年巳十月吉日

覚

一、金貳百四拾貳兩三分貳朱也

朔日

入 金貳拾兩也 塩の測

五郎助より用立金受取

” 同人より

入 金壹兩三分也 右利金受取

”

出 金貳拾兩也 権六へ紅花手形金渡し

”

出 金四兩也 清五郎 同断

”

出 金壹分也 燈油代

三日

入 金三朱也 あら町

儀七より砂卜代受取

四日

高砂屋

入 金七兩也

三藏殿砂糖代取

”

三ツ屋

入 金壹朱也

善四郎殿受取

”

入 金貳兩壹分也

吉又殿受取

出 金貳分壹朱也

鉄納戸唐木綿一反

出 金壹分也

うなぎ代

五日

畑中

出 金壹兩三分也

吉四郎無尽出金

内四百五十五文返り山王様分共

六日

出 金五兩也

月藏院 代かし

”

出 金壹分也

伊七へ 同断

八日

小泉

入 金壹兩壹分也 庄六殿 ろうそく代

五日分 龜屋

入 金拾兩也 周次殿ら受取

十日

入 金貳朱ト 田井

拾四貫五百文 源次郎らろうそく代

”

出 金四兩也 義助へ米代ニかし

九日分 酒田

出 金貳拾兩也 作十郎へ御役金渡し

十日 大工

入 金貳兩貳分ト 長吉ら蠟そく代受取

六貫文

十一日

入 金七兩也 四郎次ら古手代受取

”

出 金貳分也 塩引壹本

十二日 高関

出 金壹兩壹分也 仁平次へ干ばん代渡し

同日

出 金貳兩也 畑中

忠七へ紅花手形金渡し

同日

出 金壹兩貳分也 契約買物代

十五日

入 金四兩壹分也 留浪村らろうそく代

つり壹貫貳百文返し

同日

入 金貳分壹朱也 入藏巳之助ら質金取

つり三百十四文返し

同日

入 金壹朱ト五百文也 同人ら質物へ内受取

十四日分

入 金六兩ト 紅屋

三拾貳貫文 作兵衛殿ら受取

同日

なべ屋

入 金五両也

武右工門ろうそく代

入 金三両也

平吉殿ら受取

十八日

荷口

同日

野村屋

入 金三両

藤三郎古手代内金取

入 金拾両也

文蔵殿ら砂糖代取

老分老朱也

十五日

小関屋

同日

入 金八両貳分也

七蔵殿ら受取

入 金貳分也

同人ら太白代

十七日

塩の渕

同日

出 金貳両也

善兵衛へ紅花手形金渡し

出 金老分三朱也

市之助へ花ろくろ棒木代

同日

十月六日分

同日

入 金老分也

伊七へかし取

出 金貳両

小袖代

同日

出 金老兩貳分也

馬頭観世音建立二付

十九日

式分老朱也

立替かし

入 金三分老朱也

林二郎ら契約割合ろうそ

同日

つり式百十七文

く茶代とも受取

出 金老兩也

同 寄附金

同日

大久保

同日

出 金九拾三兩

九二郎方へ紅花代残金渡し

出 金老兩貳分也

二分判三枚見惡敷分はね置

三朱下

同日

中野

老貫百七拾五文

同日

出 金貳分也

錢買

三百壹朱卜

新藏無尽出金

三百八十一文

同日

出 金三兩也

大久保

同日

入 金壹兩也

義助方米引当テ貸金之内受取

久二郎方八十兩分
利金として相渡し

同日

入 金壹分也

高田

同日

入 金四兩也

寒河江

弓太郎方周次山形ニ而
小買物ニ受取

同日

出 金三分卜

山形ニ而梅彦分買物代取替

入 金壹分貳朱也

長作方ろうそく代受取

貳貫百五十文 かし

廿日

谷地

入 金五拾壹兩

善兵衛方茶代取

出 金貳兩壹分也

四軒へ紅花礼金ニ渡し

同日

入 金貳分也

同人方太白代直森違分

入 金拾兩也

長作方貸金之内受取

受取

廿一日

同日

小泉

同日

出 金壹兩

小泉

入 金壹兩卜

丈助殿方蠟燭代ニ受取

五百廿文

廿日分

山形

同日

”

出 金三分也

富田屋方重箱代、但し前

出 金三分也

同人へ宿札

つり三百三十三文取 以箱代相渡し

同日

山形

同日

帳面代

入 金七兩也

高弓方野善為替分受取

出 金壹分也

帳面代

廿八日

つり百九十文取

山形長五郎方へ渡し

入 金壹朱也

ろうそぐ代

廿三日

入 金貳分壹朱ト

廿九日

要害

入 金貳分壹朱ト

久三郎方入銀壹反受取

出 金壹兩也

長吉無尽出金

貳百文

畑中

廿八日

内楯

同日

畑中

入 金壹分貳朱也

小平次方七戸代ニ受取

入 金三分也

次郎兵衛方用立之内受取

廿九日

工藤小路

廿五日

日和田砂出屋

入 金拾兩也

舛弥受取

出 金三分也

彦惣へ正金代かし

十四日分

同日

雲河原

入 金壹兩壹分ト

馬頭觀世音立替金入ル

出 金貳朱也

定吉へ花種水油手付金渡し

貳貫五百廿文

廿六日

大町

同日

出 金貳拾兩也

与四郎へ紅花代預り分

入 金壹分也

同勸化過金預り

相渡

入 金四百廿六兩也

壹朱也

貳百文

出 金百九拾五兩

同日

まんちふや

壹分三朱也

入 金壹兩三分也

小四郎ち入

差引

同日

次郎兵衛より

金貳百三拾兩

入 金壹兩三分也

用立金之内受取

二分壹朱也

二日

工藤小路

十一月

朔日

丁子屋

入 金拾六兩貳分也

喜内殿受取

出 金四兩壹分也

同人江見悪金十月廿九日

同日

小泉

分返し

出 金壹兩

友吉無尽出金

同日

要害

三分式朱也

三丁分次郎兵衛引取

入 金壹分式朱也

弥右工門ち蠟そく代受取

同日

白岩

同日

田中

入 金拾三兩也

梅彦ち入

出 金貳兩也

伊七へ代かし

同日

”

同日

入 金三兩也

西長ち入

入 金壹分也

同人ち古手代不足取

同日

”

つり四百十五文返し

入 金三分式朱

同人ち琉球六枚代

三日

入倉

入 金貳朱卜 喜惣二賃受取

尅貫百文也

四日

入 金貳分也 友吉ら八月中用立金取

つり三百五十文返し

同日

出 金壹兩 与蔵無尽出金

尅分貳朱也

つり四十文取

同日

入 金五兩也 民五郎ら入

同日

入 金拾三兩 弥吉ら入

二分也

同日

入 金壹兩貳分也 源助ら茶代入

同日

入 金貳分卜 茂兵衛ら入

四貫文

同日

入 金八兩也 庄二郎ら入

同日

入 金拾兩也 平吉ら入

五日

入 金五兩也 武右工門ら入

同日

入 金貳拾兩也 周二ら入

六日

出 金八兩也 清兵衛へ紅花代預り金渡し

同日

出 金五兩尅分也 定吉へ水油代内渡し

同日

入 金壹朱卜 久三郎ら雲才代入

四百五十文

八日

出 金貳兩貳分也 米尅俵代

五十嵐

なべや

八百屋

亀屋

溝延

雲河原

天満村ら

天満村ら

同日

出 金拾兩也

卯兵衛へ代かし

十三日

升屋

入 金拾兩也

弥吉殿へ入

九日

寒河江

同日

風間屋

入 金貳兩也

吉の屋受取金礼ニ而

入 金貳兩貳分也

茂兵衛へ入

八日分

義助へ代かし

十六日

大阪為替

入 金貳分也

義助へ代かし

入 金拾六兩三分也

丸榮渡り森者殿分預り

十一日

笹川

十五日

つぢ

入 金貳兩壹分也

なべやちろうそく

入 金五兩貳朱也

伊助へ為替金内受取

同日

同日

入 金壹分貳朱也

善四郎へ右同断

入 金貳兩貳分

米老表

同日

三ツ屋

貳朱也

若木善五郎へうり

入 金五拾壹兩

善四郎へ諸品代入ル

同日

三朱之内

出 金貳兩也

同人へ煙草代渡し

百四拾文返し

十五日

同日

出 金拾壹兩也

卯兵衛へ金礼ニ而代かし

入 金壹兩貳分也

同人へ七戸代入

十七日

同日

入 金五拾五兩也

大阪為替

出 金百兩也

同人へ紅花引当賃

山形桜井源助へ受取

廿日

出 金貳両也

市之助

餅米表引当賃

廿一日

出 金壹両也

久二郎紅花札金

同日

出 金貳分也

勘二郎へ同断

同日

出 金壹分也

大久保

同日

出 金壹分三朱也

久二郎へ酒代拂

同日

入 金拾貳両也

同人ち用立金受取

同日

入 金壹両壹分也

同人ち右利足金取

同日

出 金三分壹朱也

大久保

久二郎へ

同日

入 金六両也

次郎兵衛ち用立金内受取

寒河江

同日

入 金三拾両也

彦助ち預り

廿二日

出 金五両也

阿つ満や米貳俵代渡

廿三日

出 金貳分卜

あら町

八百文也

もりや

同日

入 金八両貳分也

当七月渡油代拂

同日

入 金貳分也

亀屋

廿四日

入 金貳両壹分

周二ち入

式朱也

同日

入 金六両也

同日

入 金三兩也 吉又殿り受取

同日

出 金三分也 慈恩寺善藏坊へ

わら代

廿五日 雲河原

出 金三分也 定吉へ油代不足

つり百文取

廿六日

入 金貳拾兩也 次郎兵衛ち用立金内受取

廿八日 小泉

出 金貳兩貳分也 友吉無尽出金

つり五百六十二文 小平次立替かし

廿六日分

出 金壹兩壹分ト 山形ち目錄代梅彦殿分

七百文

廿八日 さがへ

入 金貳兩也 吉のや玉砂ト代入

入 金五百七拾壹兩三朱也

出 金六拾四兩也

差引 金四百七兩三朱也

四 金銀出入帳

(表紙)
一 金銀出入帳

明治三年午正月吉日 一

六月

四日

入金百拾壹兩三朱ト 山形岩勢や玉砂ト代

百九十文 入

同

入金拾兩也 岩登や茶代入

七日

出金壹兩ト四貫文 市助へ引当替へ

九日

入金貳兩ト拾老貫文

あら町武右衛門方ろ

同日

出金老朱ト七拾貳文

白山堂上納金

同日

出金老朱也

内たて小平次御かし

五月廿日返し分

出金貳朱也

梅彦殿貳朱金はね返し

六月十一日

出金四兩也

与三郎へ預分相渡し

同日

入金老分老朱也

同人方ろうそく代入

十二日

入金三兩也

なべ屋平吉殿方入

十三日

出金貳兩ト四拾貫文

新田喜助貸し

十五日

入金七兩也

田井村藤助用立金受取

十六日

入金拾四兩貳朱ト

三ツ屋善四郎殿方諸

三百十文

品残金受取入

同

入金貳兩ト

小泉助三郎殿方木綿

貳拾四貫六百文 代ニ入

十七日

出金拾兩也

谷地より黒膳椀廿人前代

同日

出金老分貳朱

谷地友次へ日用渡

貳百八拾五文

同日

出金老朱也

靈道禪師招待布施

十八日

入金三分貳朱ト

市之助方米老儀引当

四十文

かしへ、鑓代受取差

引不足入

同日

出金三分貳朱ト

同人ヲ燭台貳丁引当

廿三日

相渡し

貳貫文

貸

入金壹兩ト

荷口喜六ヲ白木綿代入

同日

入金壹朱也

内たて小平次殿ヲ礼ニ而入

貳メ貳百文

五日之分

山形にて礼取替打金

十九日

入金壹兩也、七貫文

同人ヲ白木綿代ニ受取

出金三兩貳分貳朱

百八兩三分貳朱へ

廿日

入金貳分也

田井藤助單物質受ニ入

廿四日

入金貳朱也

太田半引

同日

出金拾兩也

山家村長九郎へ乱花干立

廿五日

入金壹兩也

白岩西長殿ヲ入

頼合渡し

廿六日

入金七兩也

山家村長九郎殿ヲ乱花頼金返り

同日

出金壹朱也

龍洞寺せかき江上ル

廿七日

入金貳兩壹分貳朱也

絹糸代田井村へ売立

廿二日

入金貳兩也

内楯小平次木綿代ニ入

同日

入金貳朱也

田井藤助殿ヲ白木綿代ニ入

同日

出金拾兩也

荷口村藤三郎へ乱花手当テ手附

同日

入金三分也 市之助方絹糸引当テかし

つり貳百三十文返し 受取

同

出金壹兩貳分ト 仁田村へ生花代渡し

貳貫文

廿八日

入金貳朱也 市之助方ろうそく代入

つり貳百文返し

同日

入金八兩壹分壹朱ト 横山助太郎殿太白代入

拾壹貫文

同日

出金五兩也 荷口藤三郎乱花干立手当かし

同日

出金壹兩壹分也 溝延小吉へ花筵代渡し

廿六日

出金五兩也 兩所友吉へ貸し

廿九日

出金壹兩壹分ト 日和田生花代相渡

拾六貫七百四拾貳文

廿九日

出金壹兩壹分也 源六無尽市之助分取かへ

出金三分壹朱ト百文 同人無尽出金

出金壹分貳朱ト 同人無尽山王様分

三百文

出金壹朱也 銭かへ

入 金貳百八拾四兩三朱也

出 金五拾八兩三分也

差引金貳百貳拾五兩壹分三朱也

七月

朔日

出金三兩也 小泉村房次貸し

同日

入金五兩也 小泉勝三郎方木綿代二入

同日

出金五兩也 同人江遣ひ被頼渡し

同日

出金廿五兩也 山形高弓殿乱花買手当金

札八兩貳分、二分、拾六兩貳分也

三日

入金五兩也 友吉ちうけ取

同日

出金貳兩也 要香次郎兵衛へ紅花引当賃

四日

入金貳兩貳分 友吉ちかし金取

三百六十文

四日

出金三兩也 天満源藏無尽初会出金

同日

出金三兩也 義助へ代かし

四日

出金老兩壹分也 要かへ長吉へ代かし

同日

出金老兩三分壹朱也 市之助無尽出金

つり百十文返り

同日

出金老兩三分壹朱也 同人無尽山王様分

つり百十文

五日

出金老兩也 畑中無尽出金

同日

出金貳分貳朱ト 右同断山王様分

三百十五文

同日

出金貳兩壹分也 義助へ紅花引当テかし

同日

出金老兩三分ト 日和田萬藏無尽出金渡し

外ニ老貫五百七十文 銅錢三兩二口割

同日

入金貳拾兩也 紅屋作藏殿分御用立金之内受取

同日	入金老兩也	同日	入金拾五兩也	同日	入金五兩也
同日	内桶小藤次代かし	同日	大久保久二郎殿へ紅花前金渡し	同日	同佐小殿 <small>ち</small> 砂卜代二入
同日	入金老分也	同日	溝延小吉殿紅花代	同日	同
七日	同人江日用二渡し	同日	入金老兩貳分也	同日	田井源二郎 <small>ち</small> ろうそく代二入
八日	山形二面紙代諸品代とも	同日	住吉 <small>ち</small> 入	同日	田井藤助無尽金入
八日	要かへ次郎兵衛へ紅花引当貸	同日	入金三兩也	同日	田井藤助無尽金入
同日	小平次殿白木綿代入	同日	入金拾四兩三分三朱也	同日	田井藤助無尽金入
同日	入金老兩三分也	同日	同日	同日	白岩梅彦殿 <small>ち</small> 入
九日	義助へ引当テかし	同日	入金拾兩也	同日	同利八殿代かし取
九日	要害鍛冶屋拂	同日	同日	同日	同日
同日	入金老分也	同日	入金三兩老分也	同日	同日
同日	入金六兩也	同日	同日	同日	同日
同日	新田喜六殿白木綿代	同日	同日	同日	同日
同日	入金貳拾兩也	同日	同日	同日	同日
	六兵衛殿用達金入	同日	同日	同日	同日

入金貳両也 西長殿入

十一日

出金三兩下 荷口藤三郎へ乱花買付手附金渡し

銅錢四貫文

同日

出金四拾五兩者分也 大町紅花代相渡

同日

出金者分也 同所たちん酒代とも

十二日

出金貳分三朱貳百文 塩之渕久次郎へ紅花代

同日

出金五兩也 大久保へ紅花代手金

同日

出金貳拾兩也 溝延小吉殿紅花代

同日

出金者兩也 義助へ代かし

同日

出金三分也 畑中喜四郎へ紅花代

十二日

出金四拾兩也 大久保紅花代

同日

出金拾五兩下 大原へ同断

者貫七百文

同日

入金拾兩也 丁字屋へ入

同日

入金拾兩也 高弓へ入、貳分判二面

十三日

出金貳分下三朱也 要害次郎兵衛へ紅花代不

五百文 足相渡し

同日

入金六兩者分 西六兵衛殿へ入

三拾貫文

同

入金拾八兩也 下榎長作へ用立金之内入

同日

入金五両也 新田五郎助分喜六殿方入

出金拾七兩 大原勘次郎殿紅花代渡し

同日

老分貳朱ト八百文

入金五両也 同久助分用立之内喜六殿方入

十四日 下楨長作殿方用立金之内入

同日

入金三拾四兩也

入金拾五両也 同喜六殿方白木綿代之内受取

同日 出金三分一朱ト 山家長九郎殿へ乱花代不

同日

同喜六殿方白木綿代之内受取

入金壹兩壹分ト 小平治殿方木綿代之内入

十四日 貳百四十文 足渡

四貫四百文

同日

入金七兩貳分壹朱也 新田久助殿用達金喜六殿方入

入金壹兩也 新田喜六方米代金之内入

同日 入金五兩也 同人方白木綿代入

同日

入金貳分也 同人江銭売り

入金貳分也 同人江銭売り

同日 入金貳兩三分壹朱也 喜六殿米老儀代入

同日

入金貳兩三分壹朱也 喜六殿米老儀代入

入金壹兩也 田井藤助様方木綿代之内入

同日 出金貳分也 久三郎へ日料ニ渡し

同日

入金壹兩也 谷地田美屋喜右工門殿方

入金壹分也 谷地田美屋喜右工門殿方

十五日 入金壹兩也 田井藤助方木綿代ニ入

ちの薬代入

同日

十六日

出金壹分三朱也 畑中三右工門江紅花代渡し

同日

同日

出金壹兩三分貳朱也 同 源二郎へ同断

入金貳兩壹分也 長作殿方利金入

同日

同日

出金三分卜三百文 同 忠七へ同断

入金壹兩也 田井藤助方入

同日

十七日

入金貳拾貳兩壹分壹朱也

出金三分一朱卜五百文

小泉染屋助三郎殿金札入

畑中権内へ紅花代

同日

同日

入金七兩也 同人方トルニ而入打四拾貳匁

出金壹兩壹分貳朱也 義助へ紅花代渡し

三拾兩都合

同日

十八日

入金貳兩貳分卜 小平次殿方白木綿代ニ入

入金貳分也 西 友吉方かし金入

四メ貳百文 三兩都合

同日

十八日

出金貳朱也 同人へ日用渡

出金三分卜壹貫文 畑中千太郎へ紅花代渡し

同日

同日

入金壹兩也 内たて小藤ニ方かし金入

出金貳分壹朱卜 畑中喜助同断

十九日

貳百文

入金三拾兩也

丁字屋喜内殿入

入 金五百拾六兩貳分壹朱也

出金 貳百三拾七兩貳分也

差引

金貳百七拾九兩壹朱也

外ニ金三分三朱也 調べ過あり

金貳百八拾三兩貳分三朱也

内三拾三兩也 下口

一分判

又廿五兩貳朱也二分判

貳朱判

此分八月の口ニ入方ニ出し

又六拾六兩三分貳朱也 壹朱判

差引金札

一、金百五拾八兩貳分三朱也 廿日朝改

出金壹分也

七月三日分

入金拾兩也

山形岩登屋吉次郎殿と藥代今方へ為替ニ而受取

同日

出金拾兩也

高田弓太郎殿乱花買金ニ渡し

廿日

出金壹兩壹朱也

畑中鶴之助へ紅花代渡し

盆前何日

入金五兩也

小泉勝三郎と五兩札遣す

頼三候分入

廿日

入金貳拾兩也

寒河へ三ツ屋善四郎殿入

入金五兩也

高砂屋三藏殿入

入金壹兩貳朱

藤屋甚作殿入

九貫六百元

廿一日

入金貳分也

内たて小藤ニとろうそく代内受取

同日

出金壹分壹朱ト貳百文

惣差引

溝延長七へ紅花代

出金壹兩壹分也

義助へ代かし

同日

同日

入金拾五兩也

谷地なへや平吉殿入

入金壹分壹朱也

溝延長七へ紅花金札戻り七二取替

同日

廿四日

出金壹分貳朱ト

三吉殿乱花代渡

出金壹兩壹分壹朱ト

あら町太郎吉紅花代

三百六十文

貳百文

同日

同日

入金壹分貳朱ト

小平次殿ち入

入金貳兩也

白岩佐藤小四郎殿入

三百六十文

廿四日

廿日分

入金八兩壹分也

白岩西村屋長三郎殿入

出金貳朱ト貳百七十文

同日

白岩

兩所石切へ二日分日料渡し

入金貳兩貳分也

最上屋善兵衛殿入

廿二日

同日

出金壹分也

に志ん壹足

入金四兩也

同 梅や彦兵衛殿入

同日

同日

出金壹分ト五百七十文

出金貳兩也

義助へ代かし

宝村利七紅花代

廿五日

廿三日

入金拾壹兩也

新田喜六殿白木綿代入

同日

入金貳分貳朱也 同人ち米代不足入

同日

入金壹分貳朱也 同人ち米代内金取

同日

出金壹分也 さかな代二兩替

廿六日

入金九兩壹分廿四文 内たて小藤二殿白木綿代入

同日

入金壹分也つり六百文返し

同人ちろうそく代入

同日

出金拾三兩下 大久保久次郎殿紅花代差引相渡

貳貫三百四十文

同日

出金壹兩三分 久三郎へ日用渡布段代差引

五貫四百文

廿七日

出金貳兩貳分也 市之助へ代かし

廿九日

入金拾兩也 細谷虎之助殿入

同日

出金貳朱ト九十文 白山堂役せん納

廿八日分

出金五拾兩也 要害長作殿正金貸

廿九日

入金三兩三分壹朱ト 内たて小平次ち入

壹貫八百文ノ四兩也

卅日

出金壹兩也 伴二郎へ代かし

廿九日分

入金壹分也 米三舂代

つり四十貳文返し

卅日

入金五兩也 さかへ吉のや又三郎殿ち入

同日

出金老兩也 谷地伴内へ紅花袋手附金

金百七拾七兩三朱也

同日

入金三分也 伴次郎を返り

入金貳百五拾八兩一分一朱也

出金七拾五兩貳分也

差引

金百八拾貳兩三分老朱也

朔日

八月当咲

一、ト口老歩判 三拾七兩也

出金老兩貳分也

塩の淵源四郎紅花代渡し

一、同老朱判 六拾七兩也

同

この改

出金老朱也

かつばはそん

金百四兩也 分判三而東京為登

同日

内三拾三兩也 羽善方へ頼渡し

出金老兩貳分也

乱花添金

又五拾五兩也 老朱三而同断

二日

差引金拾六兩也 改メあり

出金老兩一分也

林二郎へ代かし

九月廿一日改

三日

外二

出金五兩也

当村六兵衛へ代かし

ト口老朱也 十月三日小平次殿を入

同日

右之内四兩也本ト口銀別段三阿り

出金老分也貳貫文

市之助古裕江引当テ

此金貳分

同日

出金貳分ト五百文 仁田がへ紅花代

四日

入金五兩也 新田久助が用立皆済金受取、夫喜六

同日

入金三兩貳朱ト 新田喜六木綿代ニ入、

杓メ貳百文 三兩杓分都合

六日

出金五兩也 谷地伴内へ花袋代

つり八百文取

同日

出金杓兩也 畑中元吉へ引当賃

七日

入金五兩也 六兵衛が代かし受取

同日

出金杓分貳朱也 要害かじや江つり桶輪金代

同日

入金杓兩ト杓貫文 市之助がしよぐ台引当かし取

同日

入金杓兩貳分貳朱也 寒河江甚作殿が白木綿代受取

同日

入金貳兩三分貳朱ト 谷地住吉や玉砂ト代入

同百三十文

八日

出金貳拾兩也 酒田池十殿貳分判下し金

九日

出金拾兩也 大町村与四郎へ去已預り

金相渡し

同日

出金貳分也 同人江右利足として相渡し

同日

出金杓分也 同人江紅花礼金

十日

出金貳兩ト 役元へ夫錢納

杓貫百廿文銅錢ニ而

同日	入金六兩也	谷地細虎 <small>方</small> 入	出金貳朱也	同村 久二郎 <small>へ</small> 近火見舞
同日	入金三分 <small>卜</small> 百文	同一木印 <small>方</small> 茶代入	十六日分	小泉政善 <small>へ</small> 紅花代金渡し
十三日	入金壹兩也	義助 <small>方</small> 米代之内	十七日	長表熊藏 <small>方</small> 用達金利足金内受
十四日	出金壹分 <small>卜</small> 百五十文	にしん <small>壹</small> 足	取	阿ら町紅屋作藏殿入
十五日	出金壹分 <small>卜</small> 貳百四拾六文	義助 <small>へ</small> 紅花代差引渡	十九日	北口丸屋治右工門殿出判料
十七日	入金五兩也	寒河江善四郎殿 <small>巳ノ</small> 紅花差金	三日之分	山形高田弓太郎殿入
十五日	出金壹分也	之内受取	同日	嶋屋佐右工門殿盆前分内渡
同日	出金貳朱也	大原勘二郎殿 <small>へ</small> 紅花礼金	廿日	米代金之内入博次兵衛 <small>方</small>
同日	出金貳朱也	大久保庄吉 <small>へ</small> 御世話料札	同日	義助 <small>へ</small> 代かし、夫次助
同日	出金三分也			

廿五日分

出金貳分也

燈油壹舁ふるい壹ツ

出金壹兩ト貳貫四百文

庄助へ引当賃

同日

つり貳百三十六文返り

出金三分也

義助へ同断

廿六日

出金貳朱也

山草九束代

廿八日

出金壹朱也

伴二郎へ婚礼祝義

同日

出金壹分也

同拾束代

廿九日

入金拾五兩也

北口丁字屋喜内殿へ入

廿六日

入金壹兩貳分貳朱ト四百文

高田弓太郎殿へ乱花岡送

入金三百貳兩壹分三朱也

出金百八拾八兩壹分也

入用立かえ入ル

差引 金百拾四兩三朱也

廿七日

入金五兩貳分也

酒田池十殿へ二分金ニ而返り

分入

同日

出金壹分也

兩所豆腐やへ山くさ代渡し

九月吉日

同日

入金廿六兩貳分貳朱也

二分判ニ而はね置分へ入

入金貳分也

あら町武右工門殿へ蠟そく代

廿九日

入

同日

出金八兩貳分一朱也

白岩綿屋徳四郎殿へ猪蒼之代

出金壹分也

纏ぶし壹連谷地おき玉

つり百六拾五文取

同日

同日

入金四兩貳朱也

日和田へ蚊帳質金元利共入

出金三兩貳分三朱也

同糸屋勘兵衛殿同断

二日

つり四百五拾八文取

出金三兩也、壹貫貳百文

ば、様青根入湯入用ニ渡し

同日

同日

出金三分貳朱也

田丸屋庄兵衛殿内渡

出金壹分也

なすさつまいも代

同日

同日

入金壹分也

長三郎殿はね金返し分受取

入金貳朱也

石川善太郎へ弓ツル代内々受

六日

取

入金壹分也

義助へかし受取

同日

八日

出金貳朱也

同人江綿代渡し

出金壹兩也

寒河江ぬり師庄次郎日料うる

四日

し代渡し

入金壹兩貳分三朱ト六百文 義助へ代かしの内受取

同日

同日

入金拾四兩也

梅や彦平殿流連物代内受取

出金壹朱也

いわし代

同日

同日

入金貳兩貳分ト

市之助へ引当かし、元利入

老貫貳百七拾五文

入金拾兩也

扇屋ら貳分判二而入

同日

十二日

出金貳兩貳分ト貳貫四百文 同人へ引当かし

出金貳拾兩也

池田屋十吉殿二分金下し金

九日

同日

入金貳分貳朱也 入藏伊之助ら米七升代御年貢

出金拾兩也

同人へ金札三而下し

つり四百文返し 米二入、夫与藏殿持

同日

菅沼森谷新助殿南京綿代

八日分

入金貳兩壹分貳朱也

出金貳分也 田代仁平次へ炭代二渡し

つり四百文

九日

同日

入金三兩壹分也 石川善太郎殿ら京綿代入

入金五兩也

西村屋長三郎殿ら入

十一日

同日

出金貳分也 田代仁平治炭代

出金壹兩三朱ト百文

寒河江庄次郎へうるし代日料

十日

十三日

入金四兩壹分ト七貫貳百文 内桶小平次ら木綿代二入

入金四兩三分也

林二郎ら用達金内受取

メ五兩都合

同日

同日

出金三分貳朱也 五十集物青物品々買物代メ

出金三朱ト七拾貳文

谷地おきわへかつ代わたし

八月十日分

十四日

入金貳兩壹分也 林二郎方用達金都合入

十七日

廿八貫八百文

二入金壹兩也

さかえ彦次郎殿南京綿代内受

同日

取

入金貳兩也

高砂屋三藏殿受取

十八日

同日

出金三兩也

林次郎へ代かし

入金壹兩壹分也

は、様入湯遣ひ錢返り入

同日

六日分

入金壹兩ト拾六貫八百文

谷地細矢虎之助方入

出金貳兩也

義助へ代かし

同日

是迄

出金拾兩也

あら町藤兵衛弁次へ紅花手金

惣入ノ金百七拾三兩壹分貳朱也

渡

出金 五拾五兩貳分壹朱也

十九日

差引 金百拾七兩三分壹朱也

入金拾兩也

小泉助三郎殿木綿代二入

十四日

入金壹分也

長表熊藏へ多はこ入頼合返り

同日

畑中与右工門殿用達金入也

十六日

出金壹兩壹分也

長表平十郎方へ山役永代納

同日

入

つり貳百三十文

廿二日

白岩まんじう屋玉砂ト代殘金

入金壹分也 南小路長吉方砂卜代入

同日

出金壹朱ト百四十四文 山形吉庄殿へ菓子箱壹ツ進物

同日

入金壹兩貳分一朱ト貳百文 さがえ彦二郎方綿代入

出金三分貳朱也

たばこ入壹本、墨壹丁

同日

廿三日

出金壹朱ト壹貫貳百文 綿代渡し

入金貳兩也

谷地紅屋作藏殿手拭地代

同日

同日

入金四兩也 酒田池十殿二分判戻り

入金壹兩貳分也

林二郎方用達金利足入

廿三日

廿四日

入金貳分一朱ト壹貫百九十貳文

入金拾五兩也

北口丁子屋喜内殿方入

庄助方質受金

同日

同日

出金貳百六兩三分貳朱ト十三文

出金貳分壹朱也

同人へ引当賃

細矢亀次殿紅花代渡し

廿日

廿五日

入金拾貳兩貳分貳朱也 山形岩登屋吉次郎殿本茶代皆

出金貳兩貳分也

右取次あら町藤兵衛弁治へ壹

濟金受取

兩ツツ口錢

廿二日

廿五日

出金拾兩也 山形嶋屋為登金賃銀皆濟渡し

出金壹兩貳朱ト五百五十文 古手四箇本飯田方谷地迄

廿一日

掛り

廿七日

入金壹両也

畑中与右工門ヲ利足金ニ受取

入金九兩貳分貳朱ト三貫六百元

内楯小平次殿ヲ木綿代ニ入

同日

入金貳朱也つり五百十貳文返し

入金壹朱也

ト口銀別ニはね置

ちの葉代

同日

廿八日

出金三兩三分壹朱也

谷地弁次へ紅花代渡し

入金壹兩貳分也

入蔵巳之助引当テ少し入

同日

入金貳兩壹分貳朱也

石川市郎兵衛南京綿代入

出金壹兩也

畑中村無尽出金

つり四百文返し

出金貳分三朱内三百文返り 同山王様分出金

廿九日

出金貳朱也

惣兵衛きせるへ壹本代

五日

入金壹兩貳分貳朱也

市之助へ桜判引当テかし元利

入メ金貳百七拾三兩壹朱也

入

出メ金貳百四拾兩壹分也

つり三百三十六文返し

差引 金三拾貳兩三分壹朱也

五日

入金貳兩三分ト四百文

義助ヲ引当かし貳口小高受取

十月吉日

六日

三日

入金貳兩貳分貳朱也

市之助へ夫喰代金かし

つり四百八十文返し 元利共受取

七日

入金貳拾三兩三分也 松屋六兵衛殿用達金入

入金八兩三分三朱也 高弓殿ら入ル
出金八兩三分三朱也 染勘殿拂

同日

入金九兩卜五百拾六文 野村屋文藏殿為替金入

入 義助ら質金入
八日
出金百七兩貳分也 小泉岩吉殿新藏殿紅花代

同日

入金拾七兩也 松や六兵衛殿盆前入ル

同日
出金壹兩貳分三朱 つり四百文とり
岩吉へ同断

同日

入金壹兩貳分貳朱卜貳拾貳貫八百文

同日
出金三兩壹分也 雲河原善兵衛殿同断

小平治殿古手代へ入ル

四兩分

同日
入金三兩也 白岩西村屋長三郎殿入

六日

入金五拾五兩也 要かへ長作ら用達金内入ル

十日
入金拾五兩也 同 梅彦殿ら入

入金百五拾七兩壹分壹朱也

同日
出金貳朱内四百文返り 谷地丸治殿出判料

出

入金壹兩三分也

同日
入金貳朱也 かつり八十文返し 傳助ら南京綿代

差引金百五拾五兩貳分壹朱也

十一日

入金貳兩貳分ト貳貫四百文 小平次殿方古手代ニ入

同日

入金壹兩三分ト貳百八十八文 契約備金預り

十二日

出金三朱也

にしん代

同日

入金壹分也

畑中方用水せき酒代預り

同日

出金壹兩貳朱也

紅花拾丸山形迄駄賃溝延馬

十六日

出金壹兩也

雲河原定吉殿油代手金

へ渡し

十三日

出金貳朱也

たかや重兵衛方へ紅花出判

料ニ代かし

入金貳分ト四百三十二文

義助方質金入

同日

是迄

入金四兩壹分貳朱ト

小平治殿方古手代ニ入

入金百八十三兩貳朱也

貳拾貳貫八百文

六兩三分也

出金百拾五兩貳朱也

同日

差引金六十八兩也

出金壹分也

溝延伊八へ紅花駄賃渡し

内金壹兩貳朱也 二分判引

同日

又金五兩也

二分判ニ而調べ過

出金貳分也

谷地野村やしほ代手金

二口ノ金六兩貳朱也

別段はね置也

十四日

惣差引 十六日

入金壹朱ト六百五十七文

山王様參錢契約ニ而預り

改金六拾六兩三分貳朱也

金札ニ而阿り

十七日

入金六兩也

高砂屋三藏殿入

同日

出金壹分貳朱貳百八文

大石田西塚江藏敷拂

同日

出金壹兩貳分貳朱ト

古手四駄岡送一ツ入用

拾貳貫六百元

十九日

入金三拾兩也

丁字屋喜七殿入

同日

入金拾貳兩壹分ト

内たて小平二殿入

貳貫四百文

廿日

入金貳朱也

日和田与三郎殿入 藥代不足分入

同日

出金拾兩也

同村八助へ代かし

同日

入金五兩也

谷地野村や文藏殿入 玉砂ト代入

同日

入金九兩貳分ト

紅屋作藏殿入

四貫八百文

廿一日

入金六兩貳分壹朱ト

松屋六兵衛殿入

百貳拾九貫文ノ廿兩

廿二日

出金壹兩三分壹朱ト

溝延岩吉へ紅花たちん

壹貫九百五十文

十五日分

入金三拾五兩也

小泉重兵衛紅花十貳丸駄賃諸掛り

入

廿二日

入金壹分也

義助へ錢売り

同日

入金壹兩貳分也

市之助入 糶引当テかし 元利共入

つり壹貫百四十文返し

同日

入金貳兩貳分也 長作殿も用達金元利入ル

同日

出金拾五兩也 同人江正金かし

同日

入金壹分也 東町祐次殿も傘代内金ニ受取

廿二日

入金壹兩也 さがへ綿屋彦二郎殿手金入

同日

入金三朱也 同善太郎殿もつる代入

廿三日

入金壹兩貳分貳朱ト 同人も綿代先分受取

貳百四十文

同日

入金七兩貳分也 同人も綿代入ル

同日

入金拾三兩也 石川安達市郎兵衛殿古手代入、南

京わた代入

廿四日

入金三朱ト貳貫貳百文 庄助も南京綿代ニ受取

廿四日

入金壹朱也 錢うり

同日

入金五兩也 さがへ高砂や三蔵殿も入

同日

入金拾四兩壹分ト 内だて小平次殿古手代入ル

拾六貫八百文

廿五日

入金貳兩貳分也 藤四郎も古手代入

内三百五十文返ル

同日

出金三兩ト十貳メ文 市之助へ草履表買金代かし

同日

入金八兩三分ト 六兵衛殿も受取

九貫六百文

同日

入金三兩也 和泉屋儀蔵殿も南京綿代

同日

入金四兩也

林二郎ちかし金入

入金五兩也

寒河江吉のや又三郎殿ち受取

廿六日分

廿五日

入金貳兩也

小泉重兵衛、祐次、勝三郎

出金七兩也

衣類代

紅花入用礼金共ニ受取

廿六日

廿九日

出金百拾兩也

白岩庄兵衛殿卜ル銀取かへ渡

出金三兩也

役元江上納金口々過金共ニ渡し

同日

同日

出金貳朱ト三百文

小泉重兵衛へ駄ちん金過上渡

入金壹兩也

岩吉殿ち古手代手金入

廿七日

入ル金貳百六拾五兩貳朱也

入金拾五兩也

要害長作殿ち用達金入

出ル金百五拾貳兩三朱也

同日

差引金百拾貳兩三分三朱也

入金三兩壹分也

内たて小平二殿古手代ニ入

廿八日

入金貳兩也

石川勘七殿ちわた代

同日

出金壹分也 百十七文返り

閏十月吉日

越中藁屋拂伊勢長分

同日

二日

入金壹分也貳貫四百文 庄助ち少々南京綿

同日

入金拾兩也

小泉岩吉殿古手代二入

入金壹貳朱也

石川勘七殿南京綿代不足入

同日

入金三朱ト四百文

雲河原善兵衛殿白砂ト代入

同日

入金七兩貳分也

内たて小平二殿入

同日

入金壹兩也

寒河江彦次郎殿南京綿代

五拾七貫六百文

四日

同日

出金壹分也

片着壹ツ

入金拾九兩也

天童錢屋武助殿古手

同日

出金六拾兩也

小泉武助用立金

同日

入金貳分也

庄助少々南京綿代

三日

入金貳朱ト貳百四十文

傳助荷筵廿枚代

五日

入金八兩三分ト十貳メ文 六兵衛殿十兩都合入

同日

入金五兩貳分壹朱也

谷地竹屋様砂ト手金二入

四日

入金拾兩也

西村屋長三郎殿入

つり百廿文返し

同日

入金壹兩也

寒河江彦次郎殿入

入金壹兩也

錢うり市之助殿

同日

入金拾兩也

松や六兵衛殿トル二兩入

同日

入金三兩也

白岩梅善殿方トルニ而入

八日

入金拾九兩三分六拾貫文 竹屋喜左工門殿砂ト代入ル

同日

出金三拾兩

小泉武助殿引当かし

同日

出金拾兩也 小泉勝三郎代かし

三百八拾四貫文 四拾兩分

同日

同日

入金貳朱ト九貫六百十四文 伊七方古手代差引入

入金老兩也

囲ヒトル入ル

同日

入金老分ト貳貫三十文 庄助方わた代入ル

出金老兩分也

白岩梅彦ヘトルウリ

六日

入金三兩也 小泉岩吉殿方古手代ニ入

出金百五拾八兩分也

差引金五拾九兩分老朱也

同日

入金貳兩老分ト 友吉方古手代ニ受取

外ニ金八拾兩也

白岩庄兵衛方トル老分入ル

老貫四百六十四文

内金九拾三兩分老朱也 トル老分ニ而はね置

同日

出金五拾六兩三分百文 山形吉田庄兵衛殿紅花駄賃金渡

金三朱也 金札ニ而調べ不足

し

差引金四拾五兩三分老朱也 金札改

八日

入金貳分貳朱ト五貫五百文 庄助かたゝ南京綿代入

入金三両三分ト

小泉岩吉殿方古手代入

九日

貳メ四百文

入金貳両也

寒河江吉のや又三郎殿方受

同日

取

入金貳拾両也

梅彦殿方入

同日

同日

入金三両也

関屋兵右工門殿方玉砂ト手

入金五両壹分ト

さがへ関吉方砂ト代入

合受取

拾六貫八百文

九日

同日

入金拾両也

白岩梅や彦兵衛殿入

出金壹両也

小泉政吉へ取次礼

同日

十三日

入金壹両壹分也

同人方トル取替受取

入金三両也

同岩吉方入

同日

十四日

入金貳両貳分也

源二郎方ろうそく代入

入金拾五両

小平次殿古手代受取

同日

三拾三貫六百文

出金壹朱ト四百七拾四文

白山堂上納金

十五日

十一日

入金四両也

風間屋茂兵衛殿方玉砂

出金五拾両也

上小泉祐次地所金内渡し

ト手金受取

十二日

出金壹朱也

白岩利八へ土産代

十六日

出金拾貳兩壹分也

谷地野村屋文藏殿畑中

同日

入金壹分也

日和田与三郎殿剃刀代茶代入

日塔与右工門殿為替金

廿日

羽州屋善兵衛殿へ渡し

出金貳拾五兩ト

小泉祐次殿地所金渡し

十八日

出金三拾兩也

山形吉田屋庄兵衛殿古手代渡し

廿一日

入金壹分也

九拾六貫文

同日

入金壹分ト三貫九百四十文

同日

つり壹メ七百六十文返し

庄助方引当質入

同日

入金三兩也

小泉岩吉殿方入

入金貳拾兩七拾六貫八百文

同日

北口丁子屋喜内殿方入

入金壹分ト六貫四百文

庄助方少々南京綿代

同日

入金七兩壹朱ト

内たて小平二殿入

廿二日

出金貳兩也

雲河原定吉殿油代渡し

拾六貫八百文

廿三日

出金拾五兩也

小泉祐次へ地所金渡し

入金四兩ト五百文

谷地竹屋喜左工門殿方砂ト代不足

入

入金三兩三朱ト四百文

畑中司印方大坂為替取替分受

取

廿三日

入金九兩下九貫六百分 小泉岩吉殿入

廿四日

入金拾六兩也 天童錢屋武助殿古手代入

同日

入金老兩貳分 さかへ吉野や三兩分

拾四貫四百文

同日

入金老兩老分三朱下 同三川屋古紅花差金入

五貫四百文

同日

入金貳朱下三百文 同高津屋菜種代入

廿五日

入金七兩下貳拾八貫八百文 小泉染勝殿入

同日

入金拾兩也 松や六兵衛殿入

同日

入金四兩老分也

内たて小平二殿入

同日

入金三兩也 小泉岩吉殿入

廿七日

入金九兩三朱也 谷地風茂殿古砂下代入

同日

出金拾兩也 山形吉庄殿古手代渡

同日

出金三拾兩也 要害長作殿紅花代渡

貳分貳朱下四百五文

廿八日

入金三兩三分 小泉岩吉殿古手代二入

六拾貫文 十兩分

廿八日

出金貳分貳朱下 要害長作殿花袋代渡

五百六拾貳文

廿九日

入金七兩也 当所卯兵衛古錢かし分受取

同日入金三拾兩也 東町小関屋七藏殿方受取

同日

入金三兩壹分三朱ト 寒河江関屋兵右工門殿砂ト代残

金受取

百六十八文

同日

入金五兩也 同吉のや又三郎殿受取

入金貳百六拾五兩貳朱也

出金百七拾六兩貳分貳朱也

差引 金八拾八兩貳分也

一、金三朱也 調へ行過分

(以下、十一月吉日より省略)

五 仕入帳

(表紙) 一、庚明治三年

仕入帳

午正月吉日

生花仕入覚

六月廿日と七月二日迄

一、四貫百七拾匁 内の分

代四貫八百七拾匁文

廿四日廿五日分

一、貳百六拾匁 塩之渕久二郎

代四百文

同日

一、老貫七百八拾匁 入倉 重吉

代三貫四百拾匁文

六月廿四日と七月八日迄

一、七貫百拾匁 林二郎

代七貫九百七拾四文

廿四日と廿七日迄

一、三拾貫貳百匁 日和田買高

代金壹兩老分ト三拾六貫三百七拾貳文

廿七日かへ

一、九貫貳百六拾匁 仁田がへ

代金貳兩老分貳朱也

五拾貳貫七百八拾匁

代金三兩貳分貳朱ト

五拾三貫貳拾八文

内訳

三貫八百拾五匁 ねせ花目方

代三貫五百六拾四文

六百九拾五匁 義助へ生花ニ而相渡

代六百六文

四拾八貫貳百七拾匁 乱花干立分

代金三兩貳分貳朱ト

四拾八貫八百五拾八文

一、三貫八百拾五匁 ねせ花高

代金老分貳朱ト貳百拾四文

外ニ入用

此売

金三分也 紅花仕入ニ跡々出又

紅花仕入覚

溝延小吉宿

七月十日

一、貳拾七貫八百廿匁 掛目正三

壹番 貳又三

貳番 四又七

貳番

貳番

貳番

貳番

貳番

三番 六メ百

四番 六メ九

五番 六メ四

六番 六メ三

メ三拾貳貫七百目

内貳貫四百匁 風袋四〇ツツ引

引正ミ

三拾貫三百目

代金六拾六兩貳分貳朱ト錢壹メ貳百文

右へ金拾兩也 当日相渡し

金貳拾兩也 七月十六日相渡

差引

金三拾六兩三分也 木綿代ニ而差引相渡し、但し錢

共ニ

此表無出入相濟候

七月十日濟

一、壹貫四百文 壹駄式背負たちん

八月廿四日濟

一、六百文 花筵六枚なわ代とも

大町与四郎

七月十一日

一、金四拾五兩壹分也

掛目拾五貫四百目

相渡濟

小花買

七月十二日

一、百廿五匁 上 塩ノ測久次郎

代金壹分壹朱也

一、貳百貳拾匁 中

代金壹分貳朱貳百文

メ三百六拾五匁

代金貳分三朱ト貳百文 相濟

同日

一、三百五拾匁 畑中喜四郎

代金三分也 相濟

十四日

一、五百六拾匁

塩之淵源四郎

代金壹兩貳分也

八月朔日相渡し済預り書相渡

七月十六日

一、貳百四十匁

畑中三右工門

代金壹分三朱也代済

七月十七日

一、四百十匁

畑中権内

代金三分ト壹朱五百文 当日相済

廿日

一、五百八十匁

畑中鶴之助

代金壹兩壹朱也済

廿一日

一、百六拾匁

溝延長七

代金壹分壹朱ト貳百文済

八月十五日

一、三貫六百貳拾匁

義助

代金九兩三分也差引ニ入相済

同十七日

一、七貫貳百八拾匁

小泉政吉

代金貳拾貳兩也

同日差引

金拾五兩也

同日相渡

金七兩也

午盆前諸品代へ入ル

相済

七月十一日

一、金八拾貳兩三分ト貳貫五百文

掛目貳拾六貫五百五拾匁

同十二日かへ

一、金拾兩貳朱ト壹貫四百文

大久保久次郎

掛目三貫八百匁

金拾七兩壹分貳朱卜

七月十三日相渡

二口

八貫百文

金九拾貳兩三分貳朱卜錢三メ九百文

此金壹兩卜百文

内

相濟

金拾五兩也

七月九日相渡

金五兩也

同十一日相渡

金四拾兩也

同十二日相渡

金三拾貳兩三分貳朱卜

同廿六日相渡濟

三貫九百文

金九拾貳兩三分貳朱卜三メ九百文也

七月十三日

此表無出入相濟

一、壹メ三百匁

要害次郎兵衛

代金三兩壹朱也代濟

大原勘次郎

七月十二日かへ

七月廿二日

一、金三拾三兩壹分貳朱卜壹貫八百文

一、貳百廿匁

室村利七

掛目拾貫六百六拾匁

代金壹分卜五百八十文代濟

内

七月十七日

金拾五兩卜壹貫七百匁

当日相渡

一、四貫八百匁

小平次

内三百八十匁風袋引

上七月十八日

正三〇四メ四百廿匁

一、百六十匁

畑中千太郎

外二

代金壹分貳朱也

正三五百目 別二二品二面

下

二口ノ四貫九百廿匁

一、貳百七十匁

代金拾四兩貳分也

代金貳分也

内金六兩也

用立金引

二口代金三分貳朱也

当日代済

又金貳朱ト壹匁五分

右利金二ヶ月分引

差引

十八日

金八兩壹分壹朱ト

白木綿代二入

一、正三貳百四十匁

畑中喜助

貳匁貳分五厘

代金貳分一朱ト貳百文済

此表無出入相済

同日

一、正三六百六拾匁

畑中源次郎

七月十七日

代金壹兩三分貳朱也済

一、正三六百目

義助

同日

代金壹兩壹分貳朱也相渡し済

一、正三三百四十匁

同 忠七

代金三分ト三百文済

七月廿三日

一、五拾目

畑中伊八

巳十一月十一日質かし

代八百五拾文済

一、金百兩也

寒河江南町善四郎

七月廿四日

袋入紅花五拾八袋

一、五百四十目

あら町太郎吉

此利巳十一月より午六月迄八ヶ月分

代金壹兩壹分一朱ト貳百文代済

貳拾兩壹分之利

八月三日

利金拾兩也

一、貳百六拾匁

仁田村がへ吉平

此分受取済

代金貳分一朱也

相渡し済

差引

元金百兩にて質流し申候

才

一、貳百五拾匁

内の分

代金三分也

一、五百貳拾匁

辰巳手附花五口ノ寒河江入ル

八〇がへ

紅花入用覚

代金壹兩壹分貳朱ト百文

一、百匁

巳さし花

八月九日

代金三朱也

一、金壹分ト手拭壹本

大町与四郎へ

ノ金三百三兩貳朱ト拾貳貫九百三十文

此代壹朱也

八月十五日

一、金壹分ト手拭壹本

大原勘次郎殿礼金

一、六貫百貳十文

同所々大石田迄

此代金壹朱也

一、八百文

長表舟ちん貳百文ツツ

八月十五日

一、金貳朱也外ニ手拭壹本

大久保庄吉世話料礼

一、百文

野田はしせん

一、百四拾八文

横山舟ちん

此金壹朱也

一、六百七拾六文

数不足間違い入用ニ致ス

同十九日

一、金貳朱也

新庄領出判料四丸ニ付貳匁

十二月卅日

一、金三領也外手拭壹本

義助歳暮

ツツ

同日

一、三百文

丸治殿へ進物そふめん代

一、金貳分也

政吉

一、金五兩三分貳朱ト四百文

花袋代

一、

溝延小吉殿へ礼

八月廿日

一、金貳分也

内々六田迄たちん三駄三丸

入用

一、金拾五兩壹分ト貳拾貫七百九十貳文

分壹駄貳朱ツツ但三丸附へ

一、金四兩貳分也

大石田々添金

酒手共

一、金壹兩三分貳朱也

荷造り入用

一、四貫七百八十文

同所々楯岡迄

惣

一、七貫四百六拾八文

同所々土生田迄

一、金四百廿壹兩三分ト

三拾三貫七百廿五文

此金四兩三朱ト貳百廿貳文

合金四百貳拾五兩三分三朱ト貳百廿貳文

一、金八兩貳分貳朱ト九百八十文

さし花

格老袋

ヲ又 大久保

〔卷七〕
「卷七卷八七五」

イテ同直」

一、金四拾六兩三分貳朱ト

大方

卷貳百五十文

△ヲ

三拾七袋

ヲテノ

〔卷七〕
「五七八卷貳五」

一、金四拾四兩三分三朱也

大町

三拾四袋

ヲ△

〔卷七〕
「五三三卷貳五」

ヲタム

一、金四百拾壹兩ト八貫八百三十文

」

〆三百拾壹袋

紅花之上り調べ

一、金百拾壹兩壹分三朱ト

寒河江

小町六拾五袋 九百文

〔卷七〕
「卷〇卷五六貳五」

テ又

一、金百貳拾六兩 五貫七百文

大久保

緋袴九拾六袋

ヲ又

〔卷七〕
「卷五〇」

ヲタイ

一、金七拾三兩貳朱也

溝延

日の出六拾八袋

△イ

〔卷七〕
「卷〇六二五」

シヲ又

七月十一日

一、七貫七百五拾匁

荷口藤三郎

乱花仕入覚

兩ニ老貫匁がへ

外金三兩也

干立入用

代金七兩三分也

一、四百匁

巳年乱花

同廿三日

代金貳分也

一、老貫七百八拾匁

同人

金貳拾七兩三朱ト八匁貳分五厘

兩ニ八百匁がへ

貳拾三貫四百五拾匁

代金貳兩壹分也

兩ニ八百六拾貳匁上り

壹匁五分返り

荷造り上り

七月十四日

目方金貳拾老貫五百目

一、三貫七拾匁

山家長九郎

兩ニ七百九拾匁上り

代金三兩三分壹朱ト壹匁五分

七月廿一日

一、三百三拾匁

谷地三吉

諸かかり覚

代金壹分貳朱ト貳匁貳分五厘

一、老貫四百文

内々宮崎迄ちん

七月十二日

一、老貫百九拾貳文

楯岡迄

一、四百貳拾匁

湯の沢十次郎

一、老貫四百三拾六文

本飯田迄

代金壹分ト六匁

一、老貫八百五十文

大石田迄

一、九貫七百匁

内干々高

一、老貫三百貳十文

大石田出判料

代金九兩壹分也

一、貳百廿四文

長表舟渡酒手野だはし

一、沓貫三百文 道中水ましたは荷酒手

一、金沓分貳朱也 才料往返二日日用并沓夜はたご

金沓分貳朱ト

八貫七百貳拾貳文

此金三分貳朱ト三百廿貳文

合金沓兩沓分ト三百廿五文

内金貳分貳朱ト四百八十文 全分貳丸駄ちん割合

金貳分沓朱ト四百四十文 全分同断大坂へ書出し

一、金沓兩貳分也 大石田と添金

惣ノ金貳拾九兩沓分三朱ト三分

代金

内金拾兩也 手附金受取

五百匁袋貳ツ 附花相渡

右之通売定申処実正ニ御座候、尤取引之義者来ル廿三日

と廿五日迄、残金引替日限正荷物相渡可申候、為念売定

手形仍如件

午九月十八日

谷地

細矢亀二

造山

日塔久左衛門殿

谷地 藤兵衛殿

弁 次殿

常 二殿

とり次

紅花買付端書

覚

一、紅花百袋也 但六十四袋ニ付百兩がえ

一、同 五拾七袋也 同 九拾兩がえ

紅花買付寛

細矢龜二殿

藤兵衛殿

弁次殿

一、紅花百袋口

此駄老五六貳五

老駄百兩がへ

代金百五拾六兩壹分也

一、同 五拾七袋

此駄八九〇六貳五

老駄九拾兩がへ

代金八拾兩ト永拾五匁六分貳厘

ノ金貳百三拾六兩壹分ト拾五匁六分七リ

内四貫三百匁 老袋五拾三文八分八がけ百袋分

袋数九袋ト老四九

此駄老分四リ貳九貳

代金拾四兩貳拾九匁貳分

老貫百拾匁 老袋廿四文四分

袋数ト貳袋ト 三分六リ

此駄三六八七

代金三兩ト三拾老匁八分七リ

三百四拾貳匁 五十七袋江六匁ツツ袋目出し

此分七貳四六

代金老兩ト貳匁三分貳リ

六百匁 百袋江六匁ツツ袋目出

此分老袋貳七六六

此駄老九七九

代金老兩ト九拾七匁九分

ノ金貳拾兩ト六拾八匁貳分九リ

差引金貳百拾五兩三分ト四匁三分八リ

内金拾兩也 九月十八日相渡

又金貳百五兩三分ト 同廿四日相渡分合

錢四百三拾八文

金老兩老朱ト 花錢五ト行返ひ相渡

百七拾五文

惣差引

正ニ代金貳百拾六兩三分貳朱也

百五十七袋代金ノ高

改袋數

百五十三袋也

老袋ニ付四百七十八匁詰

九月廿五日渡し済

とり次

一、金貳兩貳分也

弁次

藤兵衛 老駄老兩ツツ

細矢

九月廿八日

一、九百六拾匁

代貳兩貳分貳朱也

同日 なべや

一、四百匁

代老兩三朱也

二口

ノ金三兩三分老朱也 当日代済

十月八日

一、袋花六拾四袋

とり次 長作

代金百七兩貳分也

同日

一、九百六拾匁

雲河原善兵衛

代金三兩老分也

同日

一、老袋

上河原岩吉

代金老兩貳分貳朱ト貳百文

右不殘同日相渡済

一、金老兩也

取次口せん要かへ長作へ

谷地口小泉口袋詰覚

一、金貳百拾九兩

細矢口百五拾七袋代金

老分貳朱也

并口錢共

四七八壹袋

○百五拾三袋 正八拾匁

一、金百七兩貳分也 小泉口六拾四袋代金

一、金三兩壹分也 雲河原善兵衛分

一、金壹分三朱也 附花百三十匁代

△金百拾壹兩三朱也

外ニ金壹兩也 取次口せん

○七拾袋

一、金壹兩貳分貳朱ト 岩吉分別花印

貳百文

○壹袋

一、金三兩三分壹朱也 細矢口なべや口さし花

壹貫三百六拾匁

一、金三朱ト四百文 谷地口八拾匁代

一、金三朱也 午さし花七拾匁

一、金三分三朱也 午大小口詰残り三百三拾匁

△金五兩貳朱ト四百文

○四袋

右山形出荷ニ付入用

一、丁銀五匁 十九新庄江出判

壹丸五分ツツ

一、金壹兩壹分 荷造り入用

壹駄貳分ツツ

一、金壹兩壹分三朱也 山形迄たちん

惣△金三百四拾壹兩三朱也

雲河原 定吉殿

十月十六日

一、花種水壹樽

皆掛六貫七百目

内壹貫五百目 風袋

引正ミ五貫貳百目

□三五合かへ

代金六兩三朱ト貳拾四文

内金壹両也

十月十七日手金渡

金貳両也

十月廿二日相渡

金三両三朱卜

同廿四日錢ニ而渡

貳拾四文

相濟

九百五拾匁 四袋□□引

引正ミ

拾壹貫貳百五拾匁

内

三貫百文

下品 八十壹両がへ

此袋數六袋 三分壹り五八

代金八両之内四分返り

八貫貳百五拾匁 上品 八十六両がへ

拾七袋三分六り貳

代金貳拾三兩壹分壹朱ト壹匁六厘

金三拾壹兩壹分壹朱ト六分六厘

内

金貳分貳朱ト 右袋廿口數代壹兩三分ツツ

壹匁八分八厘

差引金三拾兩貳分貳朱ト貳匁五分三厘

錢四百五文

右壬月廿八日要害長作殿へ相渡濟

十二月廿五日

紅花買付覚

高嶺村

松藏

要害取次

長作

壬十月廿一日

一、皆掛四貫八百目

四貫三百目

三貫三百目

拾貳貫四百目

内貳百匁

目□引

一、七百五十文 たちん相渡し

高嶺村 松蔵殿

とり次要害 長作殿

百十八 拾貳貫貳百目

諸方買

正ミ拾老貫五百目

百十九 拾三貫四百目

山形高弓殿分

正ミ九貫四百目

同後藤屋分

正ミ貳貫八百目

ノ 拾貳貫貳百目入

百貳十 拾四貫貳百目

山形後藤屋分

正ミ拾貳貫貳百目入

ノ 四丸

六 荷物出入帳

(表紙)

〔庚明治三年

荷物 出入帳

午正月吉日

乱花荷送り覚

百十七 皆掛拾貳貫六百目

手干并ニ諸方買

正ミ拾老貫目

送り手紙

七月廿九日

△乱花 四丸

百拾七 拾貳貫六百目

百拾八 拾貳貫貳百目

百拾九 拾三貫四百目

百貳十 拾四貫貳百目

△封印

一、金壹兩貳分也相添

一、出判老通相添

△

右之通大阪迄為差登候条、其御地着岸之砌、封印貫目濡
攔等能々御改御受取、先方へ早々御送り可被成下候、尤
大石田方金壹兩貳分也相添差上申候、駄運賃御引取可被
成候、若過不足も御座候ハハ、先方へ御差引被成下度御
頼申上候、為其贈り手形如件

午七月廿九日

萬屋

久左工門

大石田

西塚与一郎殿

酒田

池田屋重吉殿

越前敦が

田保孫右工門殿

塩津

中村佐右工門殿

大津

池田屋勘兵衛殿

大阪

羽州屋久右工門殿

紅花荷都合覚

緋袴印

一、大久保口九拾六袋

一、さし花口拾壹袋

△百七袋

廿貳入貳丸

廿一入三丸

此内へさし送り込

日の出印

一、溝延口六拾八袋

一、大町口三拾四袋

ノ百貳袋

廿一入貳丸

廿入 三丸

廿壹入貳丸 荷印二者不残日の出印と

日の出印廿入 壹丸 記し候事

小町印 廿入壹丸 小町口壹丸ニハ別印と記し

ナミ口には中ニ札ヲ入

日の出印六袋

大町印 十四

廿入壹丸 造り合と記し候事

ノ五丸

小町印

一、寒河江口六拾五袋

一、大力口 三拾七袋

ノ百貳袋

廿一入貳丸

廿入 三丸

寒河江口貳拾入三丸

大力口貳拾一入壹丸

寒河江五袋

大力十六

ノ貳拾一入壹丸

拾五丸

ノ廿貳入貳丸

廿一入七丸

廿入六丸

袋数三百拾壹袋

紅花贈り手板

灸緋袴 正三五百目入

貳拾貳入貳丸

貳拾壹入三丸

貳拾貳入

拾貳貫貳百目

拾貳貫貳百目

貳拾壹入

造合拾壹貫六百目

拾壹貫七百目

拾壹貫九百目

封印 三ヶ所

一、出判卷通 相添

一、金卷兩貳分也相添上金札二而

右之通最上紅花為差登候条、其御地着岸之砌封印賞目濡

攔等能々御改御受取、先方江早々御継送可被成下候、尤

大石田右金卷兩貳分ツツ相添差上申候間、夫々駄運賃御

引取被成下度奉願上候、若シ不足ニも候ハハ、先々御取

替可被成下候、為其贈り手板如件

明治三

午八月廿九日

羽州最上

萬屋

久左工門

大石田

西塚与一郎殿

酒田

池田屋重吉殿

越前敦が

田保孫右工門殿

江州塩津

中村佐右工門殿

同大津大橋

池田屋勘兵衛殿

大阪

羽州屋久右工門殿

行

灸日の
の
出 正味五百目袋
貳拾壹入貳丸

拾壹貫八百目

貳拾入三丸

拾壹貫四百目

拾壹貫三百目

拾壹貫三百目

封印三ヶ所

印

一、出判老通相添

一、金老両貳分也相添 上金札二而

右文言同断

午八月十九日

万久出

惣問屋中

羽久殿行

灸小町
正三五百目袋
廿老入貳丸

別花 拾壹貫七百目

送り合 拾壹貫五百目

貳拾入三丸

拾貫七百目

拾貫八百目

拾貫七百目

封印三ヶ所

一、出判老通相添

一、金老両貳分也上金札二而相添

右同文書

午八月

萬久

惣問屋衆中

大阪

羽久殿行

紅花荷造り覚

灸印 雨

司

天童口百五拾三袋

此造り廿三入六丸

外二拾五袋

朝日

小泉口七拾袋

此造り廿三入老丸

廿貳入貳丸

外二三袋

造り合口

小泉口三袋

天童口拾五袋

さし 四袋

別花 壹袋

〆廿三入老丸

造合雨司卜記ス

〆貳百廿八袋

廿三入八丸

廿貳入貳丸

〆十九丸

贈り状

灸 紅花 拾箇

内 廿三入八箇

廿貳入貳箇

〆封印三ヶ所

出判老通相添

右之通大坂迄為差登候条、封印貫目濡攔等能々御改御受
取、先方へ早々御繼送り可被成候、尤駄運賃之義、東京
先キ荷留り方御受取可被成候、為其送り状如件

午十月

山形

吉田屋庄兵衛殿

東京日本橋

利倉屋金三郎殿 △

大坂道修町

羽州屋久右工門殿行

大阪羽久殿行

積入 覚

羽州龜田

加藤新吉船

△ 湯花 拾樽

百廿壹番方百三拾番迄

△ 猪苓入 貳箇

百拾五番 百拾六番

午四月廿七日 酒田 池正續

大坂

羽久殿行

米屋弥七船

△ 乱花 四箇

百拾七方百廿迄

八月十六日出帆 ツル力行

贈り 状

十兵衛分

灸紅花 拾貳箇

内 廿貳入五丸

廿壹入七丸

△ 封印三ヶ所

出判壺通相添

右之通文言前同斷

午十月

山形吉庄殿

東京利金殿

田中屋久兵衛船

小 紅花 廿八 三丸
廿一入貳丸

同日 廿八 三丸
廿一入貳丸

ベ拾丸

九月十一日出帆

証屋傳助船

同 緋 廿二入貳丸
袴 廿一入三丸

ベ五丸

九月廿三日出帆

諳用附込覚

酒田方廻章写し

定飛脚長七差立一筆啓上仕候、春寒之砌ニ候得共、各様
益御勇健ニ可被遊御座珍重ニ奉存候、然者今般 御当
果御達之趣左ニ申上候、一運上所税金之義、去夏以来百
兩ニ貳兩之御規則ニ候所、今方外ニ金壹兩ツツ別段病
院御取立、川口直等之備として当正月己後上納被仰付候
条、其段向々へ可相達者也

午正月

酒田県

會計方

右本文写書之通正月己後大廻り紅芋共、百兩ニ付壹兩貳
分ツツ税金五割増改可被仰達候、誠ニ年々毎ニ諸色高値
ニ相成、諸出費候折柄又々右様之御達ニ相成、何共氣之
毒ニ千万々奉存候得共、宜敷御承知可被成候、先者右御
案内申上度如此ニ御座候、恐惶謹言

午二月二日

問屋惣代

年番

叶屋次兵衛印

十月廿二日

最上在々

同老兩貳分三朱卜 岩吉殿へ相渡

惣御荷主中様

老貫九百五十文

又金老朱也 酒手拂

外ニ金老朱也 染木屋ちん

相濟

紅花 駄賃覚

惣ノ金老兩三分老朱卜

灸印 紅花 拾丸

老貫九百五十文濟

同 同 重兵衛分拾貳丸

ノ貳拾貳丸

此駄五駄半

貳分一朱卜三百文ツツ

重兵衛分駄賃調べ

此ちん金貳兩三分一朱卜老貫六百五十文

十月

金三兩老朱卜老貫九百五十文

一、金三拾三兩也 山形より東京迄紅花十貳丸三駄

十月十三日

陸送駄ちん

内金老兩貳朱也 伊八殿へ相渡

老駄十一兩がへ 吉庄殿渡

同 十二日

一、金老兩三分卜九百文 山形迄たちん溝延惣吉殿まし

同老分也 山形宿相渡

とも

壹貳分一朱三百文ツツ

金三拾五兩三分ト九百文

右へ金三拾五兩也 十月十八日入

差引過上金貳朱三百文渡し済

十月廿六日

荷造り繩筵代并諸入用

廿二入 四丸

内壹丸者造り合之内、拾壹袋江口印と印阿り

ハ 勢紅

一、六十五袋

新廿二入 貳丸

廿壹入 壹丸

新仁最上へ

一、四十壹袋

外ニはし袋 此目五百匁

四十貳袋

廿壹入 貳丸

貳百五拾八袋、但シはし袋共ニ

此送り拾貳丸

内廿貳入 六丸

廿壹入 六丸

外 紅花 拾五丸

廿入 六丸

紅花 荷造り

イ 紅雲

一、七十四袋

内壹袋別花阿り

廿壹入 三丸

差引拾壹袋四印入ル

口 舞鶴

一、七拾七袋

内壹袋別花阿り

廿一入 七丸

廿二入 貳丸

×三百拾壹袋

此駄四駄八五九三七五

壹駄八拾兩がへ

代三百八拾八兩ト七拾五匁

此かかり

壹五御役

一、金五兩

八拾三匁壹分貳り

△ 乱花

四田(貳)

代六拾兩

此かかり

壹五御役

一、金壹兩ト八拾匁 三部御役

(裏表紙)

「日塔久左衛門」

七 金銀出入帳

(表紙)

「辛明治四年

金 銀 出 入 帳

未正月吉

七月

朔日

荷口

入金拾兩也

藤三郎殿

用達金

内受取

同日

谷地

入金五兩也

小升屋

弥吉殿

夏物代

内受取

二日

出金貳兩卜 源六

五貫六百八十七文 無尽貳丁半

出金

同日 白岩

入金八兩也 忠兵衛殿方

用立金

元利皆済ニ

受取

同日 原村

入金三兩 勘内殿方

沓分也

玉砂卜手金 受取

同日 白岩

入金壹兩也 忠兵衛殿方

玉砂卜代之内入

三日

入金拾兩卜

丁子や 喜内殿方

百升貫文

同日

入金拾兩也

小関屋 七蔵殿

受取

同日

入金拾兩卜

鍋屋 平吉殿方

受取

同日

六貫文

さがへ 三蔵殿

四日

入金貳分卜

四拾貳貫文

白岩 佐藤や 小四郎殿 入ル

同日

入金拾兩也

要害 長作殿

用達金

入金八両也

卯作殿

内受取

皆済入ル

同日

同日

入金七両貳朱卜

茂助

入金拾両也

同人

九十四貫文

市之助

金之取次分

無尽口取金

受取分ニシテ

入

錢と振替

五日

入ル

入金貳分也

源六へ

同日

谷地

錢売り

入金五両也

小升屋

同日

弥吉殿方

入金貳分也

同人へ

入ル

同断

同日

同

四日

入金三両也

入金五両壹分也

林二郎へ

幸右門殿

◎売り

入ル

分二三〇割

同日

小泉村

五日

畑中

出金百五拾四両

武助殿

老朱ト

地所金

同日

原村

三百五拾四文

相渡

入金八両也

勘内殿ち

同日

さがへ

つり百六十式文返し 玉砂ト代

入金三両也

吉又殿

受取

入ル

同日

荷口

同日

谷地

入金四両式分也

藤三郎殿

入金六両

土屋

用達金

巻分ト

小平二殿

入ル

四拾五又文

拾両也

七日

石川

受取

入金五両ト

市郎兵衛殿

同日

さがへ

六拾貫文

受取

入金三両ト

高砂屋

十両都合

式拾四又文

三藏殿

同日

谷地

入ル

入金式拾両也

小関屋

ノ五両

七藏殿

六日

南

入ル

入金式両式朱也

卯兵衛ち

同日

丁子屋

三百文返り 餅米代入ル

入金拾両也

喜内殿

入ル

同日

入金三兩卜

式分也

新屋

幸右衛門殿

入ル

同日

入金五兩也

亀屋

周次殿

入ル

同日

入金五兩也

さかへ

高砂や

三藏殿方

受取

同日

入金貳兩也

〃

吉のや

又三郎殿

受取

同日

出金三拾兩也

小泉

武助殿江

手頼金

渡し

同日

出金貳拾五兩也

〃

重兵衛殿

為替金

内渡

同日

出金拾五兩也

酒田

池十殿江

荷物仕送り

見込下し

八日

入金五兩卜

三拾貫文

野村屋

文藏殿

入ル

同日

入金壹兩

三分貳朱也

土屋

小平次殿

壹貫五百文

入ル

入金貳分也

小藤次方

貳百札壹枚

預り

式拾四貫文

砂卜代入ル

改拾七兩壹分也あり

同日

入金壹分貳朱也

市之助へ

九日

寒河江

同日

銭うり

入金貳兩卜

善四郎殿

出金五兩卜

谷地

三拾六貫文

玉砂卜代之内

百八貫文

小藤次殿

受取

銅引当かし

十日

月藏院

十三日

日和田

入金壹兩也

市之助

出金五兩也

与三郎へ

つり

無尽出金

源七方へ渡し金

三貫百五十文返し

受取

立替かし

十三日

同日

大坂

出金壹分卜

草山手

入金拾兩也

羽久殿分

五百文

市之助へ

上の山

渡ス

亀金方

同日

松屋

為替金

入金三兩卜

六郎兵衛殿

忠助殿取次二面

十四日

出金壹両

壹分也

同日

入金五両也

湯殿山

參詣金

白岩

柏屋

弥藤次殿五

十五日

入金五両也

あら町

紅屋

作藏殿

受取

同日

入金貳朱也

森谷

祐八殿

ちの葉代二

受取

同日

受取

入金貳朱也

祐次殿五

傘代

十五日

入金拾三両

壹分貳朱ト

八拾四貫文

同日

入金壹分也

同日

同日

出金壹分也

同日

同日

入金三両也

内楯

小平次殿五

受取

同人五

ト口銀二両

受取

下口銀

はね置

の村や

文藏殿五

玉砂ト代

受取

同日

南

入金四両也

卯兵衛方

七月十七日渡し 入

同日

羽久殿

受取

同日

入金壹両也

為替二

入金貳拾六両也

六兵衛殿方

市之助へ

香料ニ渡し

同断

入

同日

白岩楯

十七日

出金七拾五両也

新助方へ

出金貳朱也

市之助

うるし

引当テかし

東林坊様へ

十六日

水沢村

同日

入金四両也

太右衛門殿方

入金三拾三両

丁子屋

玉砂卜代之内

受取

喜内殿方

十五日

高砂屋

外◎廿七両ト三〇かへ

入金拾両也

三藏殿方

同日

水沢

受取

入金壹両壹分

太右衛門殿

十六日

白岩

三朱卜

砂卜等

入金三両也

小四殿方

貳貫九百三拾貳文

不足

十九日

入金老分卜

拾貳貫五十文

茂助方

生花代

木綿代差引二兩

受取

同日

出金老分貳朱

七貫五百文

三沢休駒

藥礼弘

谷地

十七日分

出金貳拾六兩也

六兵衛へ

返金

入金八兩三朱卜

五百八拾八文

野村屋

文蔵殿

玉砂卜代

不足入

廿日

出金七兩也

七浦

長沢屋

清吉殿へ

同日

入金五兩也

扇屋

民五郎殿

手拭地代

内入ル

同日

出金老兩也

山形

吉村

甚兵衛殿

状賃

見返渡

同日

入金四兩也

升屋

弥吉殿方

同断

鍋屋

同日

入金拾五兩也

平吉殿

入ル

彦兵衛殿入

錢かし

の方

同日

入金拾兩也

亀屋

同日

同人ち

周次殿ち

入金拾兩也

諸品代

同日

入金拾五兩也

小関屋

同日

内受取

七藏殿ち

入金拾壹兩

田丸屋

入ル

式朱也

庄兵衛殿

同日

入金壹兩壹分也

土屋

廿一日

白岩

小平二殿

入金八兩也

西村屋

入ル

長三郎殿

改七拾八兩壹分式朱有

同日

入

廿一日

白岩

入金五兩也

佐藤

入金拾三兩也

梅屋

小四郎殿

入ル

入金七拾五兩也

もりや

同日

柏屋

新助殿

入金七兩

弥藤二殿

用達金

式分壹朱也

砂卜代入ル

受取

井二日

長崎

同日

入金貳兩卜

七藏殿

入金三分也

同人方

井四貫文

砂卜代入ル

各利足人

出金壹兩也

惣兵衛へ

同日

かし

入金九兩三分

同人方

入 入金四百八拾三兩

壹分貳朱也

三朱也

諸品代

出

金三百四拾九兩

井三日

白岩

壹分貳朱也

入金三兩壹分

佐藤

指引

△ 金百三拾四兩

同日

小四郎殿

壹朱也

入金四兩三分

紅作殿

井二日

白岩

壹朱卜

五兩都合

式貫〇百五十文

廿三日

土屋

入金壹分

壹朱也

伊七b

入金貳兩貳分

小平二殿

トル壹朱

にて受取

貳朱也

同日

廿四日

田井

出金壹分一朱也

トル一朱

入金貳分

藤助殿

はね置

壹貫五百文

木綿代之内

同日

谷地

源次郎殿

入金三兩也

竹屋

入ル

喜左衛門殿

同日

前ノ

玉砂卜代入ル

出金貳分也

伊七へ

廿六日

山形

金札二面

出金三兩也

鳴屋

代かし

左右衛門殿へ

廿五日

白岩

靈前卜

入金八兩壹分

佐藤

通ひ表江払

拾八貫文

小四郎殿

同

九兩三分分

出金貳朱也

大坂状

同日

前

態持払ひ

同日

入金壹両貳朱也

鳴屋

遣人江

井七日

入金拾六兩也

田和田

与三郎殿

ろうそぐ代

受取

用達金

皆済入ル

つり巻メ三百文返し

同日

出金五拾兩也

小泉村

重兵衛殿

同日

入金貳朱也

錢うり

為替金

皆渡し

同日

入金四兩也

日和田

与三郎殿

同日

入金三分ト

土屋

小平二殿

用達金内

入

三拾九メ文

四兩也

同日

入金貳朱也

会津

大森定次方

同日

出金壹両貳分也

錢拾八貫文

茂助へ

同日

入金三分ト

寒河江

彦二郎殿

ト口銀三兩

壹貫文

□弓つる代

受取

晦日

さがへ

かし

引当テニ

入金五兩也

吉の屋

又三郎殿入ル

出金貳分也

小泉

重兵衛殿

善四郎殿

田地取次礼金

同日

入金五兩也

高砂や

三蔵殿

日和田

入

出金貳朱也

与三郎殿

田井

見舞酒代

入金貳百老朱卜

藤助殿^方

貳^ノ百五十文

木綿代二入

八月吉日

三分都合

入

二日

田井

^ノ金貳百七拾四兩貳分貳朱也

入金貳分老朱卜

藤助^方

出

貳^ノ貳百五十文

木綿代二入

^ノ金五拾五兩

三分都合

壹分三朱也

三日

差引

入金拾兩也

升屋

金貳百拾九兩

弥吉殿^方

三朱也

受取

同日

鍋屋

出金壹朱也

銭かへ

入金四兩貳分

平吉殿方

四日

畑中

三朱卜

受取

出金貳拾兩卜

卯作へ

百廿三又七百五十文 拾五兩都合

百廿貫文

三拾兩都合

同日

山形

代かし

入金七兩也

野崎屋

同日

染屋

善兵衛殿

入金拾八兩

勝三郎

太白代入

三分壹朱卜

用立金

出金貳兩貳分也

白木屋

拾貳又五百文

諸品代差引

義助殿

内金受取

染代渡

同日

出金貳分卜

吉村屋

入金貳朱也

銭売り

四百文

甚兵衛殿

五日

内桶

状賃皆済ス

入金貳兩壹分卜

小平次殿方

出金貳朱也

嶋屋

廿七貫文

受取

左右衛門殿

四兩二分都合

同断

同日

谷地

同日

入金壹兩壹分

浅吉殿

式朱卜 手拭地代

四百四十文 入

四日 白岩

入金拾兩也 梅屋

彦兵衛殿

入ル

同日

”

入金貳兩也

西村屋

長三郎殿入

同日

大石田

出金壹兩也

西塚

与市郎へ

紅花乱花

添金渡し

同日

出金壹分卜

右三箇

三百六十三文

御改料

同家へ渡し

六日

入金壹兩卜

四百文

谷地

野村屋

文藏殿

床銅四箇

利足金二

受取

七日

”

入金五兩也

紅屋

作藏殿入

茂助持

同日

”

入金五兩也

扇屋

民五郎殿

入

同日

出金壹朱也

林次郎へ
刺髮祝義

同日

小泉

出金壹分式朱也

桂岳へ

葵礼

同日

菅沼

同日

”

受取

出金三兩也

新助殿

出金壹兩貳分也

同人へ

添手金渡

片栗代

同日

上小泉

差引テ渡

出金七兩也

善五郎

つり四百五十八文受取

無尽初会

十日

出金

入金三兩ト

茂助方

八日

大坂

壹貫文

ト口引当テかし

出金貳百兩也

羽久殿ト

十一日

受ケ受取

東京

内楯

丁吟殿江

入金壹兩

小平次殿方

為替

三分壹朱ト

受取

貰つ

拾八貫文

入金壹兩

赤塚

同日

前小路

壹分也

庄吉殿方

入金貳兩ト

浅吉殿方

午年

壹メ五百文

南京銭

ろうそぐ代

壹メ代

十二日

白岩

式朱卜

喜左衛門殿

入金拾両也

満んちうや

六百七拾五文

砂卜代入

小四郎殿方

同日

紅屋

砂卜代之内

入金五両也

作藏殿

受取

二分封金二両

入ル

同日

宮内村

十四日

入ル

出金五拾五両卜

善六殿へ

出金老朱也

大坂状

百廿貫文

添代ニ相渡し

山形方賃

十三日

各庄次

彦三郎へ

出金貳分也

越後石住

渡し

平吉殿へ

口銭

同日

畑中

同日

西

入金貳両也

吉四郎殿

入金五両也

松木や

錢うり

六兵衛殿

入

木錢代ニ入

金三百拾九両

同日

谷地

貳分三朱也

入金貳両貳分

竹屋

出

金貳百九拾貳兩

十七日

日和田

貳分一朱也

入金壹兩也

与作方

差引

金貳拾七兩貳朱 有り

薄色木綿
内金受取

十四日

天童錢屋

同日

入金三分三朱ト

武助殿方

出金壹兩也

生樽荷へ

拾貳メ七百五十文

受取

大石田方

十五日

内楯

添金

入金壹兩

小平次殿方

同日

貳分貳朱ト

受取

出金壹分ト

御役料

拾六メ五百文

三兩都合

五百文

外ニ小遣共ニ

同日

谷地

十八日

七浦村

入金拾五兩也

丁子屋

出金五兩也

長沢屋

喜内殿

清吉殿へ

受取

染代渡し

同日

畑中

十六日分

入金貳分也

吉四郎へ

出金五兩也

友吉へ

錢うり

代かし

十九日

寒河江

入金三両卷分

友吉へ

入金五両也

吉又殿

式朱也

用立金之内

砂卜代入

受取

同日

同日

入金六両也

高砂や

出金者朱也

ト口老枚

三藏殿

はね置也

入ル

廿二日

入ル金五拾七両三朱也

入金式朱也

伴二郎へ

出ル金拾壹両卷分也

くすり代入

差引

同日

合 金四拾五両三分三朱也

入金式朱也

同人へ

合

錢うり

廿日

小泉村

同日

石川

入金壹両也

重兵衛殿へ

入金壹分式朱也

善太郎殿

布段壹巾

南京錢代

酒田への入用ニ

廿四日

受取

入金式兩三分

岩吉殿へ

廿一日

当所

式朱卜

受取

錢貳拾五貫五百文 五兩都合

廿五日

酒田

廿九日 出金六兩也

日和田 与作殿

出金拾兩也

池田や

代かし

十吉殿

西

長七下し

入金貳分卜

友吉殿

廿六日

当所

七百五十文

かし金

入金壹兩

友吉殿⁵

皆済入ル

壹朱也

廿九日

天童

同日

石川

入金五兩也

錢屋

入金貳歩也

善太郎殿⁵

武助殿へ

受取

入ル

同日

谷地

同日

日和田

入金壹兩貳歩下

小平二殿

出金貳拾五兩也

与三郎殿

拾六又文

受取

代かし

同日

田井

同日

山形

入金壹兩三分也

高福寺

出金三兩也

白木や

茶口代

茂助殿

入ル

染代渡

入

金六拾四兩貳朱也

六月吉日

朔日

出

金四拾四兩壹朱也

出貳百貳拾四貫文

小泉村

差引

金貳拾兩壹朱也

重兵衛殿へ
為替之内

あり

同

出百拾貫文

六兵衛殿

廿九日

山形

拾兩分かし

入金五兩貳朱也

高田

同日

弓太郎殿

出六貫七百五十五文

材木割

入ル

夫元吉へ渡し

同日

”

井日分

大工

出金五兩貳朱也

染勘殿

入壹貫〇五文

長吉

そめ代二

無尽内金

渡

返りせん

出金拾壹兩也

卯三郎へ

同日

日和田

直し

出貳百貳拾貫文

与三郎殿

同日 代かし式十兩分 出七貫文 源六へ
白岩 引当かし

出三拾三貫六百元 梅彦殿へ 入九百貳拾七貫百拾四文

三兩分かし 出

同日 野村屋 差引 七百拾三貫三百五拾五文

入貳百貳拾貫文 文藏殿方入ル 貳百拾三貫七百五拾九文

式十兩分 朔日分 野文殿へ

二日 紅屋作藏殿 拾兩分 出三貫六百元

入百貳拾貫文 十式メ分かへ はねちん

同日 畑中 返し

入四拾貳文 月無尽山王様分 四日 日和田

返りせん 大奉紙

同日 白岩 五帖代

出百拾貳貫文 梅彦殿 同日 荷口

代かし 拾兩分 出百貫文 藤三郎へ

三日 乱花

三日

前金渡

入ル

五日兩度

八日

丁字や

出貳拾貳貫五百文

入六拾貫文

喜内殿方

茂助へ

五兩分

同日

乱花代

受取

出五拾五文也

与三郎殿

三〇がへ

同日

五兩分かし

南

五日

同日

卯兵衛へ

出老貫四百文

玉砂卜貳駄

返濟

六日

水揚ヶ駄賃

同日

日和田

同日

西

入五拾五貫文

与三郎殿方

出六貫貳百五文

市之助へ

五兩分かし

同日

代かし

返り入

同日

北

九日

出貳拾貫文

茂助へ

出貳拾貫文

茂助へ

同日

渡し

乱花代渡し

同日

南

同

さかへ

入七貫五百文

卯兵衛方

入三拾六メ

大万郎方

玉砂卜代

五百文

受取

出拾貫五百

小遣帳

同

小泉

四拾五文

ゝる

入四貫文

清七方

入

ゝ三百七拾貳貫

元利取

貳百六十文

同

出

ゝ貳百四拾九貫

出四貫文

同人へ

七百貳拾五文

十四日

荷口

差引

百貳拾貳貫五百三拾五文

出百貫文

藤三郎へ

十一日

出拾五貫文

茂助へ

出拾貫文

喜六殿へ

生花代ニ

相渡し

同

荷造り入用

同

寒河江

出三拾貫文

茂助へ

入六拾貳貫

吉又殿b

乱花代渡

十四日

出六貫貳百五十文

市助へ

代かし

十五日

白岩

入六拾貫文

佐藤

小四郎殿

五兩分入ル

十四日分

内楯

入貳貫五百文

小平次殿へ

受取

お婦き持

十五日

谷地

入三拾六メ文

升屋

弥吉殿

三兩分入

同

小泉

入貳貫八百八十文

岩吉殿

かし金

十九日

利足取

出貳拾貫文

久三郎へ

日料ニ渡し

廿日

出拾貫文

同人江

生花代ニ渡し

卅日

天童

入八百四十文

錢武殿

はし入ル

同

出五百貳拾五文

田井江

田植日用

不足分渡

入

貳百九拾壹貫

貳百五拾五文

出拾貫九百

卅一日迄

六拾四文 小遣帳

ゑる

出

貳百老貫

七百三拾九文

差引

八拾四貫五百拾六文

同

出貳拾^(改)文

老分分入ル

高津屋

入五百文

甚右工門殿

太白代入

義助へ

乱花代

渡し

井二日

井四日

入三貫貳百文

入七貫百文

源六方

卷分貳厘分

小平二殿

入ル

引当かし

元利入

同

同

天童

入貳貫五百文

庄助方入ル

入貳拾四貫文

錢屋

引当かし

武助殿方

同

入ル

入三貫文

高砂や

同

出六貫九百文

岩木江

井八日

さがへ

乱花代渡

入六拾貳貫

吉又殿

茂助取次分

五百文

入ル

谷地

晦日迄

井五日

出三百七拾五文

三右工門へ

出貳拾七貫

小遣帳

山形へ

貳百五文

ゑる

ござたちん

水揚

入

出壹貫四百文

たちん

〆百八拾八貫

井八日

貳百五拾六文

出七百文

玉砂卜

出

水揚ケ

〆五拾四貫

同

貳百貳拾五文

出七貫六百文

卯三郎

差引

入湯ニ遣し

百三拾四貫

天満

六拾壹文

入九百七十文

そ八や

無尽返り

井六日

出老ノ四百文

高関

水揚

同

出三百七拾五文

返りせん
はね置

受取

七月

二日

出五貫六百

源六

出貳百五十文

同

鍋屋

平吉殿へ

八十七文

無尽返金

者分三朱卜

三百五十文分

三〇五がへ

同

入六貫文

さがへ

高砂屋

三日

入百貳拾貫文

丁喜殿へ

受取

同

入百貳拾貫文

なへや

平吉殿へ

四日

入四拾貳貫文

白岩

佐藤や

小四郎殿

入ル

十式メ文がへ三両式分分

同 北ノ

入式百文 榮作分

代かし

不足分入

四日 白岩

入壹貫貳百文 弥藤次殿方

白砂卜駄賃入

五日

出六貫百文 源六へ

無尽返金

取替金分

㊦うり

三〇五がへ

同

出六貫文

同人江

銭売り

式分ト三〇

同 出六拾三貫文

林二郎へ

五両老分ト

㊦売り分ニ

三〇がへ

四日

入九拾貫文

茂助

市助

発起

無尽金

同

入八貫五百五十文

同人無尽金

小泉鉄五郎分

半丁分入ル

小泉

五日 出六拾貫文

鉄五郎へ

代かし

市助へ

五日

出貳貫五百文

代かし

出六拾貫文

卯兵衛江

八日受取済

代かし

同

小泉

同

五両分

出三百五拾四文

武助殿

出三百文

同人へ

差引なし

出三百文

餅米代

同

小泉

同

つりせん

出六拾貫文

重兵衛へ

同

卯作へ

為替金内渡

出百貳拾貫文

五両分

◎売り

同

拾両かし

入四拾五メ文

土屋

六日

原村

小平二殿

出百六十貳文

勘内殿へ

三両三分入ル

玉砂卜代

同

高砂屋

同

新田

三蔵殿

出三貫文

喜六殿

貳両分入ル

荷宿札

六日

七日

石川

入六拾貫文

安達

五〇〇〇

市郎兵衛殿ち

入

五兩分入

六百八拾老貫

同

拾老文

出六貫文

市之助へ

出

日料ニ渡し

四百拾貳貫

貳分分

七百八拾八文

八日

谷地

差引

入三拾貫文

野文殿

貳百六拾八貫

貳兩貳分分入ル

貳百貳拾三文

同

内たで

一貳貫文

調べ過

入老貫五百文

小平次殿

あり

入ル

九日

寒河江

同

入三拾六貫文

善四郎殿ち

出拾九貫六十文

小遣帳

三兩分玉砂卜代ニ

ズる

受取

入貳貫五百文

市之助殿

同

のむらや

入ル

入三百文

太白

たちん

出老貫七百

蔵増へ

同

廿五文

干草代済

出七貫五百文

蔵増へ

七月拾日

茂助へ

干草代

入老貫八百五十文

無尽金

同

市助へ

入ル

出六貫文

貸かし

十日

同

出三貫百五十文

月蔵院

入六拾五文

庄助

市助

引当なし

無尽金取

はし受取

返し

十日

十一日

七浦

入三百文

庄助へ

出六拾貫文

染屋殿

かし取

五両分

同

南

同

土屋

出五メ文

友吉へ

入式拾四貫文

小平次殿

代かし

式両分入ル

同

十二日

入老貫貳百五十文

売立

改メ入ル

市助へ

渡し

同

出老貫四拾五文

庄助へ

同

出貳貫五百文

市助へ

日用渡

錢かし

十二日晚

同

出七拾貳貫文

伊七江

入貳拾四メ分

松屋

六兩分

六郎兵衛殿

代かし

貳兩分入ル

十三日朝

同

出老貫文

庄助へ

入老貫三百五十文

文吉方

代かし

賃利足入ル

同

入老貫貳百八拾五文

卯兵衛方

同

入七拾六貫

野村屋

ろうそく代

三百五十文

文蔵殿

入ル

太白代

同

出五百文

草山手

十三日

谷地

出百八貫文

小藤二殿

銅引当賃

同日

畑中

出拾貳貫文

栄助へ

同日

貳兩貳分下
貳百文分

老兩分

入拾八貫七百

染屋

代かし

五十文

弥四郎殿

十四日

入拾七貫貳十文

林二郎方

同

受取

谷地小関屋

入百四拾七貫

周次殿方

木錢代目料

五百文

受取

差引不足

十五日

畑中

老兩老分貳朱卜

権内倅

五百十五文分

出六貫文

寅吉へ

受取

代かし

十五日

内楯

入八拾四貫文

小平次殿方

同

石川

七兩分受取

入六拾貫文

安達

同日

和田

市郎兵衛方

入三拾貫貳百文

幸右工門殿方

受取

同

出百三拾八文

同人

銅錢三兩

十卷文

小數不足

十七日

谷地

入三百貳拾四貫文

丁字屋

喜内殿 入

井七兩分

同日

出三百七拾五文

同人へ

銅三十文

數不足賃

十七日迄

出三拾五又文

小遣帳ニ

出し

入

千百拾八貫

四百四拾三文

出

三百貳拾三又

九百三拾文

差引

七百九拾四貫

改有

五百十文

十七日

水沢

入貳貫九百三拾貳文 太右工門殿

玉砂卜代入

同日

白岩

入六拾貫文

佐藤や

小四郎殿

五兩分入ル

同日

畑中

入六貫九百六十文

元吉方

引当かし

内入ル

南

同日

出四拾八貫文

如兵衛へ

錢うり

十八日

出七貫七百

友吉へ

十三文

乱花代二

渡ス

十九日

入拾貳貫五十文

茂吉へ

生花木錢代

差引二面

受取

同日

入四貫五百文

友吉へ

かさ代入ル

同日

入貳貫三百

同人へ

廿五文

代かし

九六がへ

銅百五十文かし

受取

卅日

入五貫文

友吉へ

代かし

受取

同日

入貳百四拾八貫

七藏殿へ

七百五十文

受取

同日

入五貫貳百文

野村屋

文藏殿

小差引過

受取

同日

入五百八拾八文

同人へ

玉砂卜代

はし入ル

出六拾貫文

重兵衛殿

谷地

同日

三沢休庵

入

為替之内

藥礼

千弍百弍拾九貫

弍分弍朱分

六百拾五文

井一日

谷地

出

入三百文

小升屋五

百弍拾三貫

白木綿駄賃

弍百拾三文

受取

差引

井二日

さがへ

千百六貫四百弍文

入六拾弍貫

吉又殿

内

五百文

入ル

弍貫四百文 荷不足

同日

長さき

七月井二日

入弍拾四貫文

七蔵殿

出拾貫文

高湯行

砂卜代

入用

弍両分

同日

同日

小泉

出拾貫文

小遣帳二

出し

廿三日

白岩

入拾九ノ五百文

佐藤

小四郎殿

入ル

同日

谷地

入三拾七貫

五十嵐

九百丹文

庄次郎殿

太白代入ル

同日

〃

入貳貫貳百五十文

紅作殿

三朱分入ル

同日

〃

入三百七拾五文

丁喜殿

はねかし入ル

同日

入六拾貳貫

亀屋

五百文

周次殿入ル

廿四日

出九貫文

市助へ

三分分

代かし

同日

田井

入拾五貫八百丹文

源二郎殿

手ろうそく代

入ル

同日

〃

入老貫五百文

同人ち

貳朱卜

木錢代入ル

同日

小泉

出貳百四拾貫文

重兵衛殿

為替金

貳拾兩分

廿五日

白岩

入拾八貫文

佐藤

小四郎殿

同日

六供町

入ル

入巻貫文

彦二郎殿方

同日

藤弓つる

入巻貫貳百文

同人方

はせん受取

口かし

同日

会津

代かし受取

入三百文

大森

廿六日

畑中

定次殿方

出六拾貳〆五百文

与蔵へ

香料ニ入

代かし

廿七日

日和田

同日

要害

出百貳拾貫文

与三郎殿

入五貫文

弥右工門殿方

拾兩分

ろうそく代 入

代かし

同日

山形

同日

小泉村

出巻貫三百文

芳吉殿

出六百三貫

重兵衛殿

ろうそく代

三百四拾貳文

為替金

つり返し

皆渡し

廿六日

同日

長崎

出巻貫五百文

銭うり

入貳拾貫百八拾貳文

七蔵殿

砂卜代不足

廿七日

入ル

出拾八貫文

茂助へ

谷地

行当テニ

同日

入三拾九貫文

土屋

廿九日

かし

小平二殿

出四貫文

乱花

三両一分分

添銭ニ

渡ス

入ル

野田

出拾貫文

小遣ひニ

舟橋ちん

出し

同日

さがへ

入

出貳百十五文

三門屋

千三百三拾貫

晦日

善四郎殿

九百四拾九文

入七貫四百十四文

砂卜代不足入

出

千七拾貫

〃

四拾貳文

同日

同人ち

差引残

入八貫貳百五十文

午年卜分へ

貳百六拾貫

貳分三朱分

九百七文

入ル

四拾九貫

同日

谷地

貳百九拾六文

入貳百分

西喜五

八月

状ちん入

同日

谷地

二日

田井

出五貫貳百五十文

小藤二へ

入貳メ貳百五十文

藤助殿五

貳匁礼

三朱ト

引当かし

木錢代二入

同日

三日

山形

出貳百貫文

当百ニ而

出四百文

吉村

はね置

状ちん払

入

同日

田井

入 貳百七拾六貫

出 貳貫文

藤助殿

七百七拾一文

立かへかし

出

但山形五印形代立かへ分

入 貳百貳拾七貫

同日

四百七拾五文

入 七百五十文

山かたえ

差引

錢かへ

同日

なへ屋

入百廿三メ七百

平吉殿方

五十文

拾両者分

杏朱分

三〇がへ

同日

出卅五貫文

小遣ニ

出し

四日

畑中

出百卅貫文

卯作

拾両分

代かし

同日

白岩

入六拾メ五百文

小四郎殿方

受取

同日

小泉

入拾式メ五百文

勝三郎

壹両分

用立金ニ受取

同日

出壹メ五百文

五日

出拾式貫文

小遣ニ
出し

同日

内楯

入式拾七貫文

小平次殿方

貳両者分

受取

同日

谷地

入四百四十文

浅吉殿

手掛地代入ル

四日

出三百六十三文

紅花乱花

大石田翁印

御改承はし

渡し

同日

出三百文

大石田行

小遣仕入帳ニ入ル

同日

入八十壹文

乱花の

添銭過入

八月五日

出拾五貫文

市助へ

引当賃

同日

出拾五貫文

同人取次

茂助分

引当足

六日

谷地

入四百文

野村屋方

床銅の利足

端銀受取

同日

出三貫文

両所へ

入

干草代

〆式百七拾八貫

九百七拾七文

出

〆百九拾四貫

五百六拾三文

差引

八拾四貫四百四文

入百貫文

当□□□し

出三貫百五十文

調べ不足

八日

天童

入拾貳貫文

福嶋屋

竹五郎殿

大黄代ニ

受取

九日

貫津

入四百五十八文

庄吉殿

同日

片栗代

入耆メ五百文

浅吉殿

つりせんへ

南京銭代

同日

南兵衛様

十二日

式朱分

出耆貫四百文

水揚

出百廿貫文

宮内村

同日

同日

善六殿

同日

小遣ひニ

十三日

拾両分

出拾貫文

出し

入六百七拾五文

漆代ニ渡し

十日

義助

谷地

竹屋

入耆貫文

ト口引当テ

喜左工門殿

入

かし

利足取

十四日

畑中

内楯

小平次殿

出式拾四貫文

吉四郎殿

入拾八貫文

耆両二分分

同日

式両分

受取ル

出式貫百文

同日

高関水揚

銭うり

高関水揚

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

三駄分

同日

出五貫式百五十文

市助分

引当賃

同日

天童

入拾式又七百

錢屋^方

五十文

老兩一朱分

受取

同日

出拾貫文

小直二

出し

十五日

出四貫文

生漆

老駄

大石田迄

添錢

同日

出式百五十文

野田

橋船ちん

同日

入拾六又五百文

小平次殿^方

老兩老分式朱分

同日

出老又五十文

新吉へ

水上ヶ駄賃

同日

出七百文

同人

同断

十七日

出六貫文

吉四郎へ

錢うり

十七日

出五百文

大石田行

入用

仕入品分

入

ノ式百四拾七貫

式百八拾七文

出

ノ百八拾八貫四百文

差引

五拾八貫八百八拾七文

ノ

内 拾メ文 瀬見行

十九日

出拾貫文

小遣ひニ

出し

廿一日

入三拾八貫文

高砂屋

三藏殿方

受取

廿二日

出老貫五百文

伴二郎へ

錢うり

廿四日

入式拾五貫五百文

小畑

岩吉殿

式兩式朱分

同日

出四貫五百文

畑中

兵四郎へ

賃かし

廿六日

入拾六メ文

小平二殿

老兩老分

五匁分

同日

出拾貫文

小遣ひニ

出し

廿六日

入拾五貫五百文

石川

善太郎方

わた代入ル

廿八日

入六貫文

庄助方

同日
わた代

〆百六貫文
差引

出拾貫文
源六へ

五拾四貫

代かし

六百三拾七文

井九日

入七百五十文

友吉へ

一朱分入ル

(表紙)
「日塔久左衛門」

同日

出六拾貫文

同人へ

五兩分

代かし

八 覚

同日

出拾貫文

小遣二

出し

(表紙)
「覚」(小冊子)

入

〆百六拾貫

明治四年未正月大吉日

(中略)

六百三拾七文

(一) 金銀貸方覚(抄)

出

午正月改かし

高関河岸

一、金壹兩壹分三朱卜百文 平助

内

五拾七匁七分五厘 午藏敷

三拾八駄半

壹匁五分から

金壹兩卜

未藏敷

三拾匁六分四厘

差引

金貳兩壹分三朱卜

三百五十六文

差引而

金壹兩卜貳百五十六文

申四月廿日相渡済

午十二月改

大久保

一、金拾兩也

久次郎

午六月

一、金壹分也

彦助分

紅花百匁代かし

右金貳兩也 利金として入

申正月十八日

(朱書)

「申大帳二写し」

(二) 金銀差引覚(抄)

未三月廿六日沢潟代過渡分

一、金壹兩貳分貳朱也

同四月十一日同断

一、金貳兩壹分卜

壹匁三分七厘

金三兩三分貳朱卜

壹匁三分七厘

此り拾匁五分三厘壹五 六月迄三ヶ月分

午暮諸品大差引残

一、金五兩三分三朱卜

壹匁六分三厘

未六月四日

同六月十四日 兩度二

一、錢貳百貫文 乱花買手当渡

拾貳貫文かえ

此金拾六兩貳分貳朱卜

貳匁五分

ノ金貳拾六兩壹分三朱卜

拾六匁八厘

内

金拾壹兩壹分卜

乱花七貫匁代

貳匁四分

六式かへ受取

金壹分也

沢潟代口錢

壹貫九百八十六文

六月廿六日

右受取

此銀九匁九分三厘

ノ金拾壹兩貳分卜

拾貳匁三分三厘

差引残

金拾五兩也 不足

内

金五兩也

七月朔日受取

金四兩貳分也

同六日受取

(三) 諸用附込覚

山形高弓殿出し

仕切覚

今印乱花 貳本

皆掛拾壹貫四百目

拾貳貫目

ノ貳拾三貫四百目

内壹貫七百匁

風袋

又七百匁 三ノ入

引ノ貳拾壹貫目

此斤貳百拾斤

拾七匁五分がへ

代銀三貫六百七拾五匁

六〇

此金六拾壹兩壹分也

内

金壹兩壹分 売口銭・蔵しき共

永壹匁 貳歩引

金三兩壹分三朱 ソルカ方手板不足

永三匁五分四厘

金四兩貳分三朱ト

永四匁五分四厘

引金五拾六兩貳分ト

永壹匁七分壹厘

右之通出情御任切代金差引ニ入不残相渡し、此表無出入

相済申候、已上

明治四年

辛未三月二日

万久殿

羽久

乱花貳百拾斤

拾七五がへ外二五分方仕掛

拾八がへ

代金六拾三兩也

内金四兩貳分三朱 諸かかり引

永四匁五分四厘

差引金五拾八兩貳分

永壹匁七分壹厘

差引ニ入レ相済

(四) 紅花仕切覚

百拾六兩がへ

一、金貳百七拾兩

公舞鶴印

貳分三朱

廿式入 三丸

永貳匁七分五厘

拾壹袋

同紅雲印

廿壹入 三丸

拾壹袋

百五拾老袋

五匁欠七百五拾五匁

老袋六分位

引百四拾九袋三分六

百十式兩がへ

一、金百八拾五兩 同勢紅印

式分也 廿老入 式丸

廿式入 老丸

同最上一印

廿老入式丸

百六袋

金四百五拾六兩三朱卜

永式匁七分五厘

内

金六兩三分一朱卜 老半歩引

永三匁七厘

金老分式朱也

藏敷

引

金四百四拾八兩三分三朱卜

永五匁九分三厘

右之通出情買入代金不殘相渡し、此表無出入相濟申候、

万一箇荷之内拔袋違花又者算違等候ハ、重而差引可仕

候、已上

明治四年 羽州屋

辛未五月四日 久右衛門

重兵衛殿

勝三郎殿

覚

一、金百六拾五兩也 紅花引当為替かし

一、金拾六兩式分也 午十二月方未四月迄

五ヶ月

式分利足

卷下包

一、百六拾式匁 藍玉式筒

運ちん

百匁かへ

此金卷両式分卷朱卜

永五匁七分五厘

一、百式匁五分 同

一、九拾式匁 同

一、八拾壹匁五分 同

一、三拾七匁五分 同

四百三拾九匁五分

百匁かへ

金四両卷分式朱卜

永式匁

一、百八匁 蒲口

此金卷両卷朱卜 卷筒

永壹匁七歩五厘

式百拾七両式朱卜

永壹匁三歩七厘

右之通紅花仕切代金ニ差引、此表無出入相濟申候、已上

未四月 羽久印

重兵衛様

勝三郎様

一、百式拾六匁 麻上下

七五掛正ミ 拾式帖

五貫五百九拾八匁七分五厘

一、四拾匁 荷造り

一、七拾匁 青莖式杖

五貫七百八匁七分五厘

式百匁かへ

此金式拾八両式分卜

永四匁三分七厘

右差引

為替金高

金貳百三拾壹兩三分壹朱卜

永四匁五步七厘

六月朔日

内 金貳拾兩也

錢二而相渡し

同 六日

又 金六拾兩也

金札二而同断

七月五日

又 金五兩也

錢二而相渡

同 七日

又 金貳拾五兩也

金札二而相渡

七月廿二日

又 金五兩也

錢二而相渡

同 廿四日

又 金貳拾兩也

同断

金百三拾五兩卜

丁百四十式匁五步

差引残

金九拾六兩三分壹朱卜

丁貳百七匁九步六厘

此金三兩壹分三朱卜

壹匁七步八厘

合金百兩壹分卜

壹匁七步八厘

右へ金五拾兩也

七月廿七日

金札二而相渡

六百三貫

三百四拾七文

錢二而相渡

此金五拾兩壹分卜

壹匁七步八厘

七月廿七日 相渡

(五) 紅花仕切覚

△吉野 式拾式入 五丸

ノ百拾袋

此駄沓駄七分沓八七五

沓駄ニ付八拾八両がへ

代金百五拾沓両沓分也

同銚袴 式拾沓入 五丸

ノ百五袋

内さし花五袋あり

此駄沓駄六分四六二五

沓駄ニ付押上八拾三両がへ

代金百三拾六両

永拾七匁沓歩八厘

△銚稀 式拾三入 三丸

ノ六拾九袋

此駄沓駄〇七八沓二五

沓駄ニ付八拾式両がへ

代金八拾八両

永四拾匁六歩式厘

同高谷 式拾式入 三丸

ノ六拾六袋

内別花沓袋有

此駄沓駄〇三沓式五

沓駄ニ付八拾五両がへ

代金八拾七兩卜

永六拾五匁六歩式厘

△開 廿沓入 式丸

羽 廿二入 式丸

ノ八拾六袋

内三袋えさし花あり

同狸々廿沓入 四丸

ノ八拾四袋

内式袋庄兵衛卜古蔵行

引ノ八拾貳袋

二口ノ百六拾八袋

此駄貳駄六分二五

壹駄ニ付八拾五両也

代金貳百貳拾三両壹分也

△大関 貳拾貳入 四丸

ノ八拾八袋

此駄壹駄三分七五

壹駄八拾貳両がへ

代金百拾貳両三分也

同小廿貳入 壹丸

町廿三入 貳丸

ノ六拾八袋

此駄壹駄〇六二五

壹駄ニ付八拾壹両がへ

代金八拾六両

永六匁貳歩五厘

△稀廿壹入 貳丸

雨廿貳入 貳丸

ノ八拾六袋

此駄壹駄三分四三七五

壹駄七拾八両がへ

代金百四両三分壹朱也

△大廿三入 貳丸

力廿貳入 壹丸

ノ六拾八袋

外拾貳袋 朝日印ニ造合

ノ八拾袋

此駄壹駄貳分五厘

壹駄ニ付七拾五両がへ

代金九拾三両三分也

永七匁八歩壹厘

△朝日 廿式入 式丸

×四拾四袋

×金千貳百三拾三両

永六拾八匁七歩三厘

内十式袋 大力印引

袋数九百六拾壹袋代

引×三拾貳袋

平均八十式両壹分上り

此駄五分

壹駄八拾五両がへ

代金四拾貳両貳分也

一、金拾貳両

右袋代

永貳拾匁

壹駄ニ付

同金廿三入 壹丸

金三分一朱かへ

兩廿式入 三丸

四丸ニ付貳分ツゝ

×八拾九袋

右四十四丸

此駄 内壹袋 別花あり

一、金四両貳朱也

四丸ニ付

壹駄三分九〇六二五

外金壹両壹分貳朱也 貳分□

壹駄ニ付七拾七両がへ

荷造り繩薙代共

代金百七両下

×金五両貳分也

二重荷造り

一、金四兩貳分也 東京行四拾箇

山形登たちん

一、永拾匁 四丸酒田行

高関までたちん

一、金七兩貳分ト 右買方ニ付

七歩八厘 目早口銭

一、金七兩貳分ト 宿口銭

七分八厘

々金三拾七兩ト

三拾壹匁五歩六厘

合金千貳百七拾壹兩ト

貳歩九厘

平均八拾四兩貳分貳朱上り

申七月

仕切覚

△乱花 壹箇半

皆掛□正ミ□

々拾七貫貳百目

内六百目 壹箇分風袋引

又五百拾六匁 三ノ入引

引々正ミ

拾六貫八十四目

百目ニ付十六匁貳分がへ

代貳貫六百〇五匁六分

内五拾貳匁 売口銭

壹分貳厘 蔵敷

貳歩引

引々正味

貳貫五百五拾三匁

四分八厘

六〇かへ

此金四拾貳兩貳分ト

(六) 諸用附込覚

大坂羽久殿江差向ヶ分

永五匁八歩

永三匁七歩四厘

△朝日紅花

廿二入壹丸

又永四匁五歩

かゝり水上駄ちん

さし三袋

又永三匁壹歩貳厘

藏敷

別花壹袋

小 金四兩壹分貳朱卜

永三匁三歩三厘

未極月切

△廿六袋

引 金八拾六兩三分貳朱卜

永貳匁四歩七厘

代金四拾八兩三歩也

二口 〆

金九拾壹兩壹分卜

右之通相對ヲ以買極メ、此表無出入相濟申候、以上

未十二月

差引ニ而濟

永五匁八歩

申正任切下り

羽 久

内

金貳分壹朱卜

壹半歩引

永五匁六歩貳厘五

又金三兩貳分卜

乱花貳丸

永五匁壹分

紅花壹丸共

手板不足

(七) 仕切覺

巳年下し

一、唐大黃

貳箇

又金貳朱卜

三ヶ月利足

貳百四十六

四拾八斤入

式百四十五 四拾九斤入

九拾七斤

内四百五拾目 売付目切引

差引九拾五斤

斤十卷五がへ

代老實九拾式匁五歩

六〇

此金拾八兩卜

永式拾匁八歩三厘

内

永百四拾五匁 桶屋清吉船

右式箇酒田迄運ちん

拾式匁 六〇 酒田藏敷

拾匁 五〇 演吉川錢共

式拾卷匁 十〇九式

川船運ちん

八歩四厘

八拾式匁九歩九厘 右合力

三八掛ケ

式拾八匁

式箇二而十四兩がへ

式分酒田御役

壹匁五歩

谷地河岸

片荷藏敷

三匁五歩

同所方内まで

駄ちん

七匁五歩

袋損じの分

仕替紙代

小以三兩卜

永拾四匁三歩三厘

差引

金拾五兩卜

永八匁五歩

同月十六日出仕切為登差引帳二入ル

(八) 申ノ紅花仕入覚

吉の村

一、吉野 廿二入五丸

ノ百拾袋

代金百四拾九両壹分三朱卜 八七がへ

永壹匁三步

大久保一番口

一、緋袴 廿二入五丸

ノ百袋

八十壹両壹分がへ

代金百廿六両三分貳朱卜

四匁五歩

外二赤口さし

五袋

五十五両貳分がへ

代金四両壹分卜

永八匁

大久保二番口

一、緋稀 廿三入三丸

ノ六拾九袋

七十六両二分がへ

代金八拾貳両壹分貳朱卜

四匁五歩

一、高谷 廿二入三丸

ノ六拾六袋

内高谷別口壹袋あり

八十壹両三分貳朱がへ

代金八拾四両壹分貳朱卜

永六匁七歩

長表口

一、関羽 廿壹入貳丸

廿二入貳丸

ノ八拾三袋

代金百七兩貳分貳朱ト

三匁七歩五厘

外二黒口さし

三袋

五十五兩貳分がへ

代金貳兩貳分壹朱ト

三匁五歩

高関口

一、大関 廿二入四丸

八拾八袋

七十六兩二分貳朱かへ

代金百五兩三分貳朱也

大町口

一、小町 廿二入壹丸

廿三入貳丸

六拾八袋

七十六兩貳分壹朱がへ

代金八拾壹兩壹分貳朱也

荷口

一、稀雨 廿壹入貳丸

廿二入貳丸

八拾六袋

七十七兩貳朱がへ

代金百三兩貳分貳朱ト貳匁

北口

一、狸々 廿壹入四丸

八拾四袋

内貳袋 白岩庄兵衛殿分引

差引八拾貳袋也

七十九兩二分かへ

代金百壹兩三朱ト

永六十三匁

要害

一、朝日 廿二入式丸

ノ 四拾四袋

内十式袋 大力印也

差引三拾式袋

八十九両がへ

代金四拾四両式分壹朱卜

壹匁式歩五厘

諸方口

一、大力 廿三入式丸

廿二入壹丸

ノ 六拾八袋

外二十式袋 朝日印ニ造合

ノ 八拾袋也

七十両式分がへ

代金八拾七両式分三朱卜

四十三匁

廿一入十三丸

ノ 八百七拾四袋 廿二入廿丸

廿三入七丸

ノ 四十九

右者山形吉田屋庄兵衛殿江向ケ、東京行ニ相頼候事

伊勢利殿分元木林兵衛殿方買入候

一、金雨 式十三入壹丸

廿二入 三丸

ノ 八拾八袋

七十壹両がへ

代金九拾八両三分卜

壹匁壹歩八厘

右者川船江積下し酒田表江向ケ為積登候事

十三口

ノ 金千百七拾九両式朱卜

永式百八拾六匁四歩三厘

九百六拾壹袋

平均七十八兩三分上り

(九) 上方為登覺

漆仕切覺

酉三月廿一日買

繩ふた板除 貫二付金四兩三分式朱替

△ 八貫四百五拾目 十六

八貫四百五拾目 十一

八貫五百目 十三

八貫五百目 十九

八貫三百五拾目 十八

八貫六百目 十七

八貫九百五拾目 十五

八貫四百五拾目 十四

八貫六百目 廿

八貫五百目 十式

八拾五貫三百五拾目

内 五貫目 入目引

七貫七百目 風袋引

老貫五百四拾目 式増引

拾貫式百四拾目

正味

漆七拾老貫百拾目

代金三百四拾六兩式分式朱卜

永三匁六歩式厘

二付金三兩替

右居粕正五貫目

代金拾五兩也

金三百六拾老兩式分式朱卜

永三匁六分式厘

内金三拾六兩式朱卜 仲買歩引五分

永四匁老歩老厘 問屋口錢

五分引

正金三百式拾五兩式分也

四分八厘 過

内金六兩貳分卜 五月十日限り

永老勿老步 貳分利足引

差引

正味金三百拾九兩卜

永六步貳厘

明治六 大坂本町老丁目

酉四月 漆問屋

齊藤嘉兵衛

右者去申九月為登候品也

覚

漆仕切

△印 貫二付金三兩老分式朱替

廿老 九貫目

廿三 九貫目

廿四 八貫九百目

〳 貳拾六貫九百目

内老貫五百匁 入目

貳貫三百拾匁 風袋

四百六拾匁 同増

〳 四貫貳百七拾匁

正味漆廿貳貫六百廿目

代金七拾六兩老步貳朱卜

永老步貳厘

△ 〳 二付金四兩替

廿貳番 八貫九百目

内五百匁

七百七拾匁

百五十匁

〳 老貫四百貳拾匁

正味漆七貫四百八拾目

代金廿九兩三分式朱卜

永四匁五步

金百六兩壹朱卜

永四匁六步六厘

金拾兩貳分貳朱卜 仲買口錢五分引

永四步六厘 問屋口錢五分引

正味金九拾五兩

貳步貳朱卜

四匁壹步六厘

明治六年 大坂本町壹丁目

酉六月七日 齋藤嘉兵衛

(十) 紅花仕切記

灸銚袴 貳拾貳入 四丸

八拾八袋

此駄壹駄三分七五

壹駄ニ付九拾壹兩がへ

代金百貳拾五兩

永拾貳匁五步

同銚稀 貳拾壹入 四丸

八拾四袋

此駄壹駄三分壹二五

八拾九兩がへ

代金百拾六兩

永八拾壹匁貳步五厘

灸銚王 貳拾壹入 貳丸

貳拾貳入 壹丸

六拾四袋

此駄壹駄也

代金八拾四兩也

灸吉野 貳拾三入 五丸

百拾五袋

此駄壹駄七分九厘六八七五

九拾三兩がへ

代金百六拾七兩

永十匁九歩四厘

灸小町 式拾壹入 四丸

灸狸 々廿三入 三丸

八拾四袋

式入 壹丸

此駄壹駄三分壹式五

九拾壹袋

九拾式兩がへ

此駄壹駄四分式厘壹八七五

代金百式拾兩

八拾七兩がへ

永七拾五匁

代金百廿三兩

同丸兩 式拾壹入 四丸

永七拾匁三步壹厘

八拾四袋

同関羽 式拾壹入 五丸

同稀兩 式拾壹入 五丸

百五袋

百五袋

内式袋 古花さし有

二口百八拾九袋

此駄壹駄六分四厘〇六二五

此駄二駄九分五厘三壹式五

八拾四兩がへ

八拾兩がへ

代金百三拾七兩

代金式百三拾六兩

永八拾壹匁式歩五厘

永式拾匁

灸朝日 式拾式入 四丸

八拾八袋

此駄老駄三分七五

八拾五両がへ

代金百拾六両

永八拾七匁五歩

同日の出 式拾式入 四丸

八拾八袋

此駄老駄三分七五

八拾六両式分がへ

此代金百拾八両ト

永九拾三匁七歩五厘

灸金雨 式拾式入 四丸

八拾四袋

内七拾袋 金雨印

六袋 さし花

八袋 別花

此駄老駄三分老二五

七拾八両がへ

代金百貳両ト

永三拾七匁五歩

同大力 式拾式入 老丸

内大力印 式拾老袋

別花 老袋

式拾式袋

此駄三分四厘三七五

七拾五両がへ

代金貳拾五両ト

永七拾八匁老歩式厘

金千四百七拾五両ト

永五拾三匁老歩式厘

袋数千百式袋

此駄拾七駄式分壹厘八七五

平均八拾五兩七拾匁上り

一、金八兩六拾匁九步四厘 宿口銭
〆金五拾四兩

永五拾三匁八步三厘

一、金拾五兩 右袋代

永六匁六步四厘 壹駄二付

惣〆金千五百三拾兩

永六匁九步五厘

一、金五兩卜

荷造り繩薙代

(明治六年)

永五拾七匁八步壹厘 五十壹丸卜

酉八月三十日 仕切為登

八分壹厘

但四丸二付

(土)紅花仕切記

壹分三朱がへ

一、金壹兩卜

高関河岸たちん

灸大頗 式拾壹入 四丸

永三拾匁

并二分銅屋藏敷共

〆八拾四袋

一、金四兩

五十壹丸

永八拾七匁五步

酒田迄運賃

同随一 式拾式入 四丸

一、金拾兩貳分也

手板六通

内乱花 式袋引

酒田ふり添金

引〆八拾六袋

一、金八兩六拾匁九步四厘

目早口銭

内別花 壹袋有

二口ノ百七拾袋

此駄式駄六分五六二五

押込メ八拾二両ガヘ

代金式百拾七両

永八拾壹匁式歩五厘

灸開運 式拾式入 三丸

ノ六拾六袋

同紅梅 式拾壹入 四丸

ノ八拾四袋

内考袋さし花有

二口ノ百五拾袋

此駄式駄三分四厘三七五

押込八拾七両式分ガヘ

代金式百五両

永七匁八歩老厘

灸勢 廿式入 壹丸

紅 廿壹入 八丸

ノ百九拾袋

此駄式駄九分六厘八七五

壹駄二付八十六両ガヘ

代金式百五十五両

永三拾壹匁式歩五厘

一、乱花 式袋

正味ノ六百匁

両二九百匁ガヘ

代金六拾六匁六歩

ノ金六百七拾八両

永八拾六匁九歩老厘

一、永七拾五匁

老歩八厘

五十五袋共

右之内

さつ買之分

一、金三兩卜拾貳匁 廿四丸荷造り入用

二重造り共

四丸ニ付

貳分貳匁ツ、

目早口錢

壹駄貳分ツ、

一、金四兩也

宿口錢

金拾壹兩卜

永八拾七匁壹步八厘

二口、金六百九拾兩

永七拾四匁九厘

此金貳步三朱卜

五匁三步四厘

合金六百九拾兩貳分三朱卜

五匁三步四厘

(明治六年)

西十一月

是を諸用附込口ニ出し

(土)小鵜飼艇銘細控

大石田 市右衛門

田井 源二郎

一、金拾兩也 船板代

一、五拾八貫五百文 釘六百五十匁

一、九貫文 小釘百五拾本

一、拾貳貫文 鏝六十丁

一、金壹分也 火繩代

一、金三兩貳分也 大工日料

一、金壹兩也 大石田方田井村迄

船為登賃

一、金壹分壹朱也 帆柱壹本

一、金三分也 かへ三枚

一、金壹分也 船小屋

荷物台、いろりこも

△金廿四兩ト 兩替十〇

百廿五文

内金貳分三朱 初注文ニ付

百廿五文 別段直引

差引而

金廿三兩壹分壹朱也

内金拾九兩也 当九月廿五日相渡

金三兩貳分也 同十月十一日相渡

金壹兩壹分壹朱也 同日田井ニ而渡

一、六貫七百文 石つき四丁

一、金壹兩也 糸代

一、金壹兩ト四百文 ござ三十枚

一、金壹朱ト七十文 竹代

一、三貫文 棹代

一、八百文 細木代

一、六貫文 船祝ひ、台おろし

酒の肴代

△金三兩三分ト九拾五文

一、八百三十文 石つき壹丁

棹拵賃

一、六百文 水すくへ

一、六貫百文 酒田江下の酒代

一、金貳分也 小鵜飼船

免許願ひ入用

△金壹兩壹分ト

三十文

一、金壹分也 松八分板□□代

一、三貫文 蕨三十枚

小鵜飼壹艘代并諸道具諸入用とも

合金廿八兩三分貳朱也

内金廿貳兩也 船代

金六兩三分式朱也 諸道具

一、金廿貳兩貳分也 是た 二尺七寸

長さ 八間

内金三兩壹分式朱也 運上入ル

内金拾兩也 酉六月二日相渡

金貳兩貳分也 下運ちん新府入ル

金九兩也 塩代金ニ而差引

金三兩貳分也 右船損じ付

源二郎

下夕物払代金入ル

金三兩貳分也 船下夕物代

ノ九兩壹分式朱也

ノ廿貳兩貳分也

差引損金拾九兩貳分也 損

外、諸道具先々船仕立之分不殘相用ひ候事

尤諸道具不殘有之候事

酉三月十三日 乗子作治

一、金三兩也 舛吉

酉四月三日、大久保川岸下夕見当石ト云石ニ而、同日八ツ半頃、破船ニ相成候事、但御城米三拾八表積入外とも

多助

え年官員乗込有之候なし、右船損じ候ニ付、猶又相仕立

同三月廿二日

候事

一、金貳兩也

破船始末酉当座帳ニ銘細ニ記ス

ノ金五兩也 正かし

但返濟之義寺登リニ壹兩ツ、返濟之約定之処、難事

酉六月二日

一条ニ付延行ニ相成候事

内座敷五尺五寸

九 金銀出入帳

(表紙)

「壬明治五年

金銀出入帳

申正月吉日」

六月當咲

朔日

入金五兩也

越後
太郎次殿
銭売り

三日

入金壹分也

伴二郎ち
長谷無尽

不足受取

二日分

入金壹分也

◎売り

四日

入金壹分也

◎売り

同日

入金貳兩貳分也

谷地
竹屋ち

玉砂卜手金ニ
入

五日

入金三兩卜

隣家
伴二郎ち

四百五十文

かし金

元利入

七日

入金四兩也

田井
藤助ち

蚕引当テかし
受取

同日

出金拾兩也

梅屋
彦兵衛殿江

借用分残金

返済

八日

入金拾兩也

石川

安達

外同五兩分

市郎兵衛殿

入

同

出金壹分三朱也

大久保へ

近火見舞

九日

出金貳分也

久助

十蔵へ

宿礼

十三日

入金四兩貳分三朱ト
土屋

拾三貫七百五十文小平次殿

入

同日

出金三兩三朱ト

丸屋
榮治殿

貳拾貫文

縮ミ貳反

代渡

同日

出金貳朱也

荷口

藤三郎へ

和菓買

宿礼

同日

出金壹兩ト

惣兵衛

高湯行

六貫五百文

入用并ニ

山形ニ而

諸買物代

委しくは小遣帳別口ニ有り

十三日

入金壹兩ト

松屋

六兵衛殿

七拾メ文

八兩分入

同日

さがへ

入金壹兩也

藤屋

甚作殿

砂ト代手金入

同日

日和田

菜種買

入金壹両

与三郎殿へ

頼三金渡へ

老分也

◎売り

同日

横山

十四日

畑中

出金老分也

勘七へ

入金壹両也

吉四郎へ

酒田実物二

◎売り

渡し

合差引

十七日

谷地

十五日

山形へ

入金五両也

竹屋

出金三朱也

熊持状ちん

喜左工門殿へ

吉庄殿

砂卜代内入

十六日

畑中

廿一日

藤三郎へ

入金三両也

次郎兵衛へ

出金四両卜

乱花代

用立金受取

当面三拾七〇五百文

同日

田井

入金貳朱也

同人へ

入金貳拾両

源二郎へ

つり五百文返し 右利足入

◎つり

同日

谷地

廿二日

谷地

出金三両也

祐次江

出金五両也

祐二殿へ

菜種代

渡

天満村

吉兵衛〆

用立金之内

入

茂助分之内

同日

入金八両也

祐次殿〆

菜種買

頼ミ金反り

同日

大久保

出金三拾兩也

久二郎殿

庄吉殿

菜種買

頼金渡

升四日

出金五兩也

定吉へ

菜種金二

頼金渡し

入〆金九拾六兩

三分也

出〆金四拾貳兩

貳分三朱也

差引

金五拾四兩壹朱也

升四日

出金三兩壹分也

長沢屋

清兵衛へ

染ちん

皆済渡し

十五六日頃

田井ノ

入金壹兩

□登□〆

壹分也

正金預り

升四日

□人

出金壹分也

預り

同日

田井

入金三拾兩也 源次郎殿

内拾兩卜礼二而返し

錢売り

式十兩分[㊦]にて渡

同日 大久保

出金三拾兩也 惣右工門殿

庄吉殿

菜種代二

渡

井五日 寒河江

入金貳兩卜 藤屋

六拾貫文 甚作殿方

砂糖代

受取

同日

入金三兩也 吉の屋

又三郎殿方

受取

井六日 日和田

出金壹兩 与三郎殿

壹分也 大札取替之内

錢二而受取分

同日 同人江

出金貳分也 二分札さ収

返し

かしこ相成

井五日 田井

入金壹分也 源二郎殿内方

預り

同日 荷口

入金壹兩貳分 藤三郎へ

五貫文 半夏代

渡之内

返り

井七日 谷地

入金拾九兩 丸屋

三朱卜 治右工門殿

四百文 砂卜代入

同日

入金五兩卜 小関屋

百貫文 七蔵殿 入

同日 なべや

入金五兩也 平吉殿

入ル

同日

入金貳兩卜 紅屋

三拾貫文 作蔵殿 入ル

廿九日分

入金五兩也 定吉方

菜種預金

返り入

同日 大川

出金五兩也 才兵衛へ

竹節 買方

頼金分渡し

同日

出金五兩也 源二郎へ

菜種預金ニ

渡し

廿七日 大久保

出金三拾兩卜 久二郎殿

貳拾貫文 菜種代ニ渡し

同日 太郎村

入金廿五兩也 吉太郎殿方

受取

同日 天満村

出金貳兩三分卜 源蔵

五百五十六文 無尽出金

同日 田井

出金四拾兩也 源次郎殿へ

菜種代渡し

同日

出金貳朱也

茂助へ

天満無尽二付

◎売り

廿八日

高砂屋

入金四両卜

三藏殿方

六拾貫文

十両都合二

受取

入金百五拾七両壹分也

出金百拾八両貳朱也

差引テ

金三拾九両貳朱也

七月吉日

朔日

小泉

入金貳両貳分卜

勝三郎へ

廿五貫文

用立金

五両分受ケ取

廿九日

同日

出金壹両也

若木江

出金五両卜

大久保へ

乱花代渡

貳百貫文

菜種代二渡し

同日

沢畑

但五両札戻り差引而

出金三両壹分也

宇野仁左工門殿

同日

寒河江

受取

入金貳両也

川嶋屋

庄之助殿へ

砂卜代内受取

谷地

同日
入金拾両也

竹喜殿

玉砂卜代入

同日

西

出金五両也

友吉へ
代かし

同日

白岩

入金七両卜

佐藤

拾貫文

小四郎殿方
入

越後小千谷

出金四両貳分

萬国屋

貳朱也

縮ミ貳反代
渡

朔日

入金八両也

友吉方

受ケ取

二日

出金并五両也

同人

三日

水沢

入金貳両三分卜

吉右工門殿方

貳ノ五百文

玉砂卜代金内

同日

山形

出金三朱也

高弓殿

仙助江

状賃渡

同日

当所

出金三両

源六

貳朱也

無尽

引取分

二丁半分

(貼付)

此訳

出金老両分也 源六無尽へ

無尽払ニ出ス 出金

出金老両分也 市之助分

大帳かし分を出ス 出金

かし

出金貳分貳朱也 山王様分

村方取調へ帳ニ出ス 出金

かし

二日分 井上

入金五拾両也 九郎兵衛殿方

為替内金

受取

三日

入金百両也 同人方

同断

六月分 南

出金拾両也 卯兵衛へ

四日

入金百両也

入ル

大札かし

下し金之内〇

同日

出金貳拾五両也

田井村

源次郎へ

菜種代ニ

渡し

同日

出金拾両也

同人方

銭十兩分預り江

五兩札貳枚

相渡し

同日

寒河江

入金七兩貳分ト

川嶋屋

拾貫四百五十文

庄之助殿方

玉砂卜代金

受取

同日

大久保

式分式朱卜

無尽金

出金三拾兩也

久次郎殿

五百五十文

預り

菜種代二

同日

渡

出金貳分也

榮作へ

五日

丁子屋

六日

代かし

入金拾兩卜

喜内殿方

六日

西

五拾貫文

受取

入金四兩壹分卜

友吉方

十五兩都合

七貫五百文

用返金

要害

受取

同日

長吉へ

四日分

谷地

五日

代かし

出金五兩也

小閨屋

出金貳兩貳分也

市助

大札

七藏殿

茂助 発丰

見悪二付

無尽ちん

返し

同日

駒藏持

出金壹兩貳朱也

◎かへ

六日

なべや

同日

山王様分

入金五兩卜

平吉殿方

入金拾五兩

市助

百貫文

十五兩都合二

同日

当所

受取

入金七両也

伊兵衛方

用立金之内

受取

七日

出金五両也

卯兵衛へ

大札遣ひニ

かし

同日

白岩

入金五両也

新助殿

古手代

受取

同日

谷地

入金六両也

扇屋

民五郎殿

茂助様 入

同日

入金五両也

友吉方

用立金之内

受取

同日

入金貳両貳分也

市助

無尽出金、入

つり九百六十文返し

七日

出金貳両貳分也

市助へ

外巻分ト〇にて

代かし

九月迄かし

同

日和田

入金貳拾両也

与三郎殿

銭用立分 受取

同日

白岩

出金拾両也

利八殿

同断

同日

西

出金貳拾五兩也

友吉へ

七日分

同断

入金壹分貳朱卜

榮作方

八日

老ノ貳百五十文

用立金

出金拾五兩也

卯兵衛へ

貳分都合入

正かし

紅花代金拂仕入帳と引入候御事

大札三枚

尤銘之引合之刺入候事

七日分

日和田

七月八日

高谷

入金貳分也

与三郎殿方

出金拾兩也

伊三郎殿

さ収札分 受取

紅花代

八日

寒河江

同日

谷地

入金三兩也

吉又殿方

出金四拾貳兩

小平治殿

受取

五貫文

同断

同日

入

入金五拾兩也

下り之内

ノ金四百六十三兩

入

貳朱也

同日

大久保

出

出金五拾兩也

久治郎

ノ金貳百九拾壹兩

正かし

貳分壹朱也

差引而

金百七拾壹兩

貳分壹朱也

九日

入金三朱也

小泉

新藏方

弓つる

老わ代

同日

出金拾兩成り

高谷

伊三郎殿

紅花代渡し

同日

出金六兩ト

下禎

長作殿へ

拾貫文

紅花代渡し

十日

入金三百兩也

下り之内入

同日

出金三拾兩ト

下禎

長作殿方

百貫文

紅花代渡し

同日

出金五拾兩ト

高谷

伊三郎殿へ

五十六メ貳百四十文 紅花代渡し

同日

入金五兩壹分ト

要害

長作殿方

三百七十五文

紅花代

過分受取

同日

出金九兩壹分ト

谷地

北口買

壹貫文

紅花代二

渡入

同日

出金貳拾四兩也

”

与平次殿

同断

同日

出金貳分ト

兩所へ

六貫八百七十文

同断

同日

入金拾兩也

如兵衛ち

同日

高関がへ

代かし入

出金四拾老兩

紅花代

十一日

大久保

彦分也

内渡

出金貳百五拾兩也

久二郎

十一日

下し金

五拾貫文

紅花代

入金三百兩也

下し金

渡し

十二日朝

同日

谷地十日かへ

入金五拾兩也

下し金

出金卅六兩貳朱也

紅花代

同日

岡村

内渡し

入金五拾兩也

村上

北口

九郎兵衛殿ち

久二郎花

為替金

十一日

谷地八日買

受取済

出金五兩也

紅花代渡

十三日朝

小平治殿へ

入金五兩也

如兵衛ち

同日

長表

用立金内入

出金五拾老兩

与平治殿

十二日

長表

百貫文

紅花代

出金拾九兩也

与平次殿へ

渡

紅花皆金二

同日 北口 渡し

出金貳拾兩也 久二郎殿へ

紅花代二渡し

同日 土慶小路

出金拾八兩 茂兵衛殿へ

壹分也 紅花代渡

十三日

出金壹兩 伴二郎へ

貳分也 正かし

同日

入金拾四兩也 友吉へ

用立金之内

受取

同日

出金壹兩也 円金壹枚

はね置候

同日

出金貳朱卜 仁田花高谷

貳百文 二而買取分

小泉政吉へ

渡し

同日 大久保

入金四兩壹分 市左工門殿へ

五百五十文 砂卜残金

受取

同日 吉野

出金百五拾兩卜 権四郎へ

五貫文 紅花代

渡し

十三日 小泉

出金貳兩三分也 岩吉殿

紅花代

渡し

同日 要害

出金三分也 勝二郎へ

日用二渡

同日

出金壹分也

湯殿山

なべや

入

七藏殿

参詣入用

入金拾兩也

平吉殿

同日

谷地

入

出金四拾九兩

高関へ

同日

扇屋

壹分壹朱卜

権藏殿

入金七兩貳分

民五郎殿

五百七拾五文

紅花代

廿五貫文

皆渡

入

同日

谷地あら町

同日

北

出金拾五兩

十右工門へ

入金貳兩也

祐助ち

三朱也

紅花代

用達金

つり式貫八百文取

皆渡

入

同日

皆渡

同日

荷口

出金貳兩也

同人へ

出金三兩壹分

藤三郎へ

各二口二而皆渡候也 同斷

三拾貫貳百廿文

乱花代 渡

十三日

東町

同日

谷地

入金貳拾兩也

小関屋

入金五拾兩卜

丁子屋

五拾貫文

喜内殿

入

同日

内たて

渡

十五日

宝村

入金三拾七兩也

土産

出金壹兩卜

長次郎

小平治殿

拾八又七百五十文

紅花代

入

貳兩三分貳朱

同日

都合

出金五兩也

小平治殿

同日

同村

宿買紅花代

出金三兩卜

四郎兵衛

殘金皆渡

拾壹又貳百五十文

同断

入金千三拾六兩

四兩貳朱都合

三分也

同日

谷地

出金八百貳拾兩

出金拾六兩也

小平治殿

貳分貳朱也

紅花代

差引而

渡

金貳百拾六兩

同日

貳朱也

出金九兩貳朱卜

同人へ

壹貫文

買花代

十六日

出金貳分也

源六江

入

倅助

十八日

畑中

請金ニかし

出金五兩也

与蔵

十五日晩

下槓

善光寺参

出金貳兩也

長作殿

路金ニかし

差引返上之内

同日

なべ屋

渡し

出金拾五兩也

与兵衛

十六日

平吉殿

善光寺

入金卅五兩卜

受ケ取

参路用金

五拾貫文

受ケ取

渡し

三十兩都合

十七日十八日

十七日

当所

入金壹分貳朱卜

善光寺

入金六兩也

卯兵衛

三ノ九百文

参詣ニ付

用立金之助

餞別申受ケ入

受ケ取

十八日

大久保

同日

さかへ

出金拾兩也

久治郎殿江

入金六兩壹分

高甚殿

大札取替ニ

壹朱也

白砂卜代

相渡し

同日

白岩

入金式朱也

高田

入金式拾兩也

梅彦殿方

弓太郎殿

受取

手拭代入

同日

日和田

”

谷地

入金拾兩也

与三郎殿方

入金五兩也

亀屋

大札取替金二

周次殿入

受ケ取

同日

”

同日

竹節買付

入金七兩貳分也

土屋

出金三兩也

竹節買付

小平治殿

頼金ニ渡し

入

三ノ

同日

”

金次郎殿へ

入金七兩也

扇屋

十九日

あら町

民五郎殿

入金式拾兩也

紅屋

入

内金十兩也正かし入 作藏殿 入

同日

”

金十兩也 申六月晦日切

入金式兩三朱卜

竹屋

夏物代二入

五百六十五文

喜左工門殿

同日

山かた

同日

入

出金老朱ト

竹屋払

六百六十文

くわし代

十九日

前小路

出金三朱ト

山役礼

三百八十文

上納

同日

大町

出金四拾八兩

与四郎殿

壹分三朱也

紅花代

払

同日

西

入金貳兩也

源吉

㊦うり

同日

谷地

出金三兩也

弁次へ

菜種買

頼金渡

十八日分

大久保

入金八拾貳兩也

久次郎殿

紅花代渡

内戻り

十三日分

出金五兩也

勝三郎殿

大札遣ひ後(力)

かし

井日改

出金老兩貳分也

はね金

はね置也

入

入金四百九兩貳分一朱也

出

出金九拾三兩貳分一朱也

差引而

金三百拾六兩也

井日

あら町

入金三兩也

弁次ち

菜種買ひ

頼金返り

出金五両也

田宮五郎方へ

廿一日

入金三分也

源六へ

水油買付金

内渡し

銭売り

廿一日

あら町

同日

出金五両也

谷地

鉄五郎殿へ

出金三両也

弁次方へ

菜種買付

菜種買付

本紙金ニ渡し

同日

白岩

金ニ相渡し

十九日分

入金五両也

入金四両卜

まんちうや

友吉方

式拾貫文

玉砂卜代入

友吉方入

菜種買付

同日

谷地

金ニ田宮様へ

入金五両也

ますや

渡分受取

弥吉度方入

十九日分

入金貳両也

当所

同日

大久保

友吉方入

友吉方

同日

大久保

水油買付金ニ受取
但し本楯善吉様へ

同日

大久保

同日

谷地

出金四両卜

紅花代

出金壹両貳朱也

菜種代

賃金渡

式百四十文

賃金渡

靈前分状賃払

同

同日

出金老朱也

小遣ひ

出金式朱也

大坂状

大久保へ

山形方

追相渡

賃相払

井一日

井三日

あら町

出金拾兩三分卜

元楯へ

出金五兩也

弁次江

四貫六百元

紅花代渡

菜種買付

井二日

下楯

頼金ニ渡し

出金貳兩卜

今吉へ

同日

銭売り

八貫七百五十文

紅花代渡

入金老分也

田井村

同日

吉野

井三日

源二郎へ

出金五兩也

吉五郎へ

出金井老兩老分卜

紅花代渡し

菜種買付

老メ六百元

金ニ相渡し

井四日

◎かへ

同日

山形

出金老朱也

谷地

出金五兩也

嶋村

同日

小関屋

吉三郎へ

入金貳拾兩也

七藏殿入

△ 改金貳百八拾八兩貳朱有

七月晦日改

五兩相返り入

廿四日

吉野

出金壹兩貳朱也

調べ不足代

入金五兩也

吉五郎方

同日

西

菜種買とり

出金壹分也

市之助へ

頼金返り

日料ニ渡

同日

谷地

廿六日

さがへ

入金貳兩三分

福田

入金拾兩一朱卜

藤屋

三朱卜

太兵衛殿

八貫十文

甚作殿方

三拾貫文

為替金入

玉砂卜代入

元利共

同日

荷口

白岩新助分入

出金九拾七兩

藤三郎殿へ

廿五日

壹分也

紅花代ニ渡

入金壹兩也

円金壹枚

外三十貫文

さ收置分

同日

与三郎殿

入

入金拾兩也

大札取替

七月三日分附落し

友吉方

預り

入金五兩也

同日

当所

同日

大久保

入金七両也

伊兵衛^五

出金貳朱也

甚兵衛^様へ

かし金入

紅花宿借

廿七日

源六へ

廿七日

酒田

入金老兩也

◎うり

出金貳拾兩也

池田屋

君田町

十吉殿へ

同日

長太郎へ

荷物仕送り

出金老兩卜

紅花代金

見込下し

七貫七拾五文

大久保

〃

廿五日分

喜三郎

同日

小田屋

出金貳兩也

初番無尽

出金拾兩也

治郎右工門殿

出金

塩代

同受取

手金下し

廿六日分

大久保かへ

同日

谷地

出金老兩也

紅花代錢二

出金老兩貳分也

野村屋

久二郎方へ

文蔵殿へ

渡し

大札取替

渡し

同日 百兩分打
谷地

出金三分卜 伴内殿へ

六百七十五文 紅花袋代二

同日 前 渡

入金貳分也 伊七五

かし金入

同日 谷地

野村屋へ

兩替

◎買

廿八日

出金拾壹兩 谷地

三分也 弁次方へ

菜種代二渡

兩度二渡

同日

出金貳分也

駒藏へ 代かし

明日迄

勘定

廿九日 入金貳兩壹分也

吉の屋 又三郎殿

砂卜代入

茂助持分

同日 畑中

出金貳兩也

吉四郎

無尽金

月無尽

□日 当所

入金五兩也

卯兵衛方

用立金之内

受ケ取

廿九日分

”

入金老分

庄吉ち

三朱也

利足受取

つり百八十文五分

同日

日和田

出金老分也

与三郎へ

大札取替内

はね金返し

正晦日渡

谷地

出金拾三両

田美屋

老分也

五郎殿江

油代渡

つり六百八十文取

同日

山の辺

出金拾貳両也

染屋ち

◎かへ

同日

さかへ

入金三分也

吉の屋

又三郎殿

同日

さかへ内にて

出金貳分也

弥十郎へ

同日

仕立物代ニ

同日

渡

同日

石川

入金拾両也

安達

入

市郎兵衛殿

入

入

金四百拾六両

三分三朱也

出

金貳百四拾貳両

貳分三朱也

差引而

金百七拾四両

遺金

老分也

入金貳百兩也

下し金内

入

入金六兩也

与四郎殿

大札取替二付

錢売渡し

同日

出金七拾兩也

与三郎殿へ

小札取替頼ミ

相渡し

八月

同日

入金壹分貳朱也

源六へ

錢売り

朔日

山形

出金百八拾五兩也

福嶋屋

二日

出金貳分卜

伴二郎へ

為替金

拾貫文

行当テ

相渡

かし

朔日

同日

入金貳分也

駒藏方

入金三朱卜

吉四郎

かし取

九十三文

月無尽

同日

大町

友吉方

返り受取

二日

入金九兩三分

友吉右

壹朱卜

用立金内ニ

壹ノ八百七十五文

受取

十両都合

同日

山形

出金貳拾五兩也

高田

弓太郎殿

干印へ

渡し分預ケ

同日

〃

出金貳分貳朱也

島や

佐右工門殿

状賃払

同日

〃

出金壹分也

嶋村

内九百七十文

状賃不足渡

返り取

同日

出金貳朱卜

半切代

七百五十文

五十嵐屋右

三日

白岩

入金六兩也

佐藤

同日

小四郎殿

入金貳朱也

砂卜仕入

同日

白岩

入金貳朱也

梅彦殿右

〃

善光寺行

〃

饒別金入

同日

〃

入金四兩貳分也

梅屋

〃

彦兵衛殿

〃

未秋物代

〃

残金入ル

同日

入金壹分也

源六へ

つり六十文返し

友吉分

四日

入金壹朱也

同人へ

入金五兩也

申三月九かし

同日

出金貳兩壹分

長沢屋

七浦

友吉かし同

壹貫貳百卅文

染代渡

同日

出金貳拾兩也

友吉へ

五日

入金三兩也

友吉殿へ

入

正かし

用達金

金四百拾兩

皆受取

三分貳朱也

六月中へ

出

七月迄之用達分

金三百三兩三分也

同日

入金三分一朱也

市助

差引而

金百七兩貳朱也

無尽出金入

五日

なへや

入金拾兩也

平吉殿方

出金三拾壹兩

油屋

同日

谷地

壹分壹朱卜
五百十文

善吉方
油代渡し

入金五兩卜

紅屋

同日

白岩

友吉取次二而

五拾貫文

作藏殿

入金拾兩貳分也

利八殿

入

同

植ほうそ

六日

日和田
用達金入

出金市朱也

御礼

入金七拾兩也

与三郎殿へ

同日

内楯

大札取替代

入金七兩也

小平次殿方

同日

預ケ金受取

受取

同日

七月廿九日

七月十六日分

入金壹分也

同人へ去年
返し分受取

入金貳分也

同人方

同日

同人方

お婦き受取

同日

但し帶瀬戸物

出金貳拾兩也

小遣帳ニ有之

小札ニ而

六日

本楯

兩度ニ預り分

相渡

同日

入金貳朱也

同人方

餞別として入

七日

同日

入金三兩也

同人方

用達金

入金八兩壹分

三朱卜

貳百文

白岩

柏屋

弥藤二殿

白砂卜代入

同日

入金壹兩貳分也

同人方

トル壹分ニ而

入金三分也

白木綿代

内受取

用達金

同

内受取

入金壹朱也

同人方

同日

出金壹兩貳分也

トル壹分

はね置

餞別

申受

同日

出金拾五兩也

要害

元木

出金壹朱也

小泉

角力江

はなむげ

林兵衛殿

紅花代渡

政吉持

田井

藤助殿

白木綿代

内受取

九日

入金老分也

源六へ

㊦うり

金百五拾六兩貳分一朱也あり

貳分貳朱卜

貳貫文

石川

紅花代

常樂坊へ渡

九日

入金貳分也

谷地

諸買物代

同日

三朱卜

石川

十兩都合

小遣帳二出入

拾三又百廿五文

受取

同日

入金貳兩三分

谷地

小平治殿

同日

入金老分

石川

常樂坊へ

永拾匁分

入

老朱也

紅花代錢

中錢受取二入ル

駄ちん渡ス

十日

入金五兩也

小泉

勝三郎殿

十一日

入金老兩

伊兵衛へ

大札直替に

老分也

錢売り

頼之分

同日

小札二而入

入金五兩也

知兵衛へ

同日

下夕河原

受取

出金四拾兩

長左工門宿

同日

出金拾五兩也

同人江

五兩札三枚

十二日

松屋

宿札

かし

入金五兩式分卜

六郎兵衛殿へ

同日

谷地

五貫文

盆前錢代入

入金拾五兩也

丁子屋

同日

小泉

喜内殿入

入金拾兩也

岩吉ち

同日

畑中

用立金二

入金壹分卜

鶴吉ち

受取

七十五文

賃物受ケ

同日

大久保

同日

高野

入金三拾兩也

久治郎殿

出金壹分也

伊三郎へ

權作殿

紅花宿札

用達金

同日

下夕河原

内受取

出金貳朱也

長左工門殿

同日

新田

同断

入金五兩也

久助殿

同日

谷地

喜六殿

出金壹分也

与平治殿

用達金

紅花買

受取

同日

入金壹兩一朱也

同人⁶

百升文返し

利足入

同日

吉の

出金壹兩也

権四郎へ

紅花買

宿礼

同日

高関

出金貳朱也

権蔵へ

同断

同日

北口

出金貳朱也

勘二郎へ

同断

同日

山形

出金五拾兩也

吉田屋

茂助持

庄兵衛殿

紅花陸送

賃金渡

十二日

出金壹分卜

さかな

貳百四十文

代

同日

山形

入金拾壹兩

野崎

貳分卜

善兵衛殿

九百升文

白砂卜代入

同日

高田

貳分封金

為治郎殿

入金五兩也

弓弦代入

外貳兩也

金七兩也

十二日

谷地

入金六兩三朱也

竹屋

喜左工門殿

白砂卜代

内金入

十三日

出金壹兩也

駒藏へ

入湯かし

(張紙)

八月十三日朝改

金壹兩也過上たり

十三日

西

出金七兩也

友吉へ

代かし

同日

日和田

出金拾兩也

与三郎殿

代かし

同日

さがへ

入金六兩ト

高砂屋

四拾貫文

三藏殿へ入

同日

田井

入金壹分三朱也

今田

源次郎殿

同日

入金壹分ト

百五十文

同日

出金貳兩貳分也

同日

入金九兩也

同日

同日

同日

十四日

入金拾壹兩也

諸品代不足入

同人へ

藤助分

白木綿代

内受取

同人へ

菜種代

不足相渡

南

卯兵衛へ

用達金

内受取

太郎村

吉太郎へ

木綿古手代二

受取

同日

入金三分三朱卜

同人方

四百五十三文

盆前分

皆済金

受取

同日

出金貳分三朱卜

同人江

四百五十八文

猪荅代

相渡し

同日

入金五両也

同人方

古手物金

当分受取

白岩

入金壹両也

最上屋

善兵衛殿

砂卜代

内受取

十四日

要害

出金四拾五両

本木

壹分也

林兵衛殿へ

紅花代并二

つり五百文取

袋代相渡し

十五日

内楯

入金六両三分

小平次殿方

壹朱卜

受取

壹又八百七十五文

七両都合

同日

小泉

出金拾両也

勝三郎

正かし

同日

畑中

出金壹両

次郎兵衛

三分一朱也

役銭納

内三十文返り

十六日

出金三朱卜百文

高弓殿

下り状賃

同日

出金五兩也

卯兵衛へ

同日

代かし

出金貳朱卜

惣兵工

同日

出金五兩也

友吉へ

六十文

芝居行

代かし

升日

寒河江

封金三而

入金五兩也

関屋

かし

升日

入金五兩也

同人方

升二日

新田

封金取替

入金壹兩也

喜六へ

分ニ受取

銭うり

十八日

入金貳朱卜

茂助方

同日

田井

八貫七百五十文

古手代ニ入

入金拾五兩也

源二郎殿

十九日

入金拾兩也

日和田

与三郎殿方

升二日

白岩

内金入

大札取替分

受取

入金五兩也

新助殿

古手代二入

同日

白岩

井五日

当所

受取

出金五兩也

庄兵衛殿

入金貳分ト

藤四郎方

四百五十文

古手代内金

徳四郎殿

受取

竹節代

井四日分

手金渡

入金壹朱也

ちの葉代ニ

入

入金四百拾九兩

同日

白岩

井五文返し

受取

貳分也

出金井六兩ト

庄兵衛殿江

出

入金貳百六拾九兩

貳百井文

竹節代
相渡し

壹分壹朱也

井四日

田井

差引而

出金五兩也

甚作へ

金百五拾兩三朱也

代馬口

八日

田井村

引当テニ渡し

入金拾九兩也

甚作方

井六日

酒田

馬代金

出金三拾兩也

小田屋

塩代差下シ

同日

前

野文殿へ頼

入金巻分ト

伊七ウ

廿五日分

六貫四百五十文

古手代ニ入

入金七両也

善光寺

同日

大町

路用金過上

出金巻分也

与四郎へ

戻り入

紅花売

廿七日

宿札

出金貳朱也

惣兵衛

同日

荷口

百廿文返り

きせる代

出金巻分也

藤三郎へ

小遣兼

同断

同日

谷地

同日

入金六両也

竹屋

出金巻分也

野田へ

喜左工門殿

味噌桶代

白砂ト代

手金

残金入

廿九日

南

廿八日

小泉

出金巻両

卯兵衛へ

入金巻分ト

友七

巻貫五百五十文

白米巻石代

永拾銭巻枚

質受ケ金入

卅日

入金貳分貳朱卜

源六右

三百十文

古手代受取

同日

入金三分也

同人江

◎売り

同日

あら町

入金五両也

もりや

彦三郎殿

菜種代手金入

入

入金百八拾九兩

貳分貳朱也

出

入金六拾貳兩

三分貳朱也

差引而

金百貳拾六兩三分也

未十二月廿一日東京表御達し

一 青錢貳拾文

一 銅錢拾文

一 文久拾五文

一 当百八拾文

兩替拾貫文

各之通被仰出候由□ニ而 追々早聞之者風説致し、十二

月廿九日晦日此方山形表ニ而 錢持合之者大騒キニ相成、

当地辺も元日二日此方相聞ひ、未夕山形県方御達しも無

之候得共、早速右通用ニ相成候事、就而当方持合分前顯

之錢高割損ニ相成候事

申正月十日改記ス

損ニ相成

内三拾五貫四百六十文

十〇八

此金三兩者分下貳百文也

六月

朔日

越後

出 五拾貫文

太郎次殿へ

五両分錢売り

二日

畑中

出 拾貳メ文

友藏へ

正かし

同日

北ノ

出 貳拾貫文

祐助

貳兩分

正かし

同日

出 貳メ五百文

壹分分

◎売り

同日

入 壹貫文

長兵分

無尽不足入

三日

荒町

入 五拾貫文

紅屋

作藏殿

五兩分入

同日

石川

入 六メ五百三十文

善太郎殿

わた代不足入

同日

寒河江

入 貳拾四メ三百十文

甚作殿ち

未極月分

砂卜殘金皆済

入

四日

扇屋

入 五拾貫文

民五郎殿ち

五兩分受取

同日

入 九百七拾五文

茂助内

なきのち

天満分質の

利足入

同日

出 貳メ五百文

◎売り

四日

畑中

改三百廿七メ式百六拾五文

出 五メ五百六十文

吉四郎

月詰無尽

七日

白岩

山王様分

入 壹メ百八十文

弥藤次殿方

同日

出嶋白砂卜代

出 拾貫文

内分

入

同断

同日

大川

五日

畑中

出 五拾貫文

才兵衛殿

出 三拾八貫文

与蔵へ

半夏之前金

正かし

かし

五日

丁子や

同日

入 百八拾貫文

喜内殿方

出 百文

右同人江

拾八両分入

細辛(ママ)竹節

同日

伴二郎方

谷地

入 四百五十文

かし金

八日

鍋屋

利足入

入 百貫文

平吉殿

十両分

当百にて

当百にて

千式百五十枚入

同日

石川

出 式拾貫文

丸屋

入 五拾貫文

安達

榮治殿へ

市郎兵衛殿

木綿代渡

五兩分入

同日

当所

同日

入 七拾貫文

松や

出 壺又四百四十文

大久保

六兵衛殿

六軒へ出欠

七兩分入

見舞

同日

七浦

出 五拾貫文

友吉へ

出 四拾貫文

長沢屋

代かし

清吉殿

十三日

絞り満ちん

入 貳貫文

林二郎ち

卯兵衛方へ

ろうそく代

為替二渡し

同日

谷地

同日

さがへ

入 拾三貫七百五十文

土屋

入 百貫文

吉の屋

小平治殿入

又三郎殿

壺両壺分分

十兩文

砂卜代入

市助夫

同日

出 六貫五百文

惣兵衛

高湯行

入用并

山形諸買物代

委しく八小遣ひ帳ニ有之

四百九十六メ百拾五文

十三日

日和田

出 拾式メ五百文

与三郎殿へ

◎売り

十四日

出 拾貫文

吉四郎へ

老兩分

◎売り

十五日

日和田

出 式百貫文

与三郎殿

代かし

同日

出 老メ五百六拾式文

玉砂五丁

水上ヶ

駄ぢん

入蔵

入 拾貫文

己之助

老兩分

賃受金入

同日

入 三貫文

同人

利足金二入

同日

出 七貫式百

松皮

七十文

拾六間代

同日

出 五百文

次郎兵衛へ

利足金

十九日 つりせん返し
荷口へ

出 巻貲貳百五十文

半夏

たちん渡

廿一日

出 拾貲文

役元へ

上納

同日

出 三拾貲文

荷口

藤三郎へ

乱花代渡ス

同日

出 貳百貲文

田井

源二郎へ

◎うり

同日

出 三貲七百五十文

市助へ

日用ニ渡

同日

出 八貲文

小泉

松蔵へ

廿二日迄

出 貳拾巻貲

小遣帳ニ

八百八十文

出し

入

八百拾七貫

六百六拾五文

出

八百拾五貫

三百拾貳文

差引而

貳貲三百五拾三文

廿三日

入 三拾貲文

松木や

六兵衛殿入

同日

出 拾三貫

笹川江

するす代

七百八十文 生花代ニ渡

廿四日 谷地

入 百五拾貫文

紅屋

作藏殿

未秋物代

内受取

同日

入 五拾貫文

丁子屋

喜内殿へ

五兩分入

同日

当所

出 貳貫五百文

庄助江

代かし

七月七日受取

同日

出 五十文

丁喜殿

数不足かし

同日

田井

出 貳百貫文

源二郎殿

◎うり

廿四日

あら町

出 百五十文

紅屋

作藏殿へ

小数不足

かし

廿五日

入 六拾貫文

藤屋

甚作殿へ

六兩分受取

同日

谷地

入 百貫文

満寿屋

弥吉殿

砂卜代之内入

廿六日

入 拾貳メ五百文

与三郎殿へ

大札取替之内

老両老分分錢ニテ

同日

受取

入 百五十文

同人方

荷口

数不足入

入 五貫文

藤三郎方

同日

谷地

半夏代渡

入 五拾貫文

亀屋

内戻り

周次殿方入

谷地

同日

大久保

出 百八十九文

栴弥殿方

出 貳拾貫文

久二郎殿へ

受取分之内

菜種代ニ渡し

小數不足

同日

天満村

かし

出 五百五十六文

源藏

廿七日

小関屋

無尽ニ

入 百貫文

七藏殿方

出金

拾兩分受取

同日

田井

同日

紅屋

出 五拾貫文

源二郎殿

入 三拾貫文

作藏殿方

菜種代ニ

入

渡

入

同日

入 壹又貳百五十文

茂助

天満無尽二付

◎買取

廿八日

小泉

出 貳又六百廿五文

松藏へ

するす代

不足

同日

高砂屋

入 六拾貫文

三藏殿へ

六分分

受取

廿八日

寒河江

入 五拾貫文

市左工門殿へ

玉砂卜代内金二

五兩分受取

同日

山形

出 壹貫六百文

高為殿

態持状ちん

廿九日

出 拾八貫六百文

吉四郎

月無尽へ

同日

出 四拾貫九百

乱花代

五十文

払

若木へ

朔日分

出 貳百貫文

大久保へ

菜種代二

廿兩分 渡し

廿八日分

荷口村

出 五拾貫文

藤三郎へ

乱花代二

渡し

晦日迄

出 拾壹貫七百廿文

小遣帳ぐる

晦日迄

入

七百老貫貳百五十三文

出

六百拾貳メ七百并文

差引而

八拾八貫五百三十三文

出 貳拾老貫八百八十文 小遣帳ル

并一日迄

七月吉日

朔日

小泉

入 貳拾五貫文

勝三郎へ

用立金之内

貳両二分分入

同日

出 貳拾貫文

茂助へ

貳両分代

同日

白岩

りし

入 拾貫文

佐藤

小四郎殿

老兩分入

同日

要害

入 拾貫貳百文

定吉へ

小遣帳分 松板八間老尺代

相渡し

三日

水沢

入 貳メ五百文

太右衛門殿へ

玉砂卜代入

百拾六貫貳百三十三文

四日

入 老貫文 天秤銭

同日 小泉

出 貳貫四百文 伊三郎へ

紅花代

紅花代払 仕入状文引入一筆 渡し

同日 出 老貫八十文

普請

四日

寒河江

入 拾貫四百五十文

川島屋

同日

畑中

のりつた
わらびこ代

庄郎助殿

同日

玉砂卜代二入

入 五拾貫文

次右工門方

同日

同所

用立金

入 五拾貫文

吉のや

同日

五両分入

又三郎殿方

同日

喜内殿方

受取

入 壹々五百文

同人方

同日

田井

同日

右二ヶ月分

出 拾貫文

源二郎へ

同日

利足入

菜種代錢二

丁子や

相渡し

入 五拾貫文

喜内殿方

同日

谷地方

同日

五両分

出 七貫五百文

はかま代

五日

受取

小遣帳分

西

出 貳貫五百文 市之助へ

大帳かし方二入 代かし

入 貳百九拾九貫

百八十三文

出 六拾五貫三百六十文

差引而

貳百三拾貳貫八百卅三文

五日

入 貳貫文

売立り入

同日

入 拾壹貫

◎かへ

貳百五十文

同日

西

入 五百五十文

市之助

無尽

引取申し候

五日

入 拾八貫文

市助

無尽金

茂助り入

六日

出 壹々貳百五十文

藤四郎へ

乱花代二渡し

同日

入 七貫五百文

友吉り

用立金之内

入

同日

入 百貫文

平吉殿

十兩分

受取

同日

小泉

出 七貫七百

文藏

三十四文

紅花代渡し

同日

出 壹々八百六十文

文銭

別段ニ卷枚置

同日

石川

用立之内

式朱分

入 五貫六百卅五文

善太郎殿

入

弓つる三わ代

八日

谷地

出 五貫文

小平治殿

入

出 九百六十文

市助へ

紅花代

小平治殿

入

つりせん

九日

溝延

同日

当所

出 拾壹貫

小三郎へ

入 貳貫五百文

庄助へ

四百五十文

同断

かし方受取

同日

”

同日

谷地

出 貳拾五メ九百

右同人江

出 壹貫八百七十文

小平治殿

卅文

同断

乱花代渡

十日

下楨

八日

出 百貫文

長作殿江

出 貳メ百文

竹のみす

十両文

貳枚

紅花代渡し

七日分

同日

高谷

入 壹メ貳百五十文

榮作り

出 五拾六メ貳百

伊三郎殿

四十文 紅花代渡し

同日

出 三貫四百文

同人へ

酒代

たちん 入用

同日

入 三百七十五文

長作方

紅花過

受取

同日

出 老貫文

小平治へ

同断

同日

出 九百廿五文

長表へ

たちん

同日

出 六貫八百七十文

両所へ

紅花代

十一日

出 五拾貫文

大久保へ

紅花代渡し

同日

出 貳貫八百八十文

同所へ

三駄

たつん

同

出 壹貫貳百五十文

高関へ

紅花

たちん

十一日

入 百貫文

西村屋

文蔵殿方

拾両分

受取

同日

出 五拾貫文

久二郎へ

大久保

二

紅花代渡

出 五百文

羽津屋

同日

谷地

高谷二面の紅花代

出 百貫文

与平治へ

相渡し

紅花代

同日

寒河江

十二日

谷地

入 五百五十文

大久保

出 六百三十文

土慶小路方

市右工門殿方

紅花駄賃

受取

十一日分

内楯

同日

出 七百文

彦吉へ

出 八百五十文

畑中

両度紅花

定吉へ

駄ずん

紅花代渡

十一日分

出 先二有

花三駄分

入 四百八拾貳貫

駄ぢん

四百貳拾三文

十三日

出 八百文

両所かこ方

出 三百八拾三貫

紅花代

八百八拾九文

同日

小泉

差引而

九拾八貫五百卅四文

出 拾老貫 七月十三日迄

六百九十文 小遣帳

十三日 吉の村

出 五貫文 権四郎へ

紅花代

同日

出 五貫文 市助へ

代かし

同日

出 老貫貳百五十文 佐助へ

板代渡

十三日

入 貳拾五貫文 扇屋

民五郎殿入

同日

入 三拾七貫 野村屋

八百文 文蔵殿

十二日 阿ら町

入 貳貫八百文 紅花代

差引つり

同日

出 五百七十五文 高関へ

紅花代

はし渡

同日

出 五貫文 伊七へ

代かし

七日分

出 三拾貫文 小泉 勝三郎へ

染木綿代渡ス

十四日 隣家

出 拾五貫文 伴二郎へ

代かし

同日

荷口

砂卜木綿入

出 三拾貫貳百卅文 藤三郎へ

乱花代渡ス

同日 宝の人江 畑中

同日 〃

出 五貫四百四十文 喜助へ

入 五拾貫文 丁子屋

同日 〃 紅花代

喜内殿入

同日 出 三貫九百五十文 源二郎へ

荷口

同日 同断

出 四百文 藤三郎

同日 内たて

次男へ

出 老貫文 小平治殿

乱花駄ぢん

出 紅花代

十五日 宝村

十五日 紅花代

出 拾八貫七百五十文 長次郎へ

はし

紅花代

壹両三分貳朱分

出 老貫四百五十文 音松へ

同日 同所

出 觀音寺行

出 拾老メ貳百五十文 四郎兵衛へ

十六日 半夏たちん

同断

出 貳メ五百文 鶴吉へ

同日

同日

出 拾貳貫七百文 白木綿代

出 貳メ五百文 たはこ入壱つ

行当テかし

七月九日渡し分

下積

出 拾貫文

長作江

紅花代

手金

同日

要害

出 三百文

長作へ

花薙代渡

出 六貫六百七十五文

七月十六日

小遣帳入

入 貳百拾四貫百三拾四文

出 百七拾八貫百五十文

差引

三拾五貫九百八拾四文有

十六日

入 貳々三百四十四文

湯殿山

講中せん

取立入取

同日

なへ屋

入 五拾貫文

平吉殿方

受取

同日

谷地

入 貳貫五百文

土屋

小平治殿

同日

北口宿

入

出 壹貫七拾五文

久治郎殿へ

紅花代

算違渡

十七日

隣家

出 壹貫貳百文

伴二郎へ

紅花代

渡

同日

観音寺村

出 拾三貫

才兵衛殿へ

五百五十文

半夏代へ

渡

十八日

出 貳貫文

善光寺行

持参

十七日

入 九貫五十文

藤屋

甚作殿五

砂卜代残金入

同日

入 五百十文

高甚殿

白砂卜代

はし入

十八日

入 三貫九百文

善光寺

参り餞別

申受ケ

同日

入 拾貫文

松木屋

六兵衛殿五

玉砂卜代受取

十九日

入 百五拾貫文

市郎兵衛殿五

受取

同日

出 三百六十五文

山口た

高丑殿

つりせん

同日

出 老貫貳百文

高関

水揚

同日

出 六百六十文

竹屋松

くわし代

小遣帳分

同日

出 三百五十文

前小路

山役様

上納

同日	出 壹貫四百文	大町	出 貳メ貳百文	伴二郎へ
同日	出 百貫文	大町	出 七貫五百文	紅花代
同日	出 百貫文	与四郎殿	井日分	野村屋
同日	入 百貫文	紅花代渡	入 百貫文	文藏殿 5
		さがへ		十兩分受取
		吉の屋	井一日	佐藤
		又三郎殿入	入 貳拾貫文	小四郎殿
		久吉受取		砂卜代入
同日	出 貳拾貫文	源吉へ	同日	入藏村
		◎売り	出 壹貫文	善作へ
		畑中		紅花代
		井日	同日	谷地
		出 貳メ五百文	入 三拾貫文	民五郎殿入
		鶴吉へ		
		行当子かし		
同日		分家	同日	大久保

出 貳百貫文

久治郎殿

紅花代渡

大工

出 貳貫五百文

与助へ

日用二渡

同日

土屋

出 六貫六百八十文

普請

買物代

同日

出 三貫卅文

草山手

渡し

入 五百拾四貫

貳百八拾八文

出 三百六拾七貫

三百三十文

差引而

百四拾壹貫九百五十八文

廿二日

元楯

出 四貫六百文

紅花代

はし渡

同日

出 八貫七百五十文

今吉へ

紅花代

三分貳朱分

廿三日

出 貳又五百文

壹分分

◎売り

同日

田井

出 壹又六百文

源二郎へ

紅花代渡し

廿四日

出 四百文

同人へ

たちん渡

同日

入 六百卅五文

茂助へ

◎かへ

同日

出 四貫文

桜井

伊兵衛殿

なわ代渡

出 三拾貳貫

貳百六十文

小遣帳

める

廿三日迄

改九十三メ四百七十三文

廿四日朝改

廿四日

谷地

入 三拾貫文

福田

太兵衛殿入ル

三両分

同日

要がへ

出 拾貫文

藏敷金

鍛冶屋へ渡し

同日

出 貳貫五百文

小藤治へ

廿五日

白岩上の

出 五拾三メ七百

金二郎殿

同日

十文

竹節代 渡

同日

小泉

出 九百文

十兵衛へ

廿六日

乱花代渡

廿六日

さがへ

入 八貫十文

藤屋

廿六日

甚作殿

廿六日

砂卜代

廿六日

はし入

廿六日

荷口

出 三拾貫文

藤三郎殿

廿六日

紅花代

廿六日

渡

内たて

同日

各村

出 貳貫七百文

たうへ入用

渡ス

廿七日

出 拾貫文

源六へ

㊦うり

同日

君田町

出 七貫七拾五文

紅花代

渡

同日

谷地

出 六百七十五文

伴内へ

袋代はし渡

同日

入 六百廿五文

仄印ち

買錢

廿九日

出 六百四十文

小泉へ

なわ代

同日

当所

出 百八十文

庄吉へ

利金へ返し

晦日

谷地

入 六百八十文

水油代

はし

つりせん取

同日

山の辺

入 百貳拾貫文

染やち

錢かへ

同日

入 壹貫八百文

各江打

同日

出 貳貫六百六十文

水揚

たちん

同日

入 五百六十文

餞別錢

出 六貫弍百卅文

晦日迄

小遣ひ

ゝる

入ル

同日

出 六拾貫文

大町

与四郎殿へ

大札取替ニ付

六両分渡し

玉砂ト

入

〳三百九貫弍百

五拾八文

同日

出 三又七百五十文

源六へ

出

〳百八拾老貫

三百七十文

二日

出 拾貫文

伴二郎へ

百弍拾七貫

八百九十文

行当テ

かし

八月

同日

入 老メ八百七十五文

友吉方

三朱分

用立金ニ

高関

出 老貫弍百五十文

水揚ちん

受取

同日

当村

用立金之内

入 九百七十文

差引つり取

三両分 受取

同日

同

出 七百五十文

半切代

出 貳貫五百文

源六

はし

老分分

三日

小泉

◎売り

入 三メ七百五十文

新藏方

同日

同人へ

弓つる

出 六百廿五文

一朱分売

式わ代

同日

上野村

四日

下楨

出 三拾七メ四百

金次郎

入 貳百四十文

長作方

七十五文

竹節代

錢別入

渡し

同日

七浦

同日

出 壹貫三百三十文

染屋払

出 拾貫文

同人江

五日

前金渡し

出 六十文

友吉へ

同日

当所

無尽出金

入 三拾貫文

友吉方

返り渡

同日

入 三拾貫文

友吉ら入

同日

谷地

入 五拾貫文

紅屋

作藏殿入

五日

出 四貫貳百十文

小遣帳

入る

入 貳百四拾四貫

七百廿五文

出 百三拾壹貫

九百五十文

差引而

百拾貳貫七百七十五文

八月五日

白岩上の方

出 四拾壹メ四十文

生竹節代

同日

出 八貫百文

林二郎へ

六日

本楯

生花代渡

出 五百十文

油屋

善吉へ

油代端銀

相渡し

同日

小泉

出 貳貫貳百文

政吉へ

紅花代渡

六日

大工

入 四貫文

長吉ら

用立金

内受取

七日

出 三拾貫

一竹節代

六百十五文

相渡し

同日

出 拾貫文

小遣に

たし

同日

入 貳百文

柏屋

弥藤二殿

白砂卜代入

白岩

入 貳拾貫文

柏屋

弥藤二殿

白砂卜代入

九日

出 貳貫五百文

源六へ

㊦うり

同日

三の

出 八貫八百文

多平へ

竹節代渡し

同日

溝延村

出 廿六メ貳百

岩吉江

五十文

山形迄紅花

駄ちん

貳両二分貳朱分

同日

入 貳拾貫文

六兵衛殿方

貳両分

受取

十日

出 壹貫三百文

仁左工門殿

此分渡し方見合

乱花代へ

渡

十日

出 七百五十文

藤四郎

乱花代

不足渡

同日

出 三貫七百五十文

同人へ

紅花山形へ

たちん内渡

同日

入用不足

出 貳貫文

石川

渡

紅花代渡

十二日

南

同日

石川

入 五貫文

松六殿へ

入 拾三貫百

市郎兵衛殿

入

入

廿五文

老阿老分

老朱二而

入 百七拾七貫四拾五文

受取

出

十一日

畑中

出 百三拾七貫三百廿文

入 七十五文

鶴吉方

差引而

行当物受ケ

三拾九貫七百廿五文

利足

十二日

溝延

同日

小泉

出 八百文

船渡紅花荷

入 老ノ八百七十文

新藏殿方

手当

弓つる代

同日

同日

谷地

出 拾貳貫五百文

伊兵衛へ

出 八百文

与平治殿

錢うり

紅花買

同日

山形

入 九百丹文

のさきや

白砂下代

はし入

十三日

入 四拾貫文

高砂屋

三蔵殿へ

四両分入

同日

田井

入 百五十文

源二郎殿

白木綿代

はし入

同日

出 三貫文

同人へ

片栗荷

田井船分

手当

十四日

宇佐美

入 壹貫八百七十文

小路

弓弦代入

小泉

出 貳拾貫文

十兵衛殿

乱花代、渡ス

同日

要害

入 五百文

本木

林兵衛殿へ

紅花代金

つり入

十五日

内楯

入 壹メ八百七拾五文

小平次殿へ

三朱分入

同日

上野

出 三百文

金次郎へ

代かし

十六日

出 拾貳貫九百五十文

紅花四駄

〇三口

たちん

〱七メ五百文 仕入帳ニカス

当村分渡

三百六十文

受取

同日

出 壹貫八百文

和藜紅花

同日

入 五百文

同人カ

高関行

たちん

十八日

三駄分

入 八貫七百五十文

茂助カ

同日

出 拾貳貫貳百

小遣帳

井一日

沢畑村

八十文

〱る

出 壹メ三百文

仁左工門殿江

入

〱八十五貫四十文

井二日

新田

出

〱六拾三貫六百三十文

出 拾貫文

喜六殿へ

差引而

貳拾壹貫四百十文 遣

同

出 壹貫文

同人へ

十八日

松木屋

入 五拾貫

六兵衛殿カ

井三日迄

代かし

㊦うり

出 拾八貫八百文

小遣帳

七十五文

竹節五箇

ズル

駄ぢん

四拾九貫九百廿文 あり

三朱分

同日

八月九日

同日

入 老貫文

小平治殿

入 四百五十文

藤四郎方

受取

古手はし入

永拾匁分

井四日分

白岩

◎にて入ル

出 貳百廿文

庄兵衛殿江

井三日

小泉

竹節代ニ

出 拾五貫文

勝三郎殿

渡し

縮木綿代

井五日

不足渡

出 老メ六百文

善藏

井四日

谷地

貞助へ

入 五拾貫文

小関屋

馬の利分ニ

七蔵殿

遣し

五兩分入

井六日

畑中

井五日

白岩

入 貳百文

次右工門殿方

出 老メ八百

庄兵衛殿方

善光寺

餞別

同日

入 四拾貫文

松木屋

六兵衛殿

古手代二入

同日

田井

出 五拾貫文

甚作へ

馬引当テ

として

五両分

正かし

七拾貳貫八百七十五文有

廿六日

入 百六十文

善光寺

餞別二入

廿八日

入 六貫七百五十文

伊吉

古手代二入

同日

入 壹貫六百七十文

同人方

米代二入

廿九日

入 拾貫六百

茂助方

廿五文

米壹俵代

壹両壹朱分

同日

南

出 壹貫五百五十文

卯兵衛へ

白米代渡

卅日

出 七貫五百文

源六へ

◎売り

同日

入 三百十文

同人方

古手代

さらし受取

同日

入 三貫七百五十文

谷地人江

持參

唐弓つる

入

式わ代

百九拾六貫九百三十五文

同日

石川仁右

出

入 老貫文

なし代

百四拾五文并文

手金入

差引而

同日

小泉

五拾老貫九百十五文

出 八百五十文

友吉へ

遣

つりせん

同日

(裏表紙)

出 拾三貫三百

晦日迄

「日塔久左衛門」

并五文

小遣帳

同日

出 式拾貫文

善光寺

参詣二

土産物代

同日

出 式貫文

瀬見行

一〇 荷札 (板札)

1、たて二二センチ よこ八・七センチ

(表)

大坂 ⊗ 出

羽後酒田

百 拾 萬

池田 重吉殿揚

四 久

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌第六月

和泉屋

一、屑蒲色入 沓筒

太郎兵衛

海上安全

(裏) 戌第六月

一、屑解入 沓筒

大坂 和泉屋

太郎兵衛

海上安全

3、たて二三センチ よこ九・一センチ

(表)

⊗ 出

羽後酒田

百 拾 萬

池田 重吉殿揚

七 久

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌第六月

和泉屋

一、屑蒲色入 沓筒

太郎兵衛出

海上安全

2、たて二一・八センチ よこ八・七センチ

(表)

大坂 ⊗ 出

羽後酒田

百 拾 萬

池田屋 重吉殿揚

三 久

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

4、たて二二・七センチ よこ九センチ

(表)

百 大坂⊕出

拾 △ 萬

六 久 羽後酒田 池田 重吉殿上ケ 羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌六月

一、屑布段入 沓甲 大坂 和泉屋 太郎兵衛出

海上安全

6、たて二二センチ よこ八・五センチ

(表)

百 ⊕出

十 △ 萬

七 久 羽後酒田 池田屋 重吉殿揚 羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌第七月

一、屑解入 沓箇 大坂 和泉屋 太郎兵衛

海上安全

5、たて 二二・五センチ よこ 八・五センチ

(表)

百 大坂⊕出

十 △ 萬

五 久 羽後酒田 池田屋 重吉殿揚 羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌第七月

一、屑解入 沓箇 和泉屋 太郎兵衛

海上安全

7、たて二二・八センチ よこ八・七センチ

(表)

百 大坂⊕出

十 △ 萬

四 久 羽後酒田 池田屋 重吉殿揚 羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 戌第七月

一、屑解入 沓箇 和泉屋 太郎兵衛

海上安全

8、たて二二・六センチ よこ九・一センチ

(表)

大坂(出)

百 萬 羽後酒田
池田屋 重吉殿揚
廿 久 羽前造り山
壹 日塔久左衛門殿行

(裏) 戊七月

大坂

和泉屋

太郎兵衛出

一、屑解入 壹箇
海上安全

10、たて 二三センチ よこ 八・八センチ

(表)

大坂(出)

東京日本橋
玉屋 金三郎殿揚
寒風沢
拾 萬 田中重右衛門殿次
三 久 塩釜
番 日塔久左衛門殿行
羽前造り山

(裏) 戊七月

大坂 和泉屋

一、屑古手入 壹箇

海上安全

9、たて二二・八センチ よこ八・七センチ

(表)

大坂(出)

百 萬 羽後酒田
池田屋 重吉殿揚
廿 久 羽前造り山
式 日塔久左衛門殿行

(裏) 戊七月

和泉屋

太郎兵衛

一、屑解入 壹箇

海上安全

11、たて二二・八センチ よこ九・一センチ

(表)

(出)

東京日本橋
玉置 金三郎殿揚
寒風沢
拾 萬 田中重右衛門殿次
百 久 塩釜
番 日塔久左衛門殿行
羽前造り山

(裏) 亥第三月

一、屑夏物入 沓箇

海上安全

大坂塩町

和泉屋

太郎兵衛出

13、たて 二二センチ

よこ九センチ

(表)

百 貳 萬
拾 久
九 同
羽州酒田 池田屋 重吉殿揚
最上造り山 萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 沓箇

海上安全

和泉屋

太郎兵衛

12、たて 二二・八センチ

よこ 八・六センチ

(表)

百 拾 萬
△ 久

東京日本橋

玉置 金三郎殿揚

寒風沢

太田 茂八郎殿次

塩笹

田中重右衛門殿次

羽前造り山

日塔久左衛門殿行

⊕出

(表)

14、たて 二二センチ

よこ 八・六センチ

百

△

十

大坂木市積 ⊕出
羽州酒田 池田屋 重吉殿揚
同 最上造り山 万屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手 沓箇

海上安全

和泉屋

太郎兵衛

(裏) 亥第三月

一、屑夏物入 沓箇

海上安全

大坂塩町

和泉屋

太郎兵衛出

15、たて二三センチ よこ九センチ

(裏)

百 貳 拾 萬
△ 久
羽州酒田 池田屋 重吉殿揚
同 最上造り山
万屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老甲 太良兵衛
いつみや

海上安全

16、たて二二センチ よこ八・三センチ

(表)

貳 百 拾 老
△ 久
東京日本橋 大坂⊕出
寒風沢 玉屋 金三郎殿上ケ
塩釜 吉田 茂八郎殿次
田中重右衛門殿次
羽前造り山
日塔久左衛門殿行

(裏) 戌七月

一、屑古手入 老箇

和泉屋

太郎兵衛 出

海上安全

17、たて二三・二センチ よこ九センチ

(表)

百 貳 拾 老
△ 久
羽州酒田 池田屋 重吉殿上ケ
同 最上造り山
万屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老箇

和泉屋

太郎兵衛

海上安全

18、たて二二・五センチ よこ九・四センチ

(表)

百 羽州酒田
式 池田屋 重吉殿揚
拾 同 最上造り山
△ 久 萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉大神宮

一、屑古手入 老甲

海上安全

いつみや

太良兵衛

20、たて二三センチ よこ八・八センチ

(表)

百 羽州酒田
三 井 △ 萬 池田屋 重吉殿上ヶ
久 同 最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉大神宮

一、屑古手入 老箇

海上安全

和泉屋

太良兵衛出

19、たて二二・六センチ よこ九センチ

(表)

百 羽州酒田
式 池田屋 重吉殿揚
拾 △ 久 同 最上造り山
八 萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉大神宮

一、屑古手入 老甲

海上安全

いつみや

太良兵衛

21、たて二二・四センチ よこ八・八センチ

(表)

百 酒田
九 △ 萬 池田 重吉殿上ヶ
番 久 同 最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉大神宮

一、屑古手入 老箇

海上安全

和泉屋

太良兵衛

22、たて二一・三センチ よこ八・八センチ

(表)

百 三 萬
拾 久
△
同 池田屋 重吉殿上ケ
最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老箇 和泉屋 太良兵衛

海上安全

24、たて二一・八センチ よこ八・六センチ

(表)

百 三 萬
拾 久
△
同 池田屋 重吉殿揚
最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老甲 和泉屋 太郎兵衛

海上安全

23、たて二一・八センチ よこ八・八センチ

(表)

百 三 萬
拾 久
△
同 池田屋 重吉殿上ケ
最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老箇 和泉屋 太良兵衛出

海上安全

25、たて二三センチ よこ九・六センチ

(表)

百 三 萬
拾 久
△
同 池田屋 重吉殿揚
最上造り山
萬屋久左衛門殿行

⊕出

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老箇 和泉屋 太郎兵衛出

海上安全

26、たて二二センチ よこ九センチ

海上安全

(表)

屑解七束入

羽州酒田

⊕出

三百 萬

池田屋

重吉殿揚

八十 久

最上造り山

萬屋久左衛門殿行

八

(裏) 住吉太神宮

いつミヤ

一、屑古手入 沓箇

太郎兵衛

海上安全

28、たて二二・五センチ よこ八・五センチ

(表)

百 萬

羽州酒田

⊕出

七十 久

池田屋

重吉殿揚

七 久

同 最上造り山

萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

一、屑夏物入 沓箇

太良兵衛出

海上安全

27、たて二二・五センチ よこ八・五センチ

(表)

百 萬

羽州酒田

⊕出

三十 久

北嘉積

重吉殿揚

沓 久

同 最上造り山

萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

一、屑古手入 沓箇

太郎兵衛出

29、たて二二・四センチ よこ九センチ

(表)

百 萬

羽州酒田

⊕出

三十 久

池田屋

重吉殿揚

沓 久

同 最上造り山

萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

一、屑夏物入 杓甲

海上安全

和泉屋

太郎兵衛

31、たて 二二・三センチ よこ 九センチ

(表)

百 拾 万
△
久 羽後酒田 池田屋 重吉殿揚
最上造り山
大坂 ⊕ 出
萬屋久左衛門殿行

30、たて 二二・七センチ よこ 八・六センチ

(表)

⊕ 出

百 十 萬
△
久 羽州酒田 池田屋 重吉殿揚
同 最上造り山
萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

一、屑夏物入 杓筒

海上安全

和泉屋

太郎兵衛出

32、たて 二二・五センチ よこ 八・八センチ

(表)

屑解六束入
三 百 十 萬
△
久 羽州酒田 池田屋 重吉殿揚
最上造り山
⊕ 出
萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

海上安全

和泉屋

太良兵衛

33、たて二一・三センチ よこ九センチ

(表)

屑解六束入

⊕出

三 萬 羽州酒田
百 △ 池田屋 重吉殿揚
十 久 最上造山
七 萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

海上安全

太良兵衛出

35、たて二一・七センチ よこ八・三センチ

(表)

⊕出

百 萬 羽州酒田
拾 △ 池田屋 重吉殿揚
八 久 同 最上造山
萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

いつみや

一、屑蒲色入 沓箇

海上安全

太良兵衛出

34、たて二一・三センチ よこ八・二センチ

(表)

⊕出

百 萬 羽州酒田
貳 △ 池田屋 重吉殿揚
拾 久 同 最上造山
萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

一、屑蒲色入 沓箇

太郎兵衛出

海上安全

36、たて二一・六センチ よこ八・八センチ

(表)

⊕出

百 萬 羽州酒田
拾 △ 池田屋 重吉殿揚
九 久 同 最上造山
萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

一、屑薄白入 沓箇

太郎兵衛出

海上安全

37、たて二三センチ よこ一〇・二センチ

(表)

大坂木市積 ㊦出

酒田

池田屋 重吉殿揚

最上谷地

森谷 與七殿次

同所

萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

大坂

一、屑舞切入 沓箇

泉屋

太良兵衛出

海上安全

海上安全

39、たて二三・五センチ よこ九センチ

(表)

東京日本橋

玉置 金三郎殿上ケ

寒風沢

太田 茂八郎殿次

塩釜

田中重右工門殿次

羽前造り山

日塔久左衛門殿行

(裏) 戌七月

和泉屋

一、屑古手入沓箇

太郎兵衛

出

海上安全

38、たて二二・七センチ よこ九センチ

(表)

大坂 木市積 ㊦

羽州酒田

池田屋 重吉殿揚

最上造山

萬屋久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

和泉屋

一、屑布段入 沓甲

太郎兵衛

40、たて二三センチ たて八センチ

(表)

大坂 ㊦出

羽後酒田

池田 重吉殿上ケ

羽前造り山

日塔久左衛門殿行

百 十 壹

万 久

(裏) 卯三月 大坂 早野太郎兵衛出

一、屑古手入 壹箇

海陸安靜

41、たて二二・五センチ よこ八・六センチ

(表)

百 万

羽後酒田

大坂(⊕)出

七 △ 万

池田 重吉殿上ケ

番 久

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 卯七月 大坂 早野太良兵衛出

一、屑古手入 壹箇

海上安靜

42、たて二二・七センチ よこ八・五センチ

(表)

百 万

羽後酒田

大坂(⊕)出

九 △ 万

池田 重吉殿場

番 久

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏) 卯七月 大坂 早野太良兵衛出

一、屑古手入 壹箇

海上安全

43、たて二二・二センチ よこ八・三センチ

(表)

百

羽後酒田

大坂 門田積

四 △

池田 重吉殿上ケ

番 日塔久左衛門殿行

(裏) 住吉大神宮 末吉橋通式丁目

一、屑古手入 壹箇 早野太郎兵衛出

海上安全

午六月

44、たて二二・二センチ よこ八・八センチ

(表)

(追記) 野蒜共合社 大坂(出)

(取消)

羽後酒田

池田 重吉殿揚

百 壹 萬
久

羽前西村山郡造り山

日塔久左衛門殿行

(裏) 未九月

末吉橋通式丁目

一、屑布段入 壹甲 早野太郎兵衛

海上安全

45、たて二三・五センチ よこ八・四センチ

(表)

百 野蒜 土井茂兵衛殿揚ケ
五 萬 塩竈 佐藤喜兵衛殿次ク
久

羽前西村山郡造り山

日塔久左衛門殿行

(裏) 未十月

末吉橋通式丁目

一、屑古手入 壹甲 早野太郎兵衛

海上安静

46、たて二二・三センチ よこ九センチ

(表)

百 野蒜 土井茂兵衛殿揚ケ
八 萬 塩竈 佐藤喜兵衛殿次ク
久

羽前西村山郡造り山

日塔久左衛門殿行

(裏) 未十月

末吉橋通式丁目

一、屑古手入 杓甲 早野太郎兵衛出

海上安靜

47、たて二二・五センチ よこ八・七センチ

(表)

百 野蒜 土井 茂兵衛殿揚

四 △ 万 塩竈 佐藤 喜兵衛殿次グ
久

(朱書) 関山越新道通

羽前西村山郡造り山

日塔久左衛門殿行

(裏) 未十月

末吉橋通式丁目

一、屑古手入 杓甲 早野太良兵衛

海上安靜

48、たて二二・八センチ よこ八・九センチ

(表)

大坂(出)

三 東京日本橋 玉置 金三郎殿揚

百 △ 万 陸前寒風沢 太田 茂八郎殿次

久 同塩竈 田中重右衛門殿次

番 羽前造り山 日塔久左衛門殿行

(裏)

亥八月 大坂早野 太郎兵衛出

一、屑綿入 杓甲

海上安全

49、たて二二・五センチ よこ九・二センチ

(表)

大坂(出)

式 東京日本橋 玉置 金三郎殿揚

百 △ 万 陸前寒風沢 太田 茂八郎殿次

九 久 同塩竈 田中重右衛門殿次

九十 久

九

羽前造り山
日塔久左衛門殿行

(裏) 亥八月
大坂

一、屑古手入 老甲
海上安全
早野
太郎兵衛出

50、たて 二二・四センチ よこ 一〇センチ

(表) 大坂(⊕)出

東京日本橋
玉置 金三郎殿揚
陸前寒風沢
太田 茂八郎殿次
同塩竈
田中重右衛門殿次
羽前造り山
日塔久左衛門殿行

(裏)

一、屑古手入 老甲
海上安全
大坂
早野太郎兵衛出

51、たて 二二・八センチ よこ 九・二センチ

(表)

大坂(⊕)出
百 萬
羽後酒田
池田 重吉殿上ケ
羽前造り山
日塔久左衛門殿行

(裏) 住吉太神宮

一、屑古手入 老箇
海上安全
早野
太郎兵衛

52、たて 二三センチ よこ 八センチ

(表)

大坂(⊕)出
百
羽後酒田
池田 重吉殿揚
羽前造り山
日塔久左衛門殿行

(裏)

一、屑夏物入 老甲
海上安全
早野
太良兵衛出

53、たて 二二・四センチ よこ 九・三センチ

(表)

百 兵庫
北屋 嘉助 殿上
羽州酒田
拾 池田屋 重吉殿上
同 造山
六 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入 菅筒 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目

未ノ六月吉日

55、たて二二・五センチ よこ九・五センチ

(表)

百 兵庫
北屋 嘉助 殿上
羽州酒田
拾 池田屋 重吉殿上
同 造山
弐 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入 菅筒也 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目

未六月吉日

54、たて 二二・八センチ よこ 九センチ

(表)

百 兵庫
北屋 嘉助 殿上
羽州酒田
拾 池田屋 重吉殿上
同 造山
七 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入 菅筒也 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目

未ノ六月吉日

56、たて二二・三センチ よこ九センチ

(表)

百 兵庫
北屋 嘉助 殿上
羽州酒田
拾 池田屋 重吉殿上
同 造山
三 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入 菅筒也 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目

未ノ六月吉日

57、たて二二・二センチ よこ九・二センチ

(表)

百 兵庫
拾 北屋 嘉助 殿上
九 羽州酒田
池田屋 重吉殿上
△
同 造山
番 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

大坂安堂寺町四丁目

一、脣古手七束入老箇也 柏屋與兵衛出

未ノ六月吉日

59、たて二二・五センチ よこ九・一センチ

(表)

百 兵庫
拾 北屋 嘉助 殿上
苞 羽州酒田
池田屋 重吉殿上
△
同 造山
番 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

大坂安堂寺町四丁目

一、脣古手七束入老箇也 柏屋與兵衛出

未ノ六月吉日

58、たて二二・五センチ よこ九センチ

(表)

百 兵庫
拾 北屋 嘉助 殿上
八 羽州酒田
池田屋 重吉殿上
△
同 造山
番 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

大坂安堂寺町四丁目

一、脣古手七束入老箇也 柏屋與兵衛出

未ノ六月吉日

60、たて二二・七センチ よこ九・一センチ

(表)

百 兵庫
拾 北屋 嘉助 殿上
五 羽州酒田
池田屋 重吉殿上
△
同 造山
番 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

大坂安堂寺町四丁目

一、脣古手七束入老箇也 柏屋與兵衛出

未ノ六月吉日

61、たて二二・四センチ よこ九・一センチ

(裏)

百 拾 四 番
兵庫 北屋 嘉助 殿上
羽州酒田 池田屋 重吉殿上
同 造山 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入 沓筒也 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目
未ノ六月吉日

63、たて二二・五センチ よこ八センチ

(表)

百 廿 式 番
羽州酒田 池田屋 重吉殿上ケ
同 最上造山 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

屑古手入 沓筒 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町三城橋
申六月吉日

62、たて二二・五センチ よこ九・二センチ

(表)

百 式 拾 番
兵庫 北屋 嘉助殿上
羽州酒田 池田屋 重吉殿上
同 造山 萬屋久左衛門殿行

(裏) 海上安全

一、屑古手七束入沓筒也 柏屋與兵衛出
大坂安堂寺町四丁目
未ノ六月吉日

64、たて 二三センチ よこ 九・二センチ

(表)

百 四 番
羽州酒田 池田屋 重吉殿
同 造山

屑夏入

日堤久左衛門殿行

(裏) 戌七月

海上安全 自大坂 大村又三郎

◇出

上久二

65、たて 二三センチ よこ 九センチ

(表)

羽州酒田

池田屋 十吉殿

△出

百 六 △

羽州造山

層古手入

日堤久左衛門殿行

(裏)

戊七月

自大坂

海上安全

大村又三郎

上久二

66、たて 二三センチ よこ 九センチ

(表)

羽州酒田

池田屋 重吉殿

△出

百 三 △

同 造山

層古手入

日堤久左衛門殿行

(裏)

戊七月

自大坂

海上安全

大村又三郎

上久二

67、たて二二・八センチ よこ九・四センチ

(表)

羽州酒田

池田屋 重吉殿

百 七 △

同 造山

△出

層古手入

日堤久左衛門殿行

(裏) 戊七月

自大坂

海上安全

大村亦三郎

上久二

69、たて二三センチ よこ九・二センチ

(表)

百 五

羽州酒田

池田屋 重吉殿

同 造山

日塔久左衛門殿行

屑古手入

(裏) 戊七月

海上安全

自大坂
大村又三郎

上久二

68、たて二三・七センチ よこ九・一センチ

(表)

百 一

羽州酒田

池田屋 重吉殿

同 造山

◇出

屑古手入

(裏) 日塔久左衛門殿行

(裏)

戊七月

海上安全

自大坂
大村又三郎

上久二

70、たて二三センチ よこ九・二センチ

(表)

百 八

羽州酒田

池田屋 重吉殿

同 造山

◇出

屑古手入

(裏) 日塔久左衛門殿行

(裏) 戊七月

海上安全

自大坂
大村又三郎

上久二

71、たて 一八センチ よこ 六・七センチ

(表)

百 大坂[⊕]出

野蒜共合会社殿上ケ

九 井 [△]
造り山 日塔久左衛門殿行

號 上ノ 廿四メ五

(裏)

海上安全

那覇玉砂糖 大西仁三郎

老御撰

(裏) 海上安全 大西仁三郎

新那覇玉砂ト

権道 老御撰

73、たて二二・九センチ よこ九・三センチ

(表)

百 羽州酒田 池田屋 重吉殿

九 [△] 同 造山

屑古手入 日堤久左衛門殿

(裏)

海上安全 大村又三郎

上ろ二

(表)

72、たて 一八・五センチ よこ 七センチ
百 大坂[⊕]出

酒田 池田 重吉殿揚

羽前造り山 日塔久左衛門殿行

上の 井老メ目

九 拾 [△]
号

74、たて二二・三センチ よこ八・三センチ

(表)

百 羽前酒田 池田屋 重吉殿上ケ
同 最上谷地 大坂
六 △ 森谷 與 七殿次 出
番 萬屋久左衛門殿行

(裏) 水天宮御守入

海上安全

卯正月

羽州屋 久右衛門造り

76、たて二〇・五センチ よこ九・二センチ

(表)

百 羽前酒田 池田屋 重吉殿上ケ
同 最上谷地 大坂
九 △ 森谷 與 七殿次 出
同 造り山 萬屋久左衛門殿行

(裏) 水天宮御守入

海上安全

辰正月吉日

羽州屋 久右衛門殿荷物 姫路屋惣次郎造り

75、たて二三センチ よこ八センチ

(表)

百 羽前酒田 池田屋 重吉殿 大坂
同 最上谷地
五 △ 森谷 與 七殿 出
番 萬屋久左衛門殿

(裏) 水天宮御守入

海上安全

卯正月

羽州屋

久右衛門造り

77、たて二〇・五センチ よこ九・二センチ

(表)

百 羽前酒田 池田屋 重吉殿上 大坂
同 最上谷地
四 △ 森谷 與 七殿次 出
同 造り山 萬屋久左衛門殿行

(裏) 水天宮御守入

海上安全

羽州屋 久右衛門殿荷物

辰五月大吉日

姫路屋
惣次郎造り

(裏)

海上安全

七月吉日
羽州屋久右工門

78、たて二二・五センチ よこ八・六センチ

(表)

百 羽州酒田
池田屋 重吉殿上ケ

九 △ 同最上谷地
森谷 與七殿 大阪

番 同最上
萬屋久左衛門殿行 出 欠

(裏) 水天宮御守入

海上安全 羽州屋
久右衛門

六月大吉日
姫路屋
惣次郎造り

79、たて 二一・七センチ よこ 七・五センチ

(表)

百 羽前酒田
池田屋 重吉殿 従大坂

式 △ 同最上谷地
森谷 與七殿 欠

拾 同所
萬屋久左衛門殿行 出

81、たて二二・一センチ よこ八・四センチ

(表)

式百 羽後酒田上ケ
池田 重吉殿

七 △ 羽前造り山
日塔久左衛門殿行 出 分

(裏) 海上安全

稀天切綿入 大坂
姫嘉出

四月出

80、たて二二・二センチ よこ八・七センチ

(表)

式百 羽後酒田
池田 重吉殿上ル

五 △ 羽前最上造り山
日塔久左衛門殿行

大坂

(裏) 海上安全

大坂

稀天切綿入 姫嘉出

五月

(裏)

海上安全

大坂

上印大判綿入 姫嘉出

四月出

82、 たて二二・三センチ よこ八・五センチ

(表)

百

△

三

(裏) 海上安全

稀天切綿入

大坂

姫嘉出

84、 たて二二・四センチ よこ八・六センチ

(表)

二百

△

拾老

(裏) 海上安全

布段綿入

大坂

姫嘉出

四月

中印分

83、 たて二二センチ よこ八・五センチ

(表)

二百

△

拾老

羽後酒田

池田 重吉殿

分出

羽前造り山

日塔久左衛門殿行

羽後酒田上ヶ

池田 重吉殿

分出

羽前造り山

日塔久左衛門殿行

85、たて二二・二センチ よこ九センチ

(表)

二百
△
羽後酒田上ヶ
池田 重吉殿 分出
羽前造り山
拾四 日塔久左衛門殿行

(裏) 海上

大坂
姫嘉出
布段 綿入

四月出 中印分

86、たて二二・二センチ よこ八・八センチ

(表)

第百拾式
△
羽後酒田 大坂 倉出
池田 重吉殿揚
羽前最上造り山
日塔久左衛門殿行

(裏) 明治十二年

海陸 安全 保倉 惣治郎

三月大吉日

87、たて二二・五センチ よこ八・三センチ

(表)

百
△
羽後酒田 大坂
池田 重吉殿揚 倉出
羽前最上造り山
日塔久左衛門殿行

(裏)

明治十五年三月吉日
海陸 安全 保倉 惣治郎

88、たて二二・五センチ よこ八・三センチ

(表)

百
△
羽州酒田 大坂 倉出
池田屋 重吉殿
同最上造り山 上ヶ
萬屋久左衛門殿 出
荷物

(裏) 水天宮御守入

海 上 安全 姫路屋 惣治郎

巳正月大吉日

89、たて二二センチ よこ八・二センチ

(表)

羽州酒田

池田屋 重吉殿上

大坂

百

羽州最上造り山

萬屋久左衛門殿

出

木綿式率八反入

荷物

(裏) 水天宮御守入

姫路屋

海上安全

惣治郎

午五月大吉日

住吉太神宮

海上安全

91、たて二二センチ よこ八センチ

(表)

酒田

池田屋 十吉殿揚

式

百

羽前最上造り山

萬屋久左衛門殿

泉坊西出

(裏) 酉八月吉日

平野

住吉太神宮

常七

海上安全

90、たて二二センチ よこ七・五センチ

(表)

南原綿

方泉屋

三百

庄内酒田

池田屋 重吉殿

△

五

十八角入

羽前造り山

日塔久左衛門殿

西出

(裏) 明治七戌五月吉日

平野常七

92 たて 二〇・六センチ よこ 八・六センチ

(表)

東京方式

羽半 出シ

陸前塩釜

通運会社 揚

羽前西村山郡造山

日塔久左衛門殿行

△

(裏)

詰合櫃海陸安全

茂木平十郎家文書

(河北町谷地)

一 覚

覚

◇皆両
仕入 紅花十八入 四丸

若山屋喜右門殿行

能州七尾

三津屋藤吉船

八月二日出帆

右之通出帆仕候間、乍憚御休意可被成候、以上

八月五日

大沼 平八 ㊦

榎 平十郎様

二 書簡

(前欠)

差上候間、乍憚御休意可被下候、跡又御荷物御添心を以御指向被成下候者、急便御案内仕候、迪度夫々如此御座候、恐惶謹言

八月十一日

大沼 平八

勘七

㊦

榎 平重郎様

三 書簡

一筆啓上仕候、干今□□下候節ニ御座候へ共、御家内様
弥御勇健に可被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、扨而当方
無差罷在申候、乍憚(以下切レ)

四 書簡

一筆啓上仕候、追々秋冷相成候得共、御家内様弥御勇健
被遊御座、珍重御儀奉存候、然者御仕入紅苧不相替御差
向被成下、千万難有仕合奉存候、則便船出帆、別紙入貴
覽候間、宜御承引可成下候

一、万所諸相向、別而相替儀も無御座候得共、相応之御
用向被仰付、被成下度奉願上候、右御案内義申上度、
早々如斯御座候、恐々謹言

八月廿五日

大沼 平八

勘七

茂木平十郎様

五 覚

覚

◇皆雨
仕入 三丸 紅花

拾六袋入

同 壹丸 同

拾七袋入

若喜様

送手板添状

送金三步也

吉田屋甚兵衛殿揚々

右之通槩受取申候、以上

庄司清次郎



卯六月十八日

六 覺

覺

◇皆
雨 紅花 四丸

十六入

内壺丸合印有り

若喜殿行

送手板添状

添金三分

右之通槩受取申候、以上

庄司清次郎 ㊦

子七月廿日

茂木平十郎殿

七 口上

口上 (木版)

一、紅花目入之儀、欠立候ニ付、是迄度々御掛合申上候へ共、兎角輕目多、紅屋衆中々欠引之義被申出、既ニ去夏茂書付を以申上候処、一向無其甲斐、別而昨秋八存外之輕目ニ付、此度者紅屋衆中々欠引之儀、嚴鋪被申出候、尤茂袋目茂式拾目与申上候得と茂、三拾目余之袋相見江、弥以欠立困り入候、已来袋目ニ不抱、正味五百目取引ニ可致様、紅屋方一統申来候間、此段左様御承知可被下候、右之儀先年々数度申上候へと茂、目入相直候儀無之、却而年々輕目多分ニ相成候、依而當寅年新花方、正味五百目取引ニ相定メ、輕目之分ハ欠引仕候間、目方誠情御吟味御改、為御登可被成下候、此段御在京御荷主方へ茂、申上置候得者、宜鋪御冗達可被下候、以上

寅正月

京都

御荷主中様

紅花屋中

八日相達申候間、則態々為登差上申候、御改御請取可被下候、以上

山口や甚兵衛 ㊦

八 覚

覚

京ろ

当正月五日出し

一、歩判金三両貳步貳朱

下り金

銀五匁四分八厘

添状とも

此錢五百九拾壹文

右之内

一、貳百三拾文

福しまろ谷地迄仕立ちん

但し山形ろ飛脚兩人

差引金三兩貳步貳朱

三百六拾壹文

相渡ろ

◇ 兩揃 仕入

御印

拾六入

四丸

右者京都和歌山屋喜右衛門殿ろ、貴家様行下り金、昨廿

右之内ニ別口ろ袋有

九 書簡

茂木平十郎様

申正月廿九日

一筆啓上仕候、秋冷之砌ニ御座候処、貴御地御家内様御揃益々御勇健ニ被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、随ろ而當方無異儀罷在候間、乍憚御安意思召可被下候

一、六月廿六日船便御書状相達候、忝拜見仕候、且其砌御案内被仰下候御印御荷物、此度左ニ

右之通海上無難ニ而京着仕候間、此段御安意可被下候、
且又右之荷物着候ハ、引当内金差下シ可申候様被仰聞
承知仕候、則左之通

覚

一步判金三拾五兩也

右之通嶋屋飛脚ヲ以、山形山口甚兵衛殿へ向ケ指下し申
候間、其着早速相届キ可申、御改御受取可被下候、尤右
金子下し太賃之儀者、福蔭迄ハ当地扨、同所方先キ者御
地扨ニ御座候間、山口屋方可申參口御承知太賃御渡し可
被下候

(後半欠)

二月七日

若山屋喜右衛門^(カ) 印

茂木平十郎様

賈下

一〇 書簡

一筆啓上仕候、向寒之砌御座候処、貴御地御家内様御揃
益御勇健被遊御座、珍重之御儀奉存候、随而当方無異儀
罷在候、乍憚御安意思召可被下候

一、九月十七日出ヲ以御印御荷物、内金下候方添状旁一
書申上候得ハ、定而相達御披見御承知可被成下候、

早々奉望願上候

一、此度御印御荷物左ニ

◇ 丸兩 尅駄拾九
仕入 御印

御手取金 六拾九兩替

右之通情々吟味之上出情相働キ、書附申候、定而思召ニ
者相叶申間敷候得共、爰元紅花之様子先書後、差而相替

儀

(後半欠)

一一 書簡

十八入 式

若喜殿行

送手板添状

添金三分

通切手巻通

茂木平重郎様

善吉

要用

当日之御礼目出度申納候、先達而御咄申上候通り、当七日方十一日迄花相場為御知、被下度御頼申上候、御世話勝二奉存候へ共、何卒無御失念御願上申候、其内御礼旁可申上候、以上

右之通儲受取申候、以上

太田や甚兵衛殿揚

浅黄 善吉

寅七月六日

茂木平十郎殿

庄司清次郎 ㊦

一二 覚

覚

一、紅花 三拾五又め

此役永 八分八厘

右へ金式朱受取

㊦式百六拾五文位

◇ 緋仕
紅入 紅花 四丸

十七入 式

一三 書簡

(前欠)

先八右御礼御案内旁申上度、重便ニ追々申上候、

恐惶謹言

吉田や甚兵衛 ㊦

七月十六日

茂木平十郎様

遠察仕候

一、此度御印御荷物左ニ

◇ 玉紅
仕入 御印 壺駄廿

右之内サシ取合印壺袋有

十一月晦日限

御手取金五拾両かへ

右之通出精相働キ売付申候、定思召ニ八相叶申間敷奉存候得共、爰元紅花之様子、出金後専ラ紅染回ニ相成候得共、兼而仍り聞可被遊候半、当年早庭向存外荷高沢山ニ而、直段も下直ニ多分売透ニ付、右ニ押れ最仙商内も尽敷(切れ)相見へ申候、乍併諸国平均多分と申、荷高二も無之候ニ付、末々者氣配も引立候半と奉存候得共、染種類高直ニ而、紅屋方一円相見合罷在候ニ付、今以商内尺取不申、取引も緩ミ仕罷在候、且御印御荷物之儀者、兼而早売可仕候様被仰下候ニ付、自然売後れニ相成候而ハ、申訳ケも無之候故、日々無油断吟味仕候所、幸此度能望人相出候ニ付、力一盃相働キ、前段之通売付申候、

一四 書簡

一筆啓上仕候、甚寒之節ニ御座候処、貴御地御家内様御揃益御勇健ニ可被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、随而當方無異儀罷在候間、乍憚御安意思召可被下候

一、十月四日出を以御印御荷物、引当内金差下旁いさい申上候得者、定而相達し御被見御承引被成下候半と、

此段宜御承知可被下候

一、此度別紙仕切目録相認入來、差下し申候間、其着御引合御一覽可被下候、尚又差引殘金之儀ハ、此度嶋屋飛脚ヲ以、山形山口甚兵衛殿へ向差下申候間、其着同人殿方相届キ可申、御改御受取可被下候、尤右金子下候太賃之儀ハ、例之通福嶋迄者当地払、同所方先キ者御地払ニ御座候間、山口殿方可申參、宜御承知太賃御渡し可被下候、先者御印御荷物売付御案内、金子添状旁右之段申上度、如此ニ御座候

恐惶謹言

十一月廿二日

若山屋喜右衛門

印

一五 書簡

一筆啓上仕候、寒氣甚敷御座候処、貴御地御家内様御揃益々御勇健ニ被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、隨而当方無異儀罷在候間、乍憚御安意思召可被下候

一、九月十四日出ヲ以御印御荷物引宛内金差下し候、旁委細申上候得共、定而相達し御被見御承引被成下候半と、奉遠察候

一、御印御荷物之儀者、兼而早売仕候様被仰聞候処、段々売渡しニ相成、何共御申訳にも無之任合ニ奉存候、扱愛元紅花之様子、定而追々及御聞可被遊候半、寔ニ近年不覺大不景氣ニ而、殊駄數も存之外多ク登り込、依之紅花方益氣配惡敷、且御印御荷物之儀も着否哉、夫々売口吟味仕候得共、何分下直ニ而、最初方御損毛ヲ乍存、売付候義も如何と奉存候間、何卒御損金ニ不(切れ)

心配仕候得共、追々下落仕、今更見切売も難致、無扱春へ持越しニ相成可申、甚御氣之毒ニ奉存候得共、右之任合ニ御座候間、此段宜敷御断申上候、乍併、此処際商内一花引立候ハ、早速売付御左右可申上候間、此段吳々も宜御承引可被下候、先者御印御荷物売方延引御断旁申上度、如此ニ御座候、尚期重便之時候、恐

惶謹言

若山屋喜右衛門 ㊦

極月七日

茂木平十郎様

御手取金 四拾三兩かへ

同 別口 六袋
差花

御手取金 三拾八兩かへ

右之通出精相働売付申候、定而思召二者相叶申間敷と奉
存候へ共、爰元紅花之様子、先書申上候通、地庭大不景
氣二付、迎も……(以下欠)……

一六 書簡

(前欠)

越年之残花

凡九百駄位

一七 書簡

(也) 扱々旧冬者万端御都合克、御取仕舞被遊候半と、目出度

奉存候、然者旧臘七日出ヲ以委細申上候得者、定相達被

披見、御承引被成下候半、奉遠察候

一、此度御印御荷物左ニ

◇ 両揃 片馬三十一
仕入 御印

右之内ニ取合印者袋有

(前欠)

奉存候二付、先書売方延申、御断申上置候へ共、其後
色々心配仕候処、残花も殊之外多ク、左候得者春へ持越
候共、格別引立候様子も相見へ不申、且者利足等も多分
相掛り、尚更御気毒ニ奉存候間、乍下直此処売場と奉存
候二付、日々「」売口吟味仕候処、幸此度能望人御座
候二付、力一盃相働、前段之通売付申候、定而下直之様

二可被思召得共、當時之相場ニ而者上直段ニ御座候間、
此段亘御承知可被下候

御荷物不相替、近々御指向被成下、誠ニ御厚情之段、千
万難有仕合奉存候……………(以下欠)……………

一、此度別紙目錄相認、入来差下し申候間、貴着御引合
御覽可被下候、尚又御差引殘金之儀者、此度寫屋飛脚
ヲ以、山形山口甚兵衛殿へ向ケ差下し候間、相
速御届キ可申、御改御受取可被下候、尤金子下太賃之
儀者、例之通福島迄者当地払、同所方先キ御地払ニ御
座候間、山口殿方可申參、亘御承知太賃御渡し可被下
候、先者御印御荷物売付御案内、金子添状旁申上度、
如此ニ御座候、以上

一八 書簡

(端裏書)「茂木平十郎様」

一筆啓上仕候、未ダ残暑之砌御座候得共、御家内様弥御
勇健可被遊御座、珍重御儀奉存候、しかれば御仕入紅花

齋藤理久郎家文書

(寒河江市)

一 覚

一紅花四駄

但 老駄三付三拾貳貫目

老箇

老駄四箇附

八貫五百目入七箇 九貫目入 拾箇

二 覚

一紅花貳拾八箇

但 正味五百目入袋

拾七入四箇

拾八入九箇

拾九入九箇

貳拾入六箇

右之通他国出仕度候間書面之荷物無二間違一御通し可レ被レ下候、以上

文政元 寅年七月十四日 池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方御役所

此分七月九日願ニ付 十四日之日付ニ遣ス
右十七日ニ万七分老箇足し願ニ付 右之通り直遣シ

候

右之通今般他国出仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一御通可レ被レ下候、以上

卯七月十二日

石川村兼帯

楯北村

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

三 覚

一小野川

拾九入四丸

一日下

廿 入八丸

ノ 拾貳丸

右之通大石田口御判御願申上候 以上

卯七月十六日

拾八入 四箇

右者今般他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一 御通し可レ被レ下候、以上

卯八月五日

越中

買荷主 權右衛門 ㊦

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡橋北村

賣荷主 源 兵衛 ㊦

名主 武右衛門

大石田

舟方

御役所

四 覚

一紅花拾七箇

但 正味五百目袋

貳拾八七箇

貳拾壹入志箇

拾九入 五箇

五 覺

一紅花九箇

但 正味五百目袋

十九袋入七箇

式拾入 式箇

右者今般他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違一
御通し可レ被レ下候、以上

卯四月六日

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利 兵衛[㊦]

右村名主 武右衛門[㊦]

大石田

船方 御役所

六 覺

一紅花四箇

但 正味五百目袋

十九入 式箇

十八入 式箇

文言同斷

卯七月廿二日

荷主 善 太郎[㊦]

七 覺

一紅花八箇

但 正味五百目入袋

十八入 四箇

十九入 四箇

右者此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一 御通し可レ被レ下候 以上

卯八月八日

池田仙九郎御代官所

文政二卯年六月卅日

池田仙九郎御支配所

羽州村山郡楯北村

羽州村山郡楯北村

荷主 六之助^印

荷主 市兵衛^印

名主 武右衛門

名主 武右衛門

大石田船方

大石田 船方

御役所

御役所

八 覚

一 紅花三駄式袋

但 老駄ニ付三拾貳貫目

老駄四箇附

九貫目入七箇

八貫五百目入四箇

九 覚

一 紅花四駄半五袋

但 老駄ニ付三拾貳貫目

老駄四箇附

八貫五百目入老箇

右之通他国出任度候間、無ニ相違一 御通し可レ被レ下

候、以上

右者石川村左兵衛右御納ニ罷有申候ニ付、当村之分ニ
いたし遣申候

九貫五百目入式箇

九貫目入拾壹箇

拾メ目入式箇

一〇 覚

右之通他国出仕度御座候間、書面之荷物無二相違一御

通し可レ被レ下候、以上

一紅花式駄

但壹駄ニ付三拾式メ目

拾四袋

壹駄四箇附

但壹袋ニ付

八メ五百目入四箇

六メ目入

九貫目入 式箇

文政二卯年六月廿七日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

右之通他国出仕度候間、無二相違一御通し可レ被レ下候、以上

大石田

船方

御役所

文政二卯年七月二日

荷主 市兵衛印

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

一一 覚

一紅花三拾五箇

但 正味五百目袋

十七入 四箇

十八入 十八箇

十九入 八箇

廿入 貳箇

廿壹入 三箇

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無二相違一御通し

可レ被レ下候、以上

文政二卯年七月十一日 池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 善太郎^印

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

一二 覚

三拾壹メ五百目

貳拾メ目

七拾六メ目

拾六メ貳百目

三拾四メ目

ノ百七拾七メ七百目

覚

一紅花四箇

但 正味五百目袋

十六入 貳ツ

十七入 貳ツ

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無二相違一御通し

可レ被レ下候、以上

文政二卯年七月十二日

荷主 善太郎^印

船方

御役所

名主 武右衛門

大阪御廻米納ニ付罷登リ
与頭七兵衛代印

大石田

船方

御役所

一三 覚

一紅花三駄式袋

但 老駄ニ付三拾貳貫目

老駄 四箇附

九貫目入七箇

八貫目入四箇

一四 覚

一紅花式駄拾四袋

但 老駄ニ付三拾貳貫目

老駄四箇附

八貫五百目入 四箇

九貫目入 貳箇

九貫五百目入 貳箇

右之通他国出任度候間、書面之荷物無ニ相違一御通し
可レ被レ下候、以上

文政二卯年六月十八日 池田仙九郎支配所

羽州村山郡石川村

荷主 市兵衛印

名主 左兵衛印

右之通他国出任度候ニ付、書面之荷物無ニ相違一御通
シ可レ被レ下候、以上

文政二卯年七月二日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 市兵衛[㊦]

名主 武右兵衛[㊦]

大石田

船方

御役所

辰八月十日

理兵衛[㊦]

右之通大石田船方

御役所へ差出申候

名主

武右衛門様

十二日ノ日付ニ

いたし候

一五 覚

一紅花拾九箇

十七袋入 忝

但シ 十八袋入 八

十九袋入 五

廿袋入 忝

廿壹袋入 三

廿貳袋入 忝

右之通御願申上候 以上

一六 覚

一紅花拾貳箇

廿袋入 貳箇

但シ 廿一袋入 九箇

廿貳袋入 忝箇

右之通御座候 以上

辰四月八日

荷主 理兵衛

名主 武右衛門様

一八 覚

一七 覚

一紅花拾貳箇

正味五百目入袋

但 貳拾入 九ツ

貳拾老入 三ツ

右者今般他国出し仕度御座候間、書面之荷物無ニ相違
一御通し可レ被レ下候、以上

巳七月廿日

池田仙九郎代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛印

名主 武右衛門印

大石田船方

御役所

一紅花拾貳箇

十八袋入 四箇

但 十九袋入 四箇

廿袋入 四箇

右之通御座候間御願申上候、以上

巳四月九日

理兵衛印

御名主 武右衛門様

一九 覚

一紅花拾六箇

但 廿入 拾老丸

十九入 五丸

右之通奉ニ願上一候

巳七月

荷主 理兵衛

大石田

石川

船方

武右衛門様

御役所

二〇 覚

右之通通切手差出申候

巳七月十一日 ひかへ

一 紅花式駄

但 壹駄ニ付三拾貳貫目

壹駄四箇附

二一 覚

壹箇九貫目入

七箇八拾五貫目入

一 紅花拾箇

内拾九造り六箇

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通可

拾八造り四箇

レ被レ下候、以上

右之通大石田出しニ届候

巳七月十二日

川崎平右衛門支配所

文政四年巳八月

山形十日町

羽州村山郡楯北村

右石川村三次郎願ニ付切手遣ス

荷主 西屋清兵衛

荷主 利兵衛

三次郎荷主として八月五日出し之

荷宿 石川三次郎

名主 武右衛門

つもりニ而遣ス、西屋ハ不用

二二 覚

一紅花五箇

但 正味五百目袋入

廿八 貳ッ

十九入 三ッ

右之通他国出仕候間、書面之荷物無二相違一御通し可
レ被レ下候、以上

文政四巳年七月廿四日

荷主 六之助

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

二三 覚

一紅花拾老箇

但 正味五百目袋

十七入 四箇

十八入 六箇

十九入 老箇

右之通他国出し仕度候間、書面之荷物無二相違一御通
し可レ被レ下候、以上

文政五年七月二日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛[㊦]

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

二四 覚

一紅花九箇

但 正味五百目入袋

拾八入 五ツ

式拾入 四ツ

右者今般他国出し仕度御座候間、書面之荷物無ニ相違

一御通し可レ被レ下候、以上

午七月十八日

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛[㊦]

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

二五 覚

一紅花拾壹箇

但 十九入 拾丸

午七月十五日

廿入 壹丸

大石田へ差出

右之通奉ニ願上一候

七月十七日

荷主 理兵衛

石川名主

武右衛門様

二六 覚

一紅花五箇

但 正味五百目袋 式拾入 式ツ

拾九入 三ツ

右之通他国出仕候間、書面之荷物無ニ相違一御通し可

レ被レ下候、以上

文政四巳年七月廿四日 池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 六之助[㊦]

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

午七月十六日

川崎平右衛門支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

午七月十六日三切手遣し候、ひかへ

二七 覚

一 紅花沓駄半

但 沓駄三付三拾貳貫目

沓駄四箇附

沓駄拾貫目入

五箇九貫目入

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無二相違一御通可

レ被レ下候、以上

二八 覚

一 紅花沓駄半

但 八貫五百目入四箇

沓駄三付三拾貳貫目 沓駄四箇附

八貫目入 沓駄

九貫目入 沓駄

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無二相違一御通可

レ被_レ下候 以上

午八月十三日

川崎平右衛門支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

午八月十三日二切手遣又 夫利助

二九 覚

一 紅花三駄

五箇拾メ目入

七箇九メ五百目入

川崎平右衛門支配所

羽州村山郡石川村

午八月十五日

荷主 甚右衛門

川船方

名主代清右衛門

御役所

三〇 覚

一 紅花九箇

但 正味五メ目袋

十九入七丸

式拾入式丸

右之通他国出し仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通
可_レ被_レ下候 以上

文政五年七月十二日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

三一 覚

一 紅花拾貳箇

但 正味五百目袋

拾九入 老箇

拾八入 拾老箇

右之通他国出し仕度候間、書面之荷物無二相違一御通し可レ被レ下候、以上

文政六 未年七月十一日 池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

利兵衛 印

名主 武右衛門 印

大石田

船方

御役所

三二 覚

一 紅花式駄老箇

但 八貫五百目入 六箇

九又め入三箇

老駄三付三拾式又め 老駄四箇附

未七月十二日ニ出ス

右文言例之通り

高畑

荷主 利兵衛 印

三三 覚

一 紅花六箇

但拾九入式丸

拾八入四丸

右之通奉ニ願上一候、以上

名主 武右衛門様

申八月廿四日

理兵衛

大石田へ通切手差出

石川

武右衛門様

三五 覚

但 老駄三付三拾式メ日老駄四箇附

一紅花貳拾壹箇

九箇九貫目入

三四 覚

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通可
レ被レ下候、以上

申六月五日

池田仙九郎支配所

一紅花拾九箇

十八入 三

羽州村山郡楯北村

十九入 貳

荷主 利兵衛印

廿入 十貳

名主 武右衛門

廿一入 貳

大石田

ノ

船方

右之通御願申上候、以上

御役所

申八月廿一日

田河原 理兵衛

右之通り六月三日ニ差出し、ひかへ

三六 覚

一紅花廿箇

但 正味五百目袋

内 拾六入 壹箇

拾七入 九箇

十八入 八箇

十九入 貳箇

右之通他国出し仕度候間、無二相違一御通可レ被レ下候、以上

文政七申年八月九日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

利兵衛印

名主 武右衛門

大石田

舟方

御役所

三七 覚

一紅花八箇

但十八入 正味五百目袋入

右之通他国出し仕度候間、書面之荷物無二相違一御通可レ被レ下候、以上

文政七申年七月廿二日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

利兵衛印

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

七月廿日願ニ付差出候

三八 覚

外九箇三次郎分出ス

廿一入 五箇

右之通御願申上候、以上

酉 八月十六日

田河原 理兵衛[㊦]

御名主 武右衛門様

一紅花式拾六箇

但 十八入 式
十九入 十六

十八入 式

廿八 七

廿一入 壹

四〇 覚

右之通御願申上候、以上

酉 八月一日

理兵衛

一紅花式駄[㊦]壹箇

但 志駄 四箇附

志駄ニ付三拾式メめ

名主 武右衛門様

九箇九メめ入

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通シ
可レ被^レ下候、以上

三九 覚

酉 七月廿一日

池田仙九郎支配所

一紅花拾八箇

但 十八入 四箇
十九入 四箇

十八入 四箇

十九入 四箇

廿一入 五箇

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

右之通り七月十九日ニ書付遣候

四一 覚

一紅花八箇

但 正味五百目袋

十七入

右之通此度他国出し仕度御座候間、無ニ相違一御通可
レ被レ下候、以上

文政八酉年七月十日

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛㊦

大石田

舟方

御役所

名主 武右衛門㊦

四二 覚

一紅花拾三箇

但 正味五百目袋

十八入 貳箇

十九入 十箇

貳拾入 壹箇

右之通此度他国出し仕度御座候間、無ニ相違一御通し
可レ被レ下候、以上

文政八酉年

池田仙九郎支配所

三月

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

舟方

御役所

大石田

船方

御役所

右之通り七月十二日荷送り三付、十一日朝任レ願遣ス

四三 覚

一紅花貳駄

但 九貫目入 六箇

九貫五百目入貳箇

老駄三付三拾貳貫目 老駄四箇附

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通シ
可レ被レ下候、以上

七月十三日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

利兵衛

名主 武右衛門

四四 覚

一紅花七箇

但 正味五百目袋

甘老入 六箇

甘入 老箇

右之通此度他国出し仕度候間、無ニ相違一御通シ可レ
被レ下候、以上

文政九戌年八月朔日

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

舟方

御役所

四六 覚

一紅花式駄沓箇

但 九貫目入 八箇

沓駄三付三拾貳貫目、沓駄四箇附

八貫五百目入 沓箇

四五 覚

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無二相違一御通し
可レ被レ下候 以上

一紅花六箇

但 十九入 五丸

亥七月十六日

池田仙九郎支配所

廿入 沓丸

羽州村山郡楯北村

右之通御座候、以上

荷主 利兵衛

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

右通切手

大石田

亥五月八日出又

船方

御役所

右之通書付切手遣し候

七月十三日

四七 覚

一紅花四箇

但 正味五百目袋

拾七入 三箇

拾八入 壹箇

右者此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一御通し可レ被レ下候 以上

文政十亥年七月廿九日 池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

利兵衛^印

右村名主 武右衛門

大石田

舟方

御役所

四八 覚

一紅花拾五箇

但 正味五百目袋

拾七入 貳箇

拾八入 八箇

拾九入 五箇

右者此度他国出し仕度候間、書面之荷物無二相違一御

通し可レ被レ下候 以上

文政十亥年 池田仙九郎御代官所

閏六月廿一日 羽州村山郡楯北村

利兵衛^印

武右衛門

大石田

舟方

御役所

四九 覚

一 紅花式駄

但 九貫目入 壹箇

八貫五百目入 七箇

老駄ニ付三拾貳貫目 老駄四箇附

右之通他国出仕度候間、書面之荷物無ニ相違一御通し
可レ被レ下候 以上

子 八月四日

池田仙九郎支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

八月三日朝ニ遣ス

五〇 覚

一 紅花式箇

但 正味五百目袋

拾七入 壹箇

拾八入 壹箇

右者此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無ニ相違
一御通し可レ被レ下候、以上

文政十一子年四月五日 池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛

右村名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

五一 覚

一紅花貳拾七箇

但 十七入 八箇

十八入 拾壹箇

十九入 貳箇

貳十入 六箇

正味五百目袋

右者此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一御通し可レ被レ下候、以上

子 八月廿九日

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村荷主

利兵衛印

右村名主 武右衛門印

大石田

舟形

御役所

五一 覚

一紅花七箇

但 正味五百目袋

拾九入 六箇

貳拾入 壹箇

右者此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違

一可レ被レ下候、以上

文政十一子 年八月八日 池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村荷主

利兵衛印

右村名主 武右衛門

大石田舟方

御役所

五三 覚

一紅花六箇

但 十七人 壹箇

十八人 五箇

丑八月十七日

荷主

理兵衛

羽州村山郡樞北村

荷主 利兵衛

名主 武右衛門

大石田

船方

御役所

丑七月五日願ニ付認相渡候分

五四 覚

一紅花三駄

但 九貫五百目入 四箇

九貫目入 八箇

壹駄ニ付三拾貳貫目、壹駄四箇附

右之通他国出仕候間、書面之荷物ニ相違一御通し可レ

被レ下候、以上

丑七月七日

池田仙九郎支配所

五五 覚

一紅花拾八箇

但 正味五百目袋

十八人 貳箇

十九人 九箇

貳拾人 七箇

右者今般他国出し仕度御座候間、書面之荷物無ニ相違

一御通し可レ被レ下候、以上

丑八月五日

池田仙九郎御支配所

羽州村山郡楯北村

荷主 利兵衛^印

名主 武右衛門

大石田

舟形

御役所

丑八月朔

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡楯北村

賣荷主 源兵衛

買荷主 京都源右衛門

右村名主 武右衛門^印

大石田

舟形

御役所

五六 覚

一紅花貳拾八箇

但 正味五百目袋

十八入

右之通此度他国出し仕度御座候間、書面之荷物無二相違一御通可レ被レ下候、以上

五七 仕切

一金八拾三兩貳歩卜

一金四拾六兩貳分替

銀三匁貳分八厘

金新玉 拾九入五
貳拾入一六丸

内金壹兩壹歩卜

壹分九厘

壹半引

銀貳拾貳匁九分六厘 右御手板不足

指曳金八拾壹兩三歩式朱ト

銀式匁六分三厘

ノ

ノ五日

⑤金三拾貳兩也

右同人殿渡シ

⑤此リ金壹兩三分式朱ト 右同断

式匁七分

⑤金八拾兩壹歩ト

式匁七分

此処江

⑤一金拾兩壹歩也 七月十四日仕切金

⑤此リ金壹歩ト

三分七厘九月迄二ヶ月半のり

⑤一金六拾兩三歩ト 九月八日限紅花代

七匁壹分九厘

⑤此リ 金壹歩ト 半月のり

三匁式分式厘

⑤一金式拾五兩式歩式朱ト 九月卅日限

六匁四分九厘 大極印仕切金

⑤金九拾七兩式朱ト

拾七匁式歩七厘

五八 指引覺

未四月朔日

⑤金四拾三兩三歩也

兩國屋太右衛門殿渡シ

⑤此リ金貳兩貳式歩式朱

九月迄六ヶ月のり

齊藤利兵衛殿

天保十年 亥十二月

伊勢屋理右衛門⑤

差引残り

◎金拾七兩卜

七匁七厘

室岡金助殿

内

◎金貳朱卜

大極貳丸

五九 仕切

三匁九分三厘

千枚不足

七月十四日限歩引

引残り

金拾六兩三步貳朱卜

三匁一分四厘也

一金拾兩老歩貳朱卜

壹匁八分七厘

金拾八兩替

倉男山 拾九入貳丸
拾八入貳丸

歩引

右之通差引殘金此度不レ殘相渡此表無ニ出入一相濟

申候、若哉相違之儀有レ之候ハ、重而御互ニ差引可

レ仕候、為ニ後日一依而如レ件

引而金拾兩老歩也

内金貳朱卜八分七厘

弘化四年

未九月卅日

伊勢屋理右衛門◎

右之通買請紅花差引殘此度不レ殘別紙指引表ニ而相渡シ、

此表無ニ出入一相濟申候、若哉相違之儀等有レ之候ハ、

重而御互ニ差引可レ仕候、為ニ後日一依而如レ件

齋藤理兵衛殿

上京

弘化四丁未年七月十四日

伊勢屋理右衛門◎

齋藤理兵衛殿

差引可レ仕候、為二後日之一依而如レ件

六〇 仕切

弘化四年未九月八日

伊勢屋理右衛門印

齋藤理兵衛殿

一金六拾壹兩三步卜

九月八日限歩引

式匁八分壹厘

金三拾五兩替

畚紅梅相入四丸

拾五袋

六一 仕切

金三拾八兩替

同天光式拾式袋

一金式拾六兩式朱也

畚大極廿式入式丸

内

内壹匁さし入

内金壹歩式朱卜

壹半引

金三步式朱卜

壹半引

壹匁壹厘

三匁壹分式厘

引而 金式拾五兩式歩式朱卜

引而金六拾兩三步卜

六匁四分九厘

銀七匁分九厘

右之通賣附紅花代不レ残差引表ニ而相渡、此表無二出入
一 相濟申候、若哉相違等之儀有レ之候ハ、重而御互ニ

右之通買請紅花代金此度不レ残相渡、此表無二出入一相
濟申候、若相違等之儀有レ之候ハ、重而御互ニ差引可
レ仕候、為二後日一依而如レ件

弘化四年丁未九月卅日 伊勢屋理右衛門[㊦]

齋藤理兵衛殿

六三 (覺)

子八月廿七日切手差出候

山形松原口通御判

荷主 吉兵衛[㊦]

六一 覺

四駄分

黒沢口

伊達大久保村善兵衛殿行

一金九拾兩也

右者京都^(マ)方紅花引当下り金鎚ニ受請取申処実正ニ御座
候為如レ此ニ御座候、以上

六四 (覺)

卯十月廿七日

丸屋惣助[㊦]

たから

三次郎

齊藤利兵衛殿

一紅花拾箇

但 正味五百目入袋

式拾入

閏七月廿六日

八月十五日

理兵衛

六五 覚

御名主

武右衛門様

一十七入 式箇

一十八入 八箇

一十九入 五箇

〆三駄三箇

六七 (覚)

右之通御座侯 以上

一中^新土地 紅花四丸

内 十九入式丸

十八入式丸

六六 覚

〆四丸

一十八袋入 式箇

一十九袋入 九箇

一式拾袋入 七箇

〆拾八箇

六八 覚

一十八入 七箇

一十七入 五箇

右之通御願申上侯 以上

一式十入 老箇

七月廿八日

六九 覚

一紅花 廿一入三丸

廿 入式丸

十九入八丸

十八入十八丸

十七入四丸

数三十五丸

袋数六百四拾七

七〇 覚

一紅花式拾七箇

十七袋入 八箇

十八袋入 拾老箇

但シ 十九袋入 式箇

式拾袋入 六箇

右之通御願申上候、以上

八月廿八日

名主 武右衛門様

理 兵衛

七一 覚

一紅花七箇

廿老袋入 六箇

廿袋入 老箇

右之通御願申上候、以上

七一 (覺)

一紅花八箇 但正味五百目袋 十七入 四箇

十八入 貳箇

十九入 貳箇

七四 覺

一紅花 十七袋入 三箇

十八袋入 老箇

右之通切手御願申上候、以上

七三 覺

廿入 五丸

廿一入 四丸

十九入 老丸

石川村

甚吉

七月廿九日

名主 武右衛門様

理兵衛

七五 覺

一紅花 十七袋入 老箇

十八袋入 老箇

閏七月廿六日

右之通切手御願申上候 以上

四月五日

高畑

利兵衛

一十八袋入

三丸

〆五丸

一十九丸入

貳丸

〆廿丸

七六 覚

右之通御座侯 以上

十六入

壹箇

十七入

九箇

一紅花廿箇

十八入

八箇

十九入

貳箇

右之通御座侯 以上

七八 覚

一紅花拾八箇

但シ廿入

三丸

廿一入

壹丸

十九丸入

七箇

廿入

七箇

廿一入

壹箇

廿二入

三箇

七七 覚

一廿袋入三丸

〆四丸

廿壹袋入壹丸

右之通御願申上侯、以上

一十九袋入 拾壹丸

八月七日

理兵衛

武右衛門様

七九 覚

此分七月廿六日通行切手差出し遊久、日付ハ廿八日ニいたし候

一紅花式拾箇
但シ廿二入
廿三入
三箇
壹箇

廿八入
十八入
十七入
八箇
七箇
壹箇

右之通御願申上度候

七月廿八日

高畑 理兵衛
名主 武右衛門様

八〇 (覚)

一畝紅花

廿入
廿一入
十九入
廿式入
四丸
壹丸
九丸
式丸

紅花式百目

拾六丸

八月四日通切手差出候

八月五日出シ

八一 覚

一紅花廿六箇

但シ十七袋入
十八袋入
十九入
式
八
三

廿袋入 八

廿一袋入 五

八三 (覚)

右之通御願申上候 以上

九ノ五百作り

式箇

閏七月七日

利兵衛

九ノ目作り

六箇

名主 武右衛門様

八二 覚

八四 覚

一紅花式拾三箇

但シ十七袋入 十八箇

一紅花片馬

但シ八メ五百目 老箇

十九袋入 五箇

一同 老駄

但シ八メ目 老箇

右之通通切手御願申上度候、以上

八月十一日

たから

六箇

理兵衛

荷主 利兵衛

名主 武右衛門様

八五 指引覺

七月朔日

④一金四拾八兩三分

兩國分太右衛門殿渡

⑤此り金三兩壹歩式朱卜

六月カ極月迄

銀式匁式分五厘

メ七ヶ月のり

⑥一金式歩卜

四匁六歩式厘

三月銀仕切之内水玉印壹

メ百文返上ニ付かし

三月七返式分替

九月卅日

⑦一金四拾四兩三步

兩國分太右衛門殿渡

⑧此り金壹兩壹歩卜

十月カ極月迄

五匁式分五厘

メ三ヶ月

⑨メ金九拾八兩式歩式朱卜

銀拾式匁四分式厘

右之処へ

⑩一金四拾壹兩式朱卜

兪谷組印

三匁式分五厘 九月節句銀仕切金

④此り金壹兩式分式朱卜 九月カ極月迄

式匁壹分 四ヶ月リ

⑤一金七拾八兩三分卜

四匁四分九厘 同石山印

極月銀仕切金

⑥メ金百式拾壹兩三分式朱卜

銀九匁式分八厘

印 指引金式拾三兩式朱卜

銀四匁九分六厘

右之通指引殘金此度不レ殘室岡金助殿江相渡 此表無

二 出入一 相濟申候、若哉相違之儀有レ之候ハ、重而

御互ニ指引可レ仕候、以上

十二月廿日

伊勢屋理右衛門印

齊藤利兵衛殿

八六 (覚)

一金五拾三兩三分

壹駄ニ付金四拾三兩かり

倉京極 五丸

内 金貳兩卜

三ヶ月利

金四拾八兩替

八十九文

金壹兩三分貳朱卜

内 寒紅 八丸

貳百八十八文

金四拾七兩替

差引

金四拾九兩三文一朱卜

百廿貳文

内金四拾五兩貳分一朱卜

百文渡し

残り金四兩壹分卜

六十七文返り

八七 覚

稻村七郎左衛門家文書 (山辺町)

一 紅花代金子之事

右者当寺方丈御取次ヲ以、江俣村高松寺様ヲ去々卯年紅

花仕入正ニ借用仕差支ニ御座候所、返済方何連とも出来

兼候ニ付、既ニ御公訴ニ相成可申之所、要害村少林寺様

并大塚村弥五郎殿御取唆被下、右趣意者当金四拾兩江俣

和尚様へ返済仕、残金六拾兩之処要害少林寺様御発起之

頼母子講江加入致居、引当次第ニ江俣江返金可仕様之取

扱ニ御座候得共、当金四拾兩逆も出来兼、沽脚ニても不

致候而ハ、相成不申処、当地七右衛門・六右衛門・利三

郎願入書面之金子左之通

一、金四拾兩也

右者江俣高松寺様へ返済可致金子、右三人立入、此度貴

殿へ願入、書面之金子四拾兩江俣ニ返済仕候処実正明白

ニ御座候、其上少林寺様御発起頼母子講へ出金之所、兩

度相掛可申分、貴殿御出金被下候様、利三郎・六右衛門・

七右衛門ヲ以願上候処、此度御承知被成下、家内相統仕

難有仕合奉存候、当年柄ニ付、春中八会合之所、休ニ罷

成、当秋中ハ兩度御出金被下候へ者、其後者拙者共出金

仕、右頼母子講へ少茂御苦勞相掛申間敷候、為後日仍而

如件

天保五年午四月

丹次郎 ㊦

七兵衛 ㊦

七太郎 ㊦

理三郎 ㊦

七右衛門 ㊦

六右衛門 ㊦

稻村七郎左衛門殿

二 乍恐ケ条書を以御願申上候事

(手遠之紅花買入、色々謀計之義ニ付)

乍恐ケ条書を以御願申上候事

一、去辰之秋中、手遠之紅花拾式駄程買入、差金等ニ難

洪仕、御地理三郎殿山野辺弥八郎殿江御救被下度段相
歎、貴殿御名前を以、山野辺大庄屋渡部庄左衛門殿方
金子借受被下、紅花ハ不沙汰成候得共、元來手遠仕候
故、紅花荷物も弥八郎殿へ引渡し、首尾能京都表江為
差登仕候後、色々謀計を以□□□御納方々金取後ハ、
名主元ニ詞を御飾り取詰候、弥八郎方へハ利三郎殿罷
登り候事ニ、取捨正立之砌ハ、利三郎殿供同様ニ申立、
京着仕候已後直段茂取扱通りニ参り不申候ニ付、利三
郎殿ハ帰国ニ相成、其節同道致し可申筈之所、内心ニ
悪計有之、跡ニ残り紅花差向候問屋吉文字屋彦市へ馴
入候、凡金高百七拾兩程貴殿之御手元ニ而、御繰合被
成下候分、荒増損毛申立、荷物自分之勝手ニ押領仕候
段、申訳も無之任合ニ御座候、数度京都へも売留之御
書面到来仕候儀、其仰ニ随候へハ、相応之徳ニても相
成可申所、今更後悔仕罷在而已、右之始末弥八郎殿曾
貴殿江御断も無之、私ニ任セ置候段、不得其意候儀ニ
被思召、弥八郎殿相手取、右損毛之金子弁金を致候様
之御立腹、重々御尤至極ニ奉存候、右之訳合茂何れは

弥八郎殿江すかり、御申訳相立候様ニ可仕候間、何卒
御勘弁被下、此節御納方金取後茂取上ケニ相成、御出
入も不相叶事ニ罷成候而ハ、妻子之相続も相成兼、歎
ケ敷義ニ奉存候間、何卒御宥免被下度奉願上候、右紅
花ニ而押領仕候分ハ、急度始末可仕候、左様ニ差置候
ハ、其砌弥八郎殿へ嚴敷御懸合ニ相成、同人方如何
様ニ被申懸候共、自業自得之罪ニ御座候ハ、御恨茂
仕間敷候、捨置候へハ後難出来候哉、是非当十月迄ニ
ハ訳合相立御願出奉申上候、暫く御猶予之所、須奉願
上候

一、先年私所持之田地金式拾兩借用仕、貸地ニ致、御同
地御自由可被相勤而已仕、自分者勝手ニ支配致し、其
外山野辺七十郎殿名前にて、金四拾兩也是又同様ニ、
数年来利足等茂一向御勘定不申候、剩御同地同処共ニ
自由仕候故、恐入候義ニ奉存候、既ニ去巴大違作ニ而
御納方ハ至極難儀ニ付、諸方へ賃地方御才足被下候砌、
去春中方加判之もの我假申立候故、御出訴被成思召候
而、柴橋御役所迄御出張ニ相成候所、重々御尤至極ニ

奉存候、是又当年十月中ニハ、元利共ニ兩様相揃、判懸り之もの立会、聊無相違相片附可申候間、此度御呼出しニ可相成候所、御差控御訴訟御申下ケ被相成度奉願上候、此節御呼出しニ相成候而ハ、加判のもの一同難渋仕候間、暫く御宥免被成下候ハ、難有義ニ奉存候

一、其御納方先年筆取改仕居、去々辰年ヲ登參仕居、御名主手元御用之筋差支ニ相成、夫丈御名主御手元ニ而筆後同様のもの御遣ひ被越候ニ付、貴殿方私給米差出し候様の懸合も有之由、以の外之始末ニ御座候、全躰私偽り飾り候事起り、聊貴殿へ御難題等可申懸筋無之儀ニ御座候間、行違之所ハ御高免偏ニ奉願上候

一、去春中私留主中、色々御懸合事ニ付、家内之もの必至と難義仕候ニ付、諸親類之もの共申合、山野辺御役所へ御心附候様ニ愚妻ニ申合、既ニ大庄屋迄御召出ニ相成、久右工門留主中万事勘弁可然、段々御利解義有之候様子驚入義ニ奉存候、自分之不埒乍有之、却而利不尽之様ニ、御上ハ勿論大庄屋迄あしなに申聞候段

段々御立腹之様子、恐入候儀ニ奉存候、是等之儀ハ如何悴ニ茂心得違之訳合、申出御披可仕候、誠ニ齟齬致候義ニ奉存候、逸々御利解承り候而、恐入候間是又御猶予之程奉願上候

三 仕切（紅花代金）

△ 仲間

現金五拾兩替十八入

一金五拾三兩三步貳朱

△ 谷 上 印紅花三丸
十五袋取

銀壹匁五分七厘

△ 壹駄五袋取

分分

同金四拾五兩替

一、金貳兩

同清仕印 三袋取

銀六匁五分六厘

銀五拾五兩三步貳朱

銀八匁四分三厘

右之通御相對を以買請、紅花代金此度不殘相渡、此表無
出入相濟申候、万一算用違等御座候ハハ□□□□相互ニ
御指引可被下候、為後日依而如件。

寛政十年

伊勢屋

午六月晦日

理右衛門印

麻屋久兵衛殿

四 仕切 (紅花代金)

現金三拾六兩貳步かへ

一金三拾八兩三步

△改極
信形

御印

最上花壹駄四袋

壹匁八分七厘

同金三拾四兩かへ

一金貳兩貳朱

同信紅御印同花

四袋

銀壹匁八分七厘

右之通御相對を以買請申紅花代金、書面之通不殘相渡シ
此表無出入相濟申候、万一拔袋蓮花等有之候ハハ、重而
御指引可被下候、為其仍而如件

文化十三年

若山屋喜右衛門印

子十二月

稻村七郎左衛門殿

村居 清五郎殿

五 算用目録之事 (紅花代金)

七月廿一日

一七匁七分九厘

右者御買物仕切下り為替取組請取候

残銀かし

九月廿八日

一貳拾老匁貳分

右者紅花四箇江戸丸屋甚右衛門殿より出シ積運賃銀、

壹箇ニ付五匁三分ツツ

一貳匁

右者紅花藏敷水上賃

四口ノ 拾貳貫六百三拾匁九分貳厘

差引残四貫八百九拾老匁八分三厘

返上銀也

右之銀御代宇右衛門殿へ相渡、此表無出入相済し申候

以上

寅十一月 大和屋作右衛門印

内

一拾貳貫五百九拾九匁九分三厘

右者此度御買物別紙仕切状之表引

稻村七郎左衛門殿

十月十三日

一貳貫八百三拾七匁貳分五厘

右者金四拾五兩ニ而京近江屋惣左衛門殿より入兩かへ

六拾三匁九分

十一月三日

一七貫七百八拾貳匁六分

右者白苧仕切銀之由ニ而南部日野屋次郎八殿より入

同日

一六貫九百貳匁九分

右同断南部秋田屋助左衛門殿より入

三口ノ 拾七貫五百貳拾貳匁七分五厘

同 宇右衛門殿

銀々 拾三匁六分

白銀屋陸助

西十二月

六 覚 (紅花荷送り)

稻村七郎左衛門様

近江屋惣左衛門様

△天上 片馬紅花

八月十四日 此上賃

壹丸近惣殿へ 壹匁七分

八月廿四日

壹丸若孫殿へ 壹匁七分

同七極 壹駄片馬八

八月十四日

壹丸近惣殿 壹匁七分

八月廿四日

三丸若孫殿へ 五匁壹分

九月六日

貳丸若孫殿へ 三匁四分

七 紅花元金覚

一金百四兩貳朱ト五十壹文 惣代金

右之拂代金百拾壹兩壹歩ト貳百五十文

内三兩まけ

差引金百八兩壹歩ト貳百五十文

差引得金四兩貳朱ト百九十九文

貳ツわり貳兩ト四百九十九文ツツ

此分紅花出金ニ山高差引ニ入スミ

紅花出金

△△出

二口

金百四兩二朱ト五十壹文

同金三兩貳朱 六七八三方月分

同金三歩 延金利足見ル

元り 金百八兩ト五十壹文

此拂代金百拾壹兩壹歩ト貳百五十文

差引得金三兩壹歩ト百九十九文

内金三兩 まけ

差引 金壹歩ト百九十九文

此勘定ハ損得勘定致候のみ

紅花代

一金五拾壹兩三歩貳朱ト

百五十壹文

△出シ

一金四兩貳朱ト壹貫百文

小買

一金三歩

△

金五拾六兩壹歩三朱ト五拾壹文

差引金八兩□歩餘計ニ出し候トミル

壹歩ト八十文 三カ月

金五十六兩貳分三朱ト百三十壹文

金貳兩ト四百九十九文 半金得

金五十八兩貳歩三朱ト六百三十文

一金三拾六兩壹歩 正金渡し

金九十四兩三歩三朱ト六百三十文

八 御荷物積附(紅花)

△ 緑 最上紅花 廿二入貳丸

雨 井一入壹丸

木嘉殿行

同松 拾入四丸

造り合拾入壹丸

最喜殿行

同 最上
紅 〃 井入四丸

吉文彦殿行

拾貳丸

丹後宮津

袋屋六郎右工門船

九月九日出帆

右之通積附仕候間御案内申上候以上

九月七日

尾関又兵衛

稲村七郎左工門殿

御荷物積附

六丸
雨 紅花 拾入三丸

同 作合 同 十七入一丸

木嘉殿行

同 松雨 同 井入三丸

同 作合 同 拾入一丸

最喜殿行

八丸 □□上ケ

加州氣十崎

木谷清七船

九月十七日出帆

右船へ積入出帆仕候以上

酉

七月十四日 尾関又兵衛

今井治郎七様

九 仕切 (紅花代金)

金貳百六兩貳分

差引殘金四拾壹兩貳分

銀七匁七分六厘

右之通壳附、紅花代金不殘相渡シ、此表無出入相濟申候、

若万一算用邊拔袋等御座候ハ、御遲御差引可申候、為

後日仍而如件

若山屋喜右衛門



一、金百七拾六兩

但四拾四兩替

△久一 直干紅花四駄

飛

但四拾六兩替

一、金七拾兩壹歩

△宮 同花壹駄片馬

林

式袋

銀拾壹匁六分三厘

内壹袋金印有

右おしこも也

寛保三年亥六月

稻村七郎左衛門殿

同 六右衛門殿

但二拾六兩かへ 三袋
令同花

一、金壹兩貳歩

銀拾壹匁六分三厘

金貳百四拾七兩三歩

銀貳拾三匁貳分六厘

此金壹分七匁七分六厘

右之内へ

三月十三日

一、金貳百兩

六右工門様へ相渡ス

此利金六兩貳分 三ヶ月半壹分三つ同様

一〇 仕切（紅花代金）

一、金七拾五兩
△大 但現金壳
極上 最上紅花沓駄

一、金九拾貳兩貳步
七大 但現金七拾七兩替
極上 同紅花沓駄拾三袋

一、金壹兩
△大 但現金七拾九兩かへ
同久一 同紅花沓袋

銀拾四匁五分

ノ金百六拾八兩貳步銀貳拾三匁貳分

右之通相對を以売買任、代金不殘相渡、無出入相濟申候、
為後日之仍而如件

松任屋鎚兵衛 ㊦

延享貳歲丑極月十五日

稻村七郎右衛門殿

同 文治郎殿

一一 仕切（紅花代金）

一、金百拾壹兩と
△大 現金御手取金沓駄三付七拾九兩替
同久一 最上紅華

端銀五匁八分沓厘 沓駄貳拾六袋

右之通御相對を以買請代金、不殘相渡候、此表無出入相
濟申候、万一抜袋等有之候ハ、重而互二指引可申候、
為後日之仍而如件

延享貳年丑極月

稻村七郎左衛門殿

同 文次郎殿

池田屋五兵衛 ㊦

仕切

一、金四拾壹兩貳步 但現金三拾八兩替

銀三匁七分五厘 △分 最上紅花沓駄六袋

右之通相對を以売買仕、代金不殘近江屋惣左衛門殿江相

百三拾又七百元

渡、無出入相濟申候、若算用違拔袋等御座候ハ、互指

内十式又五百八十匁 風袋

引可申候、己上

又 式又貳百五十匁 切め

松任屋徳兵衛 印

正味百拾五又八百七拾匁

寛延三歲午三月二日

壹又七百五十匁かへ

稻村七郎右衛門殿

代金六拾六兩と

近江屋惣左衛門殿

十式匁六分八厘

内

一、三十三匁壹分 持銀

一、九十九匁三分壹厘 歩銀

一、八十六匁七厘 口せん

一、九分貳厘 初尾

一、壹匁四分 平月取替

金三兩貳歩と

十匁八分

引殘金六拾貳兩貳歩

壹匁八分八厘

一二 仕切（紅花代金）

小判六拾目割

一、丸△印 最上拾九固

十四又六百元 三

十四又七百元 三

十四又五百文

十四又四百文

十三又九百文

右之金銀不殘相渡、此表無出入相濟申候、仍而如件

曾我屋嘉平次 ㊦

安兵衛殿

宝曆元年末十一月十七日

稲村七郎左衛門殿

同 安兵衛殿

(貼紙)

目錄

一、金六拾貳兩貳步卜 仕切表

壹匁八分八厘

内

一、八匁 金貳拾貳兩分切替へ

引残テ

金六拾貳兩壹步卜

八匁八分八厘

此錢六百四十五文

右之通此度相渡し、此表無出入相濟申候、己上

曾我屋嘉平次 ㊦

宝曆元年末十一月十八日

稲村七郎左衛門殿

一三 仕切状 (紅花代金)

△極上印 但三拾八兩かへ 但拾六袋入

一、金拾九兩 無粉花 貳丸

△上飛印 但拾六袋入

一、金三拾六兩 同花 四丸

△七林印 但拾六袋入

一、金三拾壹兩 同花 四丸

△金八拾六兩

但步引口錢引御手取也

内

一、銀拾七匁四分

右御荷物大津駄賃 六拾八匁七分五厘之処、手板掛り 五十五文有、引残テ如此

一、銀九匁三分五厘 步判切ちん

一、銀貳拾五匁四分 金子下し駄賃割

銀五拾六匁壹分五厘

此金三步下銀十一匁九分

引殘金八拾五兩下銀貳匁八分五厘也

右之通相對を以売買仕、代金大黒屋飛脚ニ差下し、不殘相渡シ、此表無出入相濟申候、若算用違又者拔袋等御座候ハ、重而差引可仕候、以上

若山屋又兵衛 ㊦

宝曆二年申九月廿八日

稲村七郎左衛門殿

一四 仕切状 (紅花代金)

七月切り

一、壹貫八拾匁

△大飛 壹駄

但し壹メ兩替

一、八拾三匁三分四厘 同小荷 貳朱

銀壹貫百六拾三匁三分四厘

内

三拾八匁四分 三步之引

五匁 口切り

拾匁三分 風袋引

拾壹匁六分三厘 口錢引

三拾六匁貳分三厘 右四口引残り

銀壹メ九拾八匁

銀百壹匁五分六厘 三分三法掛

殘銀

銀壹貫六拾壹匁七分八厘

内

四月晦日 六壹三八

一、九百貳拾匁七分 金拾五兩

大坂伊勢屋へ下ス

一、貳拾三匁壹厘 二ヶ月自利足

一、五分五厘 大坂江下ス駄ちん

銀九百四拾四匁貳分六厘

指引残り

百拾七匁五分貳厘

六匁三八 此金壹両三步拾匁壹分

右之通相渡し無出入相濟申候、若湯入抜芋輕目御座候ハ

、重而御指引可仕候、以上

愛知川屋長右衛門 印

宝曆八歳寅五月

稲村七郎左衛門殿

西川源助殿

△森谷 十七八四丸

代金四拾六両下 酒田着

永拾匁 △払

外ニ金壹歩下 酒田掛り

永廿四匁九分壹にて相濟

△金四拾六両貳分下

永九匁四分壹

同車 六拾四袋

同夕子紅 拾貳袋

△七拾六袋

代金四拾九両三分 酒田着

外ニ

金壹歩下 △払 酒田払

貳拾貳匁七分五

△金五拾兩永廿貳匁七分五

同村 十八八八丸

代金八拾三両貳分 大石田着

永拾五分貳

一五 子之紅芋買目録

(表紙)

寛政四年壬子極月 村居清七

子之紅芋買目録

△様

紅花買入

外二金壹兩

同所添金

永七匁八分

又金壹歩下

酒田方運賃不足

但し右八匁為登才料政吉

永拾八匁五分四厘

△御払

同達

十八入四丸

〆金八拾四兩三分

永廿三匁五分

〆代金五拾五兩貳分

京着

同王

十七入四丸貳袋

但し右同断 才料重吉

同天

十七入三丸拾五袋

同源

拾四袋

〆十七入 八丸

代金八兩下

京着

代金百貳兩三分下

大石田着

永四匁七分六

永拾七匁九分

八口〆金四百八兩貳歩下

永五匁七分七

外二一、金壹兩

大石田方添金

一、金壹歩下永七匁

酒田方運賃不足

但し酒田懸り物△御印御払之分

△御払

此度金指引ニ入御渡申候

〆金百四兩下

右者京着之分

永廿四匁九分

外二

一、金七拾兩三分

惣印百四拾貳袋

同船

十八入四丸

永拾五匁貳分

〆代金五拾八兩三分

京着

一、金拾五兩壹歩下

三印廿八袋

永拾七匁八厘

一、金貳拾八兩壹分 利印五拾五袋

永卅匁

一、金三兩卜 小買貳メ七百六拾匁

永五匁

四口ノ百拾七兩三分卜

永七匁貳分八

兩口ノ金五百貳拾六兩壹分

拾貳匁四分五

右者惣売り仕仕舞仕分可仕候、以上
(ノ)

村居 清七

権太郎

寛政四壬子極月改

稲村七郎左衛門様

同 久米之助様

同 久治郎様

一六 紅花代金不足分立替拂

酒田掛り不足金紅荷分御拂立替

子三月廿七日

一金壹歩卜

永貳拾貳匁七分壹

紅花七駄

御拂

子新し花
一金壹歩卜

永貳拾四匁九歩

△ 森
八仕四丸

御払

一金壹歩

同天
八丸

永七匁

右同断

一金壹歩卜

同村卜
八丸

永拾貳匁五分四

右同斷

稻村七郎左衛門様

一金壹分ト

同平 四丸

同 久米之助様

永貳拾四匁

右同斷

一金壹歩ト

同 村ト 八丸 善ト

一七 古花為登

金貳兩壹分ト

永貳匁七分五

亥ノ古花残り子春為登

△久 紅花 九袋

代金五兩壹分ト

一金五兩壹分ト

子下し古手

永九匁四分壹

永拾四匁貳分

酒田掛り御拂

内金壹歩ト

山形より惣送り割

金七兩貳分ト永拾六匁九分

右之通り金指引ニ入御渡し申候以上

引残而

金四兩三分ト九百廿八文

村居清七

此永十七匁貳分

同 権二郎

寛政四壬子極月

右之通金指引入済申候

子ノ

五拾貳兩貳包

△高生

十六入四丸

十八入三丸

代金九拾五兩三分貳朱

内

一金老兩老分

銀三匁六分貳厘

一拾五匁四厘

貳朱打

一九匁九分六厘

江戸送賃

引残而

金九拾四兩ト永拾三匁老分六厘

内老又三百拾六文

江戸奥太賃

引残而

金九拾三兩三分ト七分六厘

右之通り金指引入済申候以上

内金五兩老分

掛り物たちん引

拾老匁老厘

引残而

金六拾八兩三分ト老匁四分貳

此永貳匁四分四厘

右此処金指引入相済申候以上

村居清七

同 権二郎

寛政五癸丑

正月

稻村七郎左衛門様

同 久米之助様

同 久治郎 様

一八 仕切(紅花代金)

添代

子四月廿一日

一金七拾四兩ト拾貳匁五分四 藤屋嘉兵衛さまへ

御手取現金四拾五兩也

辰△仲

一金五拾三兩壹步式朱

銀三匁七分五厘^(九)

△二 八印 最上花 壹駄拾式袋

己分

同金 四拾八兩也

一金五拾四兩

同舟 飛御印同花 壹駄八袋

己分

同金 四拾六兩也

一金六拾四兩貳步式朱

銀三匁七分五厘

同羽御印同花 壹駄貳拾六袋

己ノ△仲

同金四拾五兩也

一金百壹兩壹步

同沖御印同花 貳駄拾六袋

ノ金貳百七拾三兩壹步

銀七匁五分

右之通相對を以買請申紅花代金□□之通不殘相渡此表無
出入相濟申候、万一拔袋違花有之候ハハ重而御差引可被
下仍如件

寛政九己年三月

若山屋喜右工門

麻屋久兵衛殿

一九 仕切 (紅花代金)

△古梅紅花 十九入三丸卜拾壹袋

ノ壹駄卜四袋

金五拾兩也

代金五拾三兩貳朱也

右之通御荷物買請代金不殘相渡、此表無出入相濟申候、
万一拔袋違花等も御座候ハハ重而御差引可被下候以上

寛政十年

藤屋

午四月晦日限

忠兵衛

稻村七郎左衛門様

麻屋久兵衛様

稻村七郎左衛門様

麻屋久兵衛 様

二〇 仕切 (紅花代金)

二一 仕切 (紅花代金)

辰分仲間

玉印

紅花

十九入

三丸卜貳袋

辰分

芳

仕切

紅花

四袋

辰分仲間

力印

十六入

壹丸卜拾五袋

辰分

千

貳袋

金三拾九兩貳歩かへ

代金五拾五兩貳歩卜貳匁八分壹厘

右之通相對を以、御荷物買受代金不殘相渡、此表無出入

相濟申候、万一拔袋違花等も御座候ハハ、重而御差引可

被下候以上

寛政十年戌午六月廿九日

代金四兩三步貳朱卜貳匁八分壹厘

金四拾五兩かへ

巳分仲間

玉紅葉

七袋

代金貳歩也

藤屋忠兵衛印

己ノ仲問
同 北トヒ

壹袋

金貳拾兩かへ

代金壹歩ト三匁七分五厘

己ノ仲問分
同 奈良

五袋

金五拾貳兩かへ

代金四兩ト三匁七分五厘

金□拾壹兩壹歩貳朱ト銀拾匁三分□厘

右之通買受代金相渡、無出入相濟申候以上

藤屋忠兵衛

寛政十年午七月十九日

宛名ナシ
稲村七郎左工門

二二 乍憚書付ヲ以奉願上候 (紅花代金訴訟)

乍憚書付ヲ以奉願上候

一紅花商之義者、佛様御之言有之、商イ不相成品ニ御座候処、去卯年私共三人密談仕紅花六七駄買入候処、御座重ニ御差留被下、是迄買入之分地拂ニ致、跡決而買入不申様山形七日町平田弥右工門殿ヲ以被仰付候ニ付、同人へ引合相拂可申と存候所、存外之損金有之拂兼、乍去御理解之程奉恐入候御儀ニ御座候故、仰之通地拂ニ可致様御挨拶申上置見合罷有候所、世間商人花荷物北国辺ニ而数艘難船有之様相聞、歎之上之悦と尚又深相談仕、貳拾駄余買入候所甚心得違仕候、然ル所紅花直談俄引後何分ニも致方無之、上方へ為相登可申様密ニ相談仕、忘書等取繕イ金主相頼、右支配として七兵衛・七太郎・丹次郎・山野辺宇七追々罷登京着仕、北国難船之様子紅花直段等、諸方へ手ヲ廻し相窺候所、難船之様子ハ相訳リ不申、紅花直段者下直ニ而容易ニ支払候事成兼、大勢長遠

留仕候へ者、日々入用相嵩、殊ニ七太郎大病相煩旁々ニ

而入用余計相掛、逆も利運ニ不相成、無拠荷物皆拂後仕

拂等仕候所、道中入用不足ニ而帰国も不相成所、最上商

人方金子借用罷下り、然ル所諸方引合ニ相成、何分ニも

申訳無之、当分紛之挨拶のミニ而罷有候処、山形土屋源

兵衛方御訴訟ニ相成、御嚴重之御吟味ニ而忘書等相顯

レ七兵衛・丹次郎入牢被仰付、其上御本家ハ不及申親類

一統奉掛御苦勞、是全私共三人泥私欲心得違故と恐入候

御儀御座候、兼而御理解之砌地拂仕候へ者、ケ様後難も

無御座候所愚味之拙者共、私欲の了簡御一統へ者一言之

申訳無之、妻子へも手ヲ付候程之義ニ御座候、誠ニ世間

へ恥入今更後悔仕候得共、致方無御座、己来御一統之御

意相肖候義決而不仕候、此段御詫言申上、御本家様へも

御出入偏奉願上候所、御承知被下置難有仕合奉存候、為

後日書付仍而如件

丹次郎 ㊦

天保五年午四月

七兵衛 ㊦

七太郎 (印なし)

立入人

六右衛門 ㊦

同断

七右衛門 ㊦

同断

利三郎 ㊦

稻村七郎左衛門様

同 御 隠 居様

御 一統衆 中様

二三 仕切 (紅花代金)

仕切

壹駄ニ付貳拾八両壹分替

一金百拾三両也

紅花百貳拾八メ目

壹駄ニ付三拾貳兩替

一金拾六両也

同極上拾六メ目

二口ノ金百二拾九両也

右之金銀不殘相渡此表無出入相濟申候以上

藪屋茂兵工

子十一月廿八日

阿部久四郎殿

同 藤治郎殿

引残

金百八拾八両三步

銀拾四匁

二四 紅花指引覚

一金百九拾三両三分

四十三両かへ

十八匁
へ本紅拾六包

午七月十四日

藤や忠兵衛

右之通御引合可被下候御両家様指引入申候以上

麻屋久兵衛

一六拾貳文九分五

手板不足

一廿六文三分二

式朱永口八十八両卜十四

一拾九匁九分三

江戸たちん

百九文貳分

立替此金壹両三步

壹文四分

一金三両也 口銭

金九拾四両三分

今様分

銀七匁

一金九拾四両三分

奈様分

銀七匁

午七月廿一日

村居清七様

井筒屋

勘右工門様

二五 紅花指引覺

一金百卷兩卷分 △仲飛 貳駄

一金卷歩と 手板不足

貳拾八匁三分

一拾七匁六分四厘 貳朱打十八匁

一金卷兩貳歩 壳口錢

×金卷兩三分

六二 四拾五匁九分四

此金貳歩拾四匁九分四

殘金九拾八匁三分

銀五分六厘

右貳ツ割

金四拾九兩壹分貳朱

銀九分八厘

分拾分

金四拾九兩壹分貳朱

銀貳分八厘

△拾分

右之通御兩家様御指引三

出喉

御引合可被下候已上

麻屋久兵衛

午ノ正月七日

村居清七様

森谷弥五兵衛様

二六 紅花買入之事

此度高楯ニ而紅花買入私シ乗合ニ仕候様預御尋

口上ニ而色々難申述候故、口上書ニ而御披露申上、

正直之心中顯シ各々様へ申出候

一先年七太郎分家ト致シ、山野辺仁左工門家屋敷受取、

七太郎伯夫婦榮七下入下女差添遣候処、親御取計ニて支

訳等之義も存不申罷有候、卷兩年相立候而家相不宜候由

以之外之入用相掛家作り等被成候而、随分都合よく相続もでき候哉ニ存候所、おきなどの死去仕、其折節親類和七始メ近所并安国寺難題申懸ケ七太郎當惑仕候而、一子榮七ヲ仁左工門家とくと定メ葬式ヲ仕舞、夫より日数相立不申内ニ和七方ヨリ色々難題申懸リ七太郎伯父大氣ニ込リ居リ、野拙ニ右之段御嘶ニ御座候、元來仁左工門家とくと被成候得者、右之故障も無之義察入候得共、親之御益も有之義故、後悔仕居候砌り、喜七郎病氣次第ニ重く相成り、迎も留主居も相成兼候様ニ相見江、是又後出張之もの無之相尋候処、早足可然もの又七弟七五郎為見習御要向御座候と内談御座候、是又若輩もの早足用ニ相成不申、左候所七太郎様利三郎様へ御出被成御嘶ニ者、喜七郎病氣私シ難法之場兩様御了簡被成下候而、尙兩年も高橋他家ヲ御貸シ被下候様御相談被下度旨御咄シ有之候ニ付、親類相談仕七太郎格別ニ迷惑之筋有之候ハハ、当分高橋へ遣候而、榮七仕末見届候而も可然、且又近所親類ニ而もこまり候事ニ存、任其意他家ニ当分遣置申候、其節喜七郎方引渡し之品々者別紙ニ御座候、返り仕入も

のもの有之其俣ニ而罷有り、尤大切之家ニ候故、売買等ハ決而不被成候様約常印堅く仕候而利三郎伯父性身へ被參候而、七五郎若もの故、当分七太郎留主居人ニ差置、尤先々より差置候通り、当家ニ表向ニ者決而不相成、内々留主居之積り相定、若シ売買もの聊ニても取組候節者、私方へ内談之上、万端取計可申様一統相談相決申候処、去々年中紅花買入候義一向ニ相聞不申罷有り、大寺久四郎、源七、山野辺弥八郎殿方他家ニ而紅花御仕入被遊、思召ニ相叶候義ニ候ハハ、右之御商仕よりハ、四五両も下直ニ手入ニ入候様相見へ次第、紅花一俵之下落ニ相見申候、返事承り度由申參り私書狀ニ而初而承り驚入候而、私シ存不申訳計り返事致シ、夫より喜七郎七十郎へ実意ヲ相尋申度書面遣シ、文言面別紙ニ御座候、往身近江有無之返答無之、依之七太郎伯父へ相糺候処、七太郎伯父參り、丹二郎進メニ而買入候と被仰、丹二郎ハ七太郎様御買入と互ニ相訳り不申、日數相立候内、為皆口聞違杯出来候由相聞、野拙儀大氣ニ心配山形弥右工門当分紅花取次当世ニ仕候故、往江相頼口錢遣候程一刻も早く

高楯買入之紅花地拂ニ仕度旨内談仕候処、弥右工門殿も
大氣ニ尤成義と、右紅花早足壳拂可申与受合、尤当分四

五十兩も損金有之様被申候得共、当家先祖之御遺言ニも

紅花買入候義ハ、決而不致様ニ差留被仰置候義聞傳候故、

親へも右之段申合セ候処、親之被仰候ニ者、丹二郎自分

ニも右紅花買入候義嘶御坐候、自分ニ乘具候様達し進メ

候と被仰付、以之外成ル不法成義ニ候と申居、左候所弥

右工門殿參り候而咄シニ者、御三人共ニ氣強ニ御坐候而、

損金杯ニ而者壳拂被成候義無之困り候と被申、其上私シ

方壳拂候義進メ候処格別ニ御案事被成間敷候、決而貴

家之御苦勞ニ相成り候義杯、決而不仕理ヲ取候而、百五

十兩損ニ而百兩ト存候杯と挨拶故、相場ハ天正之高下有

之もの故、強而内談ニおよび兼、夫きり何へも無相構差

置申候、既ニ荷造り仕舞ニ相成り荷物差下し七太郎伯父

助七兩人上京之沙汰有之、依而七兵衛様へ内談仕、助七

兩人計り上京之義、壳先も無心元存、貴公様も御同道被

遊候而、縦令損金多分ニ候共、早足御壳拂可然と一通り

御嘶申上、夫迄も色々心配任粉屋七兵衛様も御嘶申上候

二七 覺 (商用取引)

大坂南本町三丁目

木綿屋嘉兵衛殿行

拾九袋入

△最上紅

式丸

式拾袋入

同 同

壹丸

但六拾八袋之口

最上紅 拾袋

同 造

綠雨 七袋 壹丸

雨揃 三袋

△式拾袋入

京都室町四条上ル

吉文字屋彦市殿

△全△仲間

拾九袋入

⊖光
雨

三丸

六拾四袋口

拾八袋入

有 拾六袋 壹丸

同得 外二三百六十匁

雨 内三袋有徳サシ 升久口

玉サシ三百四十匁

大坂南本町三丁目

木綿屋嘉兵衛殿行

貳拾袋入

同松
雨

三丸

六拾九袋之口

松雨 九 拾九袋入

同造
合光雨 七 壹丸

サシ□三

京都両小路姉小路上

最上屋喜八殿行

八月廿六日

右江金壹両也 丸三添金出シ

同 廿七日

同 金四両貳歩 △添金出シ

×金五両貳歩 外久江相渡し

内金四両也 大石田より添金

同金壹両壹歩ト 拾六丸陸送

貳百八十八文 懸り×

差引過 壹歩之内 升久△差引二而受取

貳百八十八文 送り

二八 金銀差引覚

〔(表紙) 天明七年未正月廿七日〕

金銀差引覚 (商用)

巳門伝集指引

一、金貳拾八両 牛二月切 極飛門伝

銀百五拾五匁五分 貳駄

一、同三拾九両三分 牛九月切 同 三駄

銀六匁七分貳厘

一、同百八拾七両 牛極月切 同拾八駄

銀拾四匁壹分 六連

金貳百五拾四両三分

銀百七拾六匁三分貳

内

一、百五拾三匁五分 手板不足

一、金貳両三分貳朱 御口銭申請候

残テ

金貳百五拾貳両壹分

銀三匁貳分壹厘

一、金六百五拾匁三分 白千貳番合

七拾貳駄

金九百三匁と

銀三匁貳分壹

金下シ覚

一、金百貳拾両

八月廿七日 高四百匁之内也 残貳百八拾匁ハ 巳ノ紅花代指引

一、貳拾三匁四分 大黒屋庄治郎

福嶋迄太ちん

一、金貳百七拾両

九月十二日 高四百匁也 内三拾両全印 又百匁ハ大二印

一、金貳百兩也

九月十三日
高三百五拾兩也
内百五拾兩者
大二印

一、銀三匁六分貳

同指引銀加引

一、銀拾八匁壹分五

右拾五兩切ちん

下しちん

一、九拾壹匁七分五厘

大黒屋庄治郎

金ノ七百七兩壹分

右四百七拾兩

銀三匁六分八厘

福嶋迄駄ちん

正月五日ト十一日ニ渡シ

一、金五拾兩也

九月廿八日

一、金貳百兩也

西谷伊兵衛殿為替下し

式朱貳百匁下し之内

正月晦日受取

一、銀六匁

右江戸迄太ちん

合テ

一、金五拾兩也

十月二日

伊七屋藤兵衛

右之老代

江戸為替下し之内

引残テ

ノ金六百九拾兩と

金四兩壹分ト

銀百貳拾壹匁壹分五厘

銀四分三厘

過上下シ

一、銀五匁

イセヤ江戸為替ニテ受取

計十一月十三日改

右之通金寄指引ニ入申候 以上

一、金拾五兩也

辰青芋指引過上下し

麻屋久兵衛

未正月廿二日

金銀指引覺

午十一月十三日改

一、金貳拾貳兩 過上下し

三分貳朱 紅花指引

銀五匁四分八厘 為替同断

一、金壹兩三分 森谷弥五兵衛

六匁七分六 指引加引

午十一月晦日

一、金四兩下 小指引

銀七匁九分八

一、金四兩壹分 巳ノ青芋惣指引

銀四分七厘 過上下し

指引

金貳拾九兩壹分貳朱

銀七匁壹分七厘

右之通ニ御座候、重而指引ニ入可申候、以上

麻屋久兵衛 ㊤

天明七年未正月廿二日

稻村七良左衛門様

村居清七様

二九 紅花相庭

紅花相庭 (値段以外は木版刷)

一、山形紅花 志駄ニ付 三拾四五兩方

五十式三兩迄 同

一、仙台南花 五十一式兩方

六拾七八兩迄 同

一、同 奧花 四十六七兩方

六拾兩迄 同

一、庄内ウ卜 三十四五兩方

四十七八兩迄

一、秋田はな

同

一、水戸同

同
四拾兩^五
六拾五兩迄

一、早庭同

同
四拾五兩^五
六拾五兩迄

一、近国同

百目二付
五匁^五
九匁

一、肥後同

同
七匁五分^五
九匁五分

一、伯州同

同
六匁五分^五
八匁五分

右之通ニ御座候、以上

大坂道修町東掘

近江屋安治郎

存候、随而当方無異嘉年仕候、乍憚御無意可被下候、誠

ニ右年頭之御祝詞申上度、如斯御座候、猶期永日之時候

恐惶謹言

正月五日

近江屋安治郎

与次兵衛

稻村七郎左衛門様

参人々御中

三〇 子之極金指引

金指引覚

一、金百四拾三兩式分卜

亥極月金指引残り

永井式匁三分八

内金百兩

閏二月九日おこの持参

引残り

一、金四拾三兩式分卜

右残り

永井式匁三分八

(裏面)

改年之御吉慶不可有尽期御座候、重畳目出度申納候、先
以貴御地御家内様、益御勇健可被遊御越年、珍重御儀奉

一、金貳百六拾九兩壹分

永井老奴五分八

但し未申酉戌四ヶ年、青芋惣勘定

子四月廿八日

一、金六拾八兩三分

永貳拾壹匁五分八

一、金四兩三分

永拾七匁貳分

一、金九拾三兩三分

永七分六厘

一、金五百七拾八兩卜

永貳拾壹匁八分七

一、金拾兩

惣勘定
是八百兩受取九拾兩晒買
則売り代夏勘定二而相渡

し

残り拾兩也

一、金百拾兩

一、金七拾九兩

干置買附受取申候

前田沢蠟代之内

四百六拾文

一、金六拾七兩

七月廿三日受取
蠟拾八箇代

一、金四拾壹兩貳分

壹匁五分四

十月二日受取

一、金五拾貳兩壹分

五匁四分八

蠟拾壹箇代
同日拾五箇

此永九匁三分三

一、金百六拾兩三分

永貳匁

右同斷

一、金九兩卜

永井貳匁四分三

一、金七兩貳分卜

永拾六匁九分

ノ金千五百九拾七兩三分卜

永五匁三分九

古手利之内残り

開荷着相濟二而

子為登紅花、古手

古荷掛り酒田へ御払

渡し

(虫喰)

一、金八拾五兩貳分

(虫喰) 酒田へ

此内

六百三拾貳文

晒七駄代

一、金三百兩

子ノ千花買
紅花仲間金へ御渡可下候以上

此永拾壹匁七分

内金五拾兩斗 楯岡大豆

一、金三百兩

八月廿三日持参渡し

一、金貳百三拾貳兩貳分ト 子ノ持孳買金へ

一、金貳百兩

十一月七日利助様へ

永拾八匁七分八

御渡可申候

一、金五拾兩

霜月廿六日久二郎様

一、金三兩貳分

岡分湯積也

右之通り相濟申候、尤子ノ仕入惣相弘次第、右金御戻し

永升壹匁八分壹

可申候、以上

一、金四拾五兩

荏草代へ、越之分

丑二月六日

分

正月十六日

齋藤持参

△様

一、金貳百兩

久治郎江相渡ス

丑二月六日

当春残り覚

一、金貳百八拾兩

常営金へ

目録

千六百六拾四兩壹分ト

子六月三日

永八匁五分壹

一、金貳百兩

藤屋伝左衛門殿かし

指引残而

内金百兩

今度右人方濟持参御渡申候

金四百三拾貳兩貳分ト

引残而 元金百兩ト利足也

永拾八匁七分八

相濟次第持参可仕候、以上

一、七十郎殿受取

正月六日

郎・五十嵐七郎右工門兩人請人ニ相立、証文差出可申
定候所仍如件

一、同 生々十三箇

寛政十一年末十一月

油屋 又兵衛

正月廿日

一、同 拾壹箇

稲村七郎左衛門殿

池田市郎右衛門
下代 幸右衛門

三一 柴橋御会所ニ而相對定之事

(商取引之義ニ付)

三一 巳仲間紅花目錄

柴橋御会所ニ而相對定之事

(表紙)
「天保十一年子五月七日

一、大小豆売代金仕切、去年年買入指為登、残巳年御札

買 目 録

米売買仕切、当年御札米売買仕切、并巳年預り金之利

足年年利足仕切差引目録相認、預り金高之内ニ而紅花

巳仲間紅花目錄

青芋、上方江為積登候懸り物、最上江為登候運賃懸り

物、次ニ買物差引殘金之義、御会所御兩人御理解を以

追々相濟候筈、并上下通り荷之分、別紙内濟議定証文

之通、為差登可申候条、相違無御座候、依之尾関大四

沖 拾八入
トヒ 八丸

酒田着代金八拾六兩三分

山のべ買

山トヒ 九拾貳袋

大寸トヒ 百貳拾四袋

露 四拾六袋

ノ貳百六拾貳袋

金百五拾六兩三分

三百八十文

外二

一、金壹兩壹分 袋代

六匁八分七 分払

袋百廿かへ

一、金貳兩 酒田迄懸り積り

酒田着

ノ金百六拾兩ト壹メ百八文

内金拾五兩ト袋代引

引残而金百四拾三兩三分 金指引入

三百八十文 三渡ス

跡 買

一、大小良トヒ 百袋

一、玉紅 百貳袋

一、光紅 七拾六袋

小買ノ高也

代金百六拾兩ト

貳百五拾三文

外二

一、金壹兩壹分 右袋代

拾壹匁八分七

代壹メ四百五十壹文

一、谷トヒ 六拾九袋

代金三拾八兩三分ト

壹匁三分九

代百四十七文

一、北トヒ 七拾八袋

代金四拾九兩三百三十文

春為登

惣ノ四百廿五袋

代金ノ式百四拾九兩壹分

三百三拾かへ

一、金三兩三分 懸り物

七ノ七百六拾九文

此金壹兩ト壹ノ三百六拾九文

酒田着ノ金式百五拾四兩壹分ト

壹ノ五百拾九文

ノ金五百壹兩壹分ト

壹ノ八十七文

二ツ割

ノ金式百五拾兩貳分貳朱

五百四拾三文

内金百四拾三兩三分 山のへ

三百八十文 御元金出し

指引残ル

金百六兩三分貳朱 不足分立替

百六拾三文

右不足金指引ニ入、尤売代相渡申候、以上

午ノ極月 村井屋清七 ㊤

稲村七郎左衛門様

同 条之助 様

同 久治郎 様

三三 青芋綿紅花商用書簡

(表紙)

六月十八日

青芋綿紅花商用書簡

△様 式拾貳番

六月十八日

一筆啓上仕候、暑氣甚候へ共、弥御勇健ニ可被遊御座候、

珍重ニ奉存候、当方無異儀罷有候

一、青芋兎角不景氣ニ而、段々直付御座候へ共、漸々如

元付位なして参兼、扱々こまり申候、何れ七月切ニハ

売付可申上存候、左様思召可被下候、当月十日を照り上り候へハ、此分二而ハ晒布も少々ハ氣配直り可申候、左候へ者は下ケハ無御座候、何分是迄地場不印故、引立兼申候、殊ニ稀作も雨統故、甚不作ニ相成候へハ、此末少々ハ引立高可有被存候、綿違ニ而ハ随分青亭入はつニ御座候、当年貴御地出来此順氣ニ而、宜敷可有与存候、是迄不引合之荷物御座候へハ、直段も下直ニ可有被存候、左候へハ国亭ハ何レも七月旬之売物と被存候

一、紅花之儀別而相替事無御座候、長雨故人氣しつまり申候、何様井日頃ハ商可有被存候、紅屋仕事此分ニ而ハ出来候間、何レ商事可有被存候、四月下旬五六月九日迄の内、一日ふりの一日照り、半分を余けいふり候様ニ存候、当月朔日より上り候ハ、只今頃ハ節荷物不残片付可申候所、何分ニも雨沢山ニ而人氣よわり申候

一、当月十日を照り上り候所、今日迄も雨一切無御座候、先此様子ニ而当分ハ雨有敷被存候、昼中ハ到而暑強し

のき兼候、夜中者涼敷候、此様子ニ而田作随分宜敷御座候、畑物ハいたみ申物可有被存候、江州極出し場、近年ニ無之十分ニ植付候所、段々の雨ニ而中下水底相成、残念成事ニ御座候、早稻之分ハ三番草迄仕舞候所、水場と申而是非なき事ニ御座候、凡江州ニ而浜方五十万石すたり申候、何多事ニ御座候

一、大坂米相場別而格別之高下無御座候、相場御入手可被下候、西国方ハ順氣能候様承り申候、花之様子ニ而照り被存候、併儲成事不承候へハ、難斗存候、酒田五月上旬ニ出船仕候、大廻り船大坂へ五月末ニ三艘計入船仕候、此様子ニ而ハ北西ハ照りと被存候、左候へハ近江・山城ハ近国雨多候へ共、外々ハ格別之事無之候哉に存候

一、雨統故綿木そたち弱候所、照統候間至而不宜敷候様ニ申候、当分ハ右庄三金^(トク)ニ御座候、此末又々引立可申候様申事ニ御座候、扱々綿相場高下あしき事ニ御座候、此様子ニ候ハ、新綿高直可仕候、若酒田ニ而下直ニ成綿御座候ハ、御調可然被存候

一、西国紅花至而不足之由ニ御座候、仙北九匁五分方拾
匁ニ御座候、是も損金御座候由ニ而、地場不足物故登
り至而不足ニ御座候、肥後・筑後尔今登り不申候、不
足之由申事ニ御座候

六月十八日

麻屋久兵衛 印

一、貴御地順氣能御座候由、五月廿日出ニ申參候、仍而

稻村七良左衛門様

紅花草生余程直り候様、廿四五日頃より摘出し可申候

久治 郎様

様承り申候、全躰節之割合も少しおそ咲ニ御座候、併

御座下

何方ニも作り物故、皆節之割合ハおくれ申候、天氣事

故如何式候へ共、貴御地五月ハ雨有テ、当月成候ハ、

てりニ被存候、此方当月十日方てり、此方ハふりかち

三四 商用書簡集

貴御地ハ春も照りかちニ候へハ、新紅花半分てりの半

分雨に御座候、随分駄不足可仕候、直段之所如何可有

哉難計存候、当月三日書状今日中ニ届キ可申候、あ

らまし様子相知れ可申候

一、紅花・青苧相場之事

十四番七月廿二日大黒屋庄治郎出し

一、紅花攘方先達て十式漸々極り申候所、又々御本丸御

一筆啓上仕候、残暑強候へ共、益御勇健ニ可遊御座候、
珍重ニ奉存候、当方無意儀罷有候

用呉服所方願出申候間、紅屋へ直売ニ相成申候、先つ

一、金百兩也、此度下し申候

以、広商事相成申候

一、同式百兩也、七月四日西谷伊兵衛殿下ス、為替ニ而

一、青苧仕切指引跡便り指下し可申候、如何様思召可被

右之通御入手可被下候、青幸仕切指引下し度候へ共、南
仙当地仕切延引致し候間、跡便り下し可申候

一、青幸相場兎角不狩(ママ)ニ而大きニこまり居申候、何とそ

引立候様願居候へ共、此様子ニ而急段引立申候事、如

何被存候、乍残念九月切迄ハ相場次第売付可申候、御

元直迄ハ無心許存候、少しハ御損金可有被存候

一、当新幸去年方三四割も安ク無御座候而ハ、引合申間

敷候、追々様子申上候へハ、御承知可被下候

一、紅花之儀貴地雨沢も能様子相聞へ候へハ、残花望人

無御座候而こまり居申候、尤直段ハ五六拾両と承り申

候、何ニ六つケ敷代り物と奉存候、御勘弁之上御為登

可被下候、新花ハ着早々相場次第売付、其格合ニ而残

花も売付可申候、残念ハ残花ハ御損金ニ相極り申候

此末とても引立ハ無心許存候へ共、当分代ル物若手物

故是切兼候

一、此上ハ紅花青幸共ニ、賣地様子次第第二高下可有被存

候、今相場も盆前引立、五拾八九匁上相場御座候、此

間ニ而ハ五拾六匁位ニ而持合申候

一、此度京大坂町家間口老間ニ銀三匁、遠国百姓高百石

ニ廿五匁、御公儀様御用金被仰付候、如何相成候事哉

いろ／＼之事出来申候、先達而被仰付候大坂御用金、

尔今いろ／＼成テ御座候

右申上度如此御座候、何事も跡方可申上候、恐惶謹言

麻屋久兵衛 印

七月廿二日

稻村七郎左衛門様

文治 郎様

二、紅花取引之事

(前欠)

△ 改極 四丸拾九入

△ 松多

△ 改極 四丸拾八入

△ 信約 内丸印四ツ入

△ さし壺ツ入

同 松紅 壺丸拾九入

右之通無事着、慥ニ藏入仕候、乍憚貴慮易思召被下候、

売方之儀者弥精相場無如才御取計可申上候

稻村七郎左衛門様

兵七

一、当所紅花商内之儀、秋暑退兼候、漸々当月ニ入追々

冷氣ニ相成、依之紅染方相始メ不申、殊之外静成事ニ

三、紅花入荷之事

御座候、当地遍之景氣不宜、其上縮縮緬之類高直故、

尚々幸八殿へ御伝言被下、忝承知仕候

不引合候趣ニ而、紅屋一統買方見合候而当惑仕候、早

庭もの先達而、少々とも相捌有之候へとも、是も此

貴札得致拜見候、弥御堅勝ニ罷成御座候由、珍重奉存候、
此方無為ニ罷在候、然者此度御印紅花式太三箇御出被下、
無事着慥受取藏入仕候、随分指急キ能舟ニ積下可申候、

頃節者少々行当り候姿ニ御座候、右之仕合ニ而、売買

とも大緩ニ御座候、乍併此末段々冷氣相増候得ハ、多

尤添金式兩三分迄被仰遣候へ共、春方御有合金式兩請取

少とも追々相捌可申、何卒御一統様御利潤ニ相成候様

申候、不足分手前方足金仕候、都合致遣可申候、委細幸

祈申上候、当年者諸国一統二代呂物、去年二者見落申

之助殿之御咄ニ而、御承知可被下候

候而、売方心配仕罷在候、何卒順商売立候様に勤居候、

一、当十九日山形出御印紅花、都合五太片馬、今日船積

先ハ右之段申上度如此ニ御座候而、期後喜之時、恐惶

仕候間、近々酒田無事着可仕と奉存候、右之報迄早々

謹言

如斯御座候、尚期貴便候、恐惶謹言

閏八月十二日

六月廿一日

平崎作右工門 印

伊勢屋理右衛門 印

和七

稻村七郎左衛門様 参御中

嘉七

四、紅花代金之事

尚々貴地 方四月廿二日出し御状拜見仕候、

猶不響御用向者、仰付可被下候

以鳴屋便一筆啓上仕候、薄暑之砌御座候処、先以其御地御家内様倍御安康可遊御座奉賀候、随而当方無異儀罷在候、乍憚御安意思召可被下候、然者爰元紅花商事之儀、

去冬中乍下直も相応ニ壳揃ニ付、当春之処越年荷高無数之含ヲ以、一花引立商事可有之奉存候処、何分地庭不景

氣ニ而紅染物至て不揃、依而漬方一統相減じ、却而當時之殘荷凡四百駄余も可有之奉存候、尤も旧冬方ハ氣配不

宜、大略相庭左ニ

一、最上 廿五六兩方

三十七八兩迄

殘荷多分有之

一、奥南 三十七八兩方

南部 四十七八兩迄

殘荷相応ニ有之

一、水戸 三十五六兩方

四十五六兩迄

殘荷無之候

一、古河 廿五六兩方

桶川 四十五兩まで

殘荷無数ニ候

右之趣ニ御座候得共、此後新花善悪ニ順ジ、高下可有之奉存候

五、諸相庭之事

一筆啓上仕候、嚴寒之砌御座候得共、先以貴御地表御家内様、益御勇健可被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、随而愚拙義無異在京、乍憚御安意思召可被成下候、然者当所成行之義、追々先便申上候通、順着御承知可被下哉ニ奉存候半、先月中糸荷切ニ而大掛直出来、浜附金百八拾五兩位迄取引有之候趣ニ御座候得共、遠国之荷主中一向持合も無之、糸問屋仲間直段、右様出所ニ相見得申候、其後少々ツ、不人氣ニ相成り、格外高直過之事故、西陣ニ

而も喰続丈ケ計買入見込人一向無御座候而、五六日以前迄ニ、浜附金百七拾五兩位ニ仕計候処、此間中諸国方当分入荷ニ相成り、当節ハ金百六拾八兩百七拾貳兩位迄ニ相見得申候、格外大高下之年柄ニ而、睨と直段も相定め不申、手印荷物中仙道筋大雪ニ而、存外之延着当惑仕候中、一昨并三日拾箇無事着いたし、残荷者早春ならては着荷相成不申与奉存候、右着荷之分、昨日方向々江相引合、是非年内売申度出情罷在申候、併し直段者金百六拾兩位、細物・玉鶴・飛鶴・米鶴是迄と違ひ、当年者ふど物はやりニ而上もの一向直上ケ不申、乍去大高直之年柄跡々変化難計、高利品揚故右之振合ヲ以、一兩日之内見切可申、此段御承引可被下候

一、仙台金花山宮城金百拾五兩位、浜附百六拾八兩百七

拾貳兩位迄、五百川辺百六拾兩位ニ申居候

一、近林殿江為替金五百兩也御取組申出候趣、否貴公様

方御案内可被下筈之旨、友太方申来、如何之事ニ御座候哉、御取組ニ相成候ハ、当所ニ而手形引替、早速相渡可申、当年者山形衆紅花一向相諸附不申ニ付、此

方ニ而如何様ニも為替取組方被致候間、御心配被下間敷候様御頼申上候

一、大坂買物者近頃諸相庭追々引、中々御地引合ニ相成候見詰無之、乍去正月申ニ相成候ハ、買間も可有之候哉ニ奉存候、何れ買附次第、早速御案内可申上候、坂上繰綿卷メ五百五十匁、生蠟卷メ六百匁、砂糖三匁、式分五厘金八拾三兩、右之振合ニ御座候、此後直落相成候ハ、多分仕入方可申、此段御承引可被下候、克て右之段御案内申上度、押詰メ余日も無之、嘸御繁用奉遠察候、折角御取仕舞可被遊、猶成行変化次第重便可申上候

文略如此ニ御座候、恐惶謹言

十二月廿五日

今井五郎八

稻村七郎左衛門様

幸次郎様

六、紅花相庭之事

甚暑之砌御座候得共、御尊家様益御勇健被遊御座之旨、珍重御越奉大賀候、然者先達而御印傘四籠・砂ト拾丁・生蠟四丸着仕候、則蔵入仕候、此段御案内申上候

一玉砂ト貳挺当町売子江売拂申候、尤直段之義者、拾六斤七分カへ売被申候間、此段不悪御承引可被成下候、代金之義者一兩日中差上申候間、是又御承引可被成下候

一紅花之儀惣雨ニ而随分出来も宜敷、只今戦心真最中地廻りニ而六拾兩カ五兩七拾兩まで船町七拾兩カ五兩迄、長崎八拾兩カ八拾五兩迄、夫カ中郷九拾兩カ之模様御座候、随分珍々走相場、駄不足之儀者、実に五分作ニ者相

違も無之哉与奉恐察候、御考勘之上御見込御座候ハハ、御用被仰付被下度奉願上候、先者右之段御案内旁、得貴意度早々頓着

七月一日

久助

稻村七郎左衛門様

七、青苧代金之事

一筆啓上仕候、先以貴御地御家内様御揃、益々御勇健ニ可被遊御座候、珍重之御義ニ奉存候、当方無異義罷居申候

一、二月十二日出之御状々森谷九内様カ申参り候、先達而森谷氏御下り中、勘定申上候所、相わかり不申段被仰下申候、如何之間違ニ御座候ト奉存候、此方ニてもとんと相分り兼候、此方カ二月十二日出し候惣差引目録、紅花差引綿差引右之通り差下し申上候、今頃ハ相達し御承知可被下哉ト奉存候、右之差引ニて間違御座候ハハ、早々可仰下候

一、三月切青苧代凡七貫目計受取申候、右之銀子金ニ直し百拾兩余り、右の通りニ御ざ候間、此度歩判金五拾兩也、しまや飛脚にて分へ向ケ差下し申候、御受取可被下候、外ニ四拾兩ハ村居氏カ相渡し可申候、都合ニて九十兩也御渡し可申候、御受取可被下候、別紙中勘御らん可被下候

一、下拙義も一兩日前より、少し不快ニて伏し居候間、

青苧仕切委細之義ハ、跡ヲ可申上候

右之内

一、久太郎様御身も当地へ先月晦日ニ、御機嫌よく御着

一、拾貳両計 二月十二日下し

ニ御ざ候、尔今ニ当地ニ御逗留ニ御座候程なれ申、右

差引不足

様ニ御承知可被下候、右御同人様へ道中金拾貳両計、

一、拾貳両也 久左郎様へ

御渡し可申上候はずニ御ざ候、右様ニ御承可被下候

御取かへ

一、青苧之義も段々申上候とふり、別而相替事無御ざ候、

一、九十両也 此度下し金

何分不段望人曾無御ざ候、扱々こまり居候、尊公様之

御状之表ニてハ、余り下直ならハ少々見合被申様被仰

右之通り御印御引合申候

下、承知仕候、先々跡々ハ見合可申候、先右之段申上

三月七日

度、早々如斯御ざ候

恐惶謹言

△印様

三月七日 あさや久兵衛 ㊦

稻村七郎左衛門様

八、紅花相庭之事

久次郎様

貴下

鳴屋飛脚一筆啓上仕候、春暖之砌御家内様御揃益御勇健被遊御座、珍重之御儀奉存候、随而愚拙無異儀京着仕候、乍憚御休意思召可被下候

覚

一、爰元紅花當時緩々仕、何分三月静成義と申事ニ御座

一、百拾兩余 三月切青苧代

候、左様得ハ四月初メ方ならて、荷物相払候義六ツ敷

相見江申候

一、此節紅花間屋紅屋にくみニ而、一向商ひ出来不申、
長々之逗留相成、御申分無之相働手舞仕候、帰国之上
御申訳旁申上度、如斯御座候、恐惶謹言

同 丹二郎

三月十三日

七二郎

稻村七郎左衛門様

九、紅花・青葺相庭之事

一筆啓上仕候、寒氣甚しく候得共、先以て貴御地御家内
様御揃益々御勇健ニ可被遊御座、珍重之御義ニ奉存候、
当方無異義罷在候、憚ながら貴意易思召可被下候

一、紅花之義追々御承知可被遊候とふり、別而相替事無
之候得共、何分下直成直段ニて、一向ニ商内無御ざ候、
何れも荷主大損金出、扱々打続キ不徳計ニて、大キニ
なんぎ成年柄ニ御ざ候

一、青葺之義是又追々御承知可被遊候とふり、不徳計申
居一向商内無御ざ候、何近々森九様一兩日之内ニ御下

り御ざ候、委細御承知可申候

一、御印間替葺之儀もあまり下直成直段ニ候得共、不徳
成時節ニ候得者、無抛ト奉存候て、残り之分半分売附
左ニ印

△トヒ門伝 三駄片馬

代五百五拾匁かへ

子ノ二月切 ふじや忠兵衛

右の通ニて此間売附申候、左様ニ御承知被下候

一、繰錦之義是又追々御聞及之とふり、段々下直ニ相成
り申候、御印分も少々森九様御仕入も損之趣御ざ候、
此節ニてハ少々引上ケ候様子ニて、先々大悦ニ奉存候

一、当年新葺南部へ御差荷被成候義、承知仕候、先にも
参上仕間かけ合候得共、不徳ニて望人無御ざ候、扱々
こまり居候、

一、御印青葺之義、先達而惣差引書、荷物改書差下し申
上候節も、鳥渡御断申上置候とふり、御印之内ニて片
馬過ニ相見へ申候、△印ニて片馬不足いたし居候間、
応方貴公様過之分、去年木津宿高水之節、荷物間違申

候様ニ申居候、とふぞ御改之上、代銀にて森谷氏へ御渡し被下候、委細は九内様江御咄し申置候間、御様子御聞可被下候、此度別紙之荷物改書差下し申上候、御らん可被下候、先ハ右之段申上度、早々如斯ニ御ざ候、恐惶謹言

十一月卅日

阿さや久兵衛

稲村七郎左衛門様

久治郎様

貴下

十、紅花作柄之事

一筆啓上仕候、未残暑甚しく候得共、先以貴御表御家内様、益々御勇健ニ可被遊御ざ候、珍重之御義ニ奉存候、隨而当方無異義罷居候、

一、貴御地当年ハ雨都合よろしき様子にて、紅花上出来之様ニ、京都表にてハみなく咄し居候、如何之御事哉、とふぞ当年少々利分得度奉存候、在之様子にて京都表は、紅花之相庭一向安ク奉存候、早所水戸・上総・

古河辺之紅花も、はしり少々ツ、才料持にて雲り居候得共、何分最上・仙台上出来と奉存候間、一向ニ取メリ商内居御ざ候、只格別ニ安い物ならでかい入不申、何としても御地之紅花上着之上ならて、諸方之相庭取メリ不申哉ニ奉存候、当年、日本中之紅花出キみなみな相応之作と申参り、何近々盆後ニハ諸方之花も京着仕、相庭相極り可申哉と奉存候

一、繰綿之義、当年ハ先ス今日まで格別のさわり無御ざ候、此分にて参り候ハ、当年ハ下直之相庭ニ相成可申哉ニ奉存候、併しくり綿計ハ当月来月二ヶ月之間にて、色々相替り申候間、此節にてハ何共相知レ不申候、先草綿之所にてハ、先此節まで之所ニハ、一向ニ申分無御ざ候上作ニ御ざ候、御勘弁被遊御注文可被仰下候、一、此度下し物左ニ

青苧差引書

同 目錄書

一、からかさ 仕切書

同大坂かい物 仕切書

右之通り差下し申上候、御引合可被下候、間違等有之候ハ、早々可被下候、仕切差引書別紙之とふりにて、相替り可申哉、乍憚とくと御引合可被下候、少々残分不足ニ御ざ候、跡方御差引可申上候、先ハ右之段申上候、早々如斯ニ御ざ候、恐惶謹言

あさや久兵衛 ㊦

亥七月三日

稲村七郎左衛門様

久治 郎様

貴下

尚々青苧荷物御断候方、先達而より追々仕切下し居候所、此度残り之分左ニ印、間替飛薄六艘片馬六連、御預り相成り申候、右之残り荷惣高よく勘定いたし候所一駄計過ニ貴様へ仕切下し居候、如何之間違ニて過に相成候哉ト奉存居候所、たて岡△印ニて片馬不足申参り候、応方之印間違ニて、貴公様之仕切出し候哉と奉存候、此間△印不足之義、南部へ戻し申遣し候得共、

尔今以相わかり兼候、応方吟味仕候ハ、貴様方へ仕切印間違奉存候、猶又跡方可申参り候間、其節ハ金子御揃可被下候、斯義も南部問屋ニも、長持の荷物ゆへ、色々間違居候て、急段にわかり兼候へハ、右之段一寸御願申置候、早々以上

㊦

三日

△ 様

十一、紅花・諸品荷物之事

山形松本忠七様御下り被成候ニ付、一筆啓上仕候、追日向暑ニ御座候得共、貴御地御家内様弥々御安康ニ可被遊御座、珍重奉存候、当分無異儀罷在候、乍憚貴意安思召可被下候、

一、先月八日出以書状得貴意候、相達し彼被見可被下奉存候、其節紅花壳仕切等差下し申候、御請取可被下奉存候

一、大生印紅花片馬之義も、其節御断申上候通り、色々

詮儀仕候へ共、高生印同様直段ニ者中々参り不申、夫故売口遅成申候、乍併見合置候而も、差而相替義も無御座候ニ付、無拗乍下直式丸共此間売払申候、則若山屋喜右工門殿より、売仕切忝通御引合被遊、御覽可被下候、定而思召ニ者相叶申間鋪と奉存候得共、當時ニ而者随分出情詮義之上之直段ニ御座候間、左様ニ思召可被下候

一、紅花代金間替芋代金之内へ、金百五拾兩ニ貴御地山形市村弥兵衛殿江為替ニ取組、四月晦日渡りニ而、則為替証文言通、村居清七様方へ先月八日出ニ差下し申候、定而相届キ右金子之儀、清七様江御請取被下候間、貴家様へ御渡し可被下候ニ付、定而無相違御請取被遊可被下与奉存候

一、去年中々被仰下釣鐘之義、出来仕候ニ付、先月中大坂向酒田尾関又兵衛殿へ差下し申候、追而無事着可仕候条、御請取被遊可被下候、外ニ梅慶寺様方箱荷物式箇、先達而尾関又三郎殿へ差向差下し申候、是又着之節御請取被遊可被下候

一、諸売仕切御買物目錄差引書等、相認差下し可申奉存候処、駄運賃諸掛り物等未々睨ト相知レ不申候間、相知次第差引書仕着下し可申候、左様思召可被下候

一、米沢芋酒田囲之儀追而上着可仕候ニ付、随分出精私方ニ而も売付可申様、先達而被仰下忝承知仕罷在候、然ル所御印青芋御荷物之義も、追々無事着仕候段承知大慶奉存候、乍然不殘南部両家行計ニ而、私方へ御指図御荷物未々忝箇も着不仕、無心元奉存罷在候、是迄之分不殘南部表江之送り手板計ニ而御座候、不寄多少御荷物不相替、私方へも御支配被仰付可被下候、奉願上候、右ハ申上度旁早々如此御座候、尚期後喜之時候、恐惶謹言

藤屋忠兵衛

印

五月廿三日

新介

稻村七郎左衛門様

参人々御中

十二、紅花相庭之事

尚々協差御内ニ而預り被成下置候ハ、

大丈夫ニ案心仕候、右御願申上候、以上

一筆啓上仕候、残暑之砌ニ御座候処、先以貴御地御家内様御揃、益御勇健ニ可被遊御座候、珍重之御儀ニ奉存候、隨而下拙義無異罷在、乍憚御休意思召可被成下候、然者先達而御土被成下候節、御咄し申上候脇差之義、尊君様御帰宅被遊候後、宮宿へ御出御取寄被成下置候様、南ノ姉より御断有之候、此段難有仕合御礼奉申上候

一、紅花之義当年殊ニ駄不足之様子ニ御座候、尤直段下郷極上物六十四五両より、七十両位迄之相庭ニ御座候一、米相庭当月廿日迄不天氣統、廿一日も御天氣統、三九入壹分式朱式百文之処、其御天氣統候故、壹分六百文迄直下ヶ仕候、先ハ右之段御礼旁申上度如斯ニ御座候、以上

六月廿八日

△内 千代七

稻村七郎左衛門様

十三、紅花・青芋代金之事

一筆啓上仕候、未残暑嚴敷御座候所、弥御機嫌能可被遊御座、珍重ニ奉存候、此方下拙無異ニ罷在申候、乍慮外御休意可被成下候、然者昨日も□取申四固髓ニ受取申上候、今日も四固御渡被下度奉願上候、内式固ハ上掛ヶ渡被下候様被成被下度、小々買等ニ仕度奉存候間、如此御願申上候、一昨日御送り被下候八固之内、下拙堅物式固相見江申候間、足仙台行ニ仕度候、右御願申上度如此御座候、恐惶謹言

一先壳付候干花、今日相渡申答ニ御座候、左様御承知可被成下度奉存候、依而明日欵明後迄ニ罷上り品々可申上候、青芋義も品々被仰聞、難有奉存候、少々買入候得共、北郷も余り高直故差控居、北郷五十、五十四五巴ならてハあかり不申候、若思召も候ハ、被仰聞被下度奉願上候、右申上度如此ニ御座候、以上

八月十一日

高橋久四郎 印

稻村七郎左衛門様

十四、青苧相庭之事

村居清七様出

一筆啓上仕候、先以秋冷ニ御座候所、弥御機嫌能可被遊

△本雨 四丸紅花

御座、珍重之御義ニ奉存候、此方下拙無異罷在申候、乍

右御同人出

慮外御休意可被成下候、然者先日者罷上り、乍每度御地

同久雨 三丸同

乞様ニ相成、難有奉存候、其砌申上候仙台出し上掛ケ蠟

同久山 老丸同

色宜敷品、今日此者共ニ式駄御渡被下度奉願上候、且又

村居文蔵様出

北郷辺青苧も差而下直ニも売人相見江申候、五百川辺五

同雨紅 四丸同

十式三巴ニも揚申候ハ、此節御買被遊度申候、可然様

〜

奉存候、北郷ハ五十巴ならてハあかり不申候、此後一花

右之通水上相改候而、御手板之通此元無滞、早速差為登

ニ克買立候様奉存候、越中衆買方は迄者沢山ニモ相見江

申候間、御休意可被下候、追々御用被仰付、千万忝次第

不申候、依而一花商立候半と奉存候、右申上度如此御座

ニ奉存候、右着御案内迄早々申上候、恐惶謹言

候、恐惶謹言

田保孫右衛門 印

亥八月六日

八月八日

十五、紅花為登荷之事

稻村七郎左衛門様

一筆啓上仕候、先左様御清情可被遊御座、珍重ニ奉存候、

当方無異儀罷有候、然ハ庄内登り入船江御積為登荷物、

到着左之通

十六、蠟代金之事

尚々手形金相濟候迄て、内々相庭引メ候ハ、式
メ式百五十匁積りニ而、勘定可申答ニ候間、此義
も先方へ御掛引可被下候

此間御咄被下番蠟之義ニ付、今日山之辺代屋様外御客御
忝人、御差出御状被成下、依而直段相掛合候処、金五十
両内金拾両手金ノ定メ、殘金者漆山誰賤借り主小八殿
引請証文ニ而、取組直段者式メ三百匁九月晦日切、尤右
限日中相庭此節、少々なり共引メ候ハ、五拾匁ツ、
直上ケ可申答ニ約定申候間、此段御承引可被下候、扱明
明後兩日中、里方へ紅花御買入方へ御出張之趣、御兩人
御咄しニ付、近頃御苦勞千万ニ奉存候得共、此取組方小
八殿宅迄御出被下、請手形表限日中、当人不抱弁濟答ニ
候間、其俣睨と御引合方御願申上度、尚跡々取組之義も、
右同様延金ヲ以取引可申義ニ候間、其節者此度同様手形
ニ而、小八殿添状有之候様ニ致し度、此度も請手形面間
遠無之趣、御同人直筆之状一通御受取被下度、後々見本
之為メニいたし度、何分御堅慮之上、宜敷御取計被成下

度、実者此方ニ而一向不存御人ニ候間、尚念入睨与御相
対旁宜敷様ニ御取付奉願上候、右御願申上度、当用如斯
ニ御座候、早々以上

八月八日

⑤

△御印様

一、金四拾両也

右貴殿方買請候番蠟代金、預り申処実正也、尤当九月晦
日限り、此手形引替請人方正金相渡可申候、其内何様之
義有之候共、少茂違變無之候、為日延金手形如件

商人

引請人 小八

右之通いたし度候間、御堅慮之上宜敷奉願上候、
以上

十七、諸品荷物之事

久太郎様登付一筆啓上仕候、未残暑之節御家内様弥御勇
健被遊御座珍重御儀奉存候、此元無異儀罷有乍憚貴意安
思召被下候

一御印紅花近々御積下シ被成下忝仕合奉存候、当年柄御影以相応賑ひニ相成大慶奉存候

則無事着海舟積付等別紙入貴覽候、御休意可被成下候

一此元様子之儀、先書申上候相達御覽可被下奉存候、然

者御注文塩其外御買物之義、小物之分有合候品者、夫々

相調為差登可申、追々御受取可被成下候、塩之義年々御

入用之事故、其手配不仕と申ニハ無之候得共、乍思行届

さる義何難洪之事のミ有之、久太郎様方段々被仰聞候

所江挨拶ニ当惑仕、一言之御申訳無之次第、何分差登可

申趣御挨拶申上候、依之買置塩三百五拾石ほと御座候間、

何分右之塩何レカ工面仕、追々造立為差登候様可仕候、

跡百五拾石之所此後海舟入津次第相調、都合五百石冬中

迄追々為積登可申、左様御承知可被成下候

一去冬方御下シ被成下候大小豆之義、久太郎様御尋被成

下候、右之義先書楯岡弥五兵衛様ヲ以、村居清七様迄申

上候通、是又重々御申訳無之次第、定而御聞可被成下哉、

当年甚難儀之事共ニ而、不実実儀を失ひ絶言語御下墨恐

入奉存候、何卒此処幾重ニも御隣愍御思召ヲ以御引立被

成下置候様奉願上候

此方内々行廻り之義久太郎様御見聞被下候、外方別而之

六ヶ敷かかり合と申も無御坐候得共、当用何分差問心外

之義、乍思不実之義出来残念奉存候、随而格別家風相改

候事ニ付、先書申上候通、以来取究メ之所、御賢慮奉得

度来月中一と先親類共差遣申度奉存候、其節何分御隣愍

之程奉希候

一米札受附之義、先書申上候通御承知可被成下、此度久

太郎様ニも御持参被成度由被仰候ニ付、又々乍行事相認

差上申候

一当地作合先書之通是迄順氣一点之一分無御坐當時至テ

見事御坐候、此通ニ而風難無御座候ハハ、大豊作可仕候、

御地も定而豊作と御同慶奉存候

一米之儀尔今舟不足、旁々久々數買人無之所当作申分無

之、荒米杯方自然ニうり崩シ日々引下一昨日現金三拾貳

匁、当月切卅貳匁半、昨日ハ落引ニかかり候故うり方方

押かけうり人出、当月切三十貳匁八分出候所、任買人出

三十貳表三分貳分と心得、貳分ハうり人四分の買人ニ而

大引仕候、新米十一月切商、当時米相場引合ほと二ハ引下り不申、三十三表半うり人三十五表之買人ニ而商出不申大引仕候、此順ニ候ハハ最卒と引下り可申哉と奉存候、乍去近年無之安直段故、もそつと引下候ハハ諸人買氣ニ訴可申哉、左候ハハ又相庭引べり候様可相成哉と奉存候、何レ此節之安直ヲ舟手か思わく付可申哉奉存候、御勘弁被成下思召入之義も御座候ハハ、追々被仰下度奉存候、先ハ此方之義申上候旁現相庭様子申上度如此御座候、余ハ久太郎様ヲ可被仰上文略仕候、猶追々可申上候、恐惶謹言

七月廿九日

尾関又兵衛[㊦]

稲村七郎左衛門様

同 久米之助 様

同 久治郎 様

貴 下

山形県郷土館所蔵文書

(一) 長井政太郎収集文書

一 紅花買上ケ目録

紅花買上ケ目録

一 貳千五百四拾貫目

但し水花

代七百三貫三百八拾文

兩かへ九百十かへ

此金百九十三兩拾三匁一分

一千花八駄七分

但シ沓駄ニ貳百打入

此掛り物

兩かへ水百廿ツママ

一金拾八兩貳分 七匁貳分

御役分縄□□

飯米小遣

人足賃

花粉其カ分柴

袋かみ次賃

方々札共

二口合テ

金貳百拾沓兩三分 五匁三分

沓駄ニ付金貳拾四兩沓分 五匁九分五リンツツ

内訳

一 沓駄 竹屋長左工門分

代金貳拾四匁沓分五匁九分六リン

一 貳駄百四拾斤 辺見庄左工門

代金六拾五兩貳分

十四匁六分

一 五駄 西田七兵衛分

代金百貳拾沓兩二分

十四匁八分

合八駄百四拾斤

代金貳百拾沓兩三分五匁三分

外ニ金老兩老分六匁ツツ

右之通御座候、若勘定相違御座候ハハ、重而可被仰付候

荷物京都若山屋勘右衛門分一所為登可殊ニ入用掛物長西

庄五郎處ニ御座候、為後日紅花買上ケ目録仍而如件

元禄十一年寅ノ七月五日

西田七兵衛

同 次兵衛

秋場庄五郎

(逸見庄左工門家文書)

逸見庄左衛門殿

二 覚 (出判錢増被仰付ニ付)

覚

一 銀三匁宛蠟老駄 一同三匁宛眞綿老駄

一 同貳匁宛紅花老駄 一同老匁宛青芋老駄

一 錢拾七文宛荏老駄ニ付

一 銀三匁宛袖老駄 但し五反迄無役

一同老匁宛布老駄 但し五反迄無役

一同老匁宛大坂干粉油一升ニ付

一同老匁五分宛水油八斗ニ付

一同老匁五分宛胡麻老石ニ付

一同三分宛荏四斗入老駄ニ付

一同老匁多ば粉老駄但拾近迄無役

一同貳匁宛割たばこ老駄但老匁又切迄無役

一同七匁五分宛鳥荷老駄

右銘々五分一取次之者ニ被成下

右之通当春中御料諸出判錢増被仰付候様ニ相決候間、御

領内茂別段定書相觸候所、新法之判料被仰付候得而者、

却而自他之障りニ罷成候、此度願申出候、古來之通り書

付直シ遣候己上

御役所

下谷地郷

右之通御代官様より借請写置候

酉十二月 富並村

(富並村文書)

三 覚（紅花川下ヶ仕度候二付）

覚

七月八日

一、紅花 貳拾貳箇

但し 四箇附老駄

右者他国出し仕候二付、酒田川下ヶ仕度候間、何卒大石

田川船御役所御通判、御願被成下置度、此段奉願上候、

以上

弘化二巳七月

老ノ森村荷主

権兵衛

御名主

大丸卯右衛門様

四 覚（紅花御役永上納二付）

覚

一、紅花

四拾三箇

但し 四箇附老駄

老駄二付

御役丁銀貳匁五分宛

此御役銀貳拾六匁八分七厘五毛

此永四百四拾七文九分壹厘七毛

此錢貳メ九百五拾六文

此金壹分貳朱 兩替六メ六百元

四百八拾老文

右者去巳年紅花御役永、書面之通御上納仕候、以上

老ノ森村

荷主 権兵衛

北目

御役所

（老ノ森村文書）

五 萬上下運賃定法控

嘉永二丑酉年

萬上下運賃定法控

最上川船下シ諸荷物運賃之定

四人乘一艘ニ付左之通

一金五兩貳歩永貳匁五分 上郷方酒田迄

一同四兩壹歩永拾五匁 境目方同所迄

一同三兩三歩永拾九匁 大石田方同断

六分四厘

右船壹艘之積高定法左之通

一最上米貳百五拾表

外ニ貳拾五俵船増

外ニ貳百七拾五表

上郷方酒田迄壹俵ニ附 永貳匁貳分壹厘

境目方同断 同壹匁七分六厘

大石田方同断 同壹匁五分七厘八五

一同大豆貳百五拾表 上 右同断

境目右同断

大 壹匁四分三厘

外ニ廿五俵まし

但し大船三百五拾表 外ニ廿五表まし

一同小豆貳百三拾表

上 貳匁四分〇八

サ 壹匁九分壹厘

大 壹匁五分六厘

外ニ廿三表まし

外ニ貳百五拾三表

一同小麦貳百貳拾表

上 貳匁五分壹厘六

サ 貳匁

大 壹匁五分六厘

一同荏草 百八拾呎

上 三匁〇六厘九四

サ 貳匁四分四厘

大 貳匁壹分九厘貳四

一菜種貳百呎

上 貳匁七分六厘貳五

外ニ貳拾呎まし

サ 貳匁五分

外ニ貳百廿呎積

大 壹匁九分七厘三

一たはこ百八拾箇

上 三匁壹分六厘

外ニ拾貳箇まし

サ 貳匁四分四厘四

外ニ百九拾貳箇

大 貳匁壹分九厘三四

四箇附
一紅花三拾五駄

老箇ニ付
上 三匁九分四厘〇〇

外ニ三駄まし

同
サ 三匁壹分四厘貳八

外ニ三拾八駄也

同
大 貳匁八分壹厘九五

貳箇附
一青苧七拾六箇

上 七匁貳分六厘九七

外ニ八箇まし

サ 五匁七分八厘九五

外ニ四拾貳駄

大 五匁壹分五厘二七

一水油 壹駄

上 壹樽ニ付七匁八厘八

但シ四斗入貳ツ附

貳斗入三匁五分四厘

三箇附
一晒蠟三拾五駄

老箇ニ付
上 三匁九分四厘六〇

サ 三匁壹分四厘貳八

大 貳匁八分壹厘九五

一菜種 三拾五駄

老駄ニ附
上 拾五匁七分八厘五七

但シ荷大小ニ四拾五駄

サ 九匁七分七厘七七

ヨリ

四拾八駄

大 八匁七分九厘七三

大坂五酒田迄下り荷物運賃

一 操錦 抱合沓本 丁銀
拾貳貫目入 五匁八分

一 古手沓箇 錦入もの
五拾枚入 五匁六分

一 木綿沓箇 百七八拾反
入二而 六匁

一 扇子櫃沓箇 三匁八分

一 備後表五拾枚入 五匁七分

一 線香廿箱入 四匁

一 稻扱沓箇 三匁

一 京長持沓 拾三匁

一 玉砂糖沓樽 六匁四分

一 同 拾貳斤入沓瓶 貳匁

一 柳合利入 六匁

右者大坂伊勢堅之助出荷物運賃ニ御坐候

右荷物最上仙台辺江通り荷物之分者、当湊間改増口銭相掛り不申候、藏敷計り相掛り候勝手之筋ニ而、酒田ニ而御拂ニ相成候節者、定之増口銭相掛り申候、御大名様御荷物ニ候得者売方ニまし口銭相掛り不申候、藏宿之口銭藏敷計り相懸り申候

最上為登荷物運賃定

一 造塩廿五貫目入沓表 上郷 拾匁九分貳厘

一 操綿抱合沓本 大石田七匁八分

一 同 拾貳匁三分七厘 上郷上ケ

一 同 大石田上ケ八匁八分四厘

一 同 清水上ケ 六匁四分五厘

貳箇附

一 木綿沓箇 上 右同断

大 右同断

清 七匁貳分八厘

一古手老箇

上 拾三匁九分三厘六

一線香廿箱入

大石田 貳匁八厘

清 五匁七分五厘

大 九匁九分五厘四
清 四匁七分八厘

上郷 貳匁九分壹厘

一小間物櫃老ツ

上 九匁壹分七厘

一大長持物入

上郷 廿老匁八分四厘

大 六匁五分五厘
清 四匁七分八厘

大石田 拾五匁六分

一天草老箇

上 拾匁壹分九厘

一近江表五拾枚入

拾老匁四分三厘

大・清 定法有り

拾匁九分

一塩引老箇

上 三匁九分三厘八

定法阿り

但大八本入

大 貳匁八分〇八

小拾本入

清 貳匁〇八厘

一備後表三拾枚入

拾匁九分貳厘

一大村鯨 樽老樽

上 拾匁九分貳厘

割合

大 七匁八分

七匁八分

一七嶋表沓箇

右同断

右同断

一操綿・木綿・古手・櫃荷・鉛銅・油酒四斗入・永銀沓
匁六分五厘ツツ

一長割鉄沓束
拾入匁入

五匁四分六厘

一造り塩沓俵二付、永四分五厘五も
一鮭塩引沓本・漬桶賃共錢貳文ツツ

三匁九分

一小間物櫃沓、永沓匁三分

一当所蔵米
五斗入

八匁七分三厘六

一長割鉄貳束二付、永沓匁六分五厘
一線香沓揃力、永五分

六匁八分四り

一玉砂糖沓瓶、右同断

右之外数多略ス

蔵敷定法書

越前、敦賀江為登荷

海船運賃左之通り

一御大名様并商人米穀左ニ

一紅花四箇附沓駄

金沓兩二付
貳駄 酒田力敦賀迄

百俵ニ付沓俵ツツ

但シ六七月新花走り荷物如此跡荷之分、金沓兩ニ

一胡麻荏菜種之類、其外升廻り之不同之雜穀ハ、代金百

付貳駄貳分力三分迄、又越年春中海船積入候

兩ニ附沓兩ツツ

節物、金沓兩ニ付四駄也

一紅花青苧沓駄ニ付、永沓匁六分五厘

一青苧 貳箇附沓駄

一たはこ・蠟・半紙・茶之類、沓箇ニ付、永沓匁ツツ

酒田力敦賀迄

金老両ニ付三駄

但シ七八月走り荷之分如此跡荷之分三駄三分迄、

越年春中海船江積入候節ハ、金老両ニ附五駄

也

一割たはこ老櫃 永拾匁 酒田方敦賀迄

右之通ニ御座候へ共、不寄何品寄時節運賃増引可有之

候

下ノ関生蠟買諸懸り

一金百両ニ付 貳両貳拾三匁 御役口せん縄筵共ニ

但し生蠟買入之節老貫匁ニ付、廿匁ツツ之入目有之

酒田蔵宿九軒之衆

二木重之助 長田為右衛門 西野長兵衛

上林治郎治 本間幸三郎 尾号又市

鍍屋惣右衛門 上林源七郎 谷口九兵衛

九軒

一他所 御大名様方御廻米并御物荷売買之所、酒田湊古

来より仕来之定有之、蔵宿勤来り候右九軒之外並問屋

之者取扱候事相成不申候定ニ御坐候、尤金主勝手之筋

ヲ以外問屋へ蔵入ニ仕候時ハ、仮り蔵之筋ニ而蔵宿取

入之内方半蔵敷先方へ差遣し候定ニ御坐候、他蔵ニ入

候而も沖出し之節者、川口役所通り判切手ハ蔵宿方出

し申候

一御大名様方御廻米諸荷物御下し被遊候ニハ、当湊御蔵

宿御定不被遊候而者、御物取計ひニハ至り不申候、諸

掛りもの共御不益ニ御坐候、御廻荷以前当湊町奉行所

江御懸御役人中様方御文通ヲ以、御頼被仰入候様可被

成下候、右文言大凡之儀左之通り (以下白紙)

(県郷土館所蔵文書)

六 荷出役一件書物

八、右役永前書之通上納可仕候間、当未老々年請負被仰付被下候様奉願上候以上

(表紙)

安永四年

安永四年未五月

十四日上元

名主武右衛門

荷出役一件書物

未

五月

半右工門

楯北村

羽州村山郡

楯西村

名主四郎兵衛

楯南村

名主八左衛門

大石田東町

六右衛門

大石田四日町

半右衛門

乍恐以書付奉願上候御事

(朱筆)

七兩貳分

一金五兩

御代官所村々分

一金貳分

当分御預所村々分

一金貳兩貳分

御立会御預所

楯岡村
大石田村
分

青木楠五郎様

御役所

金八兩

但当年分

右者尾花沢寒河江兩御役所附村々方出候青葺并紅花たは

こ其外品々荷役之儀、当未老々年請負之積り、御吟味之

段委細承知仕候、右荷役之儀、拙者共江請負被仰付候ハ

差上申一礼之事

一尾花沢寒河江兩御役所附方出候青葺并紅花煙草其外

品々荷役之儀、当末年々々年請負之積入札御吟味之所、
外二者望人無之拙者共右請負之儀、別紙を以奉願候

二付、拙者共請負金高を以、近年右両御役所附村々々
荷役永御取立金高与御見合候処、御代官所村々之分、

并当分御預所村々之分者、近年二皆増立会御預所貳ヶ
村分者、相増候二付如何様之見込を以踏込金高相増候

而請負相願候哉、御不審二思召候間、其訳無隱有体可
申上旨御尋二御座候

此段御不審二思召候儀御尤承知仕候、御役所二而御
直取立之儀者、荷役永之定値段至而高値二付、商人

共仕当二難合候二付、外江持出候而荷造り仕、荷役
安ク口口江之通り切手出候場所二而、右切手を取

所々江相廻候儀与存候、拙者共江請負被仰付候ハハ
荷役之直段格別二引下ケ取立可申存候、左候ハハ商

人共も甚勝手之事故口々江之通切手拙者共方江可申
參儀与存、若右見込違二も出来候ハハ、御請負之儀

二付、是非不及弁納可仕候得共、先ッ者右申上候通
役永之直段さへ格別二引下候ハハ、おの川から切手

之儀可申參儀与見込候而奉頼候儀二御座候
右申上候通相違無御座候以上

未五月 武右工門

四郎兵衛

八左工門

六右衛門

半右工門

青木楠五郎様

御役所

差上申一礼之事

御代官所村々

当分御預所村々分

立会御預所貳ヶ村

一金八両 但当末年荷役拙者共請負金高

右者青苧・紅花・蠟・漆・葉たはこ・刻たはこ・真綿・

荏胡麻・水油・大坂干粉・油々拾壹品 前々最上御料

私領村々方出候商荷物ニ而御料私領向々江荷出役相納候
処、此度尾花沢寒河江兩御役所附村々方出候分、荷役之
儀当未耄ケ年請負之儀、御吟味之処、拙者共書面之金高
を以御請負之儀奉願候、尤右品々之内ニ而、当年出候品
も有之、又者不出品も可有之候得共、其儀ニ不抱候而奉
願候、然上者右出荷物多少者勿論、右之内品數減候迎も
御願ケ間敷義、決而不申上、右金之通御下知次第急度上
納可仕候、依之一礼差上申候以上

未五月

五人

以書付奉願上候

此度拙者共奉願候荷役御請負之儀、弥当未一ケ年被仰
付被下候ハハ口々江之通り切手之儀、拙者共より不差出
候而者差支候間、当年御請負之内者、拙者共方切手差出
候様仕度奉願候、然上ハ御下知次第拙者共印鑑相認可差
上候間、向々江右印鑑御渡被下置、且又右之段御支配所
村々江被仰触被下候様奉願上候以上

未五月

御役所

乍恐以書付奉願上候

一此度尾花沢寒河江兩御役所附村々方出候青苧并紅花・
煙草其外品々荷役之義、当未耄ケ年役永請負別紙奉願候、
右願之通被仰付候へ者、右荷出役印鑑之義、私共村役相
勤候ニ付、御用ニ而罷出候留主中ニ通切手之儀申參候節
ハ差支候間、右荷出通切手印判之儀ハ、別段仕度兼而奉
願上候以上

未五月

五人

御役所

楯北村

印鑑○ 荷出認請取人武右工門

同 ○ 四郎兵衛

半紙也同 ○ 八左工門

同 ○ 六右工門

同 ○

半右工門

一大坂千粉油 壹斗二付

錢五文ツツ

一青苧 三拾六貫目壹駄二付

銀 壹匁宛

但 壹メめ以上ハ
右割合

一たはこ 貳百四拾斤壹駄二付

錢 四拾八文

一真綿 三拾貳メ目壹駄二付

錢六百五拾分ツツ

但

一刻たはこ 三拾貳メめ壹駄二付

錢 九十六文ツツ

一紅花 三拾貳貫目壹駄二付

銀 貳匁

但

右者荷役取立方之儀、前書之通是迄之御定方格別引下ケ
候而取立候積りニ御座候、右御尋ニ付申上候以上

一蠟 四拾貫目壹駄二付

錢 三匁也

未五月

五人

一漆 四拾貫目壹駄二付

錢貳百五十文

御役所

一胡麻 壹石壹駄二付

錢 百文

楯北村

荷役請負人 武右衛門

一油荏 壹石八斗壹駄二付

錢 四拾五文

楯西村

右同断 四郎兵衛

一水油 八斗壹駄二付

錢 八拾文

楯南村

右同断 八左衛門

大石田南町

右同斷 六右衛門

大石田四日町

右同斷 半石衛門

右之者共江尾花沢寒河江兩御役所附村々ら出候紅花・青
芋其外品々荷出役之義、当未耆ヶ年請負被仰付、口々通
切手之義も当年者右之もの共ら差出筈ニ御下知相濟候間、
切手之儀右五人之内江勝手ノニ申出役永相渡、切手可
取申請之、尤役永之儀者は迄之御定より、別紙之通引下
ヶ候段申之候間可得其意候

右之段商人共江可申聞候、此回状村下江致請印刻付を以
早々相廻、甞り可相返者也

未六月廿三日 青楠五郎印

為取替申一礼之事

一此度尾花沢寒河江兩御役所附村々ら出候諸品当未耆ヶ
年御役永請負之儀望人無之三付而、御差人ニ而私共江

被仰付候付、金八兩を以奉願上候、右願之通被仰付候
ハ、左之通申合候

一御役永格別引下ヶ御役所江申上候、大奉紙横折ニ而御
帳致置最寄ニ通切手申參次第、押切判致差出御役永取
立候分扣帳へ相記置、此帳面尾花沢へ持寄耆ヶ年分勘
定可申事

一私共五人外ニ大石田村名主庄兵衛組頭三太郎当分内仲
間へ相加イ願之通、御下知相濟候ハハ表向へ相加り度
段一同申立候積り、谷地工藤小路村嘉^カ右衛門内仲間ニ
相加候、然上ハ取立御役永ら請負金八兩上納損益共ニ
八人面ニ割合可申事

一通切手之儀者、大奉紙横折四ツ切ニ申合候、同文言
相認差出可申候、尤面々手元筆墨紙之儀者、通切手差
出候、多少ニ而申合相究可申事

右之通申合候処相違無御座候、依之双方為取替連印一礼
仍如件

未五月

榎北村

武右衛門 印

楯西村

名主武右衛門

四郎兵衛 印

楯西村

楯南村

名主四郎兵衛

八左衛門 印

楯南村

大石田本町

八左衛門

六右衛門

大石田本町

同 四日町

六右衛門

半右衛門

同 四日町

野田弥市右衛門様

半右衛門

青木楠五郎様

御役所

乍恐以書付奉願上候事

一金貳兩貳分者

楯岡村

大石田村 分

差上申一礼之事

右者例年右両村より出候青芋其外品々荷役之義、当未年分請負之積り御吟味之段、委細承知仕候、右荷役之義拙者

楯岡村

共江請負被仰付候ハハ、右役永前書之通上納可仕候間、

大石田村分

当未年分請負被仰付被下候様奉願上候以上

一金貳兩貳分者、但当未年荷役請負金高

未六月

楯北村

右者青芋其外品々荷役之儀、当未年分書面之金高を以御

十八日上ル

請負之儀奉願候、尤右品々之内二者、当年出候品も有之、

又者不出品も可有之候得共、其儀二不抱候而御請負仕候、

然上者右二付御願ケ間敷儀、決而不申上、御下知次第右

金高之通急度上納可仕候、依之一礼差上申候以上

未六月

右五人

野田弥市右衛門様

青木楠五郎様

御役所

以書付奉願上候

此度拙者共奉願候桶岡大石右二ヶ村荷役請負之儀弥被

仰付候ハハ、口々江之通切手之儀、拙者共切手差出候

様仕度候、然上者御下知次第拙者共印鑑相認可指上候間

向々江御渡被置、且又右両村江も此段被仰触被下候様奉

願上候以上

未六月

右五人

御役所

口留番所覚

小国通米沢越

杉山口 長谷堂口 榎下口 松原口

笹屋

二位山口 二口口 六十里 志津口 関山口

上野畑口 関谷口 名木沢口 古口口

横山口 川通口米沢越

一六月廿日荷役請負之儀、御代官所御預所之分相濟候段
被仰聞、依之明後廿二日寒河江之もの一同罷出候様被

仰渡候

一同廿二日荷役請負御下知相濟候段被仰渡候

一口々印鑑十六枚差上申候

一御代官様御触流、明日御出之積り御座候

一請負人五人方荷役直段付廻状相伺差出申候

一内仲間庄兵衛・三太郎義、相伺横山へ斗り五人連名二

而右兩人通切手差出候段文通二而相断候

一通切手へ苗字之義、内々にて相伺、表立不申苗字書候

積り御座候

右申上候通相違無御座候以上

差上申一礼之事

未七月廿日

五人

一御立会御預所楯岡大石田右兩村より出候青苧其外品々荷

野田

役之義、当未年分請負之積り、先達而御吟味ニ付、右

青木

兩村分金貳兩貳分上納仕候積りを可請負旨書付差上候

御役所

処、尚又此度御吟味被仰聞候者、右者銘々其村々之も

の共請負候得共、大石田村分ハ請負之儀望不申候由、

六右衛門取立

依之被仰聞候ハ、右大石田村分金高何程ニ而可請負哉

一紅花六拾後駄老固 此荷役銀九十四兩四分下

之旨御吟味御座候

内十七駄三固長崎出 錢壹又七百七十五文

此段先達而、右兩村分請負候積り書付差上候ニ付、御

一たはこ四百四拾九固下 五又三百九十七文

下知相待居最早都而最中出荷物も有之時節ニ候処、今以

四十四斤

御下知無之迷惑仕罷有候、併右兩村分請負之積り書付差

一真綿五十貳又貳百め 壹又四拾四文

上置候付、無扱見合罷有候処、楯岡村分ハ御除、大石田

一青苧四十駄片馬 銀四拾匁五分

村分計請負之積りニ而ハ、是又迷惑仕候、全体楯岡村分

一寄苧老固 銀貳分五厘

斗り重ニ見込候義、殊ニ此上尚又御下知之日間も可有御

一下苧一固 錢拾五文

坐哉、左様て弥以時節後連ニも相成仕当ニ難合ニ付、旁

一漆三又八百め 廿四文

以望無之候間、右請負之義者御免可被下候

一水油老石四斗 百四十文

一 程百九十六呎 貳×九百四十文

一 刻百四十卷×貳百め 四百廿四文

一 銀百三拾七兩四分

錢拾卷×七百五十九文

庄三郎

取立

三太郎

一 紅花貳拾駄 銀四拾匁

一 たはこ千駄拾卷固 十貳×貳百廿貳文

一 程百拾六呎 卷×七百四十文

一 真綿九十四×め 卷×百四十六文

一 水油卷石五斗 百五十文

一 刻百五十卷×め 四百五十三文

一 銀九十四兩五分

拾六×四百四十一かへ

半左工門取立

一 金四兩卜卷×十貳文

大石田分 銀三百九拾卷兩貳分七厘五毛

惣合 錢三十六×三百三十四文

此金 拾三兩卷分六百四十一文

外 寒河江三人ニ而取立

一 紅花拾貳駄片馬 銀拾五兩卜五百文

内 五駄長崎出し

都合金拾三兩貳分卷×百七拾卷文

内

一金八兩 運上金

一 錢三×文 通切手三百枚

筆紙代

引残金五兩八百廿五文

内

金貳兩貳分四百拾貳文 寒河江分

金貳兩貳分四百十貳文 大石田分

内

三百三十五文 酒三升

まんちう十三

貳貫七百五十文 右御用雜用

五十五賄カ

引残金壹兩三分壹メ三百貳文

此判

一金貳分八百七十五文 六右工門

外三百三十五文 遣物代

壹メ貳百文 賄代廿四

壹メ五十文 通切手

〆金壹兩卜八百拾文

一金貳分八百七十五文 半工門

外壹メ貳百文 賄廿四

四百五十文 通切手

〆金三分卜壹貫貳百文

一金貳分八百七十五文 庄兵衛
三太郎

外壹メ四百文 通切手

百五十文 庄兵工分

貳百文 三太郎

〆金三分壹メ三百文

差上申一礼之事

一金八兩者 来申年御請負金高

内七兩貳分者 御代官所分

貳分ハ 当分御預所分

右者尾花沢寒河江兩役所附御代官所当分御預所村々々出
候紅花・青苧・たはこ外、品々〆拾壹品荷役来申年分御
請負之儀御吟味ニ付、私共儀当未年分金八兩ニて御請負

仕候処、多分損金相立候間、来申年之義者、右金高之内

三兩引下金五兩ニ而請負仕度旨申上候処、被仰聞ハ未年

之儀ハ請負納年故、私共并荷主共勝手不案内ニテ、方も

不宜出荷も無数損金相立候事も可有之哉候得共、一体荷

役永引下取立候義ニ候得者、追々出荷相増、方も出来仕

双方勝手も宜道理ニ有之処、却而未年金高、相減候而ハ

決而不相濟候間、何分増永可仕旨、併実ニ増永仕候而ハ

望無之候得者、外々之もの御吟味之上請負被仰付候義ニ

付、左候而ハ残念ニも可有之候間、旁以未年金高ニ増永

仕可相頼旨、種々利解も被仰聞段々御吟味之趣御尤ニ奉

存候得共、追々申上候通、多分損金相立候上、又候申年

之儀も出荷同様ニ而損金有之候而ハ、重々難儀ニ者御座

候得共、右被仰聞候趣も無余儀奉存候間、左候ハハ未年

金高之通、金八兩ニ而今壹ケ年、誠ニ御請負可仕候、右

之外聊ニても増永仕候而ハ決而望無御座候、何方へ御請

負被仰付候共、少も申分無御座候、勿論私共儀右之通申

年分御請負仕候上ハ、縦いか様ニ損金相立候共、聊御願

ケ間敷義不申上、書面之金高急度上納可仕候、依之為御

請連印差上申候己上

未閏十一月
十二日上ル

武右工門

八左工門

四郎兵工

六右工門

尾花沢

御役所

半工門

一新庄御預所村々たはこ重ニ出来可申候間、右村々色々

共御用序ニ受負五人、最寄ニ通切手取之候様、右村々

商人并荷送宿仕候もの共へ申聞候様、別而被仰渡被下

候様、取之義書付差上申候

一寒河江三人のもの名代善藏昨十日罷越申候処、大石

田ニて請負望無之候ハハ、寒河江三人ニて来申年請負

可申趣ニ付、畢竟以来之為ニも不宜候間、一通り五人

共ニ望無御坐段可申上奉存候得共、逆も名代之義ニ付、

来申年弁金相見候事ニ付、尚又御役所も金八兩之内

賦ニ而ハ、御同難被遊段被仰候ニ付、寒河江善藏へ申

合、表向五人ニ而請負仕、大石田一丁前、寒河江三

丁二仕候筭申合候、拙之儀ハ表向名前戴候得共、損金共二不拘、尤通切手ハ世話可致段申合候而願書差上申候

(二) 山寺村文書

一 乍恐以書付御届奉申上候

(当年照統用水不足二付)

乍恐以書付御届奉申上候

御領分山寺村当丑田方植付之儀、先般以書付御届奉申上候通、居村之分者五月十日より植初同十八日迄漸植付候得共、兼而被為在御賢存候高嶺村耕地へ多分入組候飛地者手遠之儀故、其村江有増小作立付ニ仕置候処、当年柄田植前より照統用水不足ニ相成候間、本郷ニ用來候堰筋度々苗切里方江通水いたし精々引廻候得共、一体不足

之儀者用水行届兼候場所多分有之ニ付、凡見分仕候処、無仕付場三分通餘有之、尤植付候分も追々早上り、本郷ニ伏候上田石盛廿七之場所迄白割ニ相成候程之早魃ニ而當時田方山里共凡四分通程旱割ニ相成、且又畑方之儀、国産第一之紅花生立方肝要之時節ハ照統旱痛候故存外摘劣り、麦者実入無甲斐、跡々可仕付大小豆、黍稗たはこ之類精々植付候分者、早痛最早土用入ニ相及候得者、可植直氣力無御座、天災とは乍申、左様之變年前代未聞之儀与一同驚歎罷有申候、此後潤雨無之候ハハ、如何様之早掄ニ相成候哉難計奉存候間、一先右之段乍恐以書付御届奉申上候以上

嘉永六丑年六月

山寺村百姓代

佐次右衛門

百姓代

三五郎

同 忠右衛門

組頭

忠兵衛

同 三右衛門

同 武田伊右工門

名主

後藤藤九郎

同

小笠原吉兵衛

同

布施弥左衛門

漆山

御役所

二 乍恐以書付目木上納御免奉願上候

乍恐以書付目木上納御免奉願上候

御領分山寺村之儀者、山内ニ而重ニ山稼ヲ以相續仕候

村柄ニ御座候ニ付、早春深山江小屋を掛敷日山居罷有、

三月中土用近迄薪伐拂方ニ取掛候故、畑方作付手後レ候

得共、自然之仕曲今更相改兼、第一之紅花蒔付方例年土

用過ニ相成、然ル上者格別ニ摘劣り手入金少ク難渋罷有

候処、去ル子年而御陣内御用之目木上納被仰付、難黙止

御請仕、三四ヶ年相納候処、稽木而已年々拔伐仕候故、

最早尽果殊ニ納方之儀者、畑方作付最中之折柄ニ而、例

年手後レ之処、猶々作付相後レ百姓一同誠ニ以迷惑至極

ニ奉存候、且夫食米調兼泊り山も不致困窮もの者、夏ニ

至迄も目木壳拂相續仕来候処、村方惣中より一度ニ相納候

様相成候、以来壳捌所相寒き候道理ニ而、是又捌方差支

難渋仕候儀ニ御座候、其中納方延引仕候得者、御掛様御

出張之上、御殿重被仰付、若日限及遲滞候得者、御逗留

ニも相成、左候得者作付肝要之折柄諸費不少旁以難渋至

極之儀ニ有之、折角之御趣意御違背申上候段、奉恐入候

得共、此上旦那様方小前へ御相对ニ被仰付、村役人世話

方相除キ候様被成下置度、御慈悲之程偏ニ奉願上候

右願之通御聞濟被成下置候ハハ、御憐愍之程一同難有

仕合奉存候以上

安政三辰年十二月 山寺村下組

百姓代茂 助

組頭 三右衛門

名主 儀兵衛

同 中組

百姓代三五郎

組頭 仁左衛門

名主

小笠原吉兵衛

同 上組

百姓代佐五右衛門

組頭 孫 七

兼帶名主

小笠原吉兵衛

兼帶取締

半澤 久次郎

漆山

御役所

三 乍恐以書付歎願奉申上候

(夫食米返濟二差支候二付)

乍恐以書付歎願奉申上候

御領分山寺村上組名主東九郎同組頭伊右衛門乍恐奉申上候、私共儀高揃村佐藤庄右衛門方金百九拾貳兩餘借用有之、同人方濟方御訴訟奉願上候二付、私共御呼出御理解被仰付候二付乍恐左二奉申上候、私共村方之儀者御賢存之通極困窮之村方二而御年貢金并夫食米等差支、極難洪之節者村役人手配を以取繕ひ相續仕来候処、去子年十一月中高揃村佐藤庄右衛門方村役人名前を以米貳百俵借用仕、小前夫々江貸渡当難為相凌返濟之儀者、丑七月中二取極候処、猶亦翌丑四月中小前御年貢金上納二差支、金貳拾兩借用仕候処、丑年之儀者稀成早魃二而、最早六月中二者如何様之旱枯凶歳二可相成哉茂難計驚入、産物之紅花者例年之三分一二茂行届兼、殊更米価俄二引上、兼買食之村方夫食買求可申様無御座、飢渴を凌候儀專要

之儀ニ相心得、御添輸頂戴仕仙台表江罷越夫食米買求候
処、遠路之儀ニ而駄賃等差加江候得者、夫食米代金多分
之金高二相成、何分右ノ代金才覚可仕様無御座、村方熟
談之上村役人者勿論小前持合之衣類夜具等取集質入ニ仕
候程之難洪之折柄ニ付、庄右衛門江可濟米代金之儀茂一
先返濟差延呉候様相頼、外金五拾兩借用仕其外方々私
共名前を以金子借用仕、漸夫食米代金者相立候得共、丑
年中之儀者小前一同夫食米代金相濟可申様茂無御座、金
子手入ニ可相成品物逆者一切無御座年柄ニ而、漸飢渴相
免連候而已ニ而難洪至極之儀ニ有之、翌寅年之儀茂右同
様之義ニ御座候得共、御上様格別之御慈悲ヲ以夫食米御
拝借被仰付、右御米ヲ以漸取統一同難有仕合ニ奉存候、
乍併村方ニ而相調候夫食米代金多分之儀ニ而調達返濟可
仕様無御座、庄右衛門方江追々日延相頼候内、寅年十二
月ニ相成返濟相成兼候ハハ、書入證文差出可申旨嚴重申
之候ニ付、無拠書入證文者相渡候得共、東九郎儀者素方
手薄之身体ニ而書入ニ可仕地所無御座、伊右衛門儀も
連々困窮仕書入ニ可差出程之地所無御座候ニ付、一同熟

談之上小前之地所借受書入ニ仕一過相凌、去卯年ニ相成
村方小前天食米代金滞之分多分御座候得共、取立可申様
無御座候ニ付、金高貳百兩之頼母子東九郎方ニ而発仕
右引取金を以返濟可仕見込之処、方々借用金多分ニ而、
出金多分差引ニ相成寄金無御座、漸金三拾五兩相渡、庄
右衛門加入出金共四拾七兩貳分之渡金高二相成候ニ付、
跡金之儀者山形宮之内方金四拾兩請取可申金子御座候ニ
付、右金を以相濟候筈、尤利分用捨ニ約定仕猶殘金之儀
者当辰八月中右頼母子貳番会小前引取金を以相濟可申之
処、宮之内方請取可申金子も行違ニ相成、頼母子之儀も
連中出金寄金無御座、或者連外相断候者も有之破会同様
之儀ニ相成、庄右衛門方嚴敷催促御座候得共、返濟可仕
手段尽果、無拠兩人身体向取調勘弁申請候上、濟方仕度
候ニ付、猶豫致呉候様頼入候内、同人方濟方御訴訟奉願
上候ニ付、御嚴重御利解被仰付奉恐入候得共、前段奉申
上候通、素々困窮之村方丑年以來弥以難洪相高、惣小前
元金ニ而百五拾兩餘滞金御座候得共、嚴敷取立候得者村
方住居茂相成兼候もの共出来敷敷奉存、私共兩人之儀者

連々借用金相嵩身体不相当之金高二而、何分相統可仕様
無御座、此上者親類組合方江身体向差出枯却仕候外無御
座、庄右衛門方借用金之儀者、御嚴重之御理解ニ御座候
間、過ル十三日親類組合方江身体向差出枯却之趣、惣金

右奉願上候通被仰付被成下置候ハ、亡村ニ可相成村方
艱難ニ茂取統出来可仕与、御隣愍之程一同難有仕合ニ奉
存候以上

主寄合之上相頼候儀ニ御座候、隨而庄右衛門方借用金之

右村

儀者御嚴重之御理解ニ御座候間、東九郎発記之頼母子江

百姓代 忠右衛門

是迄加入之外別段一口加入致呉、出金之儀者引取候迄小

組頭 武田伊右衛門

前之もの方掛繼候之間、右金を以請取呉候歟、又者所持

名主 後藤東九郎

之田地借用金高江割合其振合ニ而、地所請取呉候様相頼

漆山

候得共、兩様一円承知無御座候ニ付、小前之もの呼寄其

御役所

段申聞候処、一同相歎此上者無抛厚御理解之御趣意奉恐

入御違背可申上様無御座、乍難儀身分ニ換差略仕成丈ケ

当金相濟候様可仕殘金之義者、追々取立呉候様申出候間、

猶又右之趣庄右衛門方江達而相頼候得共、是以承引無御

座甚当惑至極仕候、依之前件難渋之折柄乍恐被為聞召訳、

何卒格別之以御慈悲当取立金相濟候殘金之分、来巳三

拾ヶ年賦ニ受取呉候様庄右衛門江御理解被仰付被成下度、

幾重ニ茂奉願上候

幾重ニ茂奉願上候

大沼養之丞家文書

(宮城県村田町)

一 文政八年商用萬控

文政八年乙酉

正月 米三斗九升

二月 紙三拾枚百廿拾かへ

山形重箱燻壹両二七メ匆売り

但シ申ノ年ノ四月海味ニ而山形着八

メ五百匆買也

三月

四月 米三斗七升

五月

舟岡辺

六月 紅花上物六百六拾目方八百拾匆位也、村

田辺者四拾貳三兩とか

七月 米三斗五升

八月

九月

十月 たはこ上廿四五把

荳油 三斗五升

米 三斗三升

十一月 米 三斗

大豆 七斗五升

当年者田作大キニ不作ニ付、米追々買入相出、貳

斗八升也、十二月ニ相出申候

二 文政九年商用萬控

文政九年扣丙戌

正月

二月 燻 六メ匆

米 貳斗六升

三月 米 貳斗八升

四月 米 貳斗九升

五月 荳油三斗三升

六月

紅花頭物五百目ら五百廿目位ニて有之候処

手花干巻駄ニ而(虫喰)□□兩位利運有之仲買□

八兩位利運□之地庭大キ直段行立利運ニ

相成申候

右之通駄不足ニ相見得申候ニ付、地庭大キニ引立、残

花迄も追々京着不思も損金ニ相成申候

三 文政十年商用萬控

七月

八月

九月

十月

荳油三斗三升五合

米並之相場四斗六升二合

十一月

大豆 六斗五升

十二月

米 四斗八九升

大豆 七斗五升

小豆 貳拾八文

たはこ上物三拾八把

下物四拾五把五拾把迄

右追々 下落いたし

早庭 四百駄

水戸百駄

奥仙貳百駄

南仙貳百駄

最上五百駄

ノ千四百駄

正月

代 卷メ六百文

米 四斗八升

大豆 六斗五升

小豆 三拾文

荳油 三斗三升

葉たはこ頭物三十八把

四月

代 相庭同断

米 五斗

大豆 七斗

二月十四日

かのサル

小豆 貳拾五文

水戸 六十兩位ろ

荏油 三斗貳升

五十二三兩

葉たはこ望人なし

四十四五兩

蠟 五メ五百匁

早庭 五十四五兩

四十六七兩

四十兩前後

メ残荷七百五十駄

京都表年頭帖

南仙 六拾兩位ろ

五月 京都表残花四百五十駄

五十貳三兩

六月 米 五斗二升 葉たはこ買人なし

四十四五兩

天氣六月十七日ニ雨、廿二日ニ雷雨

奥仙 五十三四兩

紅花草生、仙台大キニ不作ニ見得申候ニ付、買人

四十五六兩

相出、芦立紅花初直段六月廿四日ニ六分貳厘九毛、

四十卷貳兩

干上り大キニ高直ニ相上り、花干損金ニ相成申候

最上 五十三四兩

四十四五兩

右地庭雨都合克上出来

三十七八兩

一遠刈田 五百六拾目

同雨都合克見得申候、少々引合高直

一最上

八百駄

一円田

右同斷

〆貳千四十駄

上五百七拾目

一村田

四拾八九兩〆四十四五兩迄

八月

米 五斗壹貳升

此所考駄拾五兩方之損金ニ相見得申候

千方ニテ

十月

大豆 八斗

一大河原

五十卷兩〆

荳油 三斗四升

四十四兩位迄

米 今引四五

此辺、千方ニ而拾兩方損金

寒引五斗

新花出荷商

一水戸

貳百駄

十二月

荳油 三斗六升

地庭買上り六百六十目位頭物

米 四斗七八升

一早庭

七百駄

たはこ五十把〆

同買上りイ兩ナキナ兩也

六拾把迄

一奥仙

百七八十駄

一南仙

百七駄位

候

同イ兩〆キシ位也

葉たはこ宜ニ相見得申候ニ付、買人多分相出申

紅花京都表相庭

四 文政十一年商用萬控

一南仙 極頭物七十兩

五十五兩迄

越年花荷商

一最上 五十五六兩迄

三十七八兩迄

南仙 極頭物

南仙 最上拾五兩方之利運ニ相成申候

六拾二兩

一早庭水戸

出来悪敷候哉、望人無之、極上宜敷所ニ而四五兩

五十六七兩

利運

奧仙

京都表九月頃者、元金位之直段ニ有之候処、天氣都合

五十兩前後

宜敷候間、荷口相行、十月十日ニ四五兩方直段行立、

四拾五兩

廿日方ニ者十兩位直上ニ罷成、不思利運ニ相成申候、

最上

五十貳三兩

九月中当地之唱ニ者、戌ノ年為登ニ成候御人方、廿兩

四十六七兩

位之損金故、新花買人も無之、下直之直段無思下候所

三十五兩

五十兩位方直段相立申候間、引合六つヶ敷都合克參候

水戸

六十兩方

而、五兩位も利運ニ相見申奉存候所、利運ニ相成申候

四十六七兩

早庭

五十七兩

四十兩迄

右之通申参候

荳油 三斗四升

大豆 七斗七八升

米相庭初午十二日ニ御座候所、右十二日過少々
下直ニ相見得申候

正月

代 粍又六百文

米 四斗六升

もち 四斗壹升

大豆 七斗五升

荳油 三斗四升

小豆 拾六七文

小麦 廿五六文

葉たはこ少々引上申候様ニ相見得申候得共、望人
なし、米相庭直段追々引上候様ニ相見得申候、廿
七八日方ニ者四斗四升位ニ買人相出申候

正月初相庭

一、土崎白砂糖 拾貳匁八分

一、太白砂糖 九匁五廿三匁迄

一、御物黒砂糖 斤十貳匁五十五匁迄

一、大しま砂糖 斤十三匁五十五匁八分

大坂相庭

一、坂上繰綿 五匁四百匁

二月

代 粍又六百文

米 四斗五升

もち 三斗六升

四月

一、米 四斗四升 一、大豆 七斗五升

一、荳油 三斗四升 一、糶 三斗三升

一、葉長命草 買人なし

子五月朔日京都表紙面越

残花 三百五拾駄

南仙 五拾九兩方五十兩迄

奥仙 五拾三四兩方四十五兩迄

最上 五十兩方三十五七兩迄

庄内 三十五兩方三十兩迄

六月老日

一、米 四斗三升

一、荳油 三斗四升

一、煙草望人なし

一、大豆 七斗三升

一、

諸国紅花欠作ニ相聞得申ニ付、水花買人相出、芦立初
直段五分九厘、五分七厘迄相立申候、干花之義も頭物

三テ、五十兩位方買方いたし、存慮ニ御座候得共、追々

欠作ニ相見得、当分見詰ニは早庭出荷高六百駄、水戸

百五拾駄、最上六百駄、奥仙京都迄ニ貳百駄、南仙三

百駄、都合千八百五拾駄出荷有之哉ニ奉察候、地之得

は南仙相応え取ちんにも相見得申候者、五拾五兩迄も

頭物ニテ買方いたし様ニ、相見得申候、他所不作ニ付

存外之直段

一、紅花 上物四百六拾目方五百目位迄村田水花六

拾四兩方六拾兩迄、出来は極上出来にも相見得不申

候、先相応え出来ト申ニ御座候

七月初メ

一、水戸早庭 七百駄

都合

一、南仙 貳百三拾太

一、奥仙 百廿太

京都迄

一、最上 六百太

千六百五拾太

七月

寒引

一、米 三斗八升 一、大豆 六斗五升

一、葉たはこ 御上物㊦糸

四拾貳三把㊦ 一、繰綿 四兩貳分

一、荏 三斗三升 一、臘 五メ匁

円田辺雨廻り宜敷

一、南仙紅花 六拾六兩㊦五拾八兩位迄

一、最上下郷 上物五拾五兩㊦

地廻り四拾貳三兩迄

大石田積舟 六百五十式駄也

八月

寒引米 今引

三斗六升 三斗五升迄

六分作

一、新米 三斗八升

同作

一、古たはこ 四拾貳把

七分作

一、古大豆 六斗五升

新村田俵元山根通荏

七分作

一、荏油 三斗三升

十月

一、米 三斗八升

一、糯米 三斗

一、荏油 三斗貳升五合

一、大豆 六斗五升

一、葉たはこ頭物三十八把㊦五拾把位迄

一、紅花相庭之義も、八九月之見通二者、京都表利運二

相違無御座候半卜奉存候処、京都表大キ二不行合之由

九月

三而大下落、安外之相庭ニ相見得申候、南仙四五両方之損高ニ、水戸大積早庭斤二三両方之利運、最上も四五両方之利運、誠ニ荷物も欠作故大キニ不足御座候ト及聞、紅花悪しく御座候哉、おろし方いたし間ニ合不申、右様高直なルものニ而者、一応休日いたし方宜敷紅屋一統休ニ相成申候、扱々こまり入申候

五 文政十二年商用萬控

文政十二年丑年

正月 大豆 五斗壹式升

米 三斗五升

もち 三斗

荳油 三斗五合

たはこ氣配有

寒引共望人なし

十一月

一、米 三斗五升

一、大豆 六斗ニ而不足物

一、葉たはこ 三十八把

五十五把位迄

一、荳油 三斗式升五合

一、小豆 廿五文位

一、糯米 三斗 不足もの

一、五月 大豆 五斗

米 三斗壹升

糯 三斗

荳油 三斗五合、壹升迄

たはこ望人なし

一、当地紅花相場之儀、定而外様方及御聞被成候通、昨年不足上荷高ニ候得ハ、旧冬相庭引立可申候処、兼

而御聞被遊候通、西国筋大荒ニ而諸品もの不捌欠、依而相場行立兼候得共、当春弥々荷不足、其上当符付無数ニ追々承居候、旧冬相場五五六両方行立仕候処、先

月江戸表大火相聞得、前段之上、是亦右差支、今暫行京物諸品不景氣、御地之思召とハ釣り合不申、右之趣ニ御座候ハ、当年ハ紀州表到而符付多御座候趣、此頃雨順能出来仕候、左候ハ、水花無数ニ候とも、少しはわり合不申、其思召ヲ以掛引御買入可被成候

残花 凡三百駄前後

一、六月十九日土用、当年者冷氣ニ付咲方おくれ、小泉辺十八日方より順々摘初り申候、土用花ニ御座候、廿日に五分五厘、廿一日五分四厘、廿二日五分三厘

一、当月ニ罷成、冷氣事ニ日々之雨天故、咲方おくれ、

雨ニ而根痛景氣悪く罷成申候、十八日方快晴ニ相成、

廿壹日迄照ツゞき申候得者、致而かれめ出悪く相成申

候、廿二日の昼方霽雨仕、廿三日快晴ニ相成、此節村

田、大河原、沼辺盛ニ相見得申候、円田辺初り摘ニ相聞得申候

然者先月十日出以愚札、御地紅花諸事之様子相伺候処、諸事万端御教道等被仰下処、可心得ニ罷成、難有仕合ニ奉存候、扱又、去月廿四日夜半方廿五日明方迄、大風ニ付、紅花相痛可申哉之趣被仰下、甚御床敷奉存候、当方茂同日昼七つ頃方夜中迄大風雨、立木中折根返り等有之、紅花へも相当り候半と奉存候所、其後も冷氣ニ而、雨勝ニ照不申故、格別障りと申程ニも無御座、摘切ニ相成申候

一、其後作方いかゞ御座候哉、続而冷氣雨勝故、定而弥増見事ニ枝掛輪造り、此程つミ初ニも相成候半と、奉察上候、御地順氣同様にも候半、当方去ル八日迄薄曇り、又者雨等ニ而、兎角涼敷候所、九日方晴照薄曇

尤昨日方雷氣雨有、今日相応之照ニ御座候

一、早場先月十三五日方つミ初、誠雨順十分も宜敷

大極上之品ニ干上り候由ニ御座候、但前状通、致而崩

付不足ニ而候へ共、右順雨宜敷候故、存外つミ上り、

前評判駄数も相過し候趣、去去年京大坂出六百五十駄

不足、水戸百五十三駄と相聞申候所、当年五六分位之

高二も可相成申哉、近年甚場広ニ相成、縦横三四拾里

之間、追々新庭出来候故、嘉年と違見詰かね候趣ニ御

座候、且当所并日頃方畑入、是亦十分過半程順雨ニ而、

去年方拾両方も見事二千上り申候、駄数之義者、去年

半高位も相出候半、今ニ取引相初り不申候へ共、早水

共稀成極上之まゝ之雨揃故、取上り高直、買人売人異

同凡七八両方も相違、当時又々ミ合之様子ニ相見得申

候、何れ出来宜敷候間、其丈ケ八高直之方へ被行付候

半と奉存候

水戸 小林新右工門

六月十一日出

一、早場水戸 三百五拾駄

七拾卷両方五十七両位迄、追々下落ニ

一、南仙 百五拾駄

一、奥仙 五拾駄

下郷クモ方地廻り位迄、追々買人

一、最上 千駄

入込下郷五十六七両方、地廻り四拾六両迄

ノ千五百五拾駄計

相増居申候

雨六分

円田辺方曲竹迄 四百十五匁方

雨八分

河崎方小倉辺 四百五匁十五匁迄

雨四分方三分迄

大河原辺 四百四五十匁

照勝ニ付六十卷両迄

中田 雨貳分通

柳生辺 五拾八両位

右之通ニ御座候所、早庭水戸大キニ欠作ニ相聞得 三百

八拾目位ニ直立ニ付、右風聞ニ付、当所成田村四百三拾目直立有、追々引立飛直段ニ罷成、右之相庭ニ罷成申候、乍然、山根通雨八九分ニ而、摘方いたし候得共、到而白雲冷氣故、極上出来とも相見得不申候

一、最上之義者 近来ニ無覺駄数出来、完所干上り等も下

直ニ上り、四五両方之利運故、四拾七八枚(マ)商内相初

り、追々気配ニ而、楯岡辺五十壹兩位ニ罷成申候、長

瀬辺五十式三兩、寒沢辺ノ上物五十六七兩迄ニ罷成申

候、地廻り六七兩方、下郷ニ而三四枚ノ行立申候

南仙之義者、山根通四百五目、円田辺四百拾五目、諸

人入込買取申候、客人方最上方五両方高直之由ニ而望

無是、追々三両方照勝場所ニ而、六両方下落ニ相得申

候、誠ニ近来ニ無覺飛直出来申候

一、たはこ 三十八九把

一、荏油 三斗壹升

一、造白 九反

一、銘白 八反式分

十月并し新米

一、米 四斗式升三合三勺

一、油 三斗三升方式升五合迄

一、葉たはこ 三十八九把、四十八把迄

一、大豆 四斗七升

十二月

一、米 四斗壹升方四斗迄

其外 同断

七月

一、米今引 三斗

一、大豆 四斗五升

六 文政十三年商用萬控

文政十三年 庚寅

正月

一、米 三斗八升

一、油 三斗壹升

一、大豆 四斗五升

一、葉たはこ三十八九把⁵、四十五把迄

二月

一、米 三斗六升⁵五升迄

一、大豆 四斗貳升 望人不足

外同断

正月年略帖

一、最上 七十貳三兩 南仙 八十貳三兩

六十六七兩 七十六七兩

六十 兩 七十 兩

五十三四兩 六十五六兩

一、奥仙 七十七八兩 早庭 八十貳三兩

南部 七十貳三兩 中下南仙

六十八九兩 同断

六十壹貳兩

水戸 右同断

越年残 五百駄計

銀百匁二付

繰綿 四匁百匁

坂上[㊦][㊧] 金六拾四匁七分

錢九匁三分

三月 米 三斗五升⁵

三斗貳升迄引上申候

外同断

壬三月 糯 三斗三升

米 三斗

大豆 四斗三升

たはこ三十六把

麦 貳拾八文

小豆 三十五文

一、四月 米 三斗

大豆 四斗貳升

三河白 銘 七反四分

造 八反三分

間 九反壹分

糸綿 四百拾五匁

小林書状

三月以來以之外不売、殊ニ京近の摂河泉山紀伊之新場

当年者夥數符付、四月中ニ八出京可致含ニ而、諸国産共

大下落、一流大損金之趣申来り候間、当年も仕入方むつ

かしく奉存申候

一、早庭之義、追々入御聞候半、符付多分之上、無難ニ

而先月未り畑入之趣ニ候得者、此程者盛過候半ト、此

俣ニ而者定而上出来ニ出候半ト、次ニ当所之義、則左ニ

申上候

一、畑面去年より五六割多、其上珍敷上作ニ御座候

但し、所々より少々立根痛相見得候も、冷氣雨勝ニ候

間、指而相障申間敷奉存候

一、駄數昨年一倍も相出可申との事

一、節句前後より畑入候間、二三日中盛ニ可相成候事

一、干方連年徳取候故、勢能療方可致候事

一、為登方何れも一流弱氣ニ相聞申候

一、是迄冷氣雨勝故、紅花江者上順氣ニ御座候

右之通ニ御座候、若相替義も御座候ハ、追々御注進可

申上候

紅花出荷高

円田辺四百五拾匁より水花七拾兩迄

一、南仙 五拾壹貳駄

極頭物六拾三兩より五拾兩迄

一、最上 四百駄位

一、早庭 四百駄計

一、水戸 貳百駄計

一、奥仙 七拾駄計

一、京都近在 四百駄計

出来候様相聞得申候

大石田表

寅八月廿八日迄惣積留

紅花四百式拾三駄式丸

内五拾七駄三丸 南仙

内拾壹駄 奥仙

外三三拾式三太 奥仙に清水出し分

七 天保二年商用萬控

卯天保二年

紅花出荷高

六月廿八日 五拾八両位先直段通り下落

一、早庭 七百駄 出来候様相唱申候

一、水戸 式百駄 同断

四百六拾目方

一、南仙 八拾駄

五百五拾目

一、奥仙 百駄

地廻りイ兩ちイ八兩迄、下郷和ノ位

一、最上 千三百駄 相唱申候

一、京都近在 四百駄 相聞得申候

ノ式千七百八拾駄計 相唱申候

右之通買上り為登仕候処、安外之損金ニ罷成、南仙拾五

兩損金、外ニも右同前之損金ニ相成申候

卯十二月相庭

一、米 三斗 売人なし

一、大豆 三斗三升 同

一、荏油 式斗七升 同

一、葉たはこ 三十五把位方四十四把迄

右之通売人なし

十二月廿一日

一、米 三斗三升 売人計

一、大豆 三斗五升

一、荏 貳斗七升 不足もの

八 天保三年商用萬控

天保三年 壬辰

正月

一、米 三斗貳升

一、葉たはこ 望人なし

一、粒荏 貳斗四升

一、造白 八反五分

一、花 七反七分

一、爰元取引之義、追々承知被遊候半奉察入候、何分そ

めや方ふり合趣ニ而、仕事甚無数、自然売人計残花多

分ニ相成候、追々下落仕相庭左ニ

一、早庭 三十四五兩方

四十七七八兩迄

一、水戸 三十七八兩

五十兩

一、最上 三十兩

四十二三兩

一、奥仙 三十七八兩

四十七八兩

一、南仙 四十二三兩

五十壹兩

〆残花 六百駄計

右之通御座候処、最早近国西国仕切上出来、荷高も七八百駄も出荷可仕様子ニ相聞得、弥々人氣悪敷、扱々困居

候

辰五月差出

一、六月廿三日用、漸々摘初り申候

足立六分八厘

辰年之難船大損金故、買人望不申候

一、米 三斗壹升

一、大豆 四斗

一、荳油 貳斗四升

一、小豆 三十八文位

一、葉たはこ三十五把位 望人なし

一、代 耆又六百文 望人なし

九 天保四年商用萬控

天保四年巳 新花地庭直段

一、奥仙 三拾四五兩五四拾兩迄

一、南仙 極上之出来

三十八兩五四拾貳三兩迄

一、最上 極上之出来

廿七兩五三十四五兩迄

一、早庭 四十五兩位五五十兩迄も

仕候様ニ相見得申候

右の通ニ直段仕候処、先三者南仙三十五兩、最上廿五

兩ニ出来可申哉ニ、諸人之思入ニ御座候へ共、上方筋

五買人追々入込氣配ニ相成申候、七月廿日頃五、何と

なく天氣快晴不仕候方五、稲毛揃大キニおくれ、諸人

案事居申候処江、八月初日ニ大風雨致候、其後稲出揃

八月廿日頃ニ粉之内、一樣二天ニかさし見居候へは、

明白一円りの氣無是候ニ付、不案心致居候処、追々

するな粉ニ相成申候

巳八月

一、米貳斗

京着紅花拾五兩かた利運ニ相成申候

九月

一、米 壹斗七升

一、大豆 四斗五升

一、たはこ三拾六把位

十月 追々氣配致候

一、米 壹斗五六升

一、大豆 四斗貳三升

一、たはこ三拾貳把

十一月

一、米 壹斗壹升

一、大豆 三斗三升

一、たはこ三拾把位

十一月廿日かた

一、米 九升五合

一、小麦 壹斗八升

一、大豆 貳斗三四升

一、小豆 百六拾文

一、そば 七拾文

右之通高直ニ相成、諸人買氣計ニ而売人なし、山根通皆

無、足立辺三分作、成田辺四分作、小泉関田郷辺五分位、

山根通り併し而三分通り作ニ相唱申候、刈田辺八式分通

リニ相唱申候、名取郡貳分五厘位ニも參候様ニ御座候、

角田辺八六分通り相聞得申候

十二月廿日かた少々下落仕候

一、米 壹斗壹貳升

前ニ同断

一〇 天保五年商用萬控

天保五年午正月

右之通りニ御座候

午正月初相庭

一、米 壹斗壹升

一、小麦 壹斗八斤

一、大豆 貳斗三升

一、小豆 百五拾文

一、大麦 貳斗五升

二月

一、米 壹斗貳升

一、小麦 貳斗壹升

一、大豆 貳斗三四升

一、小豆 百三拾文

一、大麦 貳斗七八升

一、葉たはこ古井把

一、新たはこ井壹把

三月 望人なし、追々下落

一、米 壹斗三升

一、大豆 貳斗五升

一、大麦 三斗

一、小麦 貳斗五六升

何とも追々下落ニ相見得申候

諸品下直ニ相見得申候処、旧冬中八諸人買氣故、大氣配

仕候、当春ニ相成候而金銭不廻り候、尤作合ら者大高直

之直段ニ在是候哉ニ奉存候、老人之嘸ニ、極上作之砌六

斗位之物ニ御座候処、御国南かた并し三分通り之作ニ御

座候へ者、壹斗八升位の直段ニ相見得申候処、格外の直

段出来致候故、春ニ相成下落仕候ものニ相見得申候、極

豊作者七斗位ノ定方も御座候様ニも相聞申候、高直もの

八何れ跡下落仕候物ニ相聞申候間、少々下直ニ而も売払

金銭取納專一ニ相見得申候、能々御考可然奉察申候

五月十一日 米望人一円なし

一、米 壹斗六升

一、大豆 三斗

一、大麦 三斗五升

一、小豆 望人なし

一、小麦 三斗 望人有

一、葉たはこ井二三把 望人不足

一、錢 壹々五百八拾文 沢山

五月巻日

一、花白 七反六分

一、造白 八反四分五厘

一、間新 九反三分

午四月京都相庭

京都表四月廿八日出し

残花七百駄

一、奥仙 四拾四五両方

五拾貳三両迄 南仙 四十七八両

一、最上 三十四五両方

五十二三両迄 水戸 四拾四五両

一、早庭 四十貳三両

五十二三両迄 大和 三十貳三両

き州 四拾貳三両

七月八日頃方
買入手出し

新花 出荷高

四拾兩上り 五十二兩上り

一、早庭 五百駄 水戸 三拾駄

五十二兩上り 四十六七兩

一、南仙 百駄 奥仙 百駄

三十二兩、四十七兩迄 右者五拾駄位ニ相唱申候

一、最上 五百駄 近在 貳百五拾駄

千四百八拾駄

五百三拾目位

五百五拾目方七八拾目迄 右同断五百五拾目方六百目迄

山根通り四分雨 大川原辺三分雨

芦立水花五分四厘五分、并五分三厘五毛

水花千口三四兩かた之損金、諸国米直ニ付不景氣故、南

仙紅花百駄計、七拾駄計取引ニ相成、残り花望人不足ニ

相成申候

実八買人思惑ニハ、京着五拾兩上りニ察居候処、千方損

金故売人氣強ク、落物ニ而四拾八兩位方五十三兩迄、買

方仕候処、反分京行合相成不申、右取残り花望人なし、

耆式兩かた下落仕候、追々相捌申候、水花口式兩かたの損金、仲買人一円利なし、為登ニ相成申候

一、京都八月中旬より九月荷不足故、一花行立、巳年古花しろもの、午新花を格別上出来ニ付、頭物六十四両迄取引仕候、右故、諸国より残花登り込、追々京地多分荷存ニ相成、新花下落仕候、越年紅花千駄ト申參候

一一 天保六年商用萬控

天保未六年

一、米 三斗 老切

一、大豆 五斗同

一、葉たはこ上物升八九把

一、拉菴(カヤ) 式斗八升 望人なし

未壬七月七日ニ大水増到候而、田畑大キニ大損し、田作

悪相成、米追々高直ニ而、式斗老升位ニ取引仕候、新米生悪く御座候上、式斗五升も仕候へ者、宜鋪御座候哉ニ奉存候処、追々気配、十一月始ニ老斗八升仕候、青酒(カヤ)一円被相留、にこり酒老宿老本、宝屋老宿老軒相成申候、十二月始より米老斗九升、追々下直ニ相成、十二月十二日頃ニ上米老斗九升五合、下米式斗老升位ニ相成申候、山根仲通り併し四分造り相唱申候

未六月十五日土用

廿五月初直、雨花上出来

一、芦立水花 七分式厘

新花出荷高

一、泉州紀州 式百五拾駄

五拾兩位ニ相唱申候

一、水戸早庭 式百五十駄

一、奥仙南部 百五十駄

三十五両より五拾五両迄

一、南仙 百五十駄

始り四拾八兩、六拾五兩迄成ル

一、最上 七八百駄

三十三兩五拾五兩迄成ル

千六百駄位

右紅花追々京関東之衆入込、買方仲買花おしこみ、六拾

七兩迄買取為登ニ相成申候、京都取引八拾五兩も可仕奉

存候処、存外不引合ニ御座候由ニテ、直段出来不申候、

南仙上もの七拾四兩位ニ、少取引不仕候、下物ニ而六十

兩迄ニ御座候へ者、跡買之分損毛ニ相成申候、右様之高

直之節ハ、為登御無用ニ可被成候

万物出来悪く

一、米 壹斗八升、四分作

貳斗壹升迄

一、葉たはこ 品悪く 六分作

廿七把り三十三把迄追々下落

一、拉荏 (マカ) 相庭之品 六分五厘作

二斗五六升

一、大豆 三斗三升五升迄

右川前一田新望候哉ニ奉存候処、多少出来山畑

宜鋪一度氣配相見得申候処、追々下落相見得申

候

新くり

一、くり綿 坂上

三又四百五拾目

一、八幡もの

三又六百五拾目

一、花白 七反貳分五厘 城下にて直段

一、造白 八反壹分五厘 同

未十二月ニ

一、米 貳斗五合

一、葉たはこ 三十式把 上物追々下落

一、大豆 三斗八升

天保六年

未春たまり造方

一、大豆 三斗

代 九百六拾文

一、搗麦 壹斗

糶ニ致しふかす

〆五百五拾文

一、糶 壹斗

〆六百分

一、水 五斗 斗水

〆壹石

一、塩 三斗 三合わり

壹又貳百文

一、百五拾文 糶仕ちん

〆三又四百六拾文

備物方仕上り覚

一、壹本分

此藍玉 貳拾貳匁位

拾六匁壹切之割

此金壹歩六百分

外二

一、三百文

あく六升

一、百文

薪木

〆金壹歩貳朱貳百文

右水屋拾八反上り

八反壹切

此金貳歩壹朱也

指引金貳朱貳百文 働き方

一一一 天保七年商用萬控

天保七年申正月

一、米 壹斗九升 沢山、買人なし

一、葉たはこ 望人なし

一、大豆 三斗八升 望人なし

一、荳油 式斗五六升 望人なし

一、小麦 式斗七升 沢山

一、小豆 五拾文 同断

未末十一月 六拾五文位も仕候

二月

右同断追々望人なし

三河白

一、花白 七反

一、造白 七反九分

右品追々気配

三月

一、荳油 式斗七升 望人なし

一、米 式斗方壹式升迄 望人なし

一、大豆 四斗三升 買人なし

外三万物

大下落、損金もの計ニ御座候、高直成品ハ、買方

御控可成候

此末不作の節も可有之候へ共、右様の時ハ一切買入無用

他之利分ニ目を掛買入之儀、相控候様可仕候、から水致

候か、又ハ替事有之、相庭引合之義も有之節者、右買入

之物有之候ハ、時見計売方仕候方專一二御座候、跡々

高下有之候共、決而後悔致事なし

天保七年

御地改繰分儀助屋敷

願出御下知被成下候

一、金式拾両也 家屋敷買代金也

三月廿五日

内金拾五両也渡

六月

又金五両也相渡

御用人

一、松本恭輔様 阿部一馬様

御扱

一、高橋廉蔵様 高橋綾之進様

小倉呂帶地老本ツ、用四本モノ

此銀升八両

御家老

一、浅野弥兵衛様 松崎兎毛様

大方式帖ツ、用 四帖

此銀 四匁

御目附

一、氏家貞之進様 加藤皆人様

葛粉老勺ツ、 式匁

此銀 式匁四分

肝入

一、庄五郎殿 勘治殿 勘右工門殿

葛粉老勺 三十枚五帖 三十枚五帖

老匁式分 老匁 老匁

一、専治殿 組頭六左工門殿 同周八殿

葛粉老勺 三十枚五帖

老匁式分 外老朱也 老匁

厚紙墨料五匁

四拾五両 同年七月三日御郡方

御下知被成下候礼廻り

一、浅野弥兵衛様 金老切也

一、肝入 庄五郎殿 唐帛帶地老本、此外老切也

一、地肝入 専治殿 檢行 勘右衛門殿

手拭老本 同

一、同 勘治殿 六左工門殿

同 同

三十四匁

諸掛り物 七拾九匁 おノ要作殿

外老匁式分 くつ老つ

申十二月十一日

外老歩也 貞之進様 但又御郡方願ニ付

御扱御役ニ被成候ニ付礼

申五月七日京紙面

残花凡七百駄

申新花

一、南仙 七拾両前後

貳百五拾駄

一、奥仙 六拾両前後

貳百駄

一、早庭 七拾両前後

貳百駄

一、水戸 同断

七拾駄

一、近国 七拾駄

一、最上 地廻り

千駄

千七百九拾駄

天保七年申五月 大凶歳

三月十日大風雨致し、田植四月廿二日初田植、五月十九

日はんげ土用冷雨致候而、拾二而暮し居申候、稀ニ厚物

相用候事御座候、其節方時々冷雨、八月五日迄ノ内快晴

ニ御座候へ共、白雲而晴不申、七月十五日迄ニ出穂漸々

式三分通り仕候、八月十日ニひかん朝夕拾ニ厚物用申候

八月十九日ニ式分通りミのり申候、奥稻ハミのり不申候

様ニ相見得申候、米耆切ニ八升之直段ニ相成、払底もの

ニ御座候、九月中旬ニ霜も振候へ共、残りかたまり不致

稲青能見得申候

九月

一、米 耆切ニ付七升五分

一、大豆 式斗三升

一、葉たはこ 卅四五把

一、麦 式斗

一、錢 耆メ五百六拾文

一、大坂くり綿 九両耆歩位

一、小泉村 関田 沼辺

并し式分通り作

一、砂糖 三十五斤 上物望人なく

一、菖生辺ちやうせい 煮分

一、山根通り 皆無

右之通ニ御座候故、大肝入衆おほいへ八月廿日、他処買米致候
由被仰渡、酒田表迄米買方ニ罷越、拾兩ニ拾四俵しちよ分直
段ニ而、式百兩分新米買方致し、御上様ニも御在石無御
座候、御城下ごじやうも酒田表ニ罷越、古米三千五百兩分、拾
三俵五分ニ而御買入ニ罷越候、巳之年も大不作ニ御座候
へ共、其節八在々ニ而も、粟・そは・ひゑ杯之類持合御座
候故、午の年春八大キニ下落致候へ共、当秋あき方来春の処
大キニ不案内致居候事ニ御座候、当年迄ニ天明年中凶歳
五拾四年ニ相成候様ニ相見得申候、右年ニ同様ニ御座候
半と、諸人大キニナケキ居申候、十月始ニ白米式百六拾
文、米無心ニ參候もの江、忝かたじけなく五合忝升位あがり外売不申候、
当処も糶持合不足ニ御座候故、町内ニ而大キニ迷惑仕候、
五拾年前後ニ八大凶歳在是ものニ相見得候間、何分無油
断相働キ、糶專かたじけなく一ニ可心掛申候、巳年之大不作凶歳ニ心
得、油断致候処、追々作合宜鋪年ニ而も、洪水大荒し杯參

候而、不思不作ニ相成、米穀相減し、持合居候穀物も不
足致候上者、凶歳ニ相成候ものと相見得申候間、右様之
節八少も油断致申間敷候

右之通天保四年方台所入用金借用致、御奉公相統罷有候、
折節不作続ニ付、相続方相願置候処、当申年凶歳ニ到り、
返濟勘定行届兼候処、此度別段甚く吟味を以、凶歳為凌
之、右金高之通り献金致候由申聞、当年柄誠ニ深切寄線
りに到ニ候、依而刈田郡原田村北境御之内、田代式メ三百
文、永代為知行与、高名付帳指添被下置候事

乍恐口上書を以奉申上候

御事

当夏江州能登川有屋市良兵衛与申商人、御当国江紅花買
方ニ罷下り、大川原町ニテ、上判御役金上納仕候、買方
仕拙者方江も罷越、買調荷造仕、御役金上納笹谷通御判
紙申請、過日廿三日七拾四固出荷仕候処、右荷物野上町
問屋新右工門処ママ、泊りニ罷成、翌朝荷物繼立仕候処、
忝固不足ニ相見得申候間、直ニ吟味仕候へ者、拙者方ニ
而荷造り仕候内、拾七袋造り忝固、同夜被盜取候哉ニ奉

存候而、穿鑿致候処、同町之内明家ニ而切崩、六袋盜取

出来悪し

殘拾耆袋指置候由、宰料之者方申越候間、右之段御披露

右之通相庭ニ罷成、大キニ人氣騒敷難渋致候、大豆直段

申上候、宜鋪被仰上被下度奉存候、以上

右高直ニ者相成申間敷奉存候処、都而大豆相用候へ者、

天保七年七月廿六日

追々高直ニ仕候、諸国共ニ米高直ニ御座候故、紅花相庭

天保七年甲午

大キニ下落、京都表望人なし、元來秋中思惑買致候間、

十月十一日 追々米穀高直ニ相成

六拾七兩位方七拾兩迄買上げ、為登仕候、右之通高直段

十二月始之相庭

之節ハ、決而大損金致候ものニ御座候間、買方ハ御控可

一、米 五升五合 伊達米

被成候、京都売拾五兩位損金致候間、買方ハ御無用ニ御座

一、米 五升七合五勺 米沢米

候、京都關東方客人下り、買方仕候共、買方ハ御無用ニ御座

一、米 六升方七升五合迄 地米

候

一、大豆耆斗耆升

一、黒砂糖申六月三拾五斤直段ニ御座候処、追々高直ニ

一、小豆七升五合

相成、十一月者三拾斤位、十二月酉正月末式拾五六斤

一、から麦 耆斗三升五合

追々引^レ井式斤迄ニ取引仕候、都而飢餓年ニハ山粮^山等

一、小麦 八升

相用、もちニいたし故、砂糖用勝ニ相成申候、くわし

一、そは 耆斗

類等も米ニ而拵候而ハ、高直ニ而間ニ合不申方方、大豆

一、錢耆メ五百三拾文

くわし計、家々ニ而売ニ仕候、右拵候ても、鏝^{アキ}者高直も

一、葉たはこ 井五把方三十式三把迄

の、砂糖ニ而拵方仕候、大凶作年ニハ、砂糖大豆者直

申春造方(天保七年)

一、大豆 三斗

三八 此金巻又式百六十三文

一、米 三斗

卷九 此金式又五百廿六文

一、式百四十文 糲仕ちん

一、水 六斗

一、塩 三斗 まめ糲水式合二夕

此金巻又式百文

大豆巻斗式百文見詰

一、六百文 薪木日用入用

五又八百廿九文

一三 天保八年商用萬控

天保八年酉春

相庭左二印

一、米 老切 古五升

一、薪他処米 六升五合迄

一、地米新 七升位五八升迄

一、糯米 四升五合 望人なし

一、から麦 老斗三升

一、ひゑ 老斗八九升

一、小豆 式百廿文又式百文位

一、蕎麦 九升

一、胡麻 老切 五升

一、粒荏 老斗六升

一、葛粉 老切 八袋

右者申十一月申直段ニ而、追々気配粥ノ潤ニも相成可申与存候処、わらひ粉方用悪キニ付酉二月頃々方下落、九つ半位ニ相成申候

天保七年申十二月十一日

隣家久八殿家屋讓請

一、金四拾五切也 地代金

外二

同

一、金貳拾五切也 但し佐治右工門屋敷高始末

屋ねかへ他地普請入用

〆七拾切也

御地頭様願上、御下知被成下候ニ付

御家中礼廻り

御家老

一、浅野弥兵衛様 貳匁五分 料紙拾帖

一、松崎 兔毛様 貳匁五分 同

一、松本 恭輔様 貳匁五分 同

御用人

一、高橋 廉蔵様 金貳朱也

一、阿部 一馬様 金貳朱也

御扱

一、高橋綾之丞様 金貳朱也

一、氏家貞之丞様 金貳朱也

御目附

一、横田猪之吉様 壹匁七分 葛沓つ

同

一、加藤 皆人様 壹匁七分 葛沓つ

肝入

一、庄五郎殿 一、檢断 勘右衛門殿

壹匁七分 葛沓袋 壹匁 三十枚五帖

一、檢断 勘治殿 一、地肝入 專治殿

壹匁 三十枚五帖 壹匁七分 くつ沓つ

一、組頭六左工門殿

壹匁七分 葛粉沓つ 〆五拾壹匁七分五厘

壹朱壹枚厚紙料

外ニ金貳切 高廉様へ木綿貳反札ニ致

候、壹朱也

都合金五切半卜三匁

〆七拾五切半卜三匁也

天保八年酉三月

相庭左二印

一、米古 五升 一、米 六升

一、から麦 耆斗二三升 一、大豆耆斗不足

一、小豆 七升五合 一、小麦 八升

一、粒荳 耆斗六升 一、わらひ粉式又五百目

一、くつ 九つ半 一、かりひゑ 耆斗八升

一、黒砂糖 耆切ニ付九百目方九百五拾目迄

一、葉たはこ新 おし込升五把位

一、大上物升把位 葉たはこ旧冬方二月中八望人不足ニ

御座候処、此節買人望氣配ニ相見得

申候

一、三河白木綿 銘 五反三分

吉 六反

間 六反七分

右店先一切売不申候

一、くり綿 拾式メ目入耆本 拾耆兩位

右買人なし

一、肥後米 百五拾耆匁

一、筑前米 百四十三匁五分

一、岡大豆 九十五匁

一、小豆 百四十五匁

一、繰綿坂上 耆又七百五十目

一、 耆又九百五十目

一、出嶋大白 又ニ付十五匁五分方十八匁五分迄

一、太白 耆又匁ニ付 十式匁五分、十五匁五分迄

一、御物黒 二三斤ニ付 耆匁九分方式匁迄

一、大嶋 耆匁七分八厘、耆匁九分五厘

天保七年中田作上方筋共ニ不作ニ相見得、穀物高直、

猶、繰綿希成ル高直、下り荷一円程被望候へ共、元来

畑方相出不申候、高直ニ相見得申候

京都表西ノ正月相庭

同大坂相庭西ノ正月

一、南仙 六十二三兩方
七十兩前後 一、奥仙 五十四五兩方
六十三四兩迄

一、最上 四十兩^五
五十五兩迄 一、早庭 六十兩^五
七拾兩迄

越年残花凡千七百駄、近来無覚残花多ニ御座候、申
為登紅花拾兩方損金ニ相成申候

酉二月十九日五月迄施米仕候

一、米四斗入 九俵

町内本郡極難之者共江、宜敷相統柄の衆江、都合ニ
米五拾五俵程之高いたし、耆人分耆合宛遣し申候

酉五月十二日

一、米四斗入 拾四俵

五升 壹切

此金

但し御地頭様御救助御冥加ニ献金仕候、右ニ付持高
之内、三百三拾五文永々御知行ニ頂戴仕候、御小姓
格ニ被成下候事

天保八年酉六月相庭

一、米今引 上七升

一、麦 壹斗八升

一、大豆 壹斗三升

右之外追々下落之姿ニ相成申候

足立水花直段

六月廿壹日、高直段六分九厘、凡荷高見詰

一、南仙 百五拾駄 一、最上 千式百駄

一、水戸 百駄程 一、早庭 式百駄程

一、奥仙 百駄程

一、水花出荷高凡百駄計出来仕候、極頭物六拾五兩位^五

六拾二三兩^五、六拾兩位迄買方仕候而、為指登申候処、

諸国共ニ不景氣、京都表望敷取引も無御座候、買人相
追々不申候、漸々元金位ニ壳附申候、水戸早庭辺八拾
五兩方之損金、最上紅花五七兩かたの損金、南仙之義

ハ出来宜敷御座候ニ付、元金ニも相成候へ共、右高直
之年柄ニハ、決而買方相控可申事、紅花ハ格別之損金

数々有之もの故、耆度利ニ相成候而、三度損金ニ相成

候ものニ御座候間、為登紅花ハ決而く相控可申候、

万一右宜敷ものニ相心得、売買仕候而ハ、衰微被滅之

基ニ御座候、能々右心得可有之候

七月相庭

一、米 壹切 九升

一、新麦 貳斗五升

一、小麦 壹斗六升五式斗壹式升迄

大違作ニ御座候

右之通追々下落ニ相成申候

十月相庭左二

一、新米 壹斗六升

一、麦 貳斗五升

一、大豆 貳斗五升

一、小豆 六拾五文位

右者大当り作ニ御座候而、右直段ニ御座候処、追々

高直段ニ相なり、八拾文位ニ相成申候

一、葉たはこ上物 廿壹把、廿九把位迄

大坂二而

一、坂上繰綿 三又百五拾目位

追々氣配貳又六百目相成申候

大坂表

一、玉砂糖 貳百三拾目 壹斤二付

貳目六七分 高直もの御座候

一、糯米 壹斗貳三升位

一四 天保九年商用萬控

天保九年

戊正月相庭左二

一、米 壹斗四升

一、麦 貳斗五升

一、大豆 貳斗三升

一、小豆 九拾五文位

一、小麦 壹斗五升方壹斗八升位迄

一、砂糖 貳拾貳斤位 当地ニ而

右砂糖酉年春八大キニ引方有之候へ共、戌年春八壳方酉年方八三分通り位、少壳方無御座候、もち米壹斗貳升位御座候間、くわしニあめ相用、まめくわしも不足ニ相成申候

一、もち米 壹斗壹升

一、造白 五反八分

一、惣形卷手拭 拾壹匁五分

一、糸綿 貳百三拾匁 壹切ニ付

一、木綿糸 七尺計、外無御座候

壹切拾五把方十六把迄

一、塩 壹俵拾壹匁位

右大不足もの、漸々(ママ)相袖申候へ者、灰之様成ル品ニ御座候

右之通先之酉年方追々不作洪水等いたし、又其内ニ八上作致候事も有、貯置候米穀不足いたし、又者旧臘買入候

直段方ハ、春ニ相成下ろいたし、長々持居候内ニ、巳ノ年大不作、米壹斗相庭ニ御座候へ者、当年こそ凶歳と相心得、先年方貯置申候ひ多、そば杯之雜穀相出し、飯料余りハ壳払金銭ニ致、金持氣配ニ相成、にこり酒壹盃もろみにて貳拾文、生酒壹盃百七拾文、沢山ニ相用、関田・沼部辺之大作人者、壹斗直段を以米相払申候故、面白キ事思、壹切位酒手ニ相用候而も常ニ三百文位、銭と無存候事ニ奉察候、巳年ハ最上・秋田・南部辺ハ大凶歳ニ相見得申候、米五升方七八升位致候由ニ相聞得申候、仙台ハ脇々引別故ニ、米も引入候事故、御百姓衆ハ又々右様之年柄ニ出合申度心持いたし居申候、午年上作ニ付、米三斗三升直段ニ御座候へハ、凶歳相凌、心能存居候処、未年洪水申年之凶年ニ相成、新米七升之直段ニ相成候へハ、貯ものハ一切無之、米追々引ヅリ、六升方春ニ五升五合、古米四升八合迄ニ相成候へハ、餓死者数々、天明年中凶歳も米五升壹切いたし候由聞及居候処、如何様之義有之候共、米五升壹切杯と言事ハ有之間敷存居候処、誠ニ五升壹切ニ成り、魄をぬかれ心地にて、皆人々青さ

めニ御座候、永々代子孫ニいたり、五拾年目位ニ者、凶

歳有之ものニ相見得申候へ者、米壹切壹斗にて凶歳と相

心得、油断いたし、貯も無之いたし、右様之年柄ニ出合、

妻子ニ難義かけ候事も御座候間、米壹切五升直段ニ相成

不申内ハ、決而油断相成間敷候、其節ハ拾ヶ年先方心か

け、みそ・醤油造こみ候様心掛可申候、酉年より戌年ニ相

成、不足致候間、醤油屋格外之利足ニ相成申候、何分油

断なく、此義計ハ考用ニ御座候

三月相庭

一、米 壹斗三升五合

一、もち 壹斗五合

一、大豆 貳斗三升

一、銭 壹匁五百八拾文

一、小麦 壹斗五升

一、たはこ上物 井把五升四五把迄

久八殿屋敷御願方願御下知

有之候ニ付、御礼廻り戌三月廿二日致候

御家老

一、松本恭輔様金壹切也 高橋綾之進様壹切也

一、肝入庄五良殿金壹切也 検断勘右工門殿手拭壹本

百廿五文

一、検断勘治殿手拭壹本 組頭六左工門殿葛壹袋

百廿五文 百四十五文

一、地肝入専治殿手拭壹本 七軒

百廿五文

三切五百升文

壬四月廿六日相庭

一、米 壹斗四升 一、麦 貳斗八九升

一、大豆 貳斗三升 一、小豆 壹升九拾文

一、糯米壹斗壹升五合 一、葉たはこ上升把

一、交繰綿 八両貳分五厘 山形表取引

一、坂上くり綿 八両三分五厘 右同断

一、玉砂糖 式拾三四斤 右酉年ろ売先半高位、外引方

無之下り方、漸々元金相成申

候

一、はんげ半夏

一、三河白銘 五反卷分 造五反七分

一、惣形手拭 拾式匁五分位

当新荷数見当

五月始メ

一、早庭 五百駄 一、南仙 百五拾駄

一、最上 千駄 一、奥仙 百式拾駄

天保九戌年五月

京都表ろ相庭書

一、南仙 四拾五両ろ 五拾五両迄 一、奥仙 四拾両ろ 四拾八両迄

一、最上 廿五両ろ 四十四五両迄 一、武州 四拾両ろ 五拾両迄 一、古河 四拾両ろ

一、水戸 卅式三両ろ 四拾五両迄 凡残花 千駄

一、春已来照勝ニ御座候間、閏四月十九日ニ初田植ニ御座候処、水不足大キニ難儀仕候、然ル処、五月十四日

ニ雨天ニ相成、廿七日迄降つゝき、廿八日ニ天氣而、

白雲是迄十四五日降続キ冷雨ニ而、裕着用致候へ者、

人氣ニ悪ク相成、米も少々氣配卷斗四升、売人不足ニ相成申候、六月朔日快青裕厚物用、日八つ時ろ又々降

出し、土用過ル廿九日ニ入、六月六日土用三日め迄三節と言テ、此日雨降ハ土用中雨多しと言、大切之日なり、二日ニ雨降厚物裕着用、

○三日頃和白雲ニ而、单切裕用、四日同断、五日同断

○六日快青、单物用、都合廿日計冷雨仕候ニ付、大キ

二人氣悪ク相成申候処、頃和二相成安心仕候

六月五日ニ足立水花初直段、六分卷厘

○七日快青、

○八日快青大暑、九日同断、十日同断、十一日同断、十

二日同断、夜八つ時方雨降始り、十三日雨、十四日

風雨又々冷雨仕候間、単物ニ而寒暮居申候、七月朔

日方二日迄快晴、三日方六日迄降り、七日快晴、八

日方十一日迄白雲にてきり雨、十二日ニ快晴大暑模

様ニ相成申候、十三日降はれ、十四日式百十日快晴、

十五日快晴、早稲五分出穂、中稲式分出穂、大キニ

遅れ申候、十六日暑氣十七日

戌七月十一日相庭書

一、米 九升五合 冷雨致候而出穀無之、高直ニ成ル

追々八九月相到り、米八升尅歩仕候

一、小豆尅升ニ付 百式拾五文方三拾文

一、大麦 式斗五升 売人なし

一、小麦 尅斗五六升 右同断

一、銘白 五反五分

一、造白 五反七分

一、大豆 尅斗六升 不足もの

一、銭尅メ五百六拾文

屋形様御蔵元、御金不足ニ付、升屋平右衛門殿手配送

来候処、又々新手配酉年十月頃より、送山根菖生辺

五百八拾目六百廿匁位、五分雨

凡

一、早庭五百駄位唱申候 一、水戸式百駄位

酉年水戸花高直ニ買方、京都ニ而大損金ニ相成候故、戌

新花下直ニ水戸買上候、為登紅花大キニ利潤ニ相成申候、

大損金之次年ハ急度利足ニ相成候間、心掛居可申事

模様ニ相成候へ共、人々不安心ニ思居候、扱又如何様之

義ニ御座候哉、青田之砌方田のくる根通り鼠喰切夥敷

田畑共ニ鼠多故ニこまり居候、浜ニ而も大獺あらんと言

年ハ、鳥畜類も魚を不食、不獺之砌ハ鳥畜類始候、戌

六月当国出産紅花買方ニ大手配を以、買方致候様被仰付

京都并上形表方下し金、御城下表江持參致候間、右札江

引替買方仕候様被仰付候ニ付、引替買方仕候故、札計通

用仕候、戌十月御城下表、為登金ニ指支正金百両江引替

致候ニ、金三両也内金相出し申候

一、新花出荷高 大石田積留千貳百五拾駄

大河原宿方川筋通り 六分雨、五百升目方

五拾七兩方五拾貳兩迄 五百五拾目位迄

円田辺六百目方六百三拾目位、四分雨

つまり、春中之内ニ有無知レルと言、戌七月氣候閏月御

座候間、盆揃可致候処、十七日暑氣此節五分出穂、土用

半夏降統裕着用致候故大キニ後れ申候、十八日・十九日・

廿日迄天氣、廿一日方廿二日・廿三日・廿四日迄不天氣

ニ有之候得者、又々不案心ニ思居候、廿四日貳百升日ニ

有之候、稲作出穂揃仕候、其後快清ニ御座候得共、全躰

夏中冷雨故、見当方升日出穂後れ申候へ者、早稲之分ハ

五分通りニも參候へ共、おく稲者貳分通りニ相成申候

山根辺方莖生辺ハ、一円皆無ニ御座候、沼部村五分上納、

小泉村四分上納、円田村三分上納、南方八角田通り大河

原刈田辺方、右上納ニ御座候へハ、人氣も悪無御座候へ

共、名取郡者南方悪物ニ相見得申候

一、新米 壹斗壹升 米生よし

一、大豆 貳斗貳升

一、小豆 百十文

一、麦 貳斗五升 不足

一、坂上 拾壹兩貳分 御城下相庭

一、糸綿 貳百匁 壹歩二付

一、中綿 貳百三拾匁

一、三河白 現金五反壹分

一、荏水 三升 拉荏 壹斗七升

一、ごま 五升 壹歩ニ而も無御座候

一、たはこ 上物拾九把方升把、廿四五把迄

一、はせ臘 拾六メ匁入壹俵

一切荷切ニ付、九兩迄仕候、御城下表直段

一、塩 大キニ不足ニ而、こまり入申候

天保八年

志願金納達仕候

戌十月相庭

一、金拾七兩貳歩ト三分六厘四毛

右者酉二月施石致候分、五升五合直段を以、米

三石八斗七升分金代

一、金三拾貳兩壹歩六分三厘六毛

右者正金を以大肝入榎木町加藤惣助様へ上納

仕候

式口合金五拾兩也 獻金仕候ニ付、被仰渡書

柴田郡村田郷

百姓林兵衛

去々年大不作ニ付、御救助方江金五拾兩指上候段、相違

御聴御時節柄を勘弁、深切寄特之事ニ候、依之御扶持方

忝人分、被下置旨被仰出候事

右之通御城下表江戌十一月二日ニ御郡方御勘定処、会所

江罷出、御郡奉行様湯目幸三郎様方被仰渡候、御礼廻り

御奉行様御月番高泉木工様、御郡奉行様御手代衆九人、

御郡奉行様四人、御礼廻り仕候、以上之金式兩式分諸掛

り仕候、此末五拾ヶ年相過候へ者、大不作等も可有之哉

と奉存候間、其節又々右様之事も御取と有之候共、志

願杯八決而相控可申候事

戌十二月相庭書左二

一、米 壹斗式升 一、大豆 壹斗八升

一、小豆 百升文 一、たはこ升三把方升八把迄

一、から麦式斗五升 一、錢壹又五百四拾文

一、料紙 四拾五帖 白石地料紙壹切ニ付

一、大坂新操 直段式又九拾匁 大坂表ニ而直段

一、東波丸印砂糖 式匁六分五厘 右同断

一、はせ臘 式又四百目位 大坂表ニ而直段

一、此節地漆古手 大高直ニ相成、例年方三わり方引

行、買入沢山ニ御座候、嶋木綿三河白大高直故ニ、

古手計相引仕候

(天保九年)

戌壬四月たまり造方

一、大豆式斗 直段式斗壹切也

一、糶 式斗壹升 米壹斗五升壹切也

十式

一、水 四斗九升

九斗 (222) 右式合五夕

一、塩 式斗式升五合 此金式朱也

一五 天保十年商用萬控

天保十年巳亥正月十一日

初相庭書

一、米 壹斗壹升

一、もち米 壹斗

一、大豆 壹斗九升 望人不足

一、小豆 百拾文 右同断

一、古たはこ 式拾把 新八望人不足

一、油 壹斗七升 望人不足

一、錢 壹メ五百升文 沢山ニ相見得

一、正金一切なし 札計通用

一、三河白花 三反六分

前代見聞不仕相庭ニ御座候由

一、料紙 壹歩ニ付六拾帖 十三枚壹帖、五拾帖

壹切ニ付三百八十五目 壹把ニ付、目配三百升目

一、形付卷手拭 拾四匁 壹反ニ付

一、櫛枝 式百五拾目掛 壹切ニ付七把半かへ

一、伊達大方 壹切ニ付九帖五分

壹帖目配三拾目、壹切目配わり式百八拾五匁

大高直聞及不申候事ニ御座候

一、御手配札通用正金一切なし

右正金銀引替致候ニ、壹割式分切せん相對引替ニ

相成申候、

正金壹切ニ壹匁八分、内相出申候

正金百兩江拾貳兩、内相出申候

亥二月朔日

一、米 壹斗壹升 正金なれ八右直段ニ而取引

札壹斗之取引ニ御座候

一、大豆 壹斗九升

一、小豆 百拾五文位

天保九年

一、小麦 壹斗四升

成ノ年分御扶持方相渡被下候分

一、ちり紙 壹切二付 四拾七帖 大高直

唐人分皆渡り

林兵衛

一、糸綿 百五拾目 壹切二付

一、米 壹石七斗七升

一、縮糸 百八拾三匁 正金取引、村田辺糸

此俵三俵下四斗式升

右之通ニ御座候処、二月六日方より御手配、正金引替

一、壹石壹斗八升

ニ御城下表方引替人相出、相對を以正金壹切江、銀四

三ヶニ正米ニ而渡被下申候

匁五分五厘と引替致候俣ニ而、人氣悪罷成、不通用ニ

一、五斗九升

相成申候、諸品高直ニ相成申候

三ヶ壹金代ニ而被渡下申候

一、花白 三反 一、造白 三反三分

此金壹兩下四百式文

一、間新 三反六分 一、手拭拾六匁五分方

外ニ

拾七匁五分位

一、壹切ト壹メ四百八拾九文

一、糸綿 百四拾目 一、入銀白拾五匁式分

但柴田郡村田郷御百姓林兵衛御扶持方

一、上麻壹切式百九拾目一、紙類 大高直

去年十一月方十二月分金代渡り

一、銀壹メ四百五拾文 一、米穀御手明ニ而売人なし

式口

一、正金ニ而錢壹メ六百文 諸品正金買方下直ニ御座候

一、金壹兩壹歩下

へ共、正金一切なし

壹メ八百九十壹文

一、古帳面升壹切ニ八百目

いノ六月廿六日

右老阿老歩也 請取上申候

大肝入 加藤庄十郎様方相渡し被下候

亥二月晦日 平林伊藏殿方、当地江

送届ニ而請取

藤左衛門

- 一、米 老石老斗八升 正米渡り
- 一、米 老石老斗八升 林兵衛
- 式口合式石三斗六升

此儀五俵卜老斗老升

- 一、五俵 平林方直渡
- 一、老斗老升 小泉西方方右同断

天保十年いノ四月万物相庭書

- 一、米 御手配老斗
- 一、米 正金老斗式升五合
- 一、麦 三斗 上作ニ付追々下落、新麦出来候ハ、四斗
- 五升可仕様子ニ御座候
- 一、大豆 老斗七升 一、小豆百文位
- 一、縮糸 百六七拾目 高直ニ相成申候

一、錢 老又四百五拾文

五月朔日ニ

- 一、米 老斗老升 一、正金老斗三升
- 一、麦 三斗 一、大豆 老斗七升
- 一、錢 老又四百文 正金老又六百文
- 一、正金一円二なし

- 一、仙城銘白 式反七分 一、造白 三反
- 一、仙城素手拭 式拾匁程 繰綿 拾五匁
- 一、山形表ニテ繰綿坂上拾式匁三分

五月廿六日相庭

- 一、米 老斗老升 麦作宜敷ニ付、追々下直候様子
- 一、錢 老又三百八拾文
- 一、土用申六日出穂
- 大坂相庭
- 一、築前米 九拾六匁三分

一、肥後米 百考匁五分

一、加州米 八拾六匁

一、岡大豆 九拾五匁五分

一、庄内米 九拾考匁貳分

一、最上大豆 八拾三匁

一、最上小豆 右同斷

一、鳴原蠟 考又九百匁

銀五拾匁付

一、薩摩蠟 貳又三四百匁

一、長州同 考又九百匁

一、地曝同 百六十匁付

印付 四匁四分

無印 四匁三分

一、出嶋白砂糖 金考兩付十貳斤

一、御物黒 斤 百三匁四五分

一、大嶋黒 同 百四匁五六分

一、金錢

五拾八匁七分
八匁六八分

一、水油 石二付三百拾九匁

一、蘇木 本斤 四匁方四匁三分

小同 右同斷

御酒蔵桶買入控

命印と買訳仕候

天保十年いノ五月三日

一、酒桶 五尺五寸 拾三本

此金五拾五切也

内金五切也 兎毛様・恭輔様・逸平様・一馬様・

手附様ニ上納仕候

右ノ内 貳百半也 □出し

外五百廿七文 酒指上わり合

又貳百廿文 先酒手かり

貳百半ト六百七十八文八町江渡

五月十三日

一、金拾五切也 孫八殿江相渡し納

残而拾切也 上納行

一、金拾壹切也 四尺以下品、 \searrow 升品買附

右之内

品数升品

\searrow 式つわり五兩貳朱也

先上納分

\searrow 拾五切半也

外七百文 酒肴代等酒屋へ指上申候

いノ五月晦日 令方へ相渡申候

\searrow 金三拾三切也

紅花水花直段五月廿三日

半夏足立直段六月二日初直段六分

一、南仙 荷数 百駄

右水花買方ニ取掛り候砌、御上様方水花買入代金

之内、六分通り上納仕候様、被仰渡候ニ付、御城

下為替組之内方、大河原町江出張引替候処、相立

四分作元六分御上江引替致候而、御手配を以買方

仕候様ニ相成申候、右故ニ素人方買方被致、案外

之直段ニ相成候へ共、諸国共々荷不足故ニ、直段

高直ニ相成取引仕候、御手配計之直段取引

一、手配壹兩ニ三百四拾五匁

四百升五匁位迄

六拾四袋壹駄ニ付、九拾五兩迄

正金 壹駄

七拾五兩方七拾兩迄

但し正金売ニ仕候へハ、売人方にて御上様へ引替、

壹駄江四拾兩見詰上金ニ致候訳ニ被仰渡候間、此節

御手配へ五わり五分位内相出申候、金四拾兩高二て

十四兩十式匁之損金ニ相成申候、指引候へ者、六十

兩三分三厘ニ相当り申候、此節正金壹兩ニなし

一、米 壹斗五升 一、大豆 壹斗九升

一、小豆 八拾文 一、錢 壹メ四百文

右御手配直段正金なれハ、五割方下直段ニ買取申

候

一、正金壹切ニ御手配引替仕候ニ、五匁位内

相出申候、六匁迄

天保十亥年七月

御首尾合ニ相成候写

一、壹人分

柴田郡村田郷御百姓

林兵衛

一、壹人分

同郡同 所左衛門

右兩人江被下候御扶持方、柴田郡直渡り被成下候

旨御下知、去年十一月朔日ニ被相出候所、面々首

尾右變行、此度御扶持方所江通來を以如斯

右之通り送り状指遣申候條、当年分ヲ兼而之通ニ相渡候

様、首尾被成候通り、可被仰聞候、以上

天保十年

小原忠多右衛門

五月

遠藤五郎右衛門

御代官 荒井東吾殿

(P.P.)

其御村林兵衛同与左衛門兩人江、御扶持方当年方同郡

直渡り被成下候旨、別紙写之通り被仰渡候間、其心得

首尾可有之候、以上

亥七月十九日

大肝入

真壁庄治

肝入 庄五郎殿

天保十年亥八月

一、米 壹斗八升 一、大豆 貳斗三升

一、小豆 五拾五文 一、水油 三升貳合

一、藍玉上物 拾貳玉 右者不足ものニ御座候

一、麻木綿類 高直品不足

一、たはこ 拾七八把より廿把位迄

一、錢 壹メ貳百五拾文ニテ 一円売錢なし

一、正金 壹メ七百文 売人有

此節正金貸物大損金ニ付、扱々こまり入申候、乍然

当田畑并年此方之上作ニ御座候故、追々人氣も立直り可

申、勘弁仕候故ニ、心つよく思居申候、米穀追々下落

亥十一月相庭

一、米 貳斗六升

一、小豆 五拾文

一、大豆 式斗六升

上候ニ付、持高方右高被下置候事

一、藍玉上物 九玉

同南目村 同 円之丞

一、繰綿 七反 当夏迄拾式両壹分式朱仕候へ共、大坂

一、同 五百八拾五文

十式分作ニ相唱、追々下落可仕候

但し品々右同断、金九拾両指上候ニ付、持高被下

一、はせ蠟 八両式分

置候事

一、銭 壹メ五百文 一円なし

同 惣 七

一、御手形正金 壹切へ引替内拾匁五分内

一、同 五百卅文

凶歳後ニ相成申候へハ、藍玉高直致候ものニ相見申候、

但し品々右同断、金八拾両指上候ニ付、持高方右

先年天明年中之凶歳ニモ、当凶歳之様子ニ、諸品高直

高被下置候

ニ相成申候、何分能々工風いたし、四拾四五年より五拾

一、同 百式拾式文 柴田郡足立村百姓 利右工門

ケ年迄ニ、旧年之不作いたし、其上ニ相成候間、醤油

一、同 百式拾式文

造方心かけ、万事考見家内相続仕候様可仕候

但し品々右同断、金拾八両三步指上候ニ付、住村

ニ而右高被下置候事

同 同 伊 助

国分苦竹村之内原ノ町百姓

一、同 百六拾三文

万右衛門

但し品々右同断、金卅五両指上候ニ付、住村ニ而

一、知行 五百六拾九文

右高被下置候事

但去々年大不作ニ付、救助方へ金八拾七両式步指

柴田郡村田郷 所左工門

同 同 林兵衛

十一日十六日

木工判
監物判

一、御扶持方老人分宛

但し右兩人品々右同断、金五拾兩ツゝ指上候ニ

星 甚兵衛殿

付、御扶持方右高被下置候事

成田 才助殿

名取北方湯元村同 勘三郎

浜田 進殿

一、知行 貳百九拾三文

但し品々右同断、金四拾五兩指上候ニ付、持高方

笠原 一学殿

右高被下置、持来高江取合、五百九拾三文高二被

成下候事

右之通首尾可有之候、甚兵衛在江戸、才助江戸登ニ付、

不能連名ニ候、以上

同年 一学判

同十七日

權太夫判

右之通御本帳江御置、知行八当物成方、御扶持方八当月

分方、格之通刻渡候様可被申渡候、右八人去々年大不作、

御救助方へ金子指上候段、相達御聴、御時節柄勘弁深切

寄特ニ付、如前書之被下置旨被仰出、万右工門方惣七迄

御勘定奉行衆

三人江八、去年并八日、利右工門方勘三郎迄五人江八過

ル二日、御郡奉行申渡候段、右御申聞ニ付、如此豊前在

江戸ニ付、不能加判ニ候、以上

天保十年亥十一年并卷日

帶刀判

柴田郡村田郷百姓

天保九年

縫殿判

一、老人分

所左工門

此米三俵トは四斗式升五合

同 同

一、耆人分

林兵衛

此米三俵は四斗式升五合

右之通来年分御扶持方、被渡下候段被仰渡候間、其心得
首尾可有之候、尤右御扶持方米、小泉村直々相渡申候間、
此段共申候、以上

肝入 真壁庄治

肝入 庄五郎殿

子年日数三百五拾五日也

耆日二五合つもり、米壹石七斗七升五合

納俵四斗五升入直し、三俵九分四厘四毛

并米五斗五升為替米、壹俵二付壹斗宛まし米

此米式石壹斗六升九合

亥十一月十八日

内米壹石九斗五升

岡ノ松吉殿入

子十一月廿日

内米式斗三升壹合

村中衆より請取

式石壹斗八升壹合

柴田郡村田町御百姓万兵衛義、御塩間屋被仰付候様被成
下度、奉願上候、此度御塩間屋共一統、御先納被仰付候
所、右万兵衛義如願之、御塩間屋被成下候ハ、御先納
為仕候様共、吟味仕候間、願之通御吟味被成下度奉存候、
尤同人義、御塩間屋被成下候而も、御不_レニ等無御座候、
御_レニも罷成候人品之者ニ御座候間、此段共如斯申上候、
以上

天保拾年十一月

柴田郡村田町検断

勘右工門

同同同 勘 次

大肝入 同同肝入 庄五郎

真壁庄治殿

右之通願申出候間、吟味仕候所、右万兵衛義八、株式之

者二在之、御時節柄御先納方御用ニも、相立候者二御座

候間、願之通現金御塩問屋ニ被成下度奉存候、尤同人義

八、御塩問屋ニ被成下候而も、御不_レニ等無御座人品之

者候八八、且同町之義八、御思セ_レ御承知も被成下通

向寄之在々多々在之、勿論刈田郡迎も、向寄之御村々、

多分御塩買方仕、相応之相捌候場所柄ニ御座候間、彼是

御取合御吟味被成下度奉_(マ)奉候、無御異義御義ニ御座候

八、別紙江御聞判被渡下度、如期申上候、已上

柴田北方大肝入

同年同月 真壁 庄治

御代官様 幸左衛門様

御塩方御元_レ 弁 蔵様

御塩方 直 治様

右之通願申出候間、現金御塩問屋ニ被成下、御聞判被成

下度段、御塩方本_レ等へ取合、紙面も相添、如是御座候、

以上

天保拾年十一月 石森幸左衛門

御郡奉行様

湯 幸三郎殿

同年同月

首尾可有之候事 石森幸左衛門

十一月廿老日

大肝入 真壁 庄治殿

左之通被仰聞候

御承知御首尾ニ御座候間、兼而之通被相達、御下知被相

廻候様致度、此段御挨拶致申候

十一月十五日 御塩方 飯沼 直治

御元_レ 桂 弁蔵

御代官様

石森幸左衛門殿

柴田郡村田町百姓万兵衛儀、現金御塩問屋ニ被成下度、

別紙之通願申出、御指支無御座候ハ、兼而之通致首尾致候条、御吟味被仰聞候様致度、別紙願ニも差添、及御取合候、以上

十一月十一日

桂 弁藏様

石森幸左衛門

御同役中様

其扱万兵衛御塩問屋被成下、以万兵衛御申渡候間、其心得首尾在之返帳之口合等之義者、夫々首尾可在之候

大肝入

十一月廿五日

真壁 庄治

肝入 庄五郎殿

検断 勘 治殿

同 勘右工門殿

御下知有之候ニ付御礼廻り

肝入

一、庄五郎殿 式朱 手拭壹本

検断

一、勘右衛門殿 手拭 壹本

同

一、勘 治殿 手拭 壹本

大肝入様手代

一、喜右衛門殿 金式切也

同

一、太郎左衛門殿 金式朱也

大庄屋

一、真壁庄治様へ 嶋耆反

一、御代官様 金三切也

御塩方口方掛り

一、飯沢直治様 式切也

同 御元

一、桂 弁藏様へ 手拭 三本

同

一、高橋口治様へ 手拭 壹本

一、拾切三朱計 礼廻り 入用

天保十年米相庭左二

一、米 式斗六升六合、一、十月并し

一、大豆 式斗七升 式斗四升五合

一、御手形 七割 一、小豆 四十五文

一、錢 壹メ五百文 一、正金拾兩五

不足もの 手形十七兩引替

天保十年十二月朔日、御城下表錢払底ニ付、御小人・目附・同心衆・南方宿々、并ニ村々宜敷百姓家江御手入ニ相成、錢多少持合居候分、御始末ニ被成、難渋致候義有之候

一、御小人目附衆、並ニ下役メり役等、到来錢圍置候義相聞得申候付、御改相成候間、圍置候錢相出し可申旨仰被聞候間、圍置候義ハ無御座候へ共、売立錢御座候由申上候、錢筋等ヲ相出し何程御座候由申上候処、此上持合錢無御座候由、言上仕候処、御聞ニ相成候ヲ錢高不足之訳有候間、土蔵店居家ハ申不及、縁板初前店

疊等迄引口御改ニ相成申候、其上相出し置候錢江印符ニ相成、御召連ニ相成御評定上、一統ニ錢不足之砌

國錢等いたし、甚不心得ニ有之訳ニ仰被付候間、國錢トハ相心得不申候訳ニ申上候へ共、譬売立錢ニ有之候共、丸キ錢等いたし仕無クこの義ハ國錢ニ無之哉、御尋ニ相成、國錢ニ相成、御城下在の御始末ニ相成候者共、有躰ニ御覽ニ相企候者共、(ΔΔ)老年ぬ子置処、あしき分ハ二年ぬ子ニ相成申候、誠ニ下々難義ニ致し、先祖ノ文錢遜ニ相成居候錢迄、始末相成申候、誠ニ御時節柄ニ相成、不時之難ニ合申候、右様来ル時節ニハ、何分用心致、持合錢等御座候砌ハ、村役人方へ申出置、難ニ合不申様、御工風專一ニ御座候

天保十年

天保十年亥春たまり造方覺

一、大豆 三斗 壹斗八升直段

一、糶 三斗 但し米式斗式升 一斗直段

十式

一、水 七斗式升

一、塩 四斗 三合つもり

此造方塩過分ニ而風味不足也

山形表ふごや徳助殿たまり造方覺

一、大豆 三斗八升

一、米 三斗八升 但し糶米四斗五升位

外ニ五升まし

一、水 七斗

八何方へ成共相払呉候様申聞、拙者方も最初相渡し置候

預り手形相戻し罷有候処、其後紅花直段も追々下直ニ罷

成、地払ニ可仕様無之、持合居候内、新花も売買ニ仕、為

登ニ相成候得者、古花之義ニ而虫摘等ニも相成候而者、

弥々損金も相出、金主方へ申金無御座、天保八年七月為

念請金宮七忠助兩人を以荷主筋江為登ニ仕趣申断候処、

勝手次第ニ致候様ニ申聞ニ付、同年八月京都江為相登之

砌、古花故ニ買人不足、漸々十一月限り戌三月限り追々

売払候処、元利諸入料引取勘定仕候へハ、七拾兩余りも

不足相成候間、根元申合候通り、右不足分ハ兵助方方勘

定申請呉候様談合、宮七忠助方へ一応申遣候へ共、勘定

迎も相立不申候へ者、是まで打捨指置申候義ニ御座候、

外ニ紅花荷物世話仕候預り置候義ハ無御座候間、右之段

如斯申上候、以上

天保十年

亥三月

天保十年

……前切レ……間三駄分斗 七兩銀九匁

五分貳厘請取三駄此袋數貳百拾六袋相渡し被下、殘荷分

一六 天保十一年商用萬控

(天保十一年)

子六月たまり造方

一、大豆 貳斗

一、中白 壹斗五升 糶貳斗見当

十貳

一、水 五斗

四合

一、塩 貳斗也

江戸京橋南かぢ町二丁目

江戸中橋南天伝馬町

中屋五郎兵衛殿

一、巻メ文 中刃やすり拾枚

一、六百六拾六文 大引切拾枚

一、八百五拾文 相丹屋すり拾枚

右之通直段ニ御座候、錢相庭

巻メ七百廿文位之節

一、中刃巻メ文 拾枚目方七拾匁

銀八匁八分四厘

外ニ五分 拾枚太賃 巻メ匁四匁六分

九匁三分五厘上り

一、六百六十六文 大引切十枚

銀六匁

外ニ四分 だちん

六匁五分五厘

醤油造方扣

一、拾石造 大豆六石

小麦三石

米 壹石

拾石

右方

水拾壹石入 右二聞而塩四合八夕

塩五石貳斗五升

此もろみ拾五石あり

正生六分五厘ニたり

麦水七斗入ル

塩右方三升方五升まで用

桶結方

一、六尺調返し 壹本

貳拾八人見当

一、六尺細高 壹本

貳四人

一、六尺五寸 壹本

三十五人

一、五尺五寸 壹本

木代金三步

廿四人位

天保十一年

為替手形之事

一、正金三百五拾兩也

右之通大町三丁目沢口辰三郎方より、当地渡り為替取

組右金請取申候処実正也、此代金来丑ノ正月廿五日限

り、於御当地ニ無相違御渡可被下候、己上

御国産方

為替組中

天保十一年十二月五日

右之通於御国産方取納相濟申候条、限日無相違相渡可

申事

同年同日

武田金藏

大内七郎右衛門

齋藤覺次

沢口屋辰三郎殿

天保十一年

天保十一年正月相庭書

一、米 貳斗五升 一、大豆 貳斗六升
 一、小豆 五拾文 一、拉荏 壹斗五升
 一、正金引替方拾兩ニ御手形十八兩より
 右之通為替会所一円ニ引替無之候、札計通用ニ相成、
 甚難儀ニ相成申候、右故ニ錢も不足ニ相成、不通用ニ
 御座候、

一、錢壹又五百文、御上様方相庭割合ニ無御座候故、錢
 相出不申候、御手人様追々不通用ニ相成申候、内証相
 庭ニ通用仕候もの、是又御始末ニ相成申候

一、大坂相庭

坂上 三又八百目及四又目

一、玉砂糖 壹匁五六分
 一、生蠟 貳又百五拾目
 一、銀 六拾匁五七分
 一、木綿類 追々下落

天保十一年子二月

一、米 貳斗四升 一、大豆 貳斗五升
 一、小豆 五拾五文 一、たはこ 拾七把
 一、拉荏 壹斗五升 一、くり綿 十八兩
 一、蠟 拾七兩位 一、正金壹切ニ付御手形式切三
 百文、引替望人有之

一、料紙 丸森中頭 三十九帖及四十壹帖
 四十四帖

右之通追々正金一円ニ無之相成、人氣甚惡相成、諸品高
 直、店物何ニ不寄、売人無之相成、難渋仕候、凶歳後ニ
 者、何れ札等相出申事ニ相見得申候間、何れ用心いたし、
 賃物者不及申、正金ニいたし方專一二心懸可申候、誠格

外之損金ニ相成申候、正金老歩用立候品、手形老歩ニ而倍方ニ被致、此節老歩札五百文ニ御座候、貸金等も右ニ而返渡、甚迷惑可申様無之候

子三月朔日

手形

一、米 式斗四升 売人なし

一、大豆 式斗五升 右同断

一、小豆 四拾文

一、葉たはこ 拾五把 諸品売人なし

一、錢正金 壹メ九百文 御手形壹メ貳百文

売人なし

一、御手形引替 壹切江式百半位御座候

右之通金錢不足仕、御手形計ニ相成不通用、御城下表木

綿類古手売人無之相成、無渡世同様ニ、店者明置候而も

一切品切、有仕品物逆も売氣無之、不通用目前ニ御座候

質物正金貸附置候品、此節請方ニ相成、誠ニ迷惑仕候へ共、置人弱氣ニ御座候故、無抛相渡し、質借金三ヶ壹ニ相成、何共難渋ニ相存申候

先年天明年中ニも、米札通用相始り、二年計も通用仕候処、右御スタリニ相成候時、質請方ニ相成、質屋迷惑仕候由、聞及申候へ共、此度者長々通用も仕候上、格別御上様之思召も御座候間、御スタリニ者相成申間敷奉存候処、凶歳後金不足ニ付、新御手形御拵ニ相成、新古都合四拾万両位被相出候由、甚人氣悪故、正金錢一切無之、猶兩替会所ニても、一円引替無御座候、何れ御捨ニ相成可申、諸人安心不仕候、正金なれハ売人も御座候へ共、御手形ニてハ売人なし、此後五拾ヶ年目近々ハ急度凶歳も可有之候哉、其節ハ貸金質方一切相控、味噌醬油之方、渡世いたし質方相控可申事、心掛により一文なしニ相成申候間、急度心掛可申事

一、造白 式反 一、卷手拭 廿八匁

子三月廿日相庭書

一、米 貳斗 一、大豆 貳斗三升

一、小豆三斗貳升 一、たはこ 十五把

一、紙 三拾五帖方下紙四拾帖迄

一、三十枚三十五帖位 売なし

一、錢相庭 壹メ百文定ニ御座候へ共

正金取引 壹切ニ八百文位

一、米 五斗 一、紙三十枚九拾帖

右之通正金御手形引違ニ相成、扱々迷惑仕候、右直段ニ

而も正金一円なし

正金壹切ニ付、御手形四切引替仕候

正金三メ文 壹切直段御座候

錢持合居候へ共、御始末故ニ下落仕候

子五月相庭左二

一、御手形直段

一、米 壹斗七升

一、小豆四拾五文^五

五拾文迄

一、油 壹斗壹升 一、たね 壹斗

一、藍玉六つより中八つ 三切式朱江正金壹切也

一、錢壹切ニ付八百文^五 一、手拭紋^リ 壹反

七百文位迄 三十三匁位

一、糸綿壹切ニ付百五匁 一、葉たはこ 拾把

右之通

正〇

一、米 五斗五升 一、大豆 五斗七八升

壹切錢貳メ貳百文

右之通ニ御座候処、藍玉諸国一統ニ高直ニ有之、山形表
ニても正金ニて、上々物八つ^五直段有之、商人衆買方いた
し、山形持参仕候御手形ニて相調、正内^(マ)ニて売買仕候所
大キニ利潤ニ相成申候、追々地元不足ニ付、代品被相替
申候、凶歳後ニハ利潤ニ相成候ものも可有之候間、工風^(マ)
いたし利口ニ相成申候様可仕候

天保拾壹年子六月

一、御手形沓切沓斗七升

一、正金沓切米六斗 一、米沓升銭かへ三拾八文

一、小豆沓升 貳拾八文

一、大豆 沓斗六升

一、小麦 沓斗沓升

一、大麦

一、正金沓切引替ニ御手形三切七分三厘三毛

一、錢正金沓切貳又百文

一、御手形沓切ニ六百文と七百文迄

一、店売買一切なし

一、質物取引 甚難渋仕候

当国金銭不足ニ相成、御手形流行仕候処、此節不通用ニ

付、沓切手形六百文ニ而も望不申候、甚迷惑、猶代相庭

沓又五百文ニ、御国一統ニ通用仕候様、御上様を被仰渡

候間、差引等仕候ものも無之、不都合之諸差引仕候もの

者、御始末等ニ相成、御国一統大乱相成、甚心痛仕候

別而質屋質借しるもの、正金用立置候品、右之御手形を

以請方ニ相成、何程之損金ニ相成候哉、右仕呂物正金用

立置候間、正金請方被成下置、引合仕候へ者、勘弁仕候

もの沓人も無之、請方ニ相成申候、未々御金不足之砌

通用手形相出候事も可有之候間、其砌ハ一切質物預り相

控、正金ニ相成候方計、大切ニ心掛、大難相凌候様專一

ニ奉存候、買置等仕候而も、御手形ニ計相成候間、無商

売同様ニいたし、檢約を相用専用心仕候様、可心掛事

六月廿三日相庭

一、五月十八日方雨降出し、雨勝ニ御座候所、六月四日

はんけ、六日きのへね降出、雨天続キニ相成、土用升

沓日廿三日迄ふり続申候故、米相庭追々気配ニ相成

一、正金沓切ニ四斗

一、御手形 売人なし

一、錢ニ而米沓升五拾文

一、緋糸正〇沓両ニ付百八拾文

一、御手形沓切 銭六百文ニ而望人なし

一、正〇沓切ニ御手形三步式朱 引替人なし

足立水花初直段

一、四分式厘 一、三分九厘 一、四分

一、四分沓厘 一、四分二厘 一、四分三厘

一、四分四厘 〆并四分沓厘五毛

天保十一年子七月十四日

一、米 沓斗四升 一、正金米四斗六升

天氣快晴ニ相成 人氣^(マヤ)靜々ニ相成申候付

江戸表七月九日相庭

一、坂上くり綿 百四拾兩

一、米 八斗五升

山形表相庭

一、米 三斗五升 式メ三百文

一、塩 三步拾四匁方沓兩迄

一、綿坂上 六兩沓歩沓朱

一、蠟はせ 六兩沓式分

一、余晒 八兩式分

一、玉砂糖 四拾沓式斤

一、両かへ 八メ文 大屋方

七月十四日

一、正〇沓歩ニ御手形沓兩方三枚八歩迄仕候

御地頭様 天保十一年六月廿九日二

御奉行御再役ニ相成申候

子八月廿沓日当地相庭書控

一、正〇沓切ニ付 米五斗式三升

一、同 錢沓歩ニ付 式メ文

一、小麦沓升 四拾文

一、大麦沓歩二 沓石五斗方

一、坂上操綿 山形相庭六兩式歩式朱

一、はせ蠟 同 六兩沓歩位

一、玉砂糖 同 三拾八斤

一、塩 同 壹兩四匁位

一、仙台塩 大キニ払底

子年春中不足ニ御座候処、追々不足相成、壹合貳合塩

買方ニ迷惑仕候付、他処方買方仕、不自由無之様ニ仕度

御上様江願上申候、四ヶ浜ニテ子秋ニいたり、一円ニ塩

取方不仕候、浜方塩御買上、三俵貳式俵六七分位ニ、

御買上ニ相成候間、御手形ニテ相渡し被下候間、売切札

六百元通用ニ外相成不申候、間ニ合不申ニ付、浜方壹円

ニ塩出来不申候、誠ニ付物塩ニ迷惑仕候、右様之時節ニ

ハ、無油断味噌醬油屋心掛可申事、引続キ米ニ難儀い

たし、正金不足、塩不足難儀仕候事ニ御座候、当田作も

五六月中雨天続キニテ、不作仕可申奉察候処、七月朔日

方快晴ニ罷成、稲大キニ見直し安心仕候

一、御手形壹歩ニ付、米壹斗五六升

一、同 壹歩ニ付、大豆壹斗八升

一、同 葉たはこ 拾五把方

一、錢かへ 小豆三十三文

一、当新米 御手形ニテ貳斗五升位見当

子年紅花荷高控

一、早庭 三百駄 一、水戸 貳百駄

一、南仙 九拾駄 一、九百駄 最上

千五百駄 京都残花なし

一、早庭 六拾四兩程も直立、追々氣配仕

七拾五兩も八拾兩迄飛上り

一、水戸 六拾兩も追々九拾兩迄

一、南仙 七拾五兩も 追々八拾七兩迄

一、最上 五拾兩も五拾七八兩迄

新山辺上物七拾兩迄

右之通大氣配ニ御座候へ共、諸国共ニ雨掛り十分ニ上出

来ニ御座候間、京都表ニ而南仙百兩之直段出来可申様心

ニ相見得申候、子冬仕切、京都表ニ而百兩直段出来申候

□□様杯之見当二八

一、紅花荷高 千五百駄なれ八八拾五両

千六百駄なれば八拾兩

千七百駄なれば八七拾兩

千八百駄

なれば八六拾兩

杯と申事も有之もの

相見得申候

八月廿三日御手形引替方

一、正〇 壹歩ニ引替、三切八分五四切迄

子九月二日ニ御手形人氣宜敷

少々氣配ニ相成申候

一、正〇 壹歩ニ御手形三枚五分ニ立直り

一、錢 壹歩卜指引ニ六百文

一、正〇 五斗五升

一、御手壹歩 米壹斗六升

一、錢かへ 米壹升 三拾九文

一、小豆 三拾文

一、塩 壹斗 五拾五文 大払底ニ而難義仕候

壹盃式盃の塩買方ニ迷惑仕候

子九月廿日頃ニ相成、芝多対馬様御奉行御再役

ニ相成、御金荷四万兩程も下り金有之ニ付、甚

人氣立直り

一、正金壹歩ニ手形三枚引替仕候

一、米手形壹歩ニ付、壹斗六升

一、正金壹歩ニ五斗

十月朔日

一、正金壹歩ニ御手形式歩式朱引替ニ立直り

一、錢正金壹歩ニ壹メ九百文

一、手形壹歩ニ錢六百五拾文 売人あり

一、米手形壹歩ニ壹斗六升

一、正金壹歩ニ米五斗 売人なし

一、古手類 大キニ不足

一、塩 大キニ不足 小売計

子十月七日登仙仕候而相庭關合仕候処、追々人

相庭書当着控

氣立直り

一、新大嶋黒砂糖天袋入

御国向キ壺つ直り 壺匁四分式三厘

一、正金壺歩ニ手形引替式歩ニ而望人計あり

一、同 黒砂船手物 壺匁三分五厘

一、米手形壺歩ニ壺斗七升

一、同 徳しま黒砂天袋入

同月十五日方ニ

御国向キ壺つ直り 壺匁三分

一、正金壺歩ニ手形式歩壺朱方五匁迄

一、同 黒砂船手物 壺匁式分五六厘

一、拉荏正〇三斗八升

徳白 黒和いか物

一、米古正〇 四斗式三升

秀州 壺匁五七厘

一、新手形 式斗 十月壺日右直段

名波

子十一月廿六日

一、讚丹白砂糖 初雪百文 式匁三分五厘

一、御手形式枚七分 正金壺歩ニ

一、同 天光百文、右同 式匁式分五厘

一、拉荏 正〇三斗五升

一、同 上光百文 右同 式匁壺分

一、御手形 米壺斗七升

高印

一、余晒臘 三匁九分

古実

子九月廿四日大坂平野屋徳兵衛殿方

一、築前生蠟 銀五拾匁ニ付式又四五百匁

一、同 直り蠟 式メ五百匁六六匁

三匁

一、新操綿 三メ四五百目

一、別改右白 三メ八百五拾匁

一、金六拾式匁壹式分

○九匁壹分五厘

天保十一年子十一月十一日

手形

一、新米 式斗五匁斗八升迄

同

一、古米 壹斗六升

同

一、大豆 式斗五匁斗九升

一、小豆 四拾五文

一、正錢壹メ八百文

一、正金壹歩江手形式歩式朱

十一月五日出しを以、酒田尾セキ

操綿着仕候、相庭書左之通り

当月初

一、御蔵米 三拾六俵

一、新庄米 四拾五俵位

一、最上大豆 地大つ三拾俵

一、同 小豆 壹石五斗

一、同 小麦 壹石式斗

一、菜種 八斗二三升

今泉 今泉新

一、操綿 五拾五兩位

一、玉砂糖 四拾四五斤

一、丸大上鉄 拾壹メ八百匁

一、蠟尔晒 式メ匁程

生 三メ匁

一、尾羽毛鯨 六貫七百匁

一、三田尻塩 三石四斗

一、錢両替 六メ八百文

右之通子十一月十二日晚二届

指上候様、被仰渡ニ付指上候、右ニ付手拭壹本
半十郎様へ指上申候

天保十一年子十二月御塩払底ニ付、

立紙到書

御他領買方被相免、最上表方買方ニ參申候

一、米四俵ト壹斗壹升五合

一、御地領塩壹升 百拾六文

此石壹石九斗壹升五合

一、正金壹歩江御手形式枚七分

右之通御扶持方渡被下、頂戴仕候、以上

一、米正金壹歩ニ 四斗五升方四斗八升迄

柴田郡村田郷御百姓 林兵衛

一、大豆正〇 六斗方上物五斗五升

天保十一年子十二月

一、御手形壹歩ニ 錢七百元

当名なし

一、最上塩七斗五升入式俵 三步式朱也

誠ニ貸金御手形下落仕候而、米出可申候、其外御手形わ

右之通来年閏月有之候付、壹月分過石頂戴仕候、壹年の

りを以返済ニ相成、正金かへなれば、壹歩五斗かへ入ニ

日数わり三百八十三日、壹日ニ米五合つもりニ而

相成申候処、式斗位の直段を以返済ニ相成り、迷惑ニ相

米壹石九斗壹升五合

成申候、貸金等者譬此未豊作ニ相成申候而も、一切無用

四斗五升俵

ニ御座候、何分御用心可被成候

四俵式分五厘五毛五才

五斗五升為替米 式石三斗四升

天保十一年子十二月廿四日、御扶持方直渡りニ

相成、菅野半十郎様方請取書、肝入庄五郎殿方

子十二月廿四日相庭

一、銘白 四反八分 正金

一、造白 五反四分五厘 同

一、米御手形 壹斗八升

一、正金 四斗九升

一、大豆御手形式斗壹升

一、拉荏正金 三斗六升

一、錢正 貳又文

一、御手形 七百元

一、塩壹升 九拾六文 最上塩

一、諸品わり合大キニ高直ニ御座候

一七 天保十二年商用萬控

天保十二年丑正月

一、金壹歩ニ御手形式枚式匁五分

元金合三歩ト式匁五分

亥十月中御手形位立直り申候処、

又々位悪相成申候

丑正月十七日

一、正金壹歩也 引替仕候ニ付

御手形三切三分六厘請取申候

右わり合三拾五匁五分打ニ当ル

天保十二年丑二月諸品

払底ニ相成 こまり入申候

一、米御手形壹歩ニ 壹斗五升

一、大豆 同 貳斗五升

一、小豆壹升 三拾文

一、歛井地かね類 大キニ不足

荒歛壹枚 正金壹歩貳朱

釘類大キニ不足 三寸五分壹把

貳百五拾文位仕候

一、杉五分板 正金壹切 六間

一、魚鳥類 大キニ高直ニ御座候

一、正金壹切ニ手形三枚六分引替

一、正金壹切ニ米四斗八升九升迄

一、錢 貳メ百文貳百文迄

一、御手形壹切ニ錢六百五拾文

二月廿日

一、正金壹歩ニ御手形三枚八分

一、塩壹俵 正錢壹メ五百文

右塩御払御手形通用之砌ニ御座候へ共、御手形壹歩

六百文ニ相成、場方迷惑ニ相及、一円塩塩売買方相

成不申候、右故ニ壹歩之相場を以、錢ニ而壹メ五百

文御払ニ相成申候、先納等仕候ものも御座候へ共、

先納分へハ御渡し不被下候、現金御払ニ相成申候、

錢御払ニ御座候へ共、場方へハ三分通り、錢七分通

り手形ニ御渡し相成り、貳俵半之御買上ニ相成候へ

共、割合ニ相成不申候哉、塩取上り不申候

三月十一日相庭

一、御手形壹歩ニ 米壹斗三升五合

一、御手形壹歩ニ まめ貳斗直段

一、正〇壹歩ニ まめ七斗六升

誠ニ下直之直段ニ御座候、塩不足高直故ニ、醬油

味噌等仕こみ無之ものニ相見得申候

一、正金壹歩ニ 四十三匁打

手形三枚八分六厘六毛

一、米正金壹歩ニ付

五斗壹升五合

天保十二年丑五月二日

酒田相庭書

現金

一、御蔵米 廿八俵貳分

一、当月切 廿八俵壹分

一、新庄米 三十六俵半

一、最上大豆 三拾四五俵

一、同 小豆 壹石三斗八升

一、同 小麦 壹石壹斗

一、菜たね なし

一、操綿 上総 六拾八兩位

丸かせ 六拾六兩位

一、玉市 六拾壹貳兩

一、本玉市 六拾四五兩

一、京極 六拾三兩位

一、玉砂糖 兩二四拾八斤

一、丸大上鉄 同拾又三百匁

一、蠟 余晒 同貳又三四百匁

生 三又匁

一、尾羽毛鯨 七又匁

一、三田尻塩 三石六七斗

一、錢兩替 六又九百文

五月二日

余晒蠟 百斤入 但し拾六又壹俵

貳又四百目かへ壹兩二付

此金六兩貳步下拾匁二当ル

生蠟 百斤入 壹俵

三又匁

此金五兩壹步五匁

天保十二年丑六月

紅花大欠作水花直段

一、水花 三分七厘五三分三厘 足立村

一、キ花 壹分五厘 舟岡

一、正米 四斗七升

一、大豆 七斗五升 望人なし

一、新小麦三拾八文 六分位作

一、新麦 大欠作 四分位作

当新花春已来雨天勝ニ有之、入梅中雨降続、半夏ニ

相成照込、紅花惣照花ニ干上リ、諸国違作ニ付直段

飛上リ、扱々心配ニ御座候、諸国駄数凡見当

一、早庭 惣雨花 荷数四百駄

極頭物 九拾兩五八拾兩位迄

手入花 七拾兩迄

一、水戸 惣雨花、荷數百駄

極頭物 九拾八九兩方八拾五兩迄

一、最上 地廻り下口照花

山通り少々雨掛り、照花と申程

最上紅花干上り茂、昨午子干上り方、老割方悪相

見得申候而、直段茂一割高直ニ御座候間、式割方

子年方高直ニ御座候、荷不足茂稀成事ニ御座候

凡七百駄見詰

南仙百五拾駄位見当

一、仙台惣照花大不作 八拾駄程

子年方式割方不宜ニ而、七拾五兩位見当ニ御座候

子年紅花八惣当ニ干上り、頭物八拾五兩仕候へ者、

一割方下直ニ御座候へ共、老割方子年方高直ニ相

見得申候

凡荷數合千三百五拾駄程

京都殘花百式拾駄程

誠ニ稀成荷不足

右之通稀成荷不足ニ御座候へ者、直段高直も可仕事ニ御

座候処、江戸表縮一切御停止、五月末ニ被仰出、追々嚴敷

相成申候義ニ御座候へ者、紅花直段も難計心配罷有申候

子年紅花惣雨ニ干上り、京都表百兩迄も頭物仕候へ共、

照花ニ而当地ニ而七拾五兩方八拾兩之直段、奉恐入候

一、大谷村合 上三百七拾五方拾方開キ

一、沼部村合 上三百九拾方拾方開キ

一、成田村合 上三百八拾方拾方開キ

一、円田村合 上四百方拾方開キ

一、山根小沢辺上四百五拾方四百八拾方

右同所壳急キ壳損し、大キニ口外仕居候

右之通紅花直段ニ御座候へ者、七拾五兩三步地元買上り、

御引替御手形拾貳兩也、当地三枚七八分、切替損金七拾

貳袋付正金九兩也也、六拾四袋老駄ニ付八兩也、八拾四

方三步買上リニ御座候、照花ニ八宜數取先ニ相見得申候、

子年八雨花故ニ拾貳三兩も、罷相出可申見当ニ行当見分

仕候へ八、八兩位も罷相出可申哉、何れ買方心配ニ御座

候

丑七月六日

相見得申候

一、寒引耆斗五升 一、今引耆斗三升五合

一、大豆耆斗八升 望人なし

一、葉たはこ正〇拾五把 望人なし

一、小麦三拾八文 一、小豆廿五六文 望人なし

一、藍玉正〇拾五玉 大キニ氣配

一、錢正式メ五拾文〇百文迄

一、御手形耆歩六百元 錢不足

一、正〇手形引替 三枚八九分

一、操綿坂上 七両式歩式朱也

十一月十九日相庭附

一、新米御手形ニ而 耆斗式升

一、大豆 錢百升八文〇三拾文迄

一、古葉たはこ正金ニ而五拾三四把

望人不足ニ御座候

一、正金錢式メ文

一、御手形五百文 追々下落四百八拾文位江

一、正金之内五拾耆兩 元金迄さし加へ候得八四枚四分

右之通ニ御座候得共、追々下落之姿ニて人氣悪敷

御座候

右之通御座候処、御手形当月十日頃迄ハ、四十耆枚四十

耆枚半位ニて人氣宜敷、通用ニ罷成候処、其後御城下表

大キ人氣悪敷、在ニ茂出張わり込引替候ニ付、尚々在々

共人氣悪しく相成申候、右様之姿ニてハ、追々下落と相見

得申候、右様之高下故、質物売買等大キニ困り入申候

天保十二年丑十一月廿一日

一、御手形米耆斗式升〇耆升迄

一、もち米 九升五合

一、新操綿 八両位

但荷不足ニ付直段高直ニ相成申候

山形七両式歩式朱也

一、手形四枚六分 正〇耆切ニ

追々手形下落致候而、誠ニ迷惑仕候、此未手形通

清酒屋御下知

用も可仕候へ共、其節八時々正〇ニ引替、手形手
払ニ仕候様、専一ニ心掛可申事、大キニ損金仕候
間、無油断心掛候様可致候

写

柴田郡村田町百姓 林兵衛

同年十一月廿九日

一、金貳百兩也

但し天保十年当座調達四拾五兩

指上置候分、御指引被成下候事

同 東吉

- 一、正〇沓切 手形五枚 大下落
- 一、手形沓切ニ錢四百五拾文 望人なし
- 一、米 沓斗貳升 手形相庭
- 一、正〇沓切 五斗三四升
- 一、もち米 沓斗

一、金貳百兩也

右之通此度新田開墾荒所起返候方へ、献金願申出、被申

聞合承知相達候所、如願之被召上旨、御奉行衆被仰渡、

昨々御郡奉行衆被仰聞候間、其心得可申渡候、以上

秋 奎之丞

十二月三日

一、正〇沓切 四枚九分

十一月廿九日

十二月四日方少し立直り

真壁 新七殿

一、正〇沓切 手形四枚七分

尚以内願之義、御承知如本文之被仰渡候間、此

段御申遣候、以上

天保十二年辛丑十二月三日

右写之通被仰渡候間、其心得首尾在之、金子取立上納首
尾可被申候、已上

□□ 真壁 新七

十二月朔日

右町 肝入衆

検断衆

丑十二月六日方追々立直り

一、正〇巻切ニ 手形四切式分

一、正〇銭 式又百文

一、手形巻切ニ 四百五拾文 売人なし

一、藍玉正〇巻切ニ 拾五玉位

一、丸森料紙 中もの 六拾五帖方七拾帖迄

一、楮皮 正〇巻切 五メ又

十二月廿二日

一、正〇巻切ニ 手形四枚五分

一、正〇巻切 米六斗

一、手形巻切 米壹斗三升五合

一、手形巻切ニ 大豆壹斗八升方

嶋原辺式斗

一、正〇巻切 式又百文

十二月御扶持方直渡り相成被付、

天保十三年寅年三百五拾四目五合つもり

一、米壹石七斗七升

四斗五升入 三俵九分三厘三毛三才

五斗五升為替米

米式石壹斗六升三合三勺

一、米式石丑三月十二月小泉村方二度ニ受取

一、米壹斗六升三合三勺

寅三月八日小泉村方受取

△

天保十二年丑十一月志願仕候而

生酒造方願上候処、御下知ニ相成上金仕候

一、金貳百兩也 生酒百五十石造一宿卷本同様

内金四拾兩也 貸上金引

丑十一月六日

又金百五拾五兩也 上納仕候 四枚五分

但し肝入庄五郎殿を以、大河原町御金所江罷出、大庄

屋真壁新七殿手代、撫木町喜右衛門殿江相納申候、右

生酒造方、田山屋專吉殿方へ造方相為任置申候

天保十二年丑十二月、志願清酒屋方

御内証御下知ニ付、御礼廻り如此

御手形巻切也、但し四百五拾文通用 右同断

御家老 御家老

一、松本 恭助様 一、高橋 逸平様

右同断 右同断

御用人 御用人

一、鳥羽哲之助様 一、阿部 一馬様

右同断 右同断

御扱 御扱

一、高橋綾之進様 一、横田小右工門様

御目附 三十枚五帖 御手形巻切宛六切也

一、木口大鋸之助様 御目附衆江三拾枚五帖

右之通御礼廻り仕候、已上

京都にて

丑十二月大坂表相庭

一、玉砂糖 壹匁四分位

一、白天光 貳匁貳分五厘

一、操綿坂上 三匁貳百五拾目五八拾匁迄

一、大坂中国米 七拾目

一、金六拾貳匁八分

一、セに 九匁壹分位

一、最上花 下物六拾四五兩五

上物九拾兩留又

一、南仙 下物九拾兩五

上物百四五兩迄

越年花 六百駄

一、金六拾貳匁四分 一、錢九匁壹分五厘

百姓 林兵衛

一、塩 三田尻 銀百匁二付六石五斗位

何分ニも売なし

天保十二年御扶持方頂戴

荒所起返方江金貳百兩指上候段、相達御聴、御時節柄御勘弁、深切奇特之事ニ候、依之清酒壹宿壹軒被相免候節、壹宿壹軒之外、百五十拾石造永々御免被成下旨、被仰出候事

受取候控

一、米 何石何斗也

右之通被仰渡書被下置候、猶百軒藏ニおゐて、被仰渡事

右之通天保十三年分御扶持方被渡下、難有奉頂戴候、已上

ニ御座候へ共、時節柄御勘弁被成下、御廻村先ニ而被仰渡候、右御礼廻り之義ハ、仙表江ハ進物等相掛り不申、其時之御物書様計ニ御座候

柴田郡村田郷御百姓 林兵衛

天保何年

右御礼廻り進物控

天保十二年丑ノ年獻金仕候、天保十三年寅四月十

一、御郡奉行御物書様江

二日ニ、御郡奉行矢野甚左衛門様御廻村、青根御

正金壹切也 青根ニおゐて老人前壹切、都合貳百

泊候処方罷出候様、大肝入真壁新七様方肝入方へ、

文、林兵衛・東吉兩人ニ而御礼、

首尾合ニ付罷越被仰渡候御趣意書、左ニ相控置申

大河原ニおゐて

候

御代官

御横目

柴田郡村田町

一、秋保左之丞様

一、佐藤 源吉様

御手配貳兩也

壹兩貳步

諸役懸り

荒地起返り方

一、宮城鑿之丞様

一、山田伝左衛門様

壹兩壹分

壹兩也

御普請方

御郡奉行御物書

一、菅野半十郎様

一、中川 徳治様

壹兩也

貳兩也

大肝入手代

一、太良左衛門様

一、小役人 貳步

壹兩也

〆拾兩壹步也 右貳つわり五兩貳朱つゝ

内拾八切 割ら出し

指引貳步半也 藤吉殿相渡申候

一、正銀貳拾七匁五分 嶋木綿壹反

大肝入 眞壁新七様

一、正銀三拾八匁五分 白雲壹反

千草壹反

肝入 庄五郎様

〆六拾六匁 右貳つわり 三拾三匁宛

内廿七匁五分嶋壹反東吉殿出し

指引 壹朱ト貳百六拾貳文請取申候

老人前正金七切半也

外ニ御手形六切ト三拾枚五帖 御内証様

此正金壹歩ト壹朱也

御礼廻り

〆正金八切ト三朱也

天保十二年丑十二月

天保十二年丑十二月志願被仰付清酒屋一宿壹本株被相免

候ニ付獻金仕候

一、正金四拾五兩也

右金八天保十年亥九月調達御用之分翌子ノ九月御

利足計被払下又以御用立申上置候分也

一、御手形百五拾五兩也 丑ノ十二月獻金仕候

此正金三拾五兩也、但し四枚半壹切之割

一、金貳百兩也 之高ニ獻金

一、正金五兩也 礼進物掛り物

合

正金八拾五兩也

右青酒株田山屋專吉殿 江用立為造置候ノ内年々利潤金

請金箱、丑十二月を造り致積

丑寅兩年分

一、正金拾三兩三步也 卯十一月四日ニ

田專殿を請取申候

右之内三兩三步也 金子用立利足旁指引見詰

指引

金拾兩也 酒之方へ相廻り詰見当

卯辰兩年分 己九月廿二日

一、金貳拾兩也 田專殿を請取申候

内金三兩壹歩也 金子用立利足

旁指引見詰

指引キ

金拾六兩三步也 酒利潤方へ相廻り分

天保十二年

乍恐御用達休番被成下度奉願上候御事

拙者儀御財用方御用達被仰付、相統勤仕罷有候処、天保四年より違作統、大飢謹(天)ニ付而者、商売も薄減金ニ相成金配行届不申候へ共、御上様之義御座候得者、急々手配仕候て右金調達上納仕候、殊ニ凶歳後不時之換金不廻仕候手配及兼候ニ付、当春中御用御免ニ被成下度奉願上候処、当五月迄相勤候様、押而被仰付、御時節柄勘弁仕其上御知行御差向地並身分迄も被下置候義、難有考心仕候て、六月まで調達金申上候処、此度御月わり是迄之通調達仕候様被仰渡、委細承知仕候、御上様義も奉察上心痛仕候得とも、前書申上候通、長々無渡世同様ニ御座候得者、減金夥相出、案外之事ニ有之、金主方へも申訳無之、誠ニ心配迷惑仕候仕合故ニ、金配行届不申、何卒御用達向五ヶ年も休番被成下候得者、売底ニも取附相勵申候而、御用相弁申上度御座候間、如願之休番被成下度候様奉願上候、右之段宜敷被仰上被下度、此斯申上候、己上

大沼林兵衛

天保十二年八月

哲之助様

一馬 様

一八 天保十三年商用萬控

天保十三年寅三月八日

- 一、米正〇沓切ニ付 五斗四升 望不申
- 一、まめ正〇沓切ニ付 八斗五升 買人なし
- 一、くり綿坂上 八両沓歩也
- 一、糸綿 三百升 沓切ニ付正〇
但手形沓切五拾八升
- 一、手形 五枚五分 正〇沓切ニ付
- 一、銭 手形沓切ニ 四百五拾文 不足
- 一、花園 五反式分かへ 正〇ニ付
- 一、銭 正沓切ニ式又式百三百文迄
- 一、手形 五枚七分五厘 三月廿四日方ニ者

三月廿八日

- 一、手形 五枚三分 少々立直り
- 一、銭 四百五拾文 手形沓切ニ
- 一、坂上 七両沓部式朱 山形相庭大キ下ケ申候
- 一、葉たはこ 円田辺一円買人なし

六拾七八把方七十沓式把迄

一、塩 沓又五百文 地塩浜方御払直段

村田沓儀式又文売、浜方御買上安直段故ニ、地塩不足
 他処塩入船有之候、米大豆下落ニ有之候へ共、塩高直
 故ニ味噌煮方不足ニ御座候、銭廻り不宜、木綿類商売
 一円なし、此節不景氣、仙在共ニ可申様無御座候、御
 城下表八屋形様為替取組、江戸表不渡りニ相成申候へ
 者、江戸問屋方不通用ニ相成、沢口・丸木・京屋外之
 店々ニ而茂、木綿類一円三下り不申、商休ニ相成居申
 候、佐藤助五郎様・なら屋八兵衛殿両家計、為替取組
 不申、御都合宜敷御座候、誠ニ利欲ニかゝわり、大キ
 ニ迷惑仕候

御領内一篇通用之手形 天保七年凶歳以来、引替御借金御遣禿ニ相成、自然引替指滞候故、追々不通用ニ相成、

一統ニ悉及迷惑候ニ付、種々御吟味相尽候へ共、面々望

次第引替之手当、早束ニ者罷成御行届兼候処、今度御藏

元炭屋彦五郎江被仰付、引替金御備之上、是迄之手形江

同人手前ニ而別段ニ裏製相張、増印之上遣方いたし、右

増印分在之手形ハ、南町御蔵元会所江指出し次第、正金

銀江無滞引替相渡候筈ニ候、増印無之手形も引替金御備

相立次第、漸々ニ増印相成候間、此旨相心得、当分同様

取交無滞通用可致候

右之通

御城下在々共ニ不残如兼而之、可被相触候、以上

天保十三年

四月四日御触出し

一、手形五枚四分 正沓切ニ付

一、手形沓切ニ四百五拾文

一、正金沓切ニ貳メ貳百五拾文

一、米沓升 四拾文方沓文まで

一、米手形沓切ニ沓斗沓升三盃方貳升五合まで

一、米正沓切ニ五斗六升位

一、三河白木綿 相銘 六反

吉野 六反六分

一、葉たはこ 正六拾五把方 望人なし

一、藍玉 正貳拾八玉方三拾四五迄

右藍玉旧冬方春ニ到り大キニ

下落仕候

一、荏油 三斗七八升 望人不足

(天保十三年)

一、京都表紅花直段存外ニ飛上り、為登商人不屈利閨ニ

相成申候、天保十二年丑年、紅花干上りハ最上紅花ハ

四五分通り之雨ニも有之候哉、南仙三分通りニ而何れ

不宜出来、高直故ニ買人も不安心ニ致候処、直段相応

参申候而、利閨ニ相成申候、寅正月方紅屋望不申、三

月上旬方大キニ人氣静ニ相成、買人不進拾五兩方下落

仕候、誠ニ紅花ハ景氣ものニ御座候へハ、能々勤弁可仕候

天保十三年寅七月紅花大キニ下落

珍敷不景氣稀成事ニ御座候

一、寅二月方御公儀様方被仰出、諸品高直格別ニ有之、

品相用申間敷義被仰出候ニ付、紅花縮糸望人無之、何

程下落仕候哉難計、追々京都表方紙面写し、其地紅花

義度々被仰聞、大キニ心得ニ相成忝奉存候、其地紅花

四五十兩位之取上りニ而、御乗合ニ買入方御相談被成

候へ共、乍去迎も左様之直段ニ而、引合不申候、当時

早場極頭もの、桶川ニ而三十兩位、右ニ而望不申候、

追々同所方案内申来り候、左候へハ、其地紅花も左様

之御見込ニ而ハ、存外高直ニ奉存候、御見合被成下候、

何れ御役金共々、百兩三駄位ならハ少々計買入申度奉

存候、何れ当年ハ紅花ハ火急売物ニ相成不申候、四五

ケ年も持越心得ならハ、手出し相成間敷奉存候、追々

諸国共御趣意嚴重ニ付、西国九州筋ハ別而嚴重、木綿

ニ而も百升方高直之品ハ、不相成由ニ御座候、依之御預り申上候古花、一時も早く相払申度奉存候へ共、老人も相手無之、甚こまり入申候

麻安様方紙面

七月十八日

寅ノ八月十八日朝御急

麻安様方仕立飛脚紙面相達申候

其御地ハ如何ニ御座候哉、此地ハ当十三日方江戸表方御

触書相達処、銀老朱并ニ草字文金真文字金通用御停止ニ

付、大混雜ニ而、誠ニ騒動仕候、両替も打銀ニ不抱引替

不申、御上様方も未夕御引替無之、取引大差支ニ相成申

候爰元も右老朱銀之混雜、亦ハ大坂表遊女町弥々新町ニ

限、外ハ一円年内中ニ御取払旨被仰出候、盆後ハ少々人

氣宜キ候へ共、亦々此頃不人氣御座候故、何れ京地も兩

三日内被仰出候、依之紅花ハ入用無少ニ相成可申哉ニ奉

存候間、御預り紅花直段も、追々下落仕候而、大キニ心

配仕候へ共、如何可有之哉ニ奉存候へ共、此度則

最上紅花

固男山 四丸 春紅 四丸

同 宮紅 四丸 おし込 廿五 両かへ

右之通亮附ニ相成申候、丑年買入直段六拾五兩五、諸掛り六拾九兩上り、紅花廿五兩かへ相払、誠ニ大損金ニ相成申候、此末々如何様ニ京都表直段、宜敷様子申參候而茂、高直之節ハ巻筒たり共買方仕候義ハ、子々孫々ニ迄茂相伝無用ニ可申置事、丑紅花損金高輕荷拾壹駄残置候而、四百五拾兩余損金仕候

天保十三年寅六月

新紅花出荷高

一、早場 六百駄 雨五分頭物三十一式兩五廿壹兩迄

手入物拾兩迄

一、水戸 百駄 雨六七分頭物三十七八兩五

廿八兩迄

一、南仙 百五拾駄沖通り七八分雨三十式兩、山根通り

四分雨三十一兩、御上様方御引替手

形五兩ニ正金五兩御取替、損金四兩

紅花干上り茂宜敷、直段格別下直ニ御座候へ共、殘金損金旁故ニ、大キニ買方ニ手おくれ仕候、追々氣配ニ相成、上花四拾壹式兩迄飛上り申候、雨上出来直段三十一式兩も仕候砌ハ、無油斷買方仕候而、一兩年茂持越候様可仕候、為登義相控、買置ニ可仕候

一、奥仙 百駄 雨六分位廿五兩五廿八兩迄

追々氣配、三十壹式兩まで

一、最上 千三百駄地廻り雨七八分、廿八兩五廿四五

兩まで、追々氣配三十三兩迄、下郷

辺者照勝ニ有之、地廻りも不足し、

中郷辺ニ而三拾八九兩まで

式千式百五拾駄

外ニ古花ニ庄内中奥彼是式百五拾駄位

式千五百駄

京都為登拾五兩かた利運ニ相成申候

寅九月相庭書

一、米今引 四拾貳文

一、新米 三拾五文

一、同大豆 卅五文

一、荏油新 五斗見当

一、錢 貳メ貳百五拾文 正〇

一、手形 正〇ニ引替五枚七分

一、手形壹切指引ニ四百文

錢買ニ三百八拾文

一、坂上操綿六両壹歩

一、

柴田郡北方村田町木綿小裂、此度直下

被仰渡候小売直段、左之通り奉申上候御事

一、花白 壹反ニ付拾壹匁貳分

壹尺ニ付五拾四文

但し御触出しニ付、是迄方壹反ニ付

壹匁壹分引下ケ申候

一、吉野白 同ニ付拾匁壹分

壹尺ニ付五拾文

但し右品同断、壹反ニ付九分引下ケ申候

一、花紺 同ニ付拾四匁貳分

壹尺ニ付七拾壹文

但し右品同断、壹反ニ付壹匁三分

引下ケ申候

一、同千草 同ニ付拾三匁四分

壹尺ニ付六拾四文

但し右品同断、壹反ニ付壹匁貳分

引下ケ申候

一、花形付類 同ニ付拾三匁五分

壹尺ニ付六拾五文

但し右品同断、壹反ニ付壹匁三分

引下ケ申候

一、並金巾 同ニ付拾七匁

壹尺ニ付八拾文

但し右品同断、壹反ニ付壹匁七分

引下ケ申候

一、花小納戸形 同二付拾五匁五分

紺中形、 壹尺二付七拾四文

但し右品同断、 壹反二付壹匁五分

引下ケ申候

一、花 黒 同二付拾三匁壹分

蒴黄

茶類

壹尺二付六拾三文

但し右品同断、 壹反二付壹匁貳分

引下ケ申候

一、卷手拭 壹本二付、 百六十五文

百五十五文

但し右品同断、 壹本二付

井文引下ケ申候

一、薄千草 壹反二付十六匁

壹尺二付七拾五文

但し右品同断、 壹反二付壹匁五分

引下ケ申候

一、紀州縞 同二付拾六匁八分

拾六匁貳分

壹尺二付八十三文、 七十八文

但し右品同断、 壹反二付壹匁六分

引下ケ申候

一、岩附縞 壹反二付廿六匁

但し右品同断、 壹反二付貳匁三分

引下ケ申候

一、伊勢縞 同二付廿壹匁貳分

但し右品同断、 壹反二付貳匁

引下ケ申候

一、残雨縞 同二付 廿匁、 廿壹匁五分

廿貳匁五分

但し右品同断、 壹反二付

貳匁貳分引下ケ申候

右之通此度御触出し候付、 直下ケ如此ニ申上候、 已上

此度被仰渡

御頭方ら獻米村田郷へ

御趣意ニ付、古着類直下ケ可仕様被仰渡、奉承知候、古

百六拾貳俵之高ニ上納右米

手之義ハ余品卜違、老品切ニ直段之相替候物ニ有之、

刈田大肝入方へ持替米ニ相成

銘々ニ可申上候様無御座候間、大町老丁目古着問屋ら仕

老俵ニ付正金老切ニ而上納候

入直段ら、是迄ハ老わり口錢ニ而売方仕候処、此度重キ

天保十三年
壬寅ノ三月十四日

御趣意ニ付、難有勘弁仕、一統吟味仕、五分口錢ヲ以商

一、米四斗五升入 拾六俵

売仕度、此段如是ニ御申上候、已上

此金拾六切也 肝入庄五郎殿上納仕候

天保十三年

市兵衛

十月

所左衛門

專吉

柴田郡村田町御百姓

文三郎

林兵衛

新五郎

一、米老石九斗貳升

專治

右之通り天保十四年分御扶持方被仰下、有難頂戴仕候

養之丞

天保十三年十二月

正次

天保十三年 壬寅十月十五日

半藏

御触申參候御定

十郎左衛門

一、正金老切ニ付、錢相庭式メ文

但し式メ文右内江ハ取引宜敷候へ共、

式メ文右外へ取引相成間敷候事

一、御手形壹切ニ付、四百文

但し四百文右高ク通用仕候事宜敷、

四百文右安クハ通用相成間敷事

一、正金壹切ニ付、御手形五切也

右の通り御触申参候処、右御趣意相守不申者ハ、嚴之御

始末ニ罷成、誠ニ御嚴重ニ御座候、御手形壹切ニ付、四

百文ハ心能通用仕候へ共、正金壹切へ御手形五枚受取候

者、追々不通用、正金受取分へ、御手形五枚持参被致、

大井ニ迷惑之事ニ御座候、正金へ御手形五枚ハ、追々不

通用ニ相見得申候

一、大豆 右同断 九斗右五升迄

一、たはこ右同断 七拾把右七十五把迄

一、粒荏油右同断 五斗右壹式升迄

十九 天保十四年商用萬控

天保拾四年卯三月相庭

追々氣配ニ相成申候

一、米 五斗三升 不足もの

一、大豆 七斗

一、粒荏 四斗

一、葉たはこ 望人なし

一、小麦 四拾式文

一、もち米五斗

一、錢 式メ百文

一、操綿坂上 七両式朱

一、さとう 卅九斤

同年十二月右御趣意ニ付、買置等者不相成訳ニ、

嚴重ニ被仰出候付、米穀大キニ下落仕、百性之

迷惑致候、田作之様子者八分通り位ニも可有之

哉ニ相唱申候

一、米 正金壹切ニ付 七斗壹式升迄

一、銘白 六反

右同断七拾壹文

一、造 六反五分

一、改千草 十五匁三分

一、正壹切ニ手形五枚ニ相定リ申候

同断七拾貳文

一、錢手形壹切ニ四百文

一、花千草 拾四匁三分

右之通ニ御座候、手形通用取極リニ相成申候へ共、何分

同 六拾七文

正金無之、錢手形計ニ而正金ニ内分ニ而、引替仕候へ八、

一、吉野千草 十三匁三分

五枚五分杯と申事ニ相成、商売も不通用ニ御座候

同 六拾貳文

柴田郷北方村田町、木綿小売直段左之通、奉申上候御事

同 七拾壹文

一、改白 壹反ニ付拾貳匁九分

黒

壹尺ニ付六拾文

一、花 萌黄 壹反ニ付

一、花白 壹反ニ付拾壹匁九分

茶 拾三匁九分

壹尺ニ付五拾六文

壹尺ニ付六拾五文

一、吉野白 同 拾匁九分

一、花 御納戸形 拾六匁五分

右同断五拾壹文

紺中形

一、改紺 同 拾六匁壹分

同七拾七文

同 七拾五文

卅匁五分

一、花紺 拾五匁壹分

一、両面 卅貳匁五分

卅五匁

老反二付

一、地両面

拾六匁七分
拾五匁七分

一、真岡花色

拾七匁五分
卅式匁五分

老尺 八十式文
百五文

一、紺織色

卅匁五分
式拾三匁五分

同

九十六文

百拾文

一、葎形付

拾式匁七分

五拾九文

一、並金金悉

拾八匁七分

八拾七文

一、卷手拭

卷本二付

百四十五文

百五十五文

百六十五文

一、紀州嶋

老反二付

拾七匁八分

拾八匁五分

老尺二付八十三文

八十六文

一、岩付嶋

同式十式匁

一、伊勢嶋

同式卅式匁

卅三匁八分

同卅三匁七分

一、残雨嶋

式十四匁八分

古手

此度被仰渡

御趣意ニ付古着類、直下ニ可仕様被仰渡、承知仕候、古

手之義ハ余品と違、老品切ニ直段相替申候物ニ有之、

銘々可申上様無之御座候間、大町老丁自古着問屋方仕入

候直段ら、老割口錢を以商売仕度、如斯奉申上候、以上

右之通書上仕候、已上

平藏

庄七

林兵衛

專治

新五郎

文三郎

專吉

所右衛門

市兵衛

天保十四年

四月

天保十四年癸卯四月

御上様より被仰出候事

御上様御金操御迷惑被成置候付、御蔵入并ニ御地頭様方
三ヶ老のお手伝代之分、先納被仰付、在々村々蔵場納表、
老儀ニ付正金壹切ツツ、相納候様被仰付候処、正金不足
之処江、手形ニ而ハ上納相成不申様、嚴敷被仰付候得者、

在々大キニ難渋致候、元來御上様手形通用、不通ニ御座

候得者、此未不都合無之様ニ、手形壹切錢ニ而四百文五

枚ニ而、正金壹切迄ニ通用被仰付候処、手形ニ而ハ不相濟

義、申被渡候へハ、人氣悪相成、不通用ニ相成候様子ニ

御座候

天保十四年癸卯六月諸相庭

一、米 正金五斗 六月始メ方雨天冷氣続ニ而、米望

人一切無之、追々引心付ニ御座

候事

一、大豆正金五斗位 何分不足物ニ御座候事

一、小豆 貳拾八文位

一、御手形壹切ニ付四百文

一、正金壹切ニ付、錢貳又文

但し右御定メニ御座候へ共、内証ハ式又貳百文位

様子ニ、左様ニ正〇ほしき者ハ式又三百文迄御座

候

右之通ニ御座候処、春中の方段々正金不足仕、正二月時分

八正金壹切へ御手形五枚貳分位ニ而、内証取引ニ御座候
三月四月時分ハ五枚五分位ニ御座候 五月ノ追々下落イ
たし、五枚七八分迄引替ニ罷成申候 誠ニ大迷惑ニ御座
候事

内証正〇壹切ニ付、御手形五枚八分

五月五六日ノ御上様方御手伝方先納、并ニ御年貢先納、
正金を以上納仕候様被仰渡、俄ニ人氣悪敷、九日時分ハ
六枚半迄引替御座候、其後先納金上納済ニ罷成候へハ、
少々心能罷成、五枚七八分通用仕候

天保十四年癸卯、土用六月廿三日紅花

沖通り、廿五日盛、山根通り廿七日方盛ニ相

成候様子、大丰冷氣故ニ後れニ相成候

一、一盃生花 三分五厘方貳分五厘迄

一、足立水花 初直四分五厘

天保十四年卯六月廿六日

大凡出荷高見当

一、桶河 貳百駄位

一、古河 三拾駄も可有哉

外ニ上州 五駄 〆三十五駄

一、水戸 百五拾駄

一、南奥仙 三百駄

但し奥仙百駄 南沢 貳百駄 半

一、最上 千貳百駄 地廻り四拾五両 松沢五十五両

〆千八百八十五駄

天保十四年卯七月壹日書上

柴田郡北方村田町木綿小裂小売

直段、左之通奉申上候事

一、改白 壹反ニ付拾貳匁四分

尺ニ付五拾七文

一、花白 拾壹匁四分

尺ニ付五拾三文

一、吉白 拾匁四分

尺二付四拾八分

尺六拾貳文

一、改紺 拾五匁六分

一、御納戸方 拾五匁五分

尺二付七拾貳文

一、こん中形 拾八匁迄

一、花紺 拾四匁六分

一、両面 拾八匁五分⁵

尺二付六拾七文

廿五匁迄

一、改千草 拾四匁八分

一、地両面 拾六匁七分

尺二付六拾八文

拾七匁五分迄

一、花千草 拾三匁八分

一、真岡花色 尺八十貳文 拾七匁五分

尺二付六拾三文

〃百五文 廿貳匁五分

一、吉千草 拾貳匁九分

拾九匁

尺二付五拾九文

一、紺織色 拾九匁五分

一、改形付類 五拾五匁四分

廿三匁五分

尺七拾壹文

尺 九拾文

一、花 同 拾四匁三分

尺 九拾六文

尺六拾六文

一、萩形付 拾壹匁八分

黒

拾貳匁七分

一、花もゑき 拾三匁四分

茶類

尺五拾五文
五拾九文

一、并金内黒(マ) 拾八匁七分

尺八拾七文

卷本二付 百四拾五文

一、卷手拭 百五拾五文

百六拾五文

拾七匁八分

拾八匁五分

一、紀州雨

尺 八拾三文
八拾六文

一、上嶋類 卅壹匁

貳拾貳匁

卅五匁迄

一、残雨 拾九匁

貳拾三匁七分

貳拾四匁八分

天保十四年卯八月十一日檢断方

過金合質利足左之通り

一、金拾兩已下八 壹ケ月

拾兩壹歩之利足

一、金貳拾兩已下八 同

拾五兩壹歩之利足

一、金三拾兩已下八 同

貳拾兩壹歩 利足

一、其余八被相定候通り貳拾五兩壹歩之利

一、錢貸之分八百文二付三文利

右之通被仰渡候間、右其心得取引可被成候、此段如斯二

申渡候、以上

天保十四年卯八月十二日

質物利足之義被仰出候事

一、金拾兩已下八 拾兩江壹歩利

一、金貳拾兩下者 拾五兩江壹歩利

一、金貳拾兩已上者 卅兩江壹歩利

一、錢百文江 三文

右之通被相触候処、莫太高利ニ御座候間、末々右様之利

足二而御座候ハ、御上様方御用金ニ而も被仰付候哉、心配仕質物預り候義、遠慮仕候様ニ御座候、然ル所、刈田郡白石町方願上候ニハ、段々御百姓先納旁ニ付困窮者、質者等預り先納仕候処、右高利相かけ候故、御迷惑仕候間、困窮助ケ之為、是迄之通、式拾両へ老分割、百文付、老文半ニ被成下度願申上候処、御下知被成下、是迄之通取引罷成候、卯壬九月末ニ御下知候事

天保十四年卯八月

紅花出荷高左ニ

一、桶河下總取合 三百駄

直段買花六拾両、惣雨ニ相唱候へ共、出来不宜候

一、水戸 豊作 三百駄

直段六拾四両方下四拾後兩位迄、雨上出来

諸国方わり合恰好ニ買上り可申候

一、南仙 六十四両方
五拾三兩位迄 百五拾駄

但直段四百五拾、四百八十九目迄、柏木町・大

谷・大河原・川筋通り四分五厘五分の雨照り方、寅年方出来不宜候、凡寅年方三両かへもあしく相見得申候、山根通り式分通も雨ニ御座候哉、五百升目三十目ニ相捌キ申候、右江御役金三兩三步相掛り申候

一、奥南部 百駄

但し式分通りも雨ニ御座候哉、寅年方八老わりも

不出来、直段三十八両方四拾三兩位迄

一、最上 照花 千駄余

但地廻り三十六七両方下郷ニ而五拾両、中郷八四

拾五兩位、何れ照花ニハ御座候へ共、中郷八出来

宜敷候

式千駄

右之通ニ御座候、江戸表御趣意御敵重ニ御座候由、承知

仕候而、右高直ニ買取候義ハ、寅年利運ニ心ひかれ、御

趣意ニ乍恐買取申候、誠ニ心配之事ニ御座候へとも、寅

年之御趣意敵敷御座候所、思之外ニ京都表直段能売捌キ、

利運ニ相成申候、故ニ若哉御趣意も薄相成候事も可有之

候、猶

天保十四年卯十一月三日諸相庭

一、米 三拾五文 出石不足ニ御座候

一、大豆 貳拾八九文

一、小豆 貳拾四文

一、荏油 四斗五升

一、正金 錢貳メ百文

一、御手形四百文

一、正金壹切ニ付、御手形五枚三分

右之通取引御座候、御手形壬九月始メ迄ハ、五枚五分位

ニ御座候処、段々御年貢諸上納ニ就而、御手形不足ニ罷

成、五枚三分ニ而御手形不足之様子、是非入用之者ハ五

枚貳分五厘位引替申候、在々指引、御手形四百文ニ御座

候へ共、右不足ニ付、御持參仕、御手形売呉候様、申聞

候へハ、四百拾文方四百廿文位迄取引仕候

卯十二月始メ

一、米 六斗

一、大豆 三拾文

一、小豆 貳拾四文

一、荏油 四斗五升

柴田郡村田町御百姓

林兵衛

一、米壹石七斗七升五合

右之通り天保十五年分御扶持方被渡下、難在奉頂戴候

已上

天保十四年卯紅花京都直段左ニ

一、南仙 頭もの 七拾五兩方六十式兩位

一、最上 頭もの 五拾五兩方三十九兩位

一、奥仙 同断 五拾九兩方五拾兩まで

一、水戸 頭もの 七拾三兩方五拾八九兩

一、早庭 同断 元より高直段故ニ売買なし

右之通ニ御座候処、荷数貳千駄之内、破舟難舟困花ニ而

三百駄、早庭三百駄、都合六百太も荷不足ニ相成候事ニ御座候得者、直段も立直り可申奉存候へ共引立兼候、元来寅年方品老わり方見落、猶また直段も高直ニ買上候故ニ、荷主弱氣ニ有之、売捌候処、漸々利足なしに元金位ニ而相捌キ申候、当年ハ破舟旁ニ而、荷主損金ニ相成申候

天保十五年辰新花直段左ニ

惣雨

一、早庭 四百五拾太

銘もの 九拾兩方五拾兩迄

惣雨

一、水戸 三百駄

右同断

一、南仙 百五拾太

一、奥南部百五拾太

一、最上 九百駄

但七百太位ニ見当仕候所、追々荷高ニ相成、如此

ニ惣照花ニ御座候、地廻り三十五六兩之所、追々引立申候、四拾兩位迄、松沢・藤助新田五拾五兩迄致候

南仙・沖通り二三三分之兩、白河辺方山根通り八五六分の兩二千上り申候、直段四百六拾目方四百八拾目五百五拾目にて、山根六拾式三兩位ニ御座候水戸早庭ハ直段高直ニ御座候得共、雨上出来ニ御座候間、仙南最上ノわり合方恰好ニ相見申候、然ル所京都表之間屋方江南奥・最上惣照之上、荷不足之様に照統にて、所々方案内在之二付、左候得ハ、水戸・早庭直段高直ニ而も、買入可申思惑にて、大イニ直段へ引、水戸・早庭十五兩方式拾兩位迄、利運ニ罷成申候、追々奥羽之紅花京着仕候所、存之外出来も宜、其上荷高相応之出来ニ相成、追々下落ニ罷成、最仙共高上り之場所ハ、少々損金ニ相成申候、何れ早売之衆ハ利運ニ相成申候

天保十四年卯十二月十日

一、米 五斗八升

一、大豆 三拾壹文

一、葉たはこ上物 六十五把 出来不宜候

一、錢 式メ文

一、小麦 三拾式文

一、大麦 壹石式斗

卯十二月十六日

一、米 五斗五升

一、大豆 三拾六文

跡八別而相變儀、無御座候事

天保十四年

柴田郡北方御村之土産之染藍并ニ紅花、先年之通り御定

之役金上納仕、仙払他所払出共ニ勝手売捌候様被成下度

儀ニ段々願上置候所、染藍之儀ハ、先年之通り地元勝手

ニ売捌、他所出共自由ニ被成下候旨被仰渡、難有承知仕

首尾仕候処、小前之者共迎も御随難と被存罷有申候、

紅花之儀ハ未夕御吟味中トハ奉存候得共、最早出盛ニも

罷成申候処、尚当御年貢之内先納方ニ付而ハ、一村紅花

払金引当ニ向寄金子之者共、夫々手配繰出借用仕皆納仕

候儀ハ、御承知も被成下候通御座候所、御当年之儀ハ御

觸出ニ付而ハ、御切替ハ有御座間敷ト奉存候得共、去年

まで之通り、御国産方御取引ニ而ハ、窮屈之方ハ他所商

人共入組不申、自然買人無御座直段下落仕、地元痛不輕

儀ニ御座候間、如先年之地払并ニ他所出し共、自由ニ被

成下度候様、御吟味被成候度、小前之者共申出候間、一

統打寄吟味仕候所、乍恐於上ニ被為遊御窮迫候ニ付而ハ、

近年御借米并ニ献米等被仰付、下々まで一統指廻し居候

折納、^(天)尚亦当志納被仰渡候所、右ニ付而ハ、別而被仰渡

御趣意も御座候間、御承知も被成下候通、拙者共昼夜寝

食忘レ夫々金配割金仕候、皆納仕候得共、前書通り御国

産御取引被成候儀ニ而ハ、下落生候儀ハ見得渡候かの儀

ニ御座候間御定之御役金上納仕、自由売捌候様、御吟味

被成下度奉存候、第一他所商人入組不申候而ハ、正金手

取可申様無御座、先納へ他借仕候金子返済覚詰無御座候、

尤も先納方斗三不限、当作立之儀ニ付ハ、是又別而被仰渡候御趣意も御座候間、夫々拙者共手配ニ而指略仕候、困難之者共へハ、他所人雇金まで相渡手余り等不相出候様吟味仕候所、当年迎も上方商人下り不申候而ハ、弥増下落仕一統難立続、地逃離散も無心元、左様へハ、拙者共勤仕も相立不申、何程御世話被成下而も、地元痛迷惑之間、御吟味不被成下候而ハ、乍恐御当も無御座候譯与奉存候間、如願之御取詰御吟味被成下、一統安堵農事江出精榮統仕候様御吟味被成下度、拙者共連名ヲ以如此ニ申上候已上

天保十四年

舟廻肝入

伝十郎

六月

同検断

清治

入間野肝入

吉弥

槻木町検断

清七

か三原場肝入

十郎右工門

上馬名村肝入

新右衛門

富沢村肝入

市郎兵衛

入間田村肝入

久吉

成田村肝入

半左衛門

当今村肝入

吉郎治

御原方肝入

周治

足立村肝入

利右工門

菅生村肝入

儀右工門

同 肝入

検断

庄五郎

栄七

葉ね村肝入

な倉肝入

平間藤吉

喜沙治

五名村肝入

小野村検断

真壁新七殿

植野三太郎

勇七

村川村肝入

天保十四年

久治

天保十四年卯春味噌造方上り勘定

川崎町検断

一、大豆五斗入 拾八俵

常吉

五斗五升

新右工門

正金 拾六兩三分六厘三毛

いせ谷村検断

但し寅冬九斗直段大きニ引下り

長四郎

如此

村田町検断

一、米四斗入 拾俵ト壹斗

十郎左工門

五斗かへ

同

正金八切ト四百四拾文

勘右工門

但し糶米四斗五升遣不申候而ハ糶六斗出来不申ニ

付、如此米も旧冬者七斗迄直段仕候処、春ニ相成

大引下御趣意ニ付都而大きニ下落仕候ものと相

見得申候

一、四メ百文 右糶仕ちん 壹升拾文

一、金拾切ト七百廿文 塩拾八俵

壹俵銀八匁六分

一、薪木 三百本

此金貳朱也

一、人足 壹俵壹人 十八人

壹人貳百文

此錢三メ六百文

惣

金三拾四切八分六厘三毛

此錢七百九十貳文

錢九メ六百五十八文

貳メ貳百文壹切

此金四切ト八百五十八文

直し

金三拾八切貳朱ト八百五十八文

右味噌

一、七百貳拾メ目 出来見詰

壹切ニ付

拾八メ五百目上り

卯年

一、大豆 五斗

六五かへ

此金七分六厘九毛

一、塩 貳斗也 但し壹俵見詰

塩四合割外ニふり塩貳升入

此金六分

一、米貳斗五升 但し糶六合割

五〇 此金貳朱也

一、貳百五拾文 右者火込壹人

一、百文 薪木代

一、百五拾文 糶仕ちん方

金壹切八分六厘九毛

代五百文

直し式分五厘

合 金貳切壹分壹厘九毛

但、五斗煮四拾貫匁出来之見当ニ御座候得共四拾貳貫

匁位迄出来申候事

壹切ニ付拾八メ八百六拾匁上リ

壹升目形五百五拾目

一、味噌壹斗 水 壹斗

一、塩 壹升 又壹斗五升入時ニハ塩三升

天保十四年

相達候訴状之写

天保拾四年相達候

訴状之写

御分領中質屋渡世之もの、取引利足之義、分段被立下被

仰渡候通ニ御座候処、安利足を以取引仕候様被成下度、

刈田郡ニ願申上、願之通御下知被仰渡為承知申候、御

下知卷被渡下候所、柴田北方迎も質貸与金貸と分段被立下候以後、質之取引一円与申程取引無御座、仍而質屋之もの共、并困窮借人共ニ、双方迷惑ニ相及候二付、内々申合、被仰出候以前之通を以取引致居候事ニ申出、不引合之事ニ者御座候得とも、兼而困窮もの共、質物取引仕候ても、前々より之情合を以取引仕候儀ニ而、勘弁も不仕、高利ニ而者弥々指廻し申儀ニ有之、当年之事ニ仕候而者、諸上納金代も、御同割を以被召上候ニ付而も、小前作もの出盛前之事ニ而、質物取引之間、利足之勘弁も不仕候得ハ、難成義理合も有之故、御趣意を背上候訳ニ者無之候得共、金貳拾兩ニ付壹ケ月金壹歩之割、錢貸之分百文ニ付壹文半之割合を以取引仕居候間、此末共ニ右様被成下候ハ、借人も無遠慮双方内勝手ニ相成、難在仕合ニ奉存候間、刈田郡同様ニ被成下度、質屋とも申出候段、肝入検断共申出候間、是迄自分利下ケ取引仕候義者御免被成下、此末前書之通、金貳拾兩ニ付壹ケ月ニ壹分、錢貸之分八百文ニ付壹文五分之割合を以、質物取引仕候様、御吟味被成下度奉存候、如願之不被成下候而者、

小前困窮のもの共、金銭不通用ニ而諸上納ニ迷惑仕候段
ハ、村々肝入とも口上ニ而も申出、町方ニ而者借人不足ニ
而迷惑仕候事ニ申出、如願之被成下候得ハ、双方程能通
用ニ罷成候得ハ、諸上納もの進々も可相成与吟味仕、右
之段申上候条、早速被仰渡候様被成下度、如此申上候
以上

柴田北方大肝入

真壁新七

天保十四年壬九月

木工之助様

右之通御代官申処、刈田同様之取引ニ仕度由ニ而、外ニ
指障り罷成候筋茂無之候間、一応御承知之上、首尾仕度
老卷指添相達申候、以上

閏九月廿三日 矢野丙吉

笠原一学

同廿五日

同判 豊前方

同判 一学方

同廿九日

御郡奉行衆

十月二日 矢 丙吉

御代官衆

二〇 天保十五年商用萬控

天保十五年甲辰正月

一、同春二月二日晚方三日大風致候処、当所ハ痛も無之
候処、高森山之辺方松木風返しニ相成、小泉村ニ而
家三ヶ処家風返、其外ニも破損等ハ数々、沼部、
関田其外之村、大河原町家数々風返リニ相成申候

天保十五年辰八月京都表

紅花捌キ口

一、早庭極雨上出来 三百駄

頭物百両方七拾兩位迄

凡式拾兩位利運ニ御座候

一、水戸極雨上出来 三百駄

右同断

一、南仙照勝ニ出来 百五拾駄

雨掛リ宜敷処ニ而五分通ニも御座候哉、頭物ニ而拾

兩位利、落物元金ニ相成申候、八拾五兩五六十四

兩位まで

一、奥南部照勝 百五拾駄

是漸々元金ニ相成可申哉

六十四兩五五十五兩まで

一、最上照花 千駄

極買方宜敷処ニ、五兩位利

五拾五兩五四十式兩位まで

右之通八月五九月廿日方迄、右直段ニ御座候処、追々下

落仕候而、十月廿日方ニ八拾兩位安直段ニ罷成、望人無

之当惑仕候、誠ニ京地直段宜敷風聞ニ付、後買之分損金

ニ罷成申候

天保十五年辰二月十九日

味噌煮込勘定扣

一、桶五尺一本江

一、大豆五斗入 拾六俵

六斗直段旧冬八七斗五六斗八升まで

此金 拾三切三分三厘三毛

一、中白米四斗入 田専方ニ而入方

五俵

但し玄米式石五升見詰

五斗直段旧冬八五斗八升位、此節四斗七升此金 四切

壹分

但し糶ニ而米壹俵江五斗四升六分

此糶式石七斗三升請取、三わり五分増

一、壹メ六百文 米式石糶仕ちん壹升八文

一、三百三十五文 壹俵六十七文附ちん

此金九分四厘四毛

糶方合

金五切四厘四毛

糶壹升銀ニテ式分八厘八毛上ル

一、玄米貳石 四斗入五俵 平治殿遣し

式わり糶四斗八升請取、仕ちんなし

此糶貳石四斗也 老升貳分五厘

此金四切也

一、大豆 老石貳斗也 老石煮老本二

外二小桶江入分

此金貳切也

一、中白四斗入 貳俵

此玄米八斗二升

五〇 老切六分四厘

此糶老石八升

糶六石貳斗老升

引 内糶四斗也 ためり二用

五石八斗老升六合三夕当ル

一、四百文 中白八斗之内三斗引

残り五斗糶仕賃へ

一、老メ百五十五文 薪木五斗入煮

廿五本見当四百六十二本

一、四メ六百廿五文 老俵老人掛り拾八人半

貳百五十文わり

金直し 三切九厘

一、拾切八分 塩三石七斗

三拾九切九分七毛 拾八俵

味噌貫目出高五斗煮四拾メ目見当

拾八俵半分七百四拾メ目

金老切二付拾八メ五百目上り

天保十五年春ためり造り覚

一、大豆 三斗

六斗此金貳朱也

一、糶三斗九升 大豆江三わり増

五 此金六分六厘 但米三斗三升遣し

式わり糶之見当

一、塩 貳斗貳升七合七夕 大豆糶江

三合三夕つもり

此金六分

一、水 六斗式升壹合 大豆糲江九かけ

一、壹分 薪木四拾本人足分

右造方八籬屋殿造方より水かけ之処九かけニ致候得者、

水六升九合位ニ相入候所ニ塩七合七夕相増し申候、此も

ろみ壹石位も可有之候哉、六分たりニ致候而たまり六

斗位相出可申哉、凡壹盃銀壹分式厘見当

〆壹切八分六厘 此銀廿七匁九分

卯十二月廿壹日

一、米 五斗三升

余品八相変儀無御座事

天保十五年辰ノ正月十一日

一、米 五斗

一、大豆 三拾式文

余品相変儀無御座候事

天保十五年辰ノ二月六日

一、米 四斗八升

一、三州白相銘 六反壹分

一、造白 六反七分

一、間新白 七反五分

一、錢 貳又文

一、御手形 四百文

一、御城下表正金御手形引替五枚壹分

在々八五枚ニ御座候

辰ノ三月壹日

一、米 四斗七升

余品相替なし

同三月廿壹日

一、米 四斗六升

一、大豆 三拾文

右同斷

同四月十一日

一、米 四斗五升

右同斷

五月中冷雨仕候而、米四斗四升ニ而買人計之様ニ御座候、乍去、六月十一日より快晴ニ罷成、又々下落仕候

天保十五年

辰ノ七月十壹日

一、米 四斗六升

一、大豆 貳拾八文

一、大麦 壹石位

一、小麦 貳拾六文 大キニ下落、買人なし

一、錢 貳又文ニ而大キニ不足

一、正金大キニ沢山ニ御座候而、御手形到而不足ニ罷

成候、正金持参仕、御手形替呉候様申参候得共、有

合無之、替不申候

天保十五年

辰ノ八月壹日

一、米 四斗七升 今引売買八四斗六升ニて売申候

一、大豆 貳拾八文 何分買人計ニ而買置之者者こまり

入申候

一、錢 壹又九百五拾文

一、御手形 四百文

錢壹九五三相成候故、正金不足御手形計持参仕候様ニ

相成申候

一、御手形引替 五枚 御城下八五枚五厘

七月市八九日

山形表綿相庭

一、現金 七兩壹分

一、大廻り 六兩三切貳朱 但し是八手金三兩七兩まで

是八手金七兩貳分通

七月廿八日方々

辰八月壹日方まで

山形表綿相庭左ニ

一、現金 七兩壹分 品不足物

一、大廻り 六兩三分貳朱 是八手金七兩貳分七兩まで

是八手金貳兩貳分

一、玉砂糖 三拾四五斤

一、蠟 望人なし

外品相替儀無御座候事

右大廻り売人有之商内相成候処、三月方も雨天有之、弥

天保十五年

買入沢山ニ相成、大キニ引立、五日方も引合左ニ

辰ノ八月十六日

八月五日 七両拾貳匁

一、米 四斗三升

是八手金三兩十月晦日本紙

一、大豆 三拾文

八月六日 七両壹分

一、小麦 貳拾九文

是八手金三兩 十月廿日本紙

一、錢 壹匁九百五拾文

八月七日 又々引合

右之通追々米穀引入申候、田畑作七月末八月始又ニ大風

七両壹分貳朱方

雨当り候而、六分位ノ作合ニ罷成追々引入申候

買人にも何程と言相定り不申候

同年同九月朔日

此後追々引合

一、米 四斗

一、大豆 三拾壹文

八月十六日方

一、小豆 四拾五六文

八両位 其後八両貳朱

右八大欠作にて、百性方ニても手前遣位之外

現金 八両壹分貳朱まで

取不申如此

右ノ通り大キ上ケニ相成候処、其後上方紙面九月二日、

天保十五年

一同着致候処、彼地も三メ貳百匁見当様子参り、大キニ

辰ノ九月廿壹日

引緩ミ、現金八両壹分貳朱之処、八両ニ相成申候、大廻

一、古米 三斗九升

りも右ニ順し引下ケ申候

一、新米 四斗壹升

一、大豆 三拾菴文

一、小豆 四拾五六文

一、錢 壹メ九百五拾文

同年

十月朔日

一、新米 四斗

一、油 四斗

余品先ニ同断

一、御手形拾五枚 在又五枚ニテ御手形不足様子ニなり、

三拾文位正金へさし、御手形五枚迄

兩替呉候様杯と申者参り申候

天保十五年辰ノ十二月十六日

一、粉 五斗入菴俵

肝入庄五郎殿方

右ハ石生御蔵江新備被仰渡、相渡申候、

組頭巳之吉殿参り、夫本町太郎右工門殿へ渡

右沢ケ柄ハ、先年村田町株式之者共、哥印始メ、右石粉

石生ノ御蔵江相納、村備ニ御郡方迄相達、備置候処、

天保四年巳不作并ニ同七年申年大凶作ニ付、村役付之旁

自由ニ仕、餘潰^(カマ)シニ相成、且つハ借人之者飢饉、就てハ

死荒退散ニ相成候故、御役付方も是非ニ備初之義ニ御座

候得ハ、御上様へ相達不相成、御見分之節ハぬか、あわ

から杯俵ニ仕相納置、漸間ニ合置候得共、追々右様ニ有

之而ハ難相成、依之而肝入方願ニ付、壹ケ年計菴俵承

知致し相濟申上事

天保十五年ニ而改元ニ相成

弘化二年巳年改

大坂表初相渡

極菴つ撰

一、御物丸印松霜黒

十四匁八九分

一、同 船手向キ同

十四匁三四分

極菴つ少く

一、御物大嶋黒砂

十四匁六七分

初雪印

一、新浜白砂糖

廿四匁五分

一、同天光印

廿三匁五分

一、金六十三匁九分五厘

辰十月十六日

一、米

四斗

一、油

三斗八升

一、大豆

五斗貳升

一、錢

壹匁九百五拾文

辰十一月壹日

一、米

一三斗九升

一、油

三斗八升

一、大豆

五斗

一、葉萩

上物四拾把^〆五十迄

辰十一月十一日

一、米

三斗八升

一、大豆

五斗

一、葉萩 四拾^〆五拾迄

廿一日相庭

一、米

三斗七升

一、大豆

四斗九升迄

一、小豆

四拾五文

右大キニ引上リ

十二月壹日

一、米

三斗六升^〆五升迄

一、大豆

四斗八升迄

四月十一日

一、米

三斗五升 大キニ引上リ

四月十六日

一、米

三斗六升 右同日^〆引緩ミ如此

同廿一日

一、米 三斗七升迄 次第ニ米出来大キニ引緩ミ如此

右之通米引緩ミ候処、又々引緩ミ可申候候処右ニテ納メ

申候

正月相庭

一、米直段旧冬同様商内無御座候、併し壹升口直段よろ

し

二月同断

三月壹日

一、米 三斗五升

一、大豆 五升五八升迄

一、葉萩 望人なし

四月相庭

一、米 三斗四升五合

一、錢 壹メ九百五拾文 錢不足

一、油 三斗壹升 白石にて

五月壹日

一、米 三斗四升

十六日相庭

一、米 三斗三升 但し市中相庭三斗四升

一、葉萩 引上り

上物三拾把五四拾把迄

五月廿一日

一、米 三斗貳升五合 大キニ引上り

一、大豆 望人なし

一、葉萩 上物三拾把五五六把迄 (ママ)

六月十一日

一、米 三斗貳升

一、錢 壹メ九百五拾文

右大キニ不足、壹メ九百文ニても無之、大キニ

不自由ニ御座候

十六日相庭

一、米 三斗壹升五合 米不足売人なし

山形相庭

六月十五日

一、操綿 七兩壹分三朱

七月晦日ニ取引

一、同 七兩壹分貳朱

貳兩貳分通

六月晦日取引

六月晦日取引

一、蠟 望人なし

一、塩 三分九匁拾匁まで

同晦日差引

公義が被仰出二付江戸表を写し書趣を以

大目附江

馬喰町御用屋敷取扱御貸附金之内、拝借後利納五力年

二不到分八、五ヶ年納済之上、此度之御手法ニ可被成下

旨、先達而相達置候へ共、右之分共々去寅年ヲ限、半

高弁損ニ、残半高無利足年割上納之積、被仰出候事、

一、惣躰半高弁損被成下候ニ付、向後納方之義も、右ニ

準シ是迄之半高たるべき候事

右之通被仰出候間、以来不納不相成候、尚委細之義ハ、

戸川播摩守、柳原主計頭、佐々木備輔可相談候、

右之趣向々々可被相触候

大目附江

近年以来諸向追々及困窮可為難義ニ付、品々御世話も

有之候へ共、累年借財有之輩、容易ニ勝手向元直出来兼

候哉ニ付、今度為救厚キ思召を以、公義諸御貸付御仕法

替之上、蔵宿貸出金年賦済方被仰出候処、世上金銀出入

茂元来相对貸借ニ候上ハ、裁許ニも不及事ニ候間、唯

今近々分此節ヲ限り、裁許不申付、自今貸出し分ハ、

前々之通取上可及裁許候、勿論買掛り諸職人作料手問賃

等ニ到まで同断之事、

但只今迄取上裁許月限等申付替候分も、向後済方奉

行所ニ而取扱間鋪候、

一、金銀利足之義ハ、去ル寅年相触相達候、弥々相心得

世上融通方第一ニ心掛、諸国共々無指支実意ニ借貸可

致、右利足之外、品々名目ヲ付、多分之雜貰取之義、決

而致間敷事

一、金銀貸借之義、年古キ義ニ而も相互ニ実意を以、対

談致候も容易ニ出訴裁許請候ニも不及、右ハ双方不実方

多クハ猥ニ出訴ニ及候義与相聞及候。

此度相对済被仰出候上ハ、諸事寛政九年金銀出入之義ニ

付、相達候通り、厚キ相守実意ヲ尽し取引可致候、奉行

所江出訴不相成ヲ見込、弁損可致扨ト心得、又ハ欲心

ヲ以事を巧ニ出入ニ及、或者利徳而已抱り候出訴之類ハ、

何レも不埒ニ付、吟味之上急度可申付事

一、以来濟方可申時分申渡候、金高不足致、每度不束ニ候ハ、糺之上訖度可及沙汰候事

右之趣在町共可被相触候、己上、

天保十四年

卯十二月十五日

右之通可被相触候上、右書付土井大炊頭様御渡し候旨、大目附松平豊前殿御達ニ御座候、

十二月廿九日

左衛門

豊前

大藏

和泉

御目附中

右之通被仰渡候間、各其心得御同役衆御支配不申及、兼而被相通衆へ可被相触候、江戸他国詰等之衆者、留主居留置候首尾可申候、己上、

大河内源太夫

天保拾五年

申正月二日

真山慶治殿

右之通申来候間、各其心得并ニ支配有之輩ハ支配中ニも可被相通候、己上

正月

真山慶治

御名殿

二一 弘化二年商用萬控

弘化二年己七月諸国

紅花出荷高控

雨上出来

一 早場 凡七百五拾駄

極上物七拾兩方

六分雨

一 水戸 凡六百駄程

名物外

極上物五百七拾目

中頭 六百五拾目

下物 七百目^ろ 九百目

沖通り式分雨 山根五分雨

一 南仙 式百五拾太

四百五拾目^ろ

右同断 南部合

一 奥仙 式百五十太

三拾五六兩^ろ五拾兩迄

地廻り照花 中郷二三分雨 下郷五六分雨

一 最上 八百太位

式千六百五十太

弘化二年乙巳七月米穀相場

一、米 式斗八升

米穀追々高直、全縣五月一盃大照統^(V.A)キ、六月も照統

キ、間ニ少々ならて八雨無之為、田植方水不足ニて大

困り、天水之場所ハ無仕付、水不足之場所ハ、御上様

方御出張、沼部・関田村へ村田町之用水もかなり、村

田町へ間に合候位ニ致候、沼部・関田へ持参致し候而

も、中々引届キ兼、土用三日後迄田植仕候間、右後れ

田植え場所ハ作合致而不足、人氣追々悪敷御座候

所へ、七月廿八日ニ大風雨夥敷、大洪水ニ相成、右ニ

て作合進も不作之見当ニ相成、米穀引入申候

八月杓日

一、米 式斗六升

一、大豆 四斗三升

八月十一日

一、米 式斗五升

一、大豆 四斗三升

八月廿杓日

一、米 式斗四升

一、大豆 四斗

巳九月杓日

一、米 式斗三升

一、大豆 四斗

一、小豆 三斗四升

九月十一日

一、米 貳斗貳升

一、大豆 三斗八升

一、錢 貳メ分

但し御上様御定ハ貳メ文ニ御座候へ共、

正錢売買ハ壹メ九百文

巳ノ九月十四日

御触出し左之通り

一、正金 壹切ニ付御手形四枚也

一、錢時庭ニ御触出し

一、錢壹メ六百八拾文 村田町市中相庭

右之通御定ニ相成、同十四日より取引仕候

巳九月廿六日

一、米 貳斗壹升

一、大豆 三斗七升

一、錢 壹メ六百八拾文

巳十月壹日

一、米 貳斗五合

一、大豆 三斗七升

一、荏 貳斗五升

一、錢 壹メ六百貳拾文

但し手形壹枚四百五文

同十月廿六日

一、米 貳斗

一、大豆 三斗六七升

一、錢 壹メ六百文

同十一月壹日

一、相庭 別而相變不申候

巳ノ十一月五十二月迄

一、米 貳斗 取引過不足無し

一、大豆 三斗七八升

是ハ沢山ニ御座候、自然引緩候様子相見得申候

一、荏 貳斗四五升

右之通取引御座候処、押詰迄相庭相變不申申候、当年ハ

清酒造り、一郡一軒ニ被仰来候故歟、米不足ニも無之候

へ共、違作不出来故、引上ケ候故ト相見得申候

丙午正月

一、相變別而相變不申候

二月

一、米 壹斗九升

一、大豆 三斗九升五斗迄

是八出高多分、是頃引下申候

一、〇 壹メ六百文

三月

一、米 壹斗九升

一、大豆 四斗 買人なし

一、御手形 正金江取替打壹歩ニ付拾五文迄

一、〇 壹メ六百文

四月

一、米 貳斗也 引緩申候

一、大豆 買人なし

一、手形引替 貳拾かへなり

一、錢 同断

一、古小豆 三拾五文

五月壹日

一、相變なし

乍恐口上書を以申上候御支

柴田郡村田町御百姓紅花買方、上州商人正七・林兵衛義、当月上旬之頃、羽州山形商人村井誰と申者共、川崎町へ指越、紅花買方致候由ヲ、案外之高直ニ買入、商人迷惑之筋ヲ不歎、不都合之買方振杯与申而、地所商人買方等指留、為夫ノ紅花売捌ケ不申、追々下落ニ相成不悦事ニ相聞、如何様之勘弁ニ有之候哉、其段委曲可申上旨御聞届之段奉承知候、山形商人村井清七与申者、去月下旬之頃、川崎町ニて紅花買方仕候義ハ、風聞とて御承知仕候得共、代人誰与申者ニ買方仕候義も、一円相知不申、対面等も不仕、買方相場扣之義ハ毛頭無御座候、右様御聞糺ニ罷成候義、誠ニ恐入御義ニ奉存、川崎町ニおゐても買宿又ハ世話人等も可在御座候奉存候間、

右買方而已ニテ相扣帰国致候との義御聞糺被成下度奉存

庄五郎

候、拙者共紅花買方之義ハ、年々京都商人手前ハ紅花注

文金指下シ、指直等も有之、又ハ支配人等罷下り買宿等

被相頼候義ハ、当町ニ斗ニ不限、他郡金ケ瀬、大河原、

舟岡、岩沼且ツハ御城表ニも夫々買人等在之候得ハ、他

所商人入組買方仕候義ヲ、拙者共風清買方為指扣可申様

之儀ハ、乍恐御考察被成下度、奉願上候外ニ、可申上候

様無御座候、右之段亘敷被仰上被下度如斯ニ申上候、已

上、

弘化二年

柴田郡御百姓

天保十一年庚子九月十六日

七月

林兵衛

一、金拾切也

御地頭様子九月廿九日 御奉公御

同

正次

再役ニ付、御祝儀金五十切也、若

同

検断

殿様御申次廿五切、ノ七十五切也、七人拾切ツツ、星作兵衛五切也

同

同

勘右工門

天保十三年壬寅四月廿六日

同

肝入

一、金三拾七切貳朱也 若殿様御婚禮ニ付、為冥加金御

嘉永五年子八月廿四日

用達、八人ニ而三百切献金仕候

一、御手形拾五切四分

御手形正金老切二付

若殿様大番頭被仰蒙候ニ付、献

四枚之高

金仕候、御用達中七拾六切、不

時御用達三人廿四切、ノ百切之

高

弘化二年己十一月四月御触レ

一、当作毛不熟米拂底ニ付左之通被仰付候

一、御城下御酒屋之外清酒三軒ニ限り可令造方候、但し

造石高是迄之通被相免候

一、在々町場三拾九軒

右之通被相免候

一、名取 一、志田 一、遠田 一、老式通

一、三通 一、牡鹿 一、江刺 一、東山

一、気仙

右九郡江者、老郡へ式軒ツ、被免候

一、伊具 一、宇田 一、亘理 一、刈田

一、柴田 一、国分 一、宮城 一、黒川

一、加美 一、玉造 一、大谷高城 一、深谷

一、栗原 一、登米 一、佐倉 一、桃生

一、本吉南方 一、西岩井 一、下伊沢

一、上伊沢 一、本吉北方

右式拾老郡江者、老郡へ式軒限り被相免候

一、御一門衆始大進歴之御家中

一統清酒造方仕候義、一切被相免候

一、是迄御免清酒屋共、今所持候清酒ハ、来正月中迄ニ

訖度壳拂可申候

一、濁酒之儀御城下老町老軒、在々老宿一軒ツ、被相残

候。其他一切被相免候。士凡手造之分者、是迄之通

被相免候条、造高何分減少可仕候

一、是迄御免之濁酒屋共、今所持之残酒者、御城下者

御触出之日、日数十日之内、在々八七日之日壳拂可

申候

三二 弘化三年商用萬控

弘化三年丙午年ニ御座候へハ、農作難計人氣不且、甚心痛致候所、春ニ氣候茂宜敷、米穀追々引緩取引仕候

一、米 式斗壹升 望人不足

一、大豆 四斗二升

一、小豆新 六拾文

一、葉たはこ 廿五把方三拾把迄

右葉たはこ子年頃方追々不揃、寅年ニ者古获持合居候故ニ買人無之下落致、六拾把方直段仕候、当午年近々五ヶ年ニ相成申候処、获不足ニ罷成、奥获御城下入荷無之故、御城下表获問屋者共、在々当所迄買方被致、おし込三拾把商ひ始り、廿七把迄ニ売払申候、何分諸人获持合おり、買人無之時ニ者無油断買人候様、專一ニ心かけ可申候、高直もの者何品ニ不寄、買方相控可申候、米作巳年不作致候而、高直段ニ相成、壹斗九升式斗迄ニ売買仕候、生酒も相留り一郡ニ壹軒

被免、大川原町尾形屋甚兵衛殿、酒造り方被致候、米

戊午の正二月者壹斗九升位売買仕候得共、追々下落ニ

相成、四五月順氣宜敷、二斗二升位迄ニ下直ニ相成

候所、六月十六日方雨天続キ、廿四日迄引続キ其後

降、晴七月二日快晴ニ相成申候、稲も出穂時ニ有之、

心痛致候所障無之、上々作ニ相成申候、降続キ時ニハ

二〇迄仕候

七月六日 正金壹歩ニ付

一、米 式斗三升

七月十一日

一、米 式斗五升

同月廿壹日

一、米 式斗七升

一、获上品 廿五把

一、大豆 四斗壹升

一、拉荏 式斗壹升

一、小豆新 七拾文

右八春中古小豆三十五文、買人不足ニ御座候、

村田町 万兵衛

大小豆老升百文位ヲ買入置候処、追々下落致、古小豆買

弘化三年八月

人無持合様申候、午新小豆草生大キニ宜敷御座候所、虫

ツキニ相成一円位ニあつきなり不申、誠ニ大不作ニ御座候

二三 弘化四年商用萬控

古萩御城表方、三月始方買人被參売払申候所、萩問屋

仲間意地ニ付、新馬町大泉屋甚吉、立町森屋義兵衛方

御郡方方御賞紙頂戴仕候分、同人村帳へ書添、指

へ色々引合ニ相成、当地売人不相当之売捌杯と、願書

出高書上可申上旨、被仰渡左ニ申上候

指上候処、御取上ケニ相成不申、別而当地葉たばこ

一、羽織地 五反 林兵衛

買人置売払人江、御手入も無之事濟ニ相成申候

天保四年巳ノ年違作ニ付、御披納方江米拾貳石

御塩問屋何年何月ニ被仰付候也、

指上、外ニ米拾貳石余、難渋之御百姓江指米仕

可申上旨御郡方より被仰渡候

候ニ付、御城御用所ニ而頂戴仕候

ニ付、左之通書上仕候

一、御扶持方老人分 林兵衛

柴田郡村田町御百姓万兵衛、御塩問屋何年何月ニ被仰付

天保七年申年大凶歳ニ付、御披納方へ金五十兩

候哉、右之旨申上候様被仰渡、左ニ申上候

也、指上頂戴仕候

一、御塩問屋

右之通手控方写方如斯ニ申上候、已上

右御役、天保拾年十一月被仰付候

弘化四年未二月 柴田郡村田町御百姓

右之通書上仕候、已上

林兵衛

利右衛門様

但足立村肝入着役之節

御家老

松崎 免毛様 一、高橋 逸平様

弘化四丁未年御城下若林佐藏殿、御留主居仕候大

御用人

同

坂大三郎・同所佐藏より、御宝器諸品持出し、質

島田哲之輔様 一、阿部 一馬様

入仕候義ニ付、御吟味ニ罷成、無行衛ニ候右品々

忝歩

忝歩

御請方ニ付、金配御用達江被仰付、右納達金百

御扱

同

八十式両三步也、献金仕候

高橋吉左衛門様 一、横田小右衛門様

一、正金百三拾三切六分六厘六毛 献金

忝歩

忝歩

御地行 三百三拾七文

大目附

同

一、正金四拾切也 先納達金御不足ニ付、別段ニ献金

木口大鋸之輔様 一、武沢 亮輔様

御地行 貳百文

貳朱

貳朱

貳口 五百三拾七文

七切三朱也

御用達 七人

御直書を以永々御知行頂戴仕候、弘化四年未ノ十一月

不時御用達 四人

廿八日朝五つ半時ニ罷出、御広間ニおゐて、御家老兩

右わり合

人御目附御立合ニ被渡候

金貳歩卜拾壹文 林兵衛方

右御礼廻り

二四 嘉永元年商用萬控

嘉永元年秋村田郷之内松尾川仕切、七小路川揃無^(マ)

愁二付、新川御堀判

御普請御入料御人足御割付左ニ申上候

出人 四百七十人

但為替御人足 老入代五拾文

御奉公人様前 三拾九文

一、百四十七人八分

一、貳百四十五人四分 御村方

一、七十六人八分 散田村分

林兵衛分

人足三人三分壹厘

此代百六十六文納

十二月五日

弘化四年切ニ而改元

嘉永元年ニ相改、申

正月諸相庭左之通

一、正月 米 貳斗七升

一、同 大豆 四斗

一、同 葉たばこ 旧冬直段望人なし

一、同 小豆 四拾文

一、手形 老歩四百文

一、錢相庭 老メ六百文

右之通直段ニ御座候、大豆未年大不作ニ有之候得共、直

段引立不申、未十二月金老歩ニ五斗、春ニ相成引メリ四

斗方三八ニ相成申候、米ハ作廻り方旧冬引メリ候故ニ、

追々下落ニ相成、尤半夏土用氣候宜敷故ニ人氣引緩、六

月十五日より直段益引下ケ、三斗三四升迄ニ売人御座候

弘化四未年

一、十月 米 三斗壹貳升

一、十一月 米 貳斗九升

但中旬頃方引上ケ、貳斗八升迄取引

一、十二月 米 貳斗八升五合

一、同 大豆 四斗五六升

一、同 葉萩 三拾九把 五拾把迄

右之通取引仕候処、全躰作は相応の様子にて、米八四斗

二も引下ケ可申見当ニ御座候様、思外取上リ不足と相見

得、一旦八三斗式升迄仕候へとも、酒屋買出ニ八五買方

仕候

嘉永元年正月・二月・三月迄八式斗七升位、取引仕候

所、追々引緩、五月三斗三升、七月・八月三斗八升、ふ

け米四斗迄下落仕候、誠ニ格外之損金ニ相成申候

弘化四年末十二月廿五日

御蔵并を以御渡被下候控

高式百六拾四文七分

大沼新左衛門

同 田山屋 專吉

同 佐藤 文三郎

一、高 卷メ五百文 同 山田屋新五郎

同 大沼屋所左衛門

大沼屋養之丞

高百七拾六文五分

一、米 六石式斗六升九合七勺

此俵拾三俵ト

四斗壹升九合七勺

一、大豆 四斗九升六合九勺

一、金代 卷メ六百拾式文

右百文ニ付

米四斗壹升七合九勺

同 大豆三升三合壹勺

高式百六拾四文七分

此米壹石壹斗六合壹勺

大豆 八升六合六勺

高百七拾六文五分 同

此米七斗三升七合六勺

大豆五升八合四勺

一、高式貫文

一、米 八石三斗五升九合六勺

一、大豆 六斗六升弍合六勺

一、金代 弍ノ百五拾文

大沼新左衛門

田山 專吉

佐藤 文三郎

山田 新五郎

大沼 正七

大沼所左衛門

大沼 養之丞

七人

高弍百八拾五文七分

此米壹石壹斗九升四合弍勺

大豆 壹斗九升四合弍勺

司当番

嘉永元年戊申四月御触写

質物渡世之者共、弍拾五兩之利足ニ而八間ニ合兼候ニ付、
天保十四年金高多少を以分段被直下、金拾兩已下八壹月

拾兩ニ付壹部、廿兩以下八拾五拾兩ニ付壹部、卅兩以下

八廿兩ニ付壹部、其余八被相定候通り、弍拾五兩壹歩之

利足ニ被成下、錢かし八百文ニ付三文之利足ニ被成下

旨、各先役共吟味之通被成下旨、申渡置候処、其後年数

も相立、無際限も是迄之通、利揚ケ可指置候様無之、扱

亦被相定候通之利足ニ而八、質物渡世之者共及迷惑候事

ニ相聞得候間、当分凡而拾五兩ニ壹歩之利足附ヲ以、取

引致候様可被申渡候、乍去、金高五拾兩以上貸渡候分

八、金高多ク候間、相定之通弍十五兩壹歩利足附ヲ以取

引致候様、首尾可有之候、同役令吟味如此ニ候

三月廿九日

右之通被仰渡候間、其心得兼而之通、組合中無落相触、
順達兩日早々可被指戻候

松川 直助

此訳跡方相出候文言卜相見得申候

右之通被申聞吟味之通、無御異儀候条、其心得首尾可被

申断候、己上

四月八日

尚以拾五兩老步取引之義ハ、質物ニ限り候条、勿論之事ニ候間、其心得可被成候

惣口町 檢斷共

質物渡世之者共、被相定候利足ニ而ハ間に合兼候ニ付、

嘉永元年六月紅花凡見詰当紅花違作ニ有之、未年
ノ半作之荷高二相唱申候

天保十四年金高多少ヲ以分段被立下、錢貸之義八百文ニ

一、早庭下総通ニ 三百駄

三文之利足ニ被成下置候所、年数も相立無際限も、是迄

一、水戸 三百駄

之通利揚可被指置様無之、扱亦被相定置候利足ニ而ハ、

一、南仙 式百駄

質屋渡世之者共及迷惑候間、当分凡而拾五兩ニ老步之

一、奥南部 式百駄

利足ヲ以取引引仕候様被仰渡、首尾仕候所、当三月迄之

一、最上 八百駄

所者是迄之通ヲ以取引引仕、此度被仰渡趣ヲ以、当四月

ノ式千駄見詰

朔日を境ニ勘定相互取引仕候様被成下候、金式朱以下端

当紅花大河原・大谷・舟岡・五百目頭ノ、角田五百五十

錢貸之分ハ、右拾五兩江老部割合候得ハ、百文ニ老文

目頭ノ、沼部五百三拾目頭ノ名取追て引緩、五百八拾目

六分六厘七毛ニ相当り申候間、分厘切端式文と被成下度

六百目頭ノ商仕候、沖通ハ雨相応ニ有之、山根通りハ四

様、早々別紙之通、質物渡世之者廿五日出候間、申出候

分位雨、未年ノ二割方も品悪直段拾兩余リ高直ニ買上候

通御吟味御指図被成下度、且被仰渡候御文言之内ニ、凡

間、午未諸国ニテ三千太余ノ荷高出来候、申新花荷不足

而十五兩ニ老步之利足ヲ以取引引致候様、被仰渡候而は、

見詰ニ而、高直段ニ仕候

質物り足一扁ニ限り取引引仕候訳ニ無御座候へ共、拾日之

嘉永元年申十一月

間此以御指図被成下度申出候紙面差添、相達申候、以上

一、新米十月并相庭

金壹歩ニ付 四斗

十一月十日米出穀不足ニ付而、元糶屋三斗八升五合迄ニ

買方仕候、田作夏照統、山沢杯之水かかり宜敷候処、上

作ニ取上り、山根通り十分之作ニ取納申候、沖通り逆

も水掛り宜敷所ハ、相応ニ取上り、乍併秋不天氣ニ続キ

ニ有之、秋上ケ雨天取上ケ不宜候、十月ノ天氣宜敷、

十一月十日春の様子ニ而、雪も降不申、大根十一月始迄

ツミ上り不申候

一、大豆六斗五五八位の直段ニ御座候、上作之様子、場

所ニ否壹反五斗入四俵位、取出し候様子ニ御座候

一、油 式斗六升五七八升

一、米壹石九斗式升 三百八十四日分

右之通り加永二年分御扶持方被渡下、難有頂戴仕候

加永元年 柴田郡村田町御百姓

十二月 林 兵衛

二五 嘉永二年商用萬控

嘉永二年酉十月

米并相庭三斗壹升五合追々引上ケ

一、十一月廿七日相庭左に

一、米 式斗七升五合八升迄

一、大豆 五斗三四升

一、荳 三斗九升

一、○ 壹メ六百文 沢山

右之通取引仕候、且つ十一月廿日頃迄酒屋ニて米式斗六

升迄買入候処、十一月廿二日頃少々下落式斗七升五

合、追々緩ミ模様式斗八升取引仕申候

大豆十月中旬頃五斗六升五斗六斗位迄取引仕候処、此頃ニ

到り大河原辺五斗壹升取引、当処五斗三升五斗五升迄取

引、荳八月中旬三斗八升ニて買入進ミ候処、追々緩ミ模

様ニて、人氣相進ミ不申候、追々三斗九升ニて取引ニ相

成、相納り申候

十一月廿七日記ス

嘉永二年酉ノ年迄三ヶ年、万兵衛分組合頭相致し
嘉永三年戊正月永治殿方へ相遜り申候

二六 嘉永三年商用萬控

南町御蔵江新備粉、半軒屋敷

一、正月

二付、四升五合宛相備申候

一、米 式斗七升五合六升五合迄

一、養之丞 一、林兵衛 一、忠四郎

但買人連も無之氣配計

〆粉老斗三升五合出し、嘉永二年酉十二月六日組頭方へ、猶当年始り申候事ニも無之様、相聞及申候

一、大豆 四斗九升 望人あり
一、荏油 三斗四升
一、葉たばこ 五十把六拾把迄

嘉永二年酉十二月七日ニ、南町

但酉年品不宣候、猶四五年分古持合おり、買人望

御蔵前ニおゐて、小泉村方上納米

不申候

御ふ持方ニ御渡ス、被下候請取書

一、米 壹石七斗七升

追々諸相庭高下有之候処、四月ニ到り米買人無之付、諸相庭も緩ミ致候、外品者夫々氣配之品も御座候

右之通嘉永三年分御扶持方被渡下、難有頂戴仕候

柴田郡村田町御百姓 林兵衛

四月十一日相庭

其節安達林太夫様御出役、御礼ニ者料紙拾帖、両家名前

一、米 式斗七升五合

ニ而指上申候、外ニ何方へも進物なし

一、荏 三斗三升五合

一、大豆 四斗五升

一、葉たばこ 売買なし

一、小豆 三十五文位

一、坂上操綿 壹本 金七兩位

山形表七例日取引、本紙付

金六兩三步壹匁位致候

一、紅花蒔附種 多分ニ有之

一、沢山ニ蒔附致し、当分草生も見事ニ生立申候

一、錢 壹匁六百文ニ定

手形 四枚壹切ニ付通用致候

先年戌酉年不作致候付、米相庭引^レり、式斗五升迄取

引仕候^ヌ、春ニ相成大キニ引緩申候、天保八年酉年ニも

高直ニ有之、戌年春者五割方損毛ニ相成申候、何分取

納り不足ニ而も、高直もの故ニ^(ママ)檢約ニ有之候ものニ相見

得申候

一、質流古手式百四十五品

此買金九十壹切也

此箇數 七固也

御役代 壹匁五百廿六文

但し老固ニ付式百十八文割ヲ以如此

右之通伊具郡丸森町商人利吉義、当町林兵衛方を買調、

本所まで持参仕度申出候ニ付、右御役代御判入、手前

召上候条、本所迄無異義者也

嘉永三年九月

宿々御改所

一、米壹石七斗七升

右之通嘉永四年分御扶持石被仰下、難有奉頂戴候、已上

柴田郡村田郷御百姓 林兵衛

嘉永三年十二月

其節之役人様へ進物両人名前ニ而料紙拾状仕候^(ママ)

戌三月晦日

肝入 清右工門殿

一、金壹兩也

御貸上金調達申上候

同 一、金貳朱也

權之助屋敷分、藤原屋敷分

調達申上候

一、錢 壹又六百文

少々不足ニ相見得、内証望人壹五八迄売候様相見
得申候

二七 嘉永四年商用萬控

同 四月

嘉永四年辛亥ノ年

一、米 貳斗六升 売人不足ニ相見へ申候

一、大豆 四斗壹升

一、錢 壹又五百八拾文

正月

同 五月

一、米 貳斗五升

到而雨勝ニ有之、何分売人無之候、尤も米も不

一、錢 壹又六百文

同 二月

足、此模様ニ而ハ追々引候様子ニ御座候

一、大豆 四斗壹升

一、米 貳斗七升

一、大豆 四斗三升

一、錢 壹又六百文

同 六月

追々錢不足ニ相成候故不望候

一 米貳斗六升

同亥三月

大井ニ氣候立直り天氣打続 雨一円降不申候水到而

一、米 貳斗六升五合

干水、併て紅花時ニ相成折々雷雨有之、田畑誠ニ

一、大豆 四斗貳升

上々作ニ相成候様御座候、右ニ付紅花上出来ニ相成

申候、紅花出来方ハ近年稀成上出来ニ相見ヘ申候

嘉永四年

但シ南仙荷高三百駄也 出来日本一

同亥七月

出来

一、米 式斗八升 望人不足

壹番

五番

一、大豆 四斗八升 同断

一、南仙 三百駄

一、最上 七百五拾駄

一、錢 壹メ五百六拾文

三番

二番

錢不足ニ而差引高誠ニ不自由と望人申候

早庭 五百駄

一、水戸 百五拾駄

四番

嘉永四年亥八月

一、奥南部合式百五拾駄也

メ千九百五拾駄也

一、大豆 五斗

右之通荷高二御座候、南仙取上り上物ニ而七拾兩迄、舟

一、錢 壹メ五百四拾文

廻紅花口売買相成候処、追々京都表直段宜敷様子ニ相聞

同 九月

得、尤も江戸表荷かすり追々、江戸表ハ紅粉屋買方ニ罷

一、米 三斗式升

下り、下物ニて七拾兩位買方致候

一、錢 壹メ五百文

南仙頭物ニ而京都相庭百拾兩位ニ走り物商有之候、

十月

誠ニ南仙高利運相成、壹駄ニ付廿五兩位ヲ三拾兩

一、新米 三斗三升五合

位、わり合能処ニ而利潤ニ相成申候

上々作ニ有之候付、追々三斗八升位迄も引移し可申

候、人氣御座候処、稻かり取致候処、存之外かぶ相

出不申候、百姓之唱ニ御座候而、下落ニ相成不申候、
(M.A.) 馴共三五位ニ八十一月初メニ八可相成存候所、
追々引ベ候様子ニ而出石無之

同十一月

一、新米 三斗貳升 氣配

一、大豆 五斗

追々氣配ニ御座候、其後上物四斗三升位売買相成

候

一、荏 貳斗八升

同亥十二月

一、米 三斗壹升

酒屋三斗迄買方致候、十日方少々引移し、三老

位ニ而相治り申候

一、大豆 四斗貳升五合

一、錢 壹メ五百文 不足

一、荏 貳斗七升

嘉永五壬子ノ年

正月

一、米 三斗

一、荏 貳斗六升

同 二月

一、米 貳斗九升 追々氣配

一、荏 貳斗五升

同 閏二月

一、米 貳斗八升

売人不足、貳斗七升五合取引

一、荏 貳斗三升

大井ニ氣配、白石町ニ而貳斗相庭、御城方舟廻辺へ

参り、同廻ニ而貳斗位買方致候由承り申候、何分古

荏無之亥ノ荏計ニ而、品払底と相見へ、右相庭出来

候様相見へ申候

一、操綿 大坂相庭亥ノ秋方直段三メ七百目位ニ而取引

御座候

亥ノ秋方

一、玉砂唐白黒共高直ニ御座候

大坂 式匁壹分

山形表式拾九斤位

一、蠟 五匁壹分位

同子三月

一、米 式斗七升 売人無之

一、大豆 三斗八升 売人有之

一、錢 壹匁五百文

同 三月

一、御郡方御貸上金被仰渡候二付、村田郷へ金四拾四

兩壹分之割合

一、金四兩也 新左工門

一、金四兩也 林兵衛

一、金三兩三分 正七

一、金三兩也 新五郎

一、金三兩也 文三郎

一、金貳兩貳分 專吉

夫々段々壹兩位方壹兩分三部二部位、其外手形壹歩
方極代百文迄御座候

二八 嘉永五年商用萬控

嘉永五壬子年六月

一、米 式斗七升

一、大豆 三斗八升

一、荏 式斗

一、小豆 四拾文

一、錢 壹匁五百文

右之通取引仕候

同年冬相庭

一、米 式斗八升

一、大豆 四斗五升

一、荏 式斗五升

一、小豆 三拾文

一、錢 壹匁五百文

清酒屋壹郡壹軒、御城下三軒被相免、其外八被相留候

嘉永六年丑年大日照

一、春中八折々雨有之、順雨御座候処、四月中旬より御照
続ニ相成、七月廿九日迄ニ二度少々ふり候計ニテ御

照込、畑物一円相育不申、田方も田植相成兼水不足之
処、御上様方殿御制道被遊、水引手分之届ぎ程之場所

立、仕付方相成候、能々天水之場ハ無植ニ相成申候、
水かゝりの宜敷処ハ、足立村・村田・金ヶ瀬・大河

原・槻木・四ヶ市場・南長谷等ニ御座候、第壹番上作
之場処ハ南長谷、二番金ヶ瀬・槻木町・四ヶ市場、三

番足立・村田、四番小泉村、刈田郡も水かゝり場処
ハ、相応之作毛、白石辺も水かゝりハ上作御座候

御城下河原町辺ハ、呑水ニ引当り候様子ニ而、長町川
へ井戸を堀、其水を相用申候、尤も長町川一円水流れ

不申候、奥筋も大崎広道辺ハ相応之作ニ相囀^{マツ}申候、誠
ニ何年ニも無覚大日照ト、老人之咄しニ御座候

一、出羽最上ハたで岡辺并ニ天童辺沖通り迄、田畑共皆
無同様御座候、少々も宜敷処ハ山形地廻り計ニ相見へ

申候、上方筋も五月末より御照続ニ相成候由申參候、出

羽之庄内ハ十分之作ニ御座候様承り申候、乍去、上方

筋方米買船沢山有之ニ付、追々引メ金拾両ニ付、拾三
匁式分ト申承、八月中之書面ニ

一、米相庭四月中迄ハ一円買人無之、三斗壹升位ニテ望
人不足ニ御座候処、五月中旬より追々日照ニ付引ベリ、

六月中ハ式斗壹升ニテ売人不足ニ御座候、夫方段々七
月中同様直段、八月中ニ罷成候へハ、間々雨天之田畑

共、追々見直し候様子ニテ、人氣和ニ相成、米も壹升
程引下ケ申候

一、大豆も一円位相出不申候様子御座候ニ付、式斗三升
位迄望人御座候処、追々見直し弱氣ニ罷成申候

丑九月

一、古米 式斗式升

一、新米 式斗五升

一、大豆 式斗六升

一、小豆 式斗五升

一、荳 壹斗八升

右売人も買人も御座候

一、葉たばこ 上物 拾八把

但し買置之扶掛売之直段八、廿把位御座候

一、最上 六百駄也 丸照花

一、早庭 七百駄也 兩六分位相かかり申候

但し頭物五十五兩六六拾兩位

一、水戸 四百駄 丸雨花

但し直段之儀、早庭同様位

二九 嘉永六年商用萬控

嘉永六年丑年

一、紅花草生稀成上草生、南仙五百駄急度出来可申候、

存入御座候処、大照込にて摘手無之、駄数相減申候、造

り式百八拾駄程出来申候、出来之儀八丸照花ニ御座候、

少々も雷雨かかり場処八、野上・前川・河崎辺にて、聊

相かかり、沖通り品五八百駄相出申候、遠刈田も雨かか

り申候

一、南仙、式百八拾駄也

但し丸照直段之儀八中頭にて三拾五兩買上り、極頭

物四拾壹式兩迄商内罷成申候、御役金壹駄三兩かゝ

り、京着四拾兩

下郷五十式三兩、中郷四十式三兩、地廻り三五兩位

一、奥仙 百五拾駄 丸照花

右之通ニ御座候処、直段も高直ニも無御座候へ得八、上

方引合可相成処、何分上方不景氣、其上昨子年流珠花五

七百箇程到来、紅粉屋りう久花之わり合宜敷様にて、右

花計相潰し、一向ニ南仙最上之花売れ不申候

但し子ノ年紅花様子相印不申候ニ付、此処へ左之通

り

加永五年子年分夏ニ出ス

一、南仙 式百八拾駄 山根通り八分兩

沖通り 式分兩

直段之儀、山根通り三百八拾兩位買取申候、追々沖

下郷五十式三兩、中郷四十式三兩、地廻り三五兩位

通りはあしき品も買入せり立、四百拾兩位迄商内相成申候、然ル処、八月始メニ罷成候へハ、何となく人氣静ニ相成、地元ニテ中買七八兩損金、京都為登之人、貳拾兩方損金、誠ニ恐入候事御座候

一、早庭 四百駄也 丸雨双物八拾五兩位

京都表ニテ少々利運相成

一、水戸 百五拾駄也 丸雨

一、奥仙 貳百駄也 五分雨

南部

一、最上七百駄也

メ千七百三拾駄也

右之通御座候、稀成荷不足ニ御座候へハ、地元氣配能相捌ケ申候処、追々りう久花多分之当込りう久花之方斗、紅粉屋相用候ニ付、頓ト和花売不申候、大損金相成申候、りう久花ト申ハ、三メ五百匁入老箇、右ニテ和花之老駄代金相致し候由、誠ニ以高直之物ニ御座候、乍去、紅粉沢山有之、割分よろしく物ト相見へ申候、此後流久花沢山相渡候義も御座候ハ、決而為登御無用、夫

共雨花上出来直段、下直ニモ御座候ハ、少々之事宜敷哉相見へ申候、何れ其年之模様能々相考、何分堅固ニ相處り可申候

続而加永六丑年之紅花様子柄前文之移り

九月中旬之案文

(琉球)

何分上方不景氣、其上当年もりう久花参り可申哉之含ニテ、中々紅屋買入不申候由、京状も有之、旁南仙之花も百駄も地元ニ残花御座候へ共、買入無之、日増下落ニ相成、尤も当六月中相州浦賀沖へ、イキリス船大船大船蒸氣船ト申車しかげ之船々、立六拾間横三十間位之船四艘乗込、陸ニ上り何か交益之儀申入、右願之節御叶不申候時ハ、軍船數艘さし向候儀、旁併ニ右船へ之御挨拶、来四月迄ニ否哉儀、可申入ニ付、右四艘之船相戻り申候、併シ江戸表、異国船御堅メニ付、処々御普請旁混雜ニ付、紅花荷物杯も江戸廻し如何ト不安心ニ付、出荷も相控候様、旁以残花買入相進ミ不申、誠ニ以陰氣成事ニ御座候、何卒異国船之姿、日本国へ無之様、天下泰平世の

中囃々敷仕度御事、奉祈居候

は、金四兩貳分之取引ニ御座候

嘉永六年

十二月相庭

一、米 貳斗貳升

但し追々引、貳斗位迄取引

一、大豆 貳斗三升

但し早魃ニ付、大高直ニ御座候

一、小豆 壹斗八升

一、荏 貳斗貳三升

一、錢 壹メ五百文

一、藍アイ ごくそ二而壹俵ニ付

金五兩貳歩位取引

但し嘉永癸丑年大旱魃ニ付、何ニ不寄枯倒れ、殊ニ

藍八一円生立無之、七八月頃は壹俵ニ付、金六兩位

迄取引仕候、右早魃模様ニ付、五月六月之頃壹俵ニ

付、金三兩位方三兩貳歩位迄買入候衆中、多分之利

運ニ相成申候、且つ追々下落、嘉永七年五六月頃

三〇 嘉永七年商用萬控

嘉永七年正月

一、米 貳斗也

一、大豆 貳斗貳升

一、小豆 貳斗八升

一、荏 貳斗貳三升

一、〇 壹貫五百文

嘉永七年二月

一、米 貳斗也

一、大豆 貳斗貳升

一、小豆 壹斗七八升

一、〇 壹貫五百文

一、 亜墨利迦船退散之趣風聞有之候ニ付、京都表紅花
少々気配取引有候趣、追々相達、地元残花三四拾駄為登
ニ相成申候、尤も去冬中よりハ、四五両方ハ高直ニ取引
有之候事ニ御座候、弥々亜墨利迦船退散之実説ニ罷成候
所、先前之割合程ニハ紅花も取引無之、却而行当り候
事ニ相成申候、何れ諸定不仕、一統人氣を持候割合程ニ
者、終始難収ものト相見得申候

嘉永七年四月

一、米 式斗式升

一、大豆 式斗五六升

一、◎ 壹貫五百文 沢山

同 六月

今引

一、米 式斗四升

寒引

一、米 式斗五六升

一、菜種 四斗式三升ろ五六升迄

一、大麦から 壹石式斗位

一、小麦 四斗七八升ろ五斗迄

追々下落五斗ニ而も相手不足ニ御座申候

一、◎ 壹メ百六拾文

但し五月廿二日より六十文下落仕申候

右之通取引仕候、且つ大麦小麦共ニ何年ニも稀成豊作ニ
有之、常年壹つ位之場処ろ式三俵位宛取上り候事ニ相聞
得申候、依之米追々下落、寒引ふけて何分相手不足、人
氣穩ニ相成申候

嘉永七申寅年

一、南仙 式百五拾駄也

雨上出来直段、頭物六拾兩位ろ五十兩位迄

一、最上 七百駄也

地廻り中通り迄雨上出来、下郷照花

地廻り三十七八兩ろ、中通り五十五六兩迄

京都直段漸々元金位之由申參候

一、早庭 五百駄也

六七分雨出来宜敷無御座候由、直段南仙同様位、

銘もの八七十兩迄も有之由

一、水戸 三百駄也

七分雨上出来、直段五十兩位も六十五兩位迄、

右早水共ニ買間宜敷処、元金買間悪敷処、損毛之

由申參候

一、奥仙

百五十拾駄也

南部

直段四十式三兩位 七分位雨

千九百駄也

右之通取引御座候処、当春も丑墨利加船渡来ニ付、人氣

悪敷退船致し候得共、何となく人氣悪敷ニ付、兎角買

入ニ相進ミ不申候処、諸国荷不足、且南仙紅花ハ丸雨花

は含ニ而、追々買人有之、舟岡水花ハ頭物金六十式兩位

迄、山形客人買入申候、利潤無覺速存居処、追々京都表

氣配相成候処へ、又々九月十七日大阪表へ異国船渡来ニ

付、大混雜ニ有之申候、其四五日は商事処ニハ無之候

処、十月耆日頃ト承り申候処、退船ニ相成、其後追々

人氣引立、南仙耆割方利運相成申候、水戸、早庭ハ多少

損毛、最上花耆割位利運御座候

同十一月廿六日

一、米 三斗耆升 十月并し三斗耆升

一、大豆 四斗八升

一、小豆 同断

一、荏 式斗八升

一、⊙ 耆メ六百文

右之通取引仕候、以上

三一 安政二年商用萬控

安政二年卯四月

一、流古手九拾耆品

此買金式拾七切也

此箇數貳箇也

此御役代 四百三十六文

右之通岩沼町商人孫右工門江壳渡

同年同月

一、同 百三拾四品

此買金 四拾老切也

此箇數 三箇也

此御役代 六百五十四文

右之通大河原町商人源之助江壳渡

安政二年卯八月

一、流古手 百八十老品

此買金 七拾貳切也

此箇數 六箇也

御役代 老又三百八文

右之通岩沼町商人孫右工門方江壳渡申候

同年同月

一、流古手 百廿老品

此買金 四拾六切貳朱也

此箇數 四箇也

御役代 八百七十貳文

右之通大河原町金右工門方江壳渡申候

一、流古手 貳百拾貳品

此買金 八拾老切五分

箇數 七箇也

御役代 老又五百廿六文

但し老箇三付貳百十八文かへ如此

右八当所前五郎方江壳渡申候

卯八月

六匁 四分

一、阿仙藥 一、蓴葵

四分 四分

一、丁香 一、薄荷

四分 四分

一、縮砂

一、雄黃

式分

式分

一、白豆蔻

一、沈香

式分

壹匁

一、綠礬燒反

一、并草

壹分

一、麝香

メ十壹品

酒仕込一紙調書

真高三拾本送り諸

入用仕上候メ高

安政二年卯仕込

一、米貳百三拾五石八斗壹升

三五 此金六百七拾三切七分四厘也

此引金五拾三切九分也

但し十二月より七月迄之り足

一、金百廿切也 諸入用并米代 今出ス

此り金九切六分

一、金四拾三切也

今出ス

此り三切四分

一、金百切也

叩出ス

此り金八切也

一、金貳拾切也

牡武方不足金見詰

メ千三拾壹切六分四厘也

内金三拾壹切也 白米四斗入廿四引殘石也

指引千切六分四厘也

壹メ六百式十文見詰

此代千六百廿メ文

右三拾本

但し九万盃二わり

生酒壹盃二付

丸アシ文上り

安政二乙卯年

一、早庭 五百駄

五六分雨、頭物六十兩⁵、壹割方利

一、水戸 三百五拾駄

同断

一、南仙 四百駄

同断 頭物六十三兩位⁵、壹割方利

一、奥南部 貳百駄

一、最上 九百駄

三分通雨、地廻り四拾兩位⁵

下郷照花二而五拾二三兩⁵

地回り元金、下郷損金

右之通御座候、江戸表大地震二付、一円望人無之、十二

月始メ迄ハ無商内同様御座候処、漸十二月始⁵商望候、

外ニ破舟難舟有之、損金相成候事、難破無之候得ハ、多

少利運有之事

三三一 安政三年商用萬控

安政三年辰四月

一、流古手 六拾五品

此買金 貳拾五切半也

此箇数 貳箇也

一、古かや 廿帳也

此買金 九切貳朱也

此箇数 貳箇也

× 四箇也

此御役代 八百七十式文

安政三丙辰年

七分雨出来宜

一、南仙 四百駄也 追々先之見詰⁵相増候

頭物六十兩⁵五十兩迄

五分雨

一、早庭 四百駄

同断

同

一、水戸 四百駄

同断

七分雨

一、最上 九百駄

下郷五十兩を地回り三十兩位、追々引立

一、奥南部 貳百駄

〆千九百三十駄也

一、紀州 大和 貳百駄

〆貳千五百駄也

右之通御座候、南仙・最上買間宣敷処、廿兩已上利運相成申候、水戸・早庭八五七兩利、誠ニ仙最之品ハ不思利運御座候、最初之直立を追々後ニ直段引立、最初を五七兩引上ケ申候

(作事紅花)

さくじこふ花

七月之節ニハ

つぼみ持候、其十日前ニも下夕枝つぼみ持候、七月之節

ニ入而り十日過候時ハ、沓番ニ御座候、当丙辰之年ハ、

七月廿日頃沓番ニ御座候

一、流古手 貳百六十四品

買代金 貳拾六兩貳歩也

箇数 八箇也

御役代 沓メ七百四十四文

右八岩沼町鎌田屋源右工門方へ売渡申候、以上

辰八月

一、流古手 貳百五十三品

買代金 貳拾五兩沓歩也

此箇数 八箇也

御役代 沓メ七百四十四文

右八大川原町源之助方へ壳渡申候、以上

辰八月

一、流古手 七十老品

御買金 三拾四切一朱也

此箇數 式箇也

御役代 四百三十六文

右八大川原町金右衛門方へ壳渡申候、以上

辰八月

一、古手 八箇也

御買金 式拾八両老歩

御役代 老又七百四十四文

右当所山田屋新五郎方へ壳渡申候、以上

辰八月

柴田郡村田町新酒

出役願左ニ申上候事

一、新酒 三拾石造 同町清酒屋 林兵衛

此御役金 八切也

右之通御役金上納、当新酒造方御免被成下度奉願上候、三十石造金八切を以御免被成下候段、被仰渡難有奉承知候、右御役金上納之節、万一指滞之儀も御座候ハ、請合人弁出、上納仕候様吟味仕候上、如斯申上候、以上

村田町御百姓新酒造人

安政三年 林兵衛

十一月 同 受合人

專 吉

同 組頭

平 蔵

同 検断

文 太郎

同 肝入

清右工門

大沼十郎左衛門殿

安政三年辰十二月

安政三年

林兵衛

一、米三斗九升方四斗迄

十一月 請合人

一、大豆四斗八升方五斗迄

組頭 平藏

一、荳式斗八升

山形表相庭

肝 入

一、卯坂上綿 金四兩壹歩也

大沼十郎左工門殿

一、◎六貫四百文

柴田郡村田町新酒出役

三三 安政四年商用萬控

願左ニ奉申上候事

同町清酒屋 林兵衛

安政四年巳五月

一、新酒 三拾石造り

流主

此御役金 八切也

一、古手口 七十品

右之通御役金上納仕、当新酒方御免被成下度奉願上候、

此買金 三拾壹切式朱

三拾石造り金八切を以御免被成下候段被仰渡、難有奉承

此箇数 式箇也

知候、右御役金上納之節、万一指滞候義も御座候ハ、

御役代 四百三十六文

請合人弁出上納仕候様吟味仕候上、如斯申上候、以上

右之通岩沼町孫右工門方江壳渡申候、以上

村田町新酒造人

五月八日

安政四年巳八月

一、貳百貳拾四品也

此買金 七拾三切也

此箇數 六箇也

此御役代 壹×三百八文

右之通大河原町源之助方へ壳渡申候、己上

安政四丁巳ノ年

雨上歳 頭物六十貳三兩

一、早庭 七百駄

五分雨 同断

一、水戸 五百駄

八分雨 頭物八十兩

一、南仙 貳百五十駄

七分雨 頭七十兩

一、最上 六百駄

同

一、奥南部 百五十駄

頭七十兩

三分雨

一、記州大和 三百駄

×貳千五百駄也

右之通御座候、早庭廿五兩より従利、水戸十五兩従利、南仙

早壳八荷口せん、春壳追々大損金相成、何れ高直之者利

運有之時二八、早速壳払方可然る御座候

三四 安政五年商用萬控

安政五年午四月

流

一、古かや 三十帳

一、夏古手 卅九品

此箇數 四箇也

此買金 貳拾七切貳朱

御役代 八百七十貳文

右之通岩沼町源右工門方へ売渡候、以上

安政五年午拾月

一、流かや 貳十帳

此箇數 貳箇也

此かへ金 拾三切也

御役 四百貳十六文

右之通大川原町源之助方へ売渡申候、己上

三五 萬延元年商用萬控

萬延元年庚申年

一、流古手 貳百七拾三品也

買金 貳拾五兩三分也

此箇數 八箇也

御役代 壹メ七百四拾四文

右八岩沼町考六方へ売渡申候、以上

申十月

一、流古手 百六拾八品也

買金 六拾四切貳朱也

此箇數 五箇也

御役代 壹メ九拾文

右八大川原源之助方へ売渡申し候、以上

申十月

宮床様へ金子調達仕候

御始末書写し

一、金千兩也

右之通御地頭様御台所御相続金向、御役人様方別紙御連印之証状を以御滯受相成候訳、相違無御座候、御返済之儀八、当御地行所御物成諸上納物之外、金穀ヲ以、壹割

之利被相加、元利濟切迄年々私共手前ニテ取起御約定可仕候、譬万々一如何様之御障り等出来候共、私共手前ニ

テ埒明、聊御苦勞相かけ不申候、依而為後日如件

万延元年 薄木村地肝入 太藏

十二月 入間野村 栄助

菅生村 林太郎

沼田村 永藏

入間野村 浅吉

同 利平

小泉村 周治

大沼屋所左工門殿

大沼屋 正七殿

大沼屋 林兵衛殿

金子借用一札之事

一、金千両也 内十二月 三百両

酉正月 三百両

三月十五日式百両

右之通、式部殿

七月十日 式百両

台所用金借金致候義実正也、返済之儀八柴田郡御知行所物成諸上納物之外、金穀商元利濟切迄、相定利足を以年々勘定可致候、尤別紙地肝入証状差添、為後日連印一札如件

同 菊地 多仲

万延元年 村扱 半沢 長次

申十二月 同 岡本軍太夫

同 鈴木 琢磨

用人 村井栄之進

家老 赤坂十兵衛

村田町御用達 大沼所左衛門殿

同 大沼 正七殿

同 大沼 林兵衛殿

覚

此度式部殿台所用向相頼金、承知一段之事ニ被思召候、

依而為御手当薄木村御知行高八メ文之所、御用達中被
下置旨被仰出候事

家老 赤坂十兵衛

万延元年申十二月

村井榮之進

鈴木 琢磨

岡本軍太夫

村田町御用達 大沼所左衛門殿

同 大沼 正七殿

同 大沼 林兵衛殿

御 扱 御式人 金沓切式朱ツ、

御目付 御式人 金三朱ツ、

肝入 清右衛門殿 金沓両沓歩

大キニ御世話ニ相成候間、如此

地肝入 専助殿 金三朱

検断 文太郎殿 金式朱

組頭 林治郎殿 金沓分

大キ世話ニ相成如此

同 万之助殿 金沓分

右同断

三六 文久二年商用萬控

御知行 一、五百三十七文

文久元西十二月、万歳代百性願上候処、御下知被仰

一、式百文 御用達ニ付

渡候

一、六百文

文久二年戊正月廿一日、願濟之御下知罷成候御礼廻り

一、三百三十五文

御家老 御式人 金三朱也ツ、

一、式百五十文

御用人 御式人 金沓切式朱ツ、

一、沓メ九百廿式文

編 集

河北町誌編纂委員会

委員長 檜 清 哉

副委員長 北 島 教 爾

委員 鈴 木 勲

委員 矢 作 春 樹

委員 田 宮 照 夫

編集事務局

河北町企画情報課

河北町谷地戊八一番地

電話 ○二三七(73)二一一

〒 九九九一三五

平成九年二月二十四日 印刷
平成九年二月二十八日 発行

最上紅花史料Ⅲ

河北町誌編纂史料

編纂者 河北町誌編纂委員会

発行者 河 北 町

印刷所 田宮印刷株式会社